

俳句における環境植物の調査報告  
Report of Plant *Kigo* (Season Words) for Haiku

—世界植物季語調査の結果—  
Results on the Investigation into Season Words for Plants in Haiku of the World

青木陽二・宮下恵美子編  
Edited by Yoji AOKI and Emiko MIYASHITA

執筆者 Contributors: 青木陽二: Yoji AOKI, 有馬朗人: Akito ARIMA, コブ・デイビッド: David COBB, デオドハール・アンジェリー: Angelee DEODHAR, デュテイユ・ダニエル: Danièle DUTEIL, 井口百合香: Yurika IGUCHI, ジャンボール・絹子: Kinuko JAMBOR, リチャード・ジャンボール: Richard JAMBOR, 近田文弘: Fumihiro KONTA, 松島肇: Hajime MATSUSHIMA, 宮下恵美子: Emiko MIYASHITA, 野末琢二: Takuji NOZUE, 大塚柳太郎: Ryutarō OHTSUKA, 多田満: Mitsuru TADA

NIES

独立行政法人 国立環境研究所  
NATIONAL INSTITUTE FOR ENVIRONMENTAL STUDIES

# 俳句における環境植物の調査報告 Report of Plant *Kigo* (Season Words) for Haiku

—世界植物季語調査の結果—  
Results on the Investigation into Season Words for Plants in Haiku of the World

## 著者とその所属 Contributors

青木陽二 : Yoji AOKI, 独立行政法人国立環境研究所  
有馬朗人 : Akito ARIMA, 国際俳句交流協会  
コブ・デイビッド : David COBB, 英国俳句協会  
デオドハール・アンジェリー : Angelee DEODHAR, インド在住眼科医  
デュテイユ・ダニエル : Danièle DUTEIL, フランス俳句協会  
井口百合香 : Yurika IGUCHI, つくばアーバンガーデニング  
ジャンボール・絹子 : Kinuko JAMBOR, 国際俳句交流協会  
ジャンボール・リチャード : Richard, JAMBOR, 日本研究者  
近田文弘 : Fumihiko KONTA, 国立科学博物館  
松島肇 : Hajime MATSUSHIMA, 北海道大学  
宮下恵美子 : Emiko MIYASHITA, 国際俳句交流協会  
野末琢二 : Takuji NOZUE, 俳人・社団法人俳人協会  
大塚柳太郎 : Ryutarō OHTSUKA, 独立行政法人国立環境研究所  
多田満 : Mitsuru TADA, 独立行政法人国立環境研究所

NIES  
独立行政法人 国立環境研究所  
NATIONAL INSTITUTE FOR ENVIRONMENTAL STUDIES

俳句における環境植物の調査報告

目次	.....	1 頁
まえがき	大塚柳太郎 .....	3 頁
Foreword	Richard JAMBOR .....	4 頁
報告書の要約	青木陽二・宮下恵美子 .....	5 頁
俳句と自然(特別講演要旨)	有馬朗人 .....	8 頁
1. 植物に関する季語の植物分類学的分析	近田文弘・青木陽二 .....	9 頁
2. 俳句を通して人々に親しまれた植物の変遷	ジャンボール絹子・青木陽二 .....	39 頁
3. 俳句季語における空間意識：『最新俳句歳時記』(山本健吉編)による分析	野末琢二・青木陽二 .....	45 頁
4. 俳句の植物季語に表れた日本の季節変化	青木陽二・近田文弘・野末琢二 .....	55 頁
5. 身近な植物に対する認知度の分析	松島肇・井口百合香・青木陽二 .....	65 頁
6. ネイチャーライティングから見た俳句と環境植物	多田満 .....	71 頁
7. 俳句季語の国際性	.....	75 頁
7.1 季語植物について	宮下恵美子 .....	75 頁
7.2 English Haiku in the Absence of a <i>Saijiki</i>	David COBB .....	80 頁
7.3 Flora in Indian Haiku	Angelee DEODHAR .....	83 頁
7.4 Plants in French Haiku	Danièle DUTEIL .....	89 頁
8. 植物季語のデータベース	.....	93 頁
8.1 世界植物俳句調査の結果	宮下恵美子・ジャンボール絹子・ 近田文弘・野末琢二・青木陽二 .....	95 頁
8.2 日本の植物季語データベース	野末琢二 .....	102 頁
あとがき	青木陽二 .....	112 頁

## Report of Plant *Kigo* (Season Words for Haiku)

### Contents

	page
Foreword	Ryutaro OHTSUKA .....3
Foreword	Richard JAMBOR .....4
Summary of this Report	Yoji AOKI, Emiko MIYASHITA .....5
Nature and Haiku	Akito ARIMA .....8
1. Analysis of <i>Kigo</i> about Plants in Haiku from the Viewpoint of the Plant Taxonomy	
	Fumihiko KONTA, Yoji AOKI .....9
2. Transition of Season Words, <i>Kigo</i> , for Plants in Haiku from the Edo Era to the Present	
	Kinuko JUMBOR, Yoji AOKI ..... 39
3. Spatial Image of <i>Kigo</i> (season word) in Haiku	Takuji NOZUE, Yoji AOKI .....45
4. Expression of the Seasonal Experience of Vegetation in Haiku	
	Yoji AOKI, Fumihiko KONTA, Takuji NOZUE ..... 55
5. Testing Knowledge of Name of Plants in Neighborhood	
	Hajime MATSUSHIMA, Yurika IGUCHI, Yoji AOKI ..... 65
6. Plants in Haiku from the Viewpoint of Nature Writing	Mitsuru TADA ..... 71
7. Season Words in International Haiku	
7.1 Plant <i>Kigo</i>	Emiko MIYASHITA .....75
7.2 English Haiku in the Absence of a <i>Saijiki</i>	David COBB .....80
7.3 Flora in Indian Haiku	Angelee DEODHAR .....83
7.4 Plants in French Haiku	Danièle DUTEIL .....89
8. Database of Plants <i>Kigo</i> , Season Words for Haiku	.....93
8.1 Results on the Investigation into Plants in Haiku of the World	
	Emiko MIYASHITA, Kinuko JUMBOR, Fumihiko KONTA, Takuji NOZUE, Yoji AOKI .....95
8.2 A Database of <i>Kigo</i> in Japan	Takuji NOZUE ..... 102
Postscript	Yoji AOKI ..... 112

まえがき

本報告書のテーマである俳句の研究は、環境研究にとって独特の意味合いがあります。この数十年間、環境研究は多くの分野で飛躍的な進展をつづけてきましたが、その大半は個別要素的な側面が強いもので、人間が環境を総合的に知覚し認識することに関してはほとんど手がつけられてこなかったからです。青木陽二主席研究員が中心となって展開してきた「環境知覚研究」については、本研究所の情報誌である『環境儀』の最新号 (No. 25) に詳しく紹介されています。俳句に関する研究がとくに取り上げられているわけではありませんが、俳句がもつ重要性は青木博士へのインタビュー記事からも窺えます。俳句は、一連の環境知覚研究において、ことに日本という風土を考えると「真打ち」の対象のようにも思えます。

青木博士は『環境儀』のなかで、俳句とは環境の見方あるいは環境を楽しむ方法だと述べています。この指摘は、季語と歳時記という日本人の心を表す2つの言葉にも関係しているようです。季語が人間の感性や文化に深く関係するのに対し、歳時記は気候学の用語でもあり自然科学的色彩の強いものです。季語は季節性や気候の表れを含む情景に重きを置き、歳時記は自然現象の把握に重きを置く傾向がみられます。

本報告書の大部を占める、各地から収集された季語の資料について述べさせていただきます。まず感嘆したのは、実に多くの植物に関する季語があり、古い時代の季語も多くが現在まで残されていることです。季語がいかに重視されてきたかを改めて感じるとともに、俳句歳時記を編集してきた人びとの努力に敬意を表する次第です。第2は、時代とともに新しい季語が出現していることです。室町時代から江戸時代を第1のブームとすれば、最近第2のブームが始まったというべきでしょう。新しい季語には人びとの生活の国際化と俳句の国際化とが結びついたケースも多いようです。多くの人びとが、多様な言語で俳句を楽しんでいることだと思われれます。季語として取り上げられている植物にも、旧き良き時代を彷彿させるもの、祖父母の時代を思い起こさせるものなどがある一方で、最近輸入された草木も含まれています。

俳句は日本人の環境観を理解する上で興味深いテーマです。室町時代に始まった俳句が海外に渡ってから100年もの歴史を刻み、変貌もしながら外国人の感性に影響を与えました。俳句を日本人だけに結びつけるのは不適切です。本報告書でも指摘されていますように、中国や韓国、台湾を含む東アジアという地域だけでなく、南米や欧州にまで広まっています。これは、この研究を発展させる上で重要な意味をもっています。研究成果が、世界のよりよい環境を見出すことに貢献してほしいと願っています。とくに、重要な環境問題として注目を集めている生物多様性の研究に、俳句に込められた環境観が役立つことを期待しています。

2009年2月

独立行政法人国立環境研究所  
理事長 大塚柳太郎

## Foreword

Richard JAMBOR, Editor of Blue Ridge Haiku Journal

The poetic form known as haiku is now a worldwide phenomenon. From humble beginnings in Japan more than three hundred years ago, people in more than fifty-five countries are now writing haiku. In Roanoke, Virginia, even school-children are writing haiku and then exchanging them with those of their counterparts in Shinshiro, Japan. Of course, Matsuo Basho never envisioned this happening, but I often wonder if Masaoka Shiki did during the Meiji Period?

The studies in this volume add another dimension to haiku. Here, scholars from various countries describe the links between botanical season words and the environment. Well before the romantic poets in England or the musings of Thoreau in America, classical Japanese haiku were infused with nature through the use of season words. As the seasons changed, the flora inspired the poet.

The contributors to this volume illustrate how the haiku of different nations express these botanical seasonal changes. Here, I would like to make note of three contributions. It is fascinating to read Dr. Deodhar's essay on the ancient religious aspects of trees and flowers in India. Her descriptions opened this reader's eyes to the rich possibilities of botanical season words in her country. Considering the botanical wealth and linguistic diversity of India, however, one wonders if many *saijiki* will have to be created for that large country. David Cobb's illustrations of plant images in Great Britain point out how they indicate seasonal change, but also suggest feelings. He deserves much credit for compiling a sort of *saijiki* for haiku lovers in his own country. Finally, Daniele Duteil's division of French botanical season words shows in detail how French haiku poets make use of them in their haiku.

The Japanese studies in this volume especially call attention to the environment. Thus, one learns that some plants appear for a time as season words only to disappear at a later period. Was this caused by a simple change in fashion or by environmental change? Again, some non-native species have become naturalized as season words brought to Japan through international trade. Matsushima Hajime's group, in particular, suggests the necessity of knowing one's surroundings in order to ensure the maintenance of a healthy environment. What better way to call awareness to our environment than through haiku? Whether young or old, writing haiku will alert authors and readers to the precious but delicate world in their surroundings.

Finally, Dr. Aoki Yoji of the National Institute of Environmental Studies deserves much credit for inspiring this volume, another example of his splendid work on the environment. As a bird lover, I hope that he will continue his research with a study on bird season words.

## 報告書の要約

### Summary of this report

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

国際俳句交流協会 宮下恵美子

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

Emiko MIYASHITA, Haiku International Association

気候風土の風景評価への影響を調べるにあたって、俳句は重要な手段である。日本に生まれた俳句は、日本の自然が日本人を育て、日本人の心を作り上げ、その結晶として生まれたからである(青木 1995)。寺田寅彦(1935)は俳句の季語は日本人の心であるとまで言っている。そして日本の自然条件は特別なものであり、その自然が日本人の考え方を形作ったと述べている。気候風土が人間の生活に影響を与え、さらに人間の考え方にまで影響したことは、和辻哲郎(1935)が指摘した通りである。このような考えは長い時間をかけて世界に広まり(Watsuji, 1997)、この影響を言語の分析を通して実証的に調べたのが後代の研究者である(鈴木 1978 など)。

しかしながら俳句についてはこのような気候風土との関連を科学的に研究したものは少ない。一方で、歳時記など季節変化に関する資料は近年増加している(図1)。また景観研究分野では、Phenologyに関する研究報告も現れている(Ahas, et al. 2005)。これは気候風土に関する科学研究と一般の関心の高まりを表すと思われる。そこで俳句において気候風土の影響を表す季語について、特に植物に関するものについて調査しまとめることにした。俳句の専門家というよりは科学的研究を嗜んだ方々からも意見を伺い、これも収録することにした。もちろん俳句を専門とする人々の参加も有った。特に気候風土の異なる地域の俳句などに焦点を当てたので、国際俳句交流協会に協力を求めた。

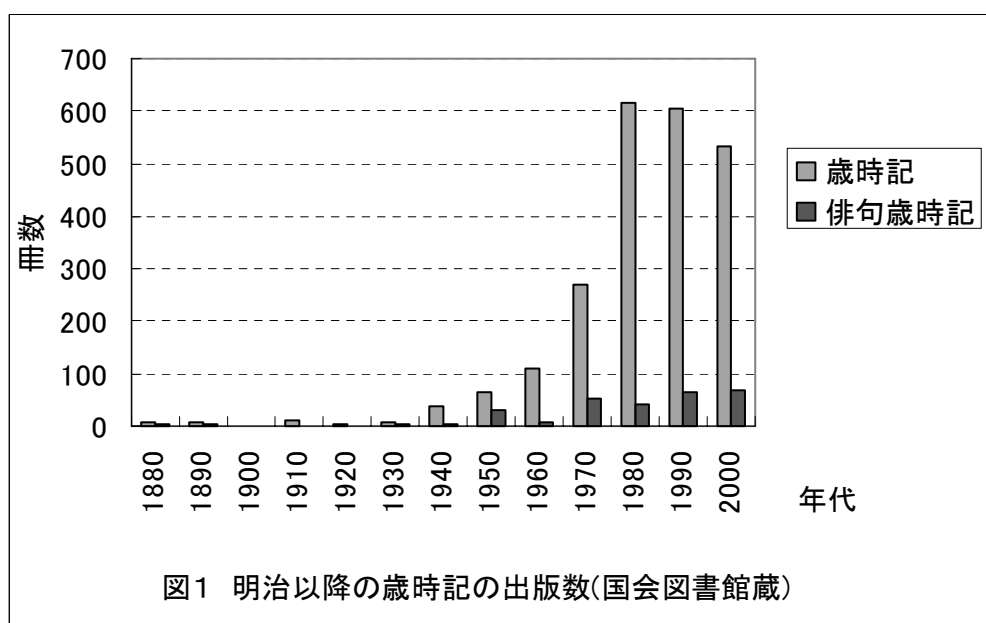
その結果、国際俳句交流協会長の有馬朗人先生は『俳句と自然』という、本報告書の始まりになる講演をされ、俳句の成立や海外への影響について解説をされた。植物分類学者の近田文弘先生は『植物に関する季語の植物分類学的分析』を寄稿され、植物分類学で確認できる季語や確認が困難な季語について現在調べる手段を尽くして解説された。米国の俳人ジャンボール絹子先生は、『俳句を通して人々に親しまれた植物の変遷』について、説明され、室町時代の歳時記から江戸時代の歳時記までの植物季語の変遷を芭蕉、一茶、蕪村を例に説明された。野末琢二先生は現代の季語の分析から『俳句季語における空間意識』を寄稿され、季語と空間意識の関連を明らかにして、季語の空間分布について紹介された。青木陽二は歳時記に収録された季語の分析から、『俳句の植物季語に表れた日本の季節変化』について執筆し、多種類の植物が俳句において、花粉から群落まで多様に愛でられていることを示した。松島肇先生は『身近な植物に対する認知度の分析』を寄稿され、気候条件や属性の異なる被験者の植物に対する認知度について調べ、植物を良く知るグループと知らないグループがあることを報告した。多田満先生は『ネイチャーライティングから見た俳句と環境植物』について寄稿され、芭蕉の句を例に、植物の個体から群落まで多様な記述があることを紹介した。さらに宮下恵美子は世界の俳句に詠まれた植物を調査

し、また世界の俳人と連絡を取ることににより、『俳句季語の国際性』をまとめた。熱帯地域から集まった俳句には知らない植物が多いことや、地域によっては植物が季語とはならないことを紹介した。また、外国語の俳句では季語はまだ確立していないこと、しかし地域ごとには俳句に多く植物が詠まれていることを把握した。

なお、このような報告書をまとめるにあたり、必要となった資料として収集した、世界の俳人からの俳句や詠まれた植物の現地名、学名、詠まれた場所の条件なども整理してリストとした。また歳時記に含まれる植物季語のリストや、季語に含まれる植物の学名や詠まれた内容、謂れなどもリストとして紹介した。このような資料が寺田寅彦(1935)の指摘した日本人の心を科学的に分析する手掛かりとなれば幸いである。

#### 参考文献

- Ahas, R., Aasa, A., Silm, S. and Roosaare, J. (2005) Seasonal Indicators and Seasons of Estonian Landscapes, *Landscape Research* 30(2), 173-191.
- 青木陽二(1995)植生景観記述から探る景観体験の解明に関する研究, 第8回環境情報科学論文集, 75-80.
- 角川源義(1973)図説俳句大歳時記, 角川, 東京, 5巻.
- 鈴木秀夫(1978)森林の思考・砂漠の思考, 日本放送出版協会, 東京, 222pp.
- 寺田寅彦(1935)日本人の自然観, 岩波書店, 東京, 32pp.
- 和辻哲郎(1935)風土: 人間学的考察, 岩波書店, 東京, 407pp.
- Watsuji, T. (1997) FUDO-WIND UND ERDE, Der Zusammenhang zwischen Klima und Kultur, Wissenschaftliche Buchgesellschaft, Darmstadt, 216pp.
- 山本健吉(1971), 最新俳句歳時記, 全5巻, 文芸春秋社, 東京, 春 403pp, 夏 459pp, 秋 402pp, 冬 400pp, 新年 398pp.





## Summary of this report

This report focused on the plants described in haiku. The first paper by Fumihiro Konta presented an analysis of *kigo*, season words for haiku, based on the taxonomy of plants. He found that some *kigo* could be explained by the taxonomy but some were impossible to identify their plant species. The results of a taxonomical analysis on the *kigo* compiled in Kadokawa (1973) were also given in the table. It showed the history of the name and the level of the reliability of the taxonomical name. The second paper by Kinuko JAMBOR reviewed the history of plant in haiku. She analyzed trends of plants *kigo* compiled in the first *saijiki*, a glossary of season word, Yamanoi in Muromachi era to the *saijiki* of the end of Edo era and showed their changes in the examples of haiku by Basho, Issa, Buson. The third paper by Takuji NOZUE analyzed the *kigo* to clarify the environmental perception based on the spatial composition. He categorized the spatial order of *kigo* based on the definition by Yamamoto (1971) and found the growth of *kigo* according to the processes of establishment of haiku in their history. The fourth paper by Yoji AOKI discussed the seasonal impression of Japan using the *kigo* of plants. He examined the *saijiki* by Kadokawa (1973) that has the largest number of different plants compiled and found that various species of plants were composed the seasonal changes of Japanese landscapes using diverse materials, e.g. the smallest of pollen and the largest of vegetation. The fifth paper by Haijime MATSUSHIMA discussed the awareness of plants by people in their everyday environment. He found the familiar plants were differently known by the group of respondents and the group of rich knowledge has knowledge about the plants peculiarly. Sixth paper by Mitsuru TADA contributed a view point of 'Nature Writing' to plant in haiku. He showed the examples of poems to use the part of plant and the vegetation to express the sense of place differently. Seventh paper by Emiko MIYASHITA gathered data from overseas by communicating with local haikai, and showed how plants were treated in haiku in different climate areas. She introduced the different plants used in haiku in different climate and the difficulties of the establishment of *kigo* in tropical climate. This paper also presented the underdeveloped situation of *kigo* in English haiku by David COBB and the use of plants described in North Indian haiku by Angelee DEODHAR and the frequencies of plants described in French haiku by Daniel DUTEIL. The eighth paper showed a table of plant haiku investigated through the Japanese Society through the worlds. It showed 73 poems collected from 7 countries. A table of plant *kigo* in *saijiki* was listed common to the *saijiki* by Yamamoto (1971) and Kadokawa (1973). It showed the differences and commonalities among two *saijiki* listed in seasonal order, i.e. from spring to winter.

俳句と自然(特別講演会要旨)

Nature and Haiku

国際俳句交流協会会長 有馬朗人

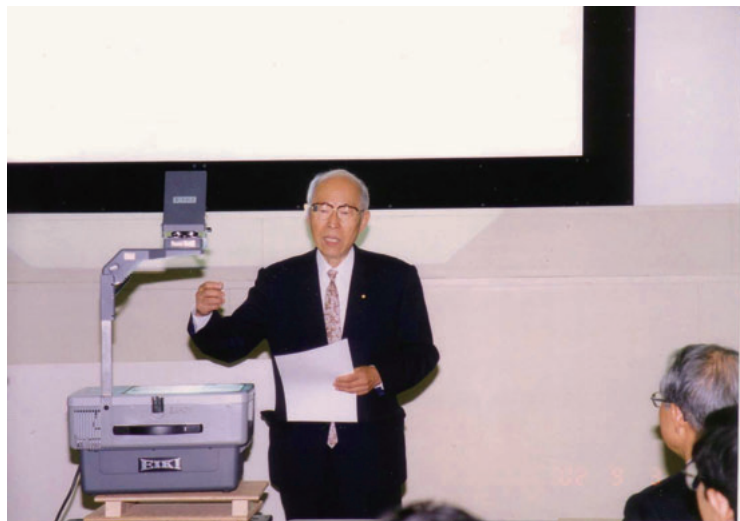
Akito ARIMA, President of Haiku International Association

要旨：自然と芸術との関係について、日本の詩と西洋の詩を比較し、また東洋と西洋の芸術一般にまでわたる広い視点から述べ、日本の俳句が自然を詠んだ特別な存在であることを紹介した。俳句という日本固有の文芸と自然との関わりがどのように成立したか、その特異性と同時に、俳句が海外にどのような影響をもたらしているかなどについて紹介した。アメリカ、フランス、ドイツなどへの影響について述べた。

キーワード：俳句、自然

Abstract: The difference and similarities between Eastern and Western art, from painting to poetry, are discussed from the viewpoint of how they have dealt with nature. The essay clarifies changes in haiku that brought the form into the hands of the masses by promoting simple depictions of nature, and then how haiku has influenced poetry in the West. The effects on the poetry in USA, France and Germany were exemplified.

Keywords: haiku, nature



菜の花や西の遙かにぼるとがる 有馬朗人  
*nanohana ya nishi no haruka ni porutogaru*

a spread of rape flowers—  
Portugal in the distance  
in the west

講演会：2002年9月3日(独立行政法人国立環境研究所中会議室にて)

報告：宮下恵美子、写真撮影：白井邦彦

## 1. 植物に関する季語の植物分類学的分析

### Analysis of *Kigo* about Plants in Haiku from the Viewpoint of the Plant Taxonomy

独立行政法人国立科学博物館 近田文弘

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

Fumihiko KONTA, National Museum of Nature and Science

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

要旨：植物に関する季語には植物の名前、花や果実など植物が示す季節的な情報、若葉や枯れ木など情景といった多様なものがある。現在知られる約 1,700 語の季語を整理し、この内植物の名前に特に注目し、従来の「種類」の概念ではなく、植物分類学で用いる科学的な「種を基本とする分類群」の概念で植物の名前の実体の把握を試みた。その結果約半数が植物の分類名であることが判明し、その他に作物名や、科学的な概念である種や園芸品種では鑑定できないものがあることが判明した。植物に関する季語の数が急増し、また国際的に情報交換の必要が高まっているので、科学的な植物に関する季語の理解は俳句の世界でも大いに重要性があると考えられる。

キーワード：俳句の植物季語、植物の和名、植物の学名、植物分類学

Abstract: There are about 1700 wards of *Kigo* about plants in Haiku. Diversified expressions of phenological condition of plants such as flowers and/or fruits are included in wards of these *Kigo* in addition to the vernacular or common plant names. The common Japanese plant names were counted about 1000 among 1700 *Kigo* wards in the present study. They were based on the conception of kinds without scientific basis of plant taxonomy. Identification of the scientific names of plants based on the concept of taxon in plant taxonomy was attempted for these 1000 *Kigo* plants. We wish to suggest the importance of the understanding on plant names in *Kigo* based on the scientific taxonomy.

Keywords: *Kigo* in Haiku about plants, Japanese names of plants, scientific names of plants, plant taxonomy

#### 1.1 研究の目的

俳句における季語では人事や宗教といった人間的な事柄と共に動植物、天文、気象現象など自然界の森羅万象がその対象となるが、特に植物に関するものが多い(Aoki et al, 2004)。それは種類ということに関しては、植物に関するものが動物や時候、天文、地理などに比べて格段に多いことによっていると思われる。しかし、多様な植物の種類をどのように識別するかを問うことに俳句の世界ではそれ程熱心であるとは思えない。尾形侑(1973)は「俳諧歳時記の中には、そうした詩歌の伝統の中で形成されてきた詩材に対する観念的把握と、さきに『通俗志』以下について指摘した現実的把握とが複雑に混在している。季語の考証の果たすべき役割は、それが指している実体を明らかにすることよりも、それがどのような径路を辿って詩語の系列の中へ組み入れられていったか、もしくは各時代の作家たちがそれを詩語としてどう受け取り、そこにいかなるイメージを思い描いたかを明らかにすることに主眼がある。」と述べた。

しかし、江戸時代から全く異なる複数の植物が同じ名前と呼ばれたりする問題があり、明治時代以降、急速に増加する外来植物や品種改良によって増加する園芸植物などがあり、植物名の実体を把握することの必要性も非常に高まっていると言わなければならない。

そこには幾つかの困難な問題がある。その第一は、種類という概念が非常に漠然とした曖昧なものであることに在る。種類は植物個体の集団を識別する概念で、名前はそれぞれの個体集団につけられるが、その集団の大きさないし対象とする生物学的な範囲が多様であるために、漠然としたものとなるのである。例えば、桜の開花予測で話題となる染井吉野は桜の一種類であり、枝垂れ桜や八重桜もそれぞれ種類である。これらの種類をまとめた桜自体も梅と比較される樹木の一種類であり、桜と梅に加えてさらに多様な植物集団をまとめて、花の構造から離弁花類という一種類となり、葉の性質から落葉広葉樹の一種類と識別される。そしてさらに多様な種類を包括して顕花植物の中に桜を位置づけ、隠花植物とは違う種類として区別することもある。植物につけられた日本語の名前はこれら内容の異なる種類のどれを指すのかを示すことはない。本田(1973)は「俳句をはじめ多くの文学ではヤマザクラ・ヒガンザクラ・サトザクラなど少数の特定種を除いては、たいてい単にサクラでとおっており、あまり種類のことを厳密に詮索していないのが常である」と述べている。しかし、季語の中には、「会式桜」のような例もある。江戸谷中領玄寺に植えられている特別な桜で池上本門寺にも植えられているという。これは多分識別される植物の集団としては最も狭くないしは小さい意味を持った個体の集団の桜の一種類の名称であろう。また、上記三種類の桜は種類としての内容が異なっている。ヤマザクラは日本に自生する野生の種類の花であり、ヒガンザクラは野生のエドヒガンとこれも野生のヤマザクラの雑種であり、サトザクラは野生のオオシマザクラに様々な桜の種類を交配して次第に作りあげられた多くの園芸品種の総体を指し、前記染井吉野は野生のオオシマザクラと野生のエドヒガンの雑種であり、サトザクラの中の種類である。さらに、「残花」は様々な植物の咲き残った花と考えたいが、これは桜の咲き残った花であって、植物の種類からは桜に限定される名称である。同様に「若葉の花」は若葉の間に咲き残る桜の花の意味である。

第二の問題は、一つの名前が複数の互いに異なった植物を指すことがあり、一つの植物の種類が複数の名前と呼ばれることがあるという場合である。同名異物または一物異名は、様々な要因で生ずると考えられるが、ある特定の種類の名前が唯一のものでないという処に大きな原因がある。例えば鏡草は、朝顔の古い名前、百蓮、浮き草、松、正月の大根などの異名でもある。桜の季語(種類名)は、夢見草、仇名草、かざし草、吉野草、たむけ草、曙草の異名を伴っている(本田, 1973)。また、地方名が季語となっている場合もある。例えば植物学的には外来植物であるヤマゴボウの名前は、長野県伊那地方では自生植物のモリアザミの根、新潟県北部ではオヤマボクチの若葉を指す。ヲケスイはスノキの三重県鈴鹿地方の方言名である。菖蒲には、白菖と石菖が区別されるが、両方共に菖蒲と書くので、日本語の名前そのものが混乱している。梓は植物学上全く別物のアカメガシワ、キササゲ、オノオレカンバの別名である。

このような問題に対処するには、第一に、植物の種類を識別する基本的な概念の確

立と、第二に、多様な種類の概念を系統的に配列して理解する有効な体系の確立が必要である。この両者の確立はすでに植物分類学で達成されている。

第一に関しては、「種」を基本単位として植物を分類することである。種は遺伝的によくまとまった個体群を認識する概念である。生物学上では種の内容は常に研究の対象とされ必ずしも研究者の間で意見の一致があるわけではないが、形態に主眼を置いた分類学の手続きでは、国際植物命名規約(大橋広好・永益英敏編, 2007)で曖昧さがないような科学的な植物の名前の付け方がきめられている。それは種の正しい名前は唯一つであり、それは正基準標本として定められた一枚の押し葉標本に基づいて付けられるものである。その名前は学名と呼ばれ、ラテン語で、属名と種小名を列ねる二語名法でしめされる。また学名に引き続いて、その学名を付けた著者名が示されることが多い。学名はラテン語で書かれた記載文または判別文と共に正基準標本を示した印刷物として発表されなければならない。学名に対応した日本語の植物名は標準和名として知られる。標準和名は植物図鑑で初めに示される名前で単に和名ともいう。しかし、学名と違って唯一つの正式名であるという規定はない。従って和名にたいして、別な名前も通用することになる。このような名前は別名という。別名は名前の混乱をさけるために少数だけが図鑑に載せられる。また、和名は片仮名で表記される。

第二に関しては、種を出発点として上方に向かってより大きく纏まった種類の概念を設定し、最上部では植物全体を纏めるピラミッド型の分類体系が作られている。種の上には属があり、その上には科、目、綱、門の分類単位が続いている。これらの分類単位は、階層的な配列をしており、分類階層と呼ばれる。そして各分類階層に所属する分類の単位を分類群と呼ぶ。種、属、科などはそれぞれの分類階層でその階層毎の分類群を構成することになる。また、種から下方に種を細分する亜種、変種、品種の分類階層が設定されていて、種内分類群が認識できる(図 1.1)。

植物分類学の対象は野生の植物の種類である。人と自然の関わりが重要である俳句の世界では、野生の植物だけでなく、人によって栽培される植物の種類を識別することも重要である。その分類には野生植物の分類に基礎を置く国際栽培植物命名規約(国際園芸学会, 2008)によって植物の名前の付け方が決められている。栽培植物の分類で対象となるのは園芸品種であるが、人口交配によって作られる雑種や異種類の樹木を接いだ接ぎ木もある。これらの栽培植物の名前は、その植物の特徴が分かる記述と正基準標本と同じ価値を持つ押し葉標本であるスタンダード標本を示した印刷物として発表し、さらに国際栽培品種登録機関(日本では農林水産省生産局種苗課)に品種登録出願し、品種登録しなければならない。その出願には、新品種の名称(説明書)、種子 1,000 粒、植物の栽培場や植物体の写真などが必要である(日本植木協会呼称整理専門委員会, 2000)。日本では、栽培植物の大部分は作物としてまとめられている。作物は農作物と園芸作物に大別され、園芸作物は園芸植物ともいわれ、果樹、蔬菜、花卉に分類される。花卉には草本も多いが、花木類とされる樹木も多い。花を観賞する対象とは少し異なる街路樹や公園樹木も花卉に含まれる。作物は食用作物、飼料作物、工芸作物に分類される。また作物の範疇外に林業樹木がある。

以上の観点から、植物に関する季語を蒐集し、野生の植物である分類群に加え、栽培植物である農作物、園芸作物、林業樹木を区分し、それぞれの植物の名前を分類の

基本単位である種や品種を確定し、その分類体系上の位置を理解する分析を試みた。季語は漢字で表現されることが多いが、植物分類学の手法に則って片仮名で表現した。植物の種類が示す実体を把握することが本研究の主眼であるが、俳句が国際的に発展しつつある現在、海外との植物の種類に関する共同理解推進に貢献できるものと考えられる。

## 1.2 研究方法

角川書店編(1973)から植物に関する季語を抜き出し片仮名のアイウエオ順に並べ表とした。表中の各季語を、以下の文献によって分類した。藻類は瀬川宗吉(1956)、菌類は今関六也他編(1988)、シダ植物は岩槻邦雄編(1992)、種子植物は前川文夫他編(1972)、佐竹義輔他編(1981, 1982a, 1982b, 1989a, 1989b)、杉本順一(1978, 1982)、本田正次(1939)、熱帯植物研究会編(1984)、清水建美編(2003)、中国科学院植物研究所主編(1983)、農作物は日本作物学会編(2002)、園芸植物(園芸作物)は塚本洋太郎総監修(1988)、掘田満他(1989)、鈴木基夫・横井政人編(1998)、高林成年編(1999)、川崎哲也(1993)である。植物の分類で基礎的な単位の種類の名称に関するものは、野生植物の分類群を示す分類名、栽培植物の農作物名、園芸作物名に分類し、可能なかぎり学名を明らかにした。これらの植物の名称と花、果実など季節を示す表現には、それぞれ分類名・季節、農作物名・季節、園芸作物名・季節とした。それ以外については以下のように区分した。広い意味の語は一般名とした。植物の情景を示すものは情景とした。植物名の実体が混乱しているものや一つの和名が植物を複数しめして基礎的な単位を特定できないもの等は特定不能とした。その他、固有名、方言名、別称(植物分類学では標準和名に対して同じ植物を別の名称で呼ぶ場合には別名を使うが、それと区別するために本論文ではこの語を使う)、俗称(角川の季語の解説に俗称と紹介されているもの)、誤用を区別した。季語から植物名を特定できないものは特定不能とした。

## 1.3 結果

結果を表 1.1 で示す。表 1.1 では、季語名とその分類結果に加えて、それが植物名である場合は、その特徴、科名、学名、外国産植物ではその原産地を示した。科名と学名を記入することによって当該植物の分類学上の位置を明確に示した。また日本で用いる植物名を国際的に翻訳することが可能となった。植物名が別名、別称、方言名、俗称などの場合は、特徴、科名、学名などは原則として、当該植物の標準和名の欄でしめした。季語の数は約 1,700 であった。この数値は上記の文献の合計よりも多い。それは 1)植物の名称の実体とその植物が示す季節を区別したことである。例えばカンショノハナは、植物の開花の季節を示す言葉であるので植物の実体を示すカンショを加えて分析した。2)標準和名にたいして別名や別称が多くそれらの一部は文献に表示されていないものであることによる。分類名や作物名などには標準和名とそれに対する別の呼び方である別名がある。

季語の約半数を分類名が占めた。分類名に対してはそれぞれの標準和名に対応した学名を決定した。例えば、野生種であるヤマサクラは落葉高木であり、分類名として分類され、バラ科で、学名を *Prunus jamasakura* Siebold ex Koidz. と表記される。この

場合の学名は *Prunus jamasakura* である。*Prunus* は属名であり、*jamasakura* は種小名で、この二語で学名ができる。学名に続く Siebold ex Koidz. は学名を発表した著者名である。最近の植物分類学では著者名も学名の一部のように記載される。表 1 はそのような表示の方法に従っている。野生種のイソギクは、キク科、*Chrysanthemum pacificum* Nakai となる。アケボノツツジの学名は *Rhododendron pentaphyllum* Maxim. var. *shikokianum* Yamazaki である。*Rhododendron pentaphyllum* の学名を持つ種の中の変種(種内分類群) var. *shikokianum* であることを示す。メナモミの学名は *Siegesbeckia orientalis* L. subsp. *pubescens* (Makino) Kitam. である。*Siegesbeckia orientalis* 種の亜種 subsp. *pubescens* であることを示す。この植物は牧野富太郎により *Siegesbeckia orientalis* 種の変種として発表された。それを北村四郎が同じ種の亜種として学名を変更したものである。リンドウの学名は *Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. subvar. *orientalis* (H. Hara) Toyokuni と長い名前である。この学名は *Gentiana scabra* の種の下に変種と亜変種が区別されていることを示している。

園芸作物名は全体の約 1 割であった。栽培植物の命名規約に添って品種登録された園芸作物の学名は *Wisteria floribunda* ‘Rosea’ (ベニフジ)のように属名、種小名に続けて品種名が示される。表 2 では、アリアケザクラは落葉高木で、園芸作物名に分類され、桜の園芸品種‘有明’で、バラ科、*Prunus lannesiana* ‘Candida’ である。しかし、古くから伝えられる園芸品種や、品種登録されていないものにはこのような学名を持たないものも多い。この中でイチヨウ、メタセコイヤなど高木は園芸植物の中の花弁の概念にそぐわないが花木類として扱われるものである。農作物名は園芸作物名に比べて少なかった。また、分類名、園芸作物名、林業樹木名などが重複するものもあった。

種や品種など分類学や作物学上の分類単位に関わらない広い種類概念を意味する名称である一般名は、園芸作物名と同様な数値をしめした。一般名には分類学上、種より大きい属や科に相当する名称と、種や品種など分類学や作物学上の分類単位に関わらない広い種類概念を意味する名称があった。前者の代表はサクラであり、カエデ、ハギ、ノギク、ツツジ、タンポポ、スマレ、タデ、ワタなどがあった。後者にはフルクサ、ナツナ、ヒヤクギク、ヒコバエ、バンリョク、シュウカなどがあった。情景にはミズクサオウ、ナツコダチ、ゾウキモミジ、シモガレなどがあった。情景に関連して、アオカエデ、クサノハナ、ハルタケノコなどのように植物名の頭に情景ないしは季節的な意味の語が付く季語が多いことが分かった。最も多い語はアオで、約 60 季語に見られ、以下フユ(22 季語)、クサ(21 季語)、カレ(15 季語)、ハル、ワカ(12 季語)であった。

特定不能には、1)植物名が混乱して実体が不明のもの；ツチバリ(「本草綱目啓蒙」にツクバネソウと書かれたが、それは否定され、別称のヌハリグサ、ノハリグサ、メハリグサの植物は不明。一説にメハジキがあるが、この植物はシソ科のもの)、カナムグラ(古くは種が異なるヤエムグラと混同)、ショウブ(古くはショウブと種が異なるアヤメが共に菖蒲とされた)、コウジュ(オヒルギの漢字名と紅色の花の木という一般名が混同)、ナツハギ(ミヤギノハギの別称であると同時に夏に開花するハギの仲間という一般名が混同)。2)ひとつの植物名が異なる植物や意味をしめすもの；コウジ(コウジ

黴、カラタチバナの別名、コミカンの仲間、いずれも関連のない植物)、エーライシャ  
ン(ナス科とガガイモ科に同名の種がある)、キイチゴ(モミジイチゴの別名、キイチゴ  
属の植物)、ダモノノミ(別科に属するシロダモ、アオダモの実)、タガラシ(キンポウゲ  
科とアブラナ科に別の種がある)、ヤマナシ(山にはえる梨の原種、別の種であるオオ  
ズミの別名)、アズサ(互いに別の種であるミズメ、オノオレカンバ、アカメガシワ、  
キササゲの別名。3)外来の作物名で、属名が和名として呼ばれ、複数の種や品種を含  
んで、それらを特定できないもの；ベゴニア、バーベナルイ、キンカン、カボチャ。  
ただし、属名が和名となったものでも、該当する属の特定の1種または園芸品種群の  
和名としてそれが存在する場合は特定不能ではない；グラジオラス(グラジオラス属の  
交配園芸品種群で、野生種とは別に多くの品種を含むがそれらすべてをグラジオラス  
と呼ぶ)、シネラリア(キク科のフウキギクとフキザクラの交配から出発してさらに多  
数の種を交配して作出された園芸品種群)、(4)その他；カンゾウ(中国産の薬用植物で  
2種あるが、いずれもカンゾウの和名があり、分類学的な理解が不足している)、カ  
ロライナポプラ(欧州産と北米産の異なる種間の雑種で、英語名は *Carolina poplar* だが、  
和名がない。日本では「改良ポプラ」として盛んに植えられた)。

固有名では上に記したエシキザクラの他、アサマツゲ(伊勢の朝熊山のツゲ)があっ  
た。

方言名には三重県鈴鹿地方のヲケスイがある。ツツジ科のスノキのことである。ま  
たテイレギはオオバタネツケバナの四国伊予地方の方言名である。

#### 1.4 考察

近年数多くの歳時記が出版されているが、その中には植物の名前が江戸時代以来の  
伝統的というべき種類の概念に立っているように思われるものもある。角川書店  
(1973)の植物の解説では、桜(本田, 1973)、躑躅(野口, 1973)、萩(松田, 1973)はすべ  
て種類という言葉を用いている。この種類には、植物分類学が種で対象とする  
野生種と園芸品種が混在して用いられている。さらに萩は野生種や園芸品種総てを含  
む名前でもあると解説している。また、辻(2003)は、「草木には、古くから呼び方や地  
方ごとの異名が季語になっている場合もあり、必ずしも植物図鑑どおりではない。」と  
述べている。この記述は季語の扱いは植物分類学とは別な考えにあることを示唆して  
いる。このような種類の概念では、当然のごとくに植物分類学的概念との齟齬が生ず  
る。大岡(2002)では、シャクナゲの解説に「中国の石南花はバラ科で別品種」の記述  
がある。品種は植物分類学では種内分類群の最小単位であり、この場合はバラ科であ  
る別科の別種とすべきである。また、僅かな例(位田, 1991)を除いて学名にふれたも  
のは見当たらない。

片仮名の和名だけで、種類の概念から植物の実体を把握しようとする上には述べた  
特定不能の名前のような問題が生じる。それを軽減する手立ての一つは漢字を用いて  
植物の名前を表現することである。しかし、これにはまた別の問題がある。それは中  
国で使われ、中国の植物につけられた漢字の名前を、日本の植物に当てはめて使うこ  
とによって生じる問題である。そのひとつは漢字をどう読むか、それから植物の実体  
が理解できるかである。例えば、虎杖(いたどり)、独活(うど)、羊蹄(ぎしぎし)、蒲公英



英(たんぽぽ)を理解し植物の実体に分かることには困難があると考えられる(清水、1999)。漢字名の日本の植物への当て違いや誤解もある。中国で萩と書くと、キク科のヨモギのような草であり、楓は中国ではマンサク科のフウで日本のカエデではない、紫陽花は日本ではアジサイであるが中国には分布しない植物で、従って紫陽花の名前もない(湯浅、1999)。湯浅(1999)も指摘しているが、明治時代以降急増しつつある外来の作物、とくに園芸植物の名前は上記の特定不能でも述べたようにラテン語がそのまま和名として用いられることが多く、漢字名を持たない。

江戸時代から長い歴史を持つ俳句の世界では、植物に関する季語の数が相当の多くに上り、それは近年益々増加しつつあるとあって良い。季語が示す内容の実体を種という基本単位で認識し、分類体系の中で位置づけることは、俳句作者の自然の客観的理解を増し、曖昧な種類の概念を整理するのに有効かつ必要であると考えられる。明治時代に入って間もなく正岡子規は俳句の近代化に取り組み、それは写生という言葉に代表される(正岡, 1971)。自然を具体的に良く観察するという態度の重要性に関して正岡子規の主張は筆者等の考えに近いといえよう。

植物分類学の立場から牧野(1934)は「植物季題の特質」の一文を掲げ、その中で植物の名に関して「植物の名に於いても、世界各国の専門学者が、公認して居る本名があります、それは植物の族籍簿に登録せられた名で、是れ以外の名は総べて私の名称であります。」と述べた。牧野はここで学名の存在を示し、命名規約の存在を示唆した。しかし、それ以上の解説はしていない。また、「植物季題の特質の一として、植物名称の乱雑なることを挙ぐるのは、誠に悲しみの至りに堪えませぬ。俳句には俳句の歴史もあり、因襲もあり、秘事もあるには相違ありませぬが、植物学上の名称は、国民通用のもので、俳句の同好者のみに通ずる暗号的の名称は、此際潔く撤廃して、国民一般に通ずる植物名称を用ゐられんことを切望致します。そしてそれと同時に、実物を明確に知って、句作されたいものであります。」と述べた。俳句の世界でも植物名は標準和名を使うべきであると明解に主張している。筆者等は、牧野が切望するように主張するのでは無いが、俳人達に分類学的な見方おも意識して欲しいと注意を喚起し、植物季語をその考えに立って整理したのである。

植物図鑑にも植物分類学の基本を解説した資料は少ない。前川等(1962)が編集した『牧野新日本植物図鑑』には学名の解説があるが、学名に使用されたラテン語の日本語訳を辞書風に並べたもので、筆者の意図するものではない。

植物分類学の分類群の認識では、基本単位である種の把握と、当該の種を含んだ種より分類階層の上位の科および属の把握が当該植物の実体を理解する上で大きな意味を持っている。また、当該植物の原産地がどこかも大切な情報である。筆者等は、季語の植物名に対応して、その植物が属する科、原産地、学名を並記することでそれを可能にした。この場合属名は学名の中で表示されることになる。上記の学名の *Prunus jamasakura* Siebold ex Koidz. では *Prunus* が属名である。歳時記の中で、植物の和名の解説に分類学上の科や産地が示されているのは良いことである(大野, 1994; 大岡, 2002)。しかし、これらの歳時記に、分類群の認識が明確でないことは好ましいことではない。また、種と種内分類群を識別することも、植物の名前が示す実体を把握する上で重要である。これに関しては上記のアケボノツツジ、メナモミ、リンドウの学名

が実例となろう。出版されている歳時記がこのことに注意を向ける例を筆者等は見えない。

本研究で引用された植物分類学および作物学、園芸学の文献は我が国では現在最も重要なものであり、命名の基礎となる野生植物に関する国際命名規約と栽培植物に関する国際命名規約は最新のものである。これらの文献による植物に関する季語の分析は、植物分類学に基づく植物名の実体の分析であり、尾形(1973)が主眼とする分析と車の両輪のように俳句の世界で重要なものとする。

本研究の成果は、季語の植物の名前を国際的にする道を開くものでもある。世界共通語である学名は、世界の各国で母国語の植物名に翻訳され理解される。それは古い本草学の時代に中国の漢字名を日本の植物に当てるよりは遥かに厳密で科学的に間違いのないやり方である。

#### 謝辞

本研究の機会を与えて頂いた俳句研究家のジャンポール絹子女史に感謝します。植物分類学者の清水建美博士には原稿を書き始める段階でチェックをして頂きました。厚く御礼申し上げます。

#### 参考文献

- Aoki, Y., F. Konta, T. Nozue (2004) Diversity in references to Japanese Plants compiled in the Kadokawa Haiku Saijiki Glossary of Seasonal Haiku Terminology, *J. Environ. Inform. Sci.* 32: 155-160.
- 中国科学院植物研究所主編 (1983) 中国高等植物図鑑, 全7冊, 科学出版社, 北京.
- 本田正次 (1939) 日本植物名彙, 三省堂, 521pp.
- 本田正次 (1973) 桜, 角川書店編, 図説俳句大歳時記, 角川書店, 東京, 春 359-360pp.
- 掘田満他編 (1989) 世界有用植物事典, 平凡社, 東京, 1499pp.
- 今関六也他編 (1988) 山溪カラー名鑑 日本のきのこ, 山と溪谷社, 東京, 623pp.
- 岩槻邦雄編 (1992) 日本の野生植物 シダ, 平凡社, 東京, 311pp.
- 位田藤久太郎 (1991) 園芸植物の観賞 俳句・野菜と果樹の歳時記, 博友社, 東京, 230pp.
- 角川書店編 (1973) 図説俳句大歳時記, 全5巻, 角川書店, 東京, 新年 503pp. 春 497pp. 夏 697pp. 秋 625pp. 冬 532pp.
- 川崎哲也 (1993) 山溪セレクション 日本の桜, 山と溪谷社, 東京, 383pp.
- 国際園芸学会 (2008) 大場秀章監修、国際栽培植物命名規約第7版、アブック社、鎌倉市, 159pp.
- 前川文夫他編 (1972) 牧野 新日本植物図鑑, 北隆館, 東京, 1137pp.
- 牧野富太郎 (1934) 植物季題の特質、特殊研究篇、続俳句講座、改造社、東京, 3巻, 105-115.
- 正岡子規 (1971) 俳諧大要, 正岡子規集, 現代日本文学体系, 筑摩書房, 東京, 10巻, 3-31pp.
- 松田修 (1973) 萩, 角川書店編, 図説俳句大歳時記, 角川書店, 東京, 秋 555-558pp.

- 熱帯植物研究会 (1984) 熱帯植物要覧, 大日本山林会, 東京, 734pp.
- 日本植木協会呼称整理専門委員会 (2000) 造園緑化用植物の呼称表記解説・中間報告, 日本植木協会, 東京. 41pp.
- 日本作物学会編 (2002) 作物学事典, 朝倉書店, 東京, 554pp.
- 野口弥吉 (1973) 躑躅, 角川書店編, 図説俳句大歳時記, 角川書店, 東京, 春 378-379pp.
- 大橋広好・永益英敏編 (2007) 国際植物命名規約(ウイーン規約), 日本植物分類学会, 上越市.
- 大野雑草子 (1994) 俳句用語用例小事典 花と草樹を詠むために, 博友社, 東京, 389pp.
- 大岡信監修 (2002) 短歌俳句 植物表現辞典 歳時記版, 遊子館, 東京. 589pp.
- 尾形侑 (1973) 歳時記概説, 角川書店編, 図説俳句大歳時記, 東京, 新年, 374-376pp.
- 佐竹義輔他編 (1981) 日本の野生植物 草本 III 合弁花類, 平凡社, 東京, 259pp.
- 佐竹義輔他編 (1982a) 日本の野生植物 草本 I 単子葉類, 平凡社, 東京, 305pp.
- 佐竹義輔他編 (1982b) 日本の野生植物 草本 II 離弁花類, 平凡社, 東京, 318pp.
- 佐竹義輔他編 (1989a) 日本の野生植物 木本 I, 平凡社, 東京, 321pp.
- 佐竹義輔他編 (1989b) 日本の野生植物 木本 II, 平凡社, 東京, 305pp.
- 瀬川宗吉 (1956) 原色日本海藻図鑑, 保育社, 大阪, 175pp.
- 清水建美(1999)俳句と植物学, 飴山實監修, 草木花歳時記 冬, 朝日新聞社, 東京. 258-260pp.
- 清水建美編(2003)日本の帰化植物, 平凡社, 東京, 337pp.
- 杉本順一 (1978) 日本草本植物総検索誌 I 双子葉編, 井上書店, 東京, 871pp.
- 杉本順一 (1982) 日本草本植物総検索誌 II 単子葉編, 井上書店, 東京, 630pp.
- 鈴木基夫・横井政人編 (1998) 山溪カラー名鑑 園芸植物, 山と溪谷社, 東京, 671pp.
- 高林成年編 (1999) 山溪カラー名鑑 観葉植物, 山と溪谷社, 東京, 655pp.
- 塚本洋太郎総監修 (1988) 園芸植物大事典 全 6 巻, 小学館, 東京, 1 巻 598pp. 2 巻 614pp. 3 巻 598pp. 4 巻 622pp. 5 巻 654pp. 6 巻 585pp.
- 辻桃子監修 (2003) はじめに, 俳句の草木, 創元社, 東京, 1p.
- 湯浅浩 (1999) 植物から見た俳句のさきがけ, 飴山實監修, 草木花歳時記 冬, 朝日新聞社, 東京. 261-263pp.

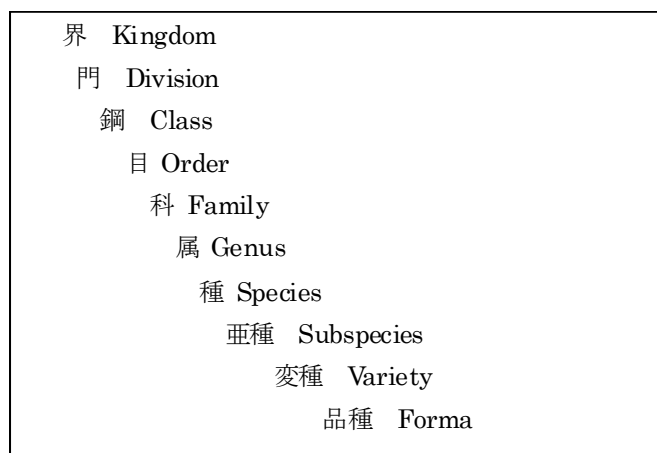


図 1.1 分類階級の配列と各階級の名称 Arrange of ranks of classification and their names

表 1.1 植物季語の分類 A classification of the Kigo about plants in Haiku

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
アイ	1年草	園芸作物名	タデ科、中国産、古く渡来 <i>Persicaria tionctorium</i> Lour.
アイノハナ		園芸作物名・季節	
アイタテ		分類名 藍の別名	
アイノハナ		分類名・季節	
アイリス		特定不能	アヤメ科、 <i>Iris</i> (アイリス)属、種が多い
アウジチ		分類名 ウスノキの別称	
アオアシ		分類名・季節 青いスキ	
アオアシハラ		情景・季節	
アオイ		分類名 フタバアオイの別名	
アオイノハナ		分類名・季節	
アオイグサ		分類名 フタバアオイの別称	
アオエ		分類名 フトイの別称	
アオウキクサ		一般名 ウキクサ類	
アオウメ		園芸作物名・季節 青い梅	
アオウリ		一般名・季節 青い瓜	
アオカエデ		一般名・季節 青いかえで	
アオガキ		分類名・季節 青い柿	
アオカヤ		一般名・季節 青い茅	
アオガラシ		園芸作物名 カラシナの別称	
アオカビ	菌	分類名	<i>Penicillium notatum</i>
アオクサ		一般名 夏の草の意味	
アオクラノリ		固有名 海苔の産地名	
アオキ	常緑低木	分類名・園芸作物名	ミズキ科 <i>Aucuba japonica</i> Thunb.
アオキノハナ	早春濃茶色	分類名・季節	
アオキノミ	赤色冬美麗	分類名・季節	
アオキモミジ		一般名・季節 若いカエデの葉	
アオギリ	落葉高木	分類名・園芸作物名	アオギリ科、日本、中国産 <i>Firmiana simplex</i> (L.) W. F. Wight 日本のは無毛葉
アオキワサビ		分類名 ワサビの別称	
アオクサ		一般名・季節	
アオクス		分類名・季節	
アオクスリ		分類名 オトギリソウの別称	
アオクルミ		分類名・季節 若い胡桃の果実	
アオグワイ	夏緑多年草	園芸作物名	オモダカ科、中国産 クワイ <i>Sagittaria trifolia</i> L. var <i>edulis</i> (Siebold) Ohwiの園芸品種
アオゲイトウ		分類名 ヒユの別称	
アオコダチ		情景 青木立で夏木立と同じ夏に樹木の枝葉が茂っている	
アオサ		特定不能	海藻 アオサ科、アオサ属、日本で数種ある
アオサトリ		情景 アオカ探り	
アオサンショウ		分類名・季節 青いサンショウ	
アオシダ		一般名・季節 青いシダ	
アオシソ		園芸作物名 シソの園芸品種、葉が青い	
アオシバ		一般名・季節 青い芝草	
アオススキ		分類名・季節 青いスキ	
アオツタ		分類名 ナツツタの別称	
アオトウガラシ		園芸作物名・季節	
アオトサカ	海藻	分類名 トサカノリのこと	
アオナス		園芸作物名 ナスの青い実のなる品種群	
アオニヨロリ		方言名 アオギリの方言名	
アオノリ		一般名 海藻 緑藻類の数種の海藻	
アオバ		一般名 青葉	
アオバノハナ		一般名 青葉の頃に咲き残る桜の花	
アオハギ		一般名 夏に開花する萩類	
アオバシヨウ		園芸作物名・季節 バシヨウの若葉	
アオバヤ		分類名 ツユクサの別称	
アオバヤマ		情景 夏の青葉が茂る様子、青葉と同意味	
アオフクベ		園芸作物名・季節 青いフクベ	
アオフジ		分類名 ツツラフジの別称	
アオブドウ		一般名・季節 青い葡萄	
アオホオズキ		園芸作物名・季節 青いホオズキ	
アオマツカサ		一般名・季節 新しくできた青い松笠	
アオミカン		一般名・季節 青い蜜柑	
アオムギ		一般名・季節 青い麦	
アオヤナギ		一般名・季節 春の柳の青	
アオユス		分類名・季節 青い柚子	
アオリンゴ		一般名・季節 青い林檎	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
アカガチ		園芸作物名 ホウズキの別称	
アカギシギシ		分類名 スイハの別称	
アカクワサビ		分類名 ワサビと同じ	
アカクサ		特定不能 赤草、江戸時代から諸説あり名前が分からない	
アカザ	1年草 煙草	分類名	アカザ科 <i>Chenopodium album</i> L. var. <i>centrorubrum</i>
アカザノツエ		分類名・季節	
アカシア		分類名 ニセアカシアの別称(俗称、にせあかしあを間違えて呼んだ)	
アカシアノハナ		分類名・季節	
アカシソ		分類名 シソの別称	
アカタマ		分類名 ヤブコウジの別称、冬に赤い小球形果実	
アカツバキ		分類名・園芸作物名 ツバキと同じ、赤花の椿	
アカナス		園芸作物名 ナスと同じ、赤紫色の茄子のこと	
アカネ	夏緑多年草根染料	分類名	アカネ科 <i>Rubia cordifolia</i> L.
アカネカズラ(アカネカツラ)		分類名 アカネと同じ	
アカネスミレ	草本濃紅紫花春	分類名	スミレ科 <i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.
アカノママ(アカノマンマ)		分類名 イスタデの別称	
アカバナフジ		園芸作物名 ベニフジと同じと思う	<i>Wisteria floribunda</i> 'Rosea' ベニフジ、モモイロフジ
アカミノキ		分類名 モッコクの別称	
アカメ		分類名 カナメモチの別称	
アカメガシワ	落葉高木花初夏	分類名	トウダイグサ科 <i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell.
アカメモチ		分類名 カナメモチの別称	
アカヤシオ(アカヤシホ)	落葉小高木	分類名	ツツジ科 <i>Rhododendron pentaphyllum</i> Maxim. var. <i>nikoense</i> Komatsu
アカラギ		分類名 ナツツバキの別称	
アカンサス		特定不能	キツネノマゴ科、アカンサス(ハアザミ)属、園芸作物、20種
アカンソウ		分類名 ムラサキの別称	
アキノソクサ		一般名 秋運草、萩の別称	
アキクサ		一般名・季節 秋の草	
アキクワ		分類名・季節 秋になって枝葉を伸ばした桑、秋蚕の桑	
アキサウビ(アキソウビ)		一般名 秋に咲く薔薇の花	
アキサキサフラン		園芸作物名 サフランと同じ	
アキサクガシ		分類名 イチイガシと同じ	
アキサクラ		園芸作物名 コスモスの別名	
アキシクノハナ		園芸作物名 菊の花の別称	
アキサゴ		園芸作物名・季節 サンジュウの果実、サンジュウ自体	
アキタブキ		分類名 フキと同じ	
アキチクサ		一般名 萩の別称	
アキナグサ		園芸作物名 シマカンギウの別称	
アキナス(アキナスビ)		園芸作物名・季節 秋にできた茄子、味がよい	
アキノオチバ		情景 秋に落葉する樹木たちの落ち葉の意味?	
アキノクサ		一般名 秋に目立つ草	
アキノナクサ		一般名 秋の七草	
アキノハナ		一般名 秋に咲く花	
アキノハナワラビ		分類名 ヒメハナワラビの別名	
アキノメ		一般名・季節 秋の芽	
アキハギ		一般名 秋の萩	
アキバラ(アキノバラ)		一般名・季節 秋の薔薇	
アキボタン		園芸作物名 シュウメイギクの別称	
アキミョウガ(アキメウガ)		園芸作物名・季節 ミョウガの花は秋に咲く	
アキユウガサ(アキユウフクサ)		一般名 秋の七草と同じ、秋の七夕に七草を摘む	
アキラサス	夏緑多年草	園芸作物名	ヒユ科、メキシコ他産 <i>Alternanthera ficoidea</i> 'Amoena'
アケビ	落葉つる実可食	分類名	アケビ科 <i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.
アケビカズラ(アケビカツラ)		分類名 アケビと同じ	
アケビノハナ	春雌雄別小紫花	分類名・季節	
アケフ		分類名 アケビの別称	
アケボノサクラ		園芸作物名 桜の園芸品種	<i>Prunus serrulata</i> Lindl. f. <i>lucifera</i> Miyoshi
アケボノスキ	落葉高木	園芸作物名	スギ科、北米産 <i>Metasequoia glyptostroboides</i> Hu et
アケボノグサ		一般名 桜の別称	
アケボノツツジ	落葉小高木桃色花春	分類名	ツツジ科 <i>Rhododendron pentaphyllum</i> Maxim. var. <i>shikokianum</i> Yamazaki
アケボトサカ	海藻	分類名 トサカノリと同じ	
アコタウリ		園芸作物名 金冬瓜と同じ、観賞用カボチャ、品種名?	
アサ		園芸作物名 タイマの別名	
アサガオ	1年草	分類名	ヒルガオ科、東南アジア産? <i>Ipomea nil</i> (L.) Roth
アサガオノナエ		分類名・季節	
アサガオノミ	秋黒色堅い	分類名・季節	
アサギク		園芸作物名 角川には野生のユウガクウの栽培されたものとある	
アサギリソウ	亜低木高山葉白	分類名・園芸作物名	キク科 <i>Artemisia schmidtiana</i> Maxim.
アサクサノリ	海藻	分類名	ウシケノリ科 <i>Porphyra tenera</i> Kjellman
アサザ	多年生水草	分類名	ミツガシワ科 <i>Nymphoides peltata</i> (Gmel.) Kuntze
アサザノハナ	夏黄色径4cm	分類名・季節	
アサシラゲ		分類名 ハコベの別称	
アサチ		分類名 チガヤの別称	
アサチガハナ		分類名・季節 チガヤの若い花穂	
アサツキ	夏緑多年草球根食用	分類名・園芸作物名	ユリ科 <i>Allium schoenoprasum</i> L.
アサツキヌタ(アサツキナマス)		分類名・園芸作物名・季節	
アサ		農作物名 タイマの別名	
アサノハナ		農作物名・季節	
アサノミ		農作物名・季節	
アザミ		一般名	
アザミケシ		園芸作物名 ケシの別称	
アザミゴボウ		分類名 フジアザミの別称	
アサバタケ		情景	
アサマツゲノハナ		固有名 伊勢の朝熊山(あさまやま)に生えるつげの花	
アサワカナ		一般名 朝若菜、春の七草の総称	
アジサイ	落葉低木	園芸作物名	ユキシタ科 <i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb. ex Murray) Ser. forma <i>macrophylla</i>
アジサイノメ		園芸作物名・季節	
アジ	多年草	分類名 ヨシの別名	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
アシカル		情景 葦枯れる	
アシノツノ		分類名・季節 葦の若芽、葦の角	
アシノハナ		分類名・季節	
アシノホ		分類名・季節	
アシノホワタ		分類名・季節	
アシノメ		分類名・季節	
アシノワカバ		分類名・季節	
アシビ		分類名 アセビの別名	
アシフ		分類名 アセビの別名	
アジマメ		園芸作物名 インゲンマメの別称	
アズキ	1年草豆はあんこにする	園芸作物名	マメ科、中国産? <i>Vigna nglularis</i> (Willd.) Ohwi et Ohashi
アズサ		特定不能 ミズメ、オノオレカンバ、アカメガシワ、キササゲの別種の名前	
アズサイ		園芸作物名 アジサイの別称	
アズサノハナ		特定不能・季節	
アスハラガス	夏緑多年草若葉食用	園芸作物名	ユリ科、欧州～西アジア産 <i>Asparagus officinalis</i> L.
アスハラガスノハナ		園芸作物名・季節	
アズマギク	夏緑多年草花初夏淡紫色	分類名	キク科 <i>Erigeron thunbergii</i> A. Gray
アゼアオム		情景 畦青む、畦道が初夏に草で青くなるの意と思う	
アセビ	常緑小高木	分類名	ツツジ科 <i>Pieris japonica</i> D. Don
アセビノハナ	早春白、淡紅小花多数	分類名・季節	
アゼマメ		一般名 畦豆、畦にうえられた大豆	
アゼミ		分類名 アセビの別称	
アダナグサ		一般名 桜の別称、仇名草	
アツコンブ	海藻	一般名 コンブの別称、厚昆布	
アツモリソウ	夏緑多年草花春淡紅色	分類名	ラン科 <i>Cypripedium macranthum</i> Sw.
アナナス	常緑多年草	特定不能園芸作物	パイナップル科、パイナップル( <i>Ananas</i> ) 属、数種あり、南米
アネモネ	夏緑多年草花春美麗	園芸作物名	キンポウゲ科、地中海沿岸産 <i>Anemone coronaria</i> L.
アブサタデ		一般名 蓼の別称	
アフセキソウ		分類名 ツユクサの別称	
アフチ		分類名 センダンの別称	
アフチノハナ		分類名・季節	
アフチノミ		分類名・季節	
アフトウソウ		分類名 ツユクサの別称	
アブラギク		分類名 シマカンギクの別名	
アブラギリ	落葉高木	分類名	トウダイグサ科、中国産 <i>Aleurites cordata</i> (Thunb.) R. Br. ex Steud.
アブラギリノハナ	初夏白色径4cm	分類名・季節	
アブラギリノミ	径2.5cm扁球形	分類名・季節	
アブラナ	2年草花春黄色	園芸作物名	アブラナ科、欧州他産 <i>Brassica campestris</i> L.
アヘンカ(アヘンクワ)		園芸作物名 ケシの花の別称	
アマ	1年草1m	農作物名	アマ科、中東産 <i>Linum usitatissimum</i> L. 繊維作物
アマノハナ		農作物名・季節	
アマウリ		園芸作物名 マクワウリの別称	
アマガキ		一般名 甘い柿の品種群	
アマクサ		園芸作物名 カンゾウの別称	
アマダイダイ		園芸作物名 ネーブルオレンジの別名	
アマドコロ	夏緑多年草	分類名	ユリ科 <i>Polygonatum odoratum</i> (Miller) Druce
アマドコロノハナ	春白小多数筒状2cm長	分類名・季節	
アマナ	夏緑多年草花春白	分類名	ユリ科 <i>Amana edulis</i> (Baker) Honda
アマノハナ	夏白、青紫径1.5cm.5弁	分類名・季節	
アマノリ		一般名 海苔の別称	
アマリナエ		一般名 イネの苗の余ったもの	
アマリリス		特定不能	ヒガンバナ科 アフリカと南米に違う植物がある。
アミガサユリ		園芸作物名 バイモの別名	
アメリカネリ		園芸作物名 オクラの別称	
アヤギリ		分類名 アオギリの別称	
アヤメ		特定不能 アヤメとショウブが混乱	
アヤメグサ		特定不能 アヤメとショウブが混乱	
アヤメノメ		特定不能 アヤメとショウブが混乱	
アラセイトウ	栽培品は1年草花冬温	園芸作物名	アブラナ科、地中海沿岸産 <i>Matthiola incana</i> R. Br. 別名ス
アラヒツツギ(アライツツギ)		分類名 ドクウツギの別称	
アラメ	褐色大型1.5m	分類名 海藻	コンブ科 <i>Eisenia bicyclis</i> (Kjellman) Setchell
アラメバネ		分類名 アラメの別称	
アララギ		分類名 イチイの別称	
アララギノミ		分類名・季節	
アンラン		園芸作物名 マンゴーの別称	
アリアケザクラ		園芸作物名 桜の園芸品種 アリアケ	<i>Prunus lannesina</i> cv. Candida
アリンヒフキグサ		分類名 キキョウの別称	
アリンミ		園芸作物名 ナシの別称	
アルメリア		特定不能	イソマツ科、50種ある <i>Armeria</i> 属
アレチノギク	1年草、越年草	分類名	キク科、南米産、帰化 <i>Conyza bonariensis</i> (L.) Cronq.
アワ	1年草	農作物名	イネ科、中国産 <i>Setaria italica</i> (L.) Beauv.
アワイチゴ		分類名 モミジチゴの別称	
アワコガネギク		分類名 キクタニギクの別名	
アワノクロホ		農作物名・情景 黒穂病で黒くなった粟の穂	
アワバナ		分類名 オミナエシの別称	
アワミカン		園芸作物名 蜜柑の園芸品種ナルトカン(鳴戸柑)の別称	
アワモリソウ	夏緑多年草夏白小花	分類名 アワモリショウマの別名	ユキノシタ科 <i>Astilbe japonica</i> A. Gray
アンザイガキ		園芸作物名 カキの古い品種	
アンズ	落葉高木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Prunus armeniaca</i> L.
アンズチル		園芸作物名・季節	
アンズノハナ		園芸作物名・季節	
イ	夏緑多年草	分類名	イグサ科 <i>Juncus effusus</i> L. var. <i>decipiens</i> Buchen.
イウテフクワ		園芸作物名 サンシキスミレの別称	
イカリソウ	夏緑多年草花春白色	分類名	メギ科 <i>Epimedium grandiflorum</i> Morr. var. <i>thunbergianum</i>
イキクサ		分類名 ベンケイソウの別名	
イキシヤ		特定不能	アヤメ科、南アフリカ産 <i>Ixia</i> (ヤリズイセン) 属、約45種、園芸的な交配種も多い
イクチタケ		特定不能 菌類	イグサ科、イグサ数種ある 属、数種ある
イスノキ	常緑高木	分類名	マンサク科 <i>Distylium racemosum</i> Siebold et Zucc.
イスノキノハナ	春小紅色、雄花と雌花	分類名・季節	
インギク	常緑多年草秋黄色小花	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum pacificum</i> Nakai 海岸性
イタドリ	夏緑多年草	分類名	タデ科 <i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decrane var.
イタドリノハナ	夏小白多数	分類名・季節	

植物学語	特徴	分類学的考察	分類名
イチイ(アララギ)	常緑高木20m	分類名	イチイ科 <i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc.
イチイガシ	常緑高木30m	分類名	ブナ科 <i>Quercus gilva</i> Bl.
イチイガシノハナ	春雄花紐状褐色雌花地味小	分類名・季節	
イチイガシノミ	同果	分類名・季節	
イチイノハナ	春雌雄異株、小花地味	分類名・季節	
イチイノミ	秋小赤色	分類名・季節	
イチゴ	栽培多年草	園芸作物名	バラ科、北米産、交配種 <i>Fragaria ×ananassa</i> Duch.
イチゴノハナ	春白五弁	園芸作物名・季節	
イチジク	落葉小高木	園芸作物名	クワ科、小アジア他産 <i>Ficus carica</i> L.
イチハツ	夏緑多年草初夏紫	園芸作物名	アヤメ科、中国他産 <i>Iris tectorum</i> Maxim.
イチビ	1年草小花初秋黄色	分類名・園芸作物名	アオイ科、インド産 <i>Abutilon avicennae</i> Gaertn. 古く栽培、今は帰化
イチヤクソウ	常緑多年草小花春白	分類名	イチヤクソウ科 <i>Pylora japonica</i> Klentze
イチヨウ	落葉高木45m	園芸作物名	イチヨウ科、中国産 <i>Ginkgo biloba</i> L.
イチヨウオチバ		園芸作物名・季節	
イチヨウチル		園芸作物名・季節	
イチヨウノハナ	春雌雄異株、小花地味	園芸作物名・季節	
イチヨウモミジ		園芸作物名・季節	
イチリンソウ	夏緑多年草花春白	分類名	キンボウゲ科 <i>Anemone nikoensis</i> Maxim.
イヌサフラン	夏緑多年草、球根藤桃色花秋	園芸作物名	ユリ科、欧州産 <i>Colchicum autumnale</i> L.
イヌザンショウ	落葉低木	分類名	ミカン科 <i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.
イヌタデ	1年草小紅花夏〜秋	分類名	タデ科 <i>Persicaria longiseta</i> (De Bruyn) Kitag.
イヌビワ	落葉低木	分類名	クワ科 <i>Ficus erecta</i> Thunb.
イヌビワノハナ	極小地味	分類名・季節	
イヌフグリ		誤用	オオイヌフグリとイヌフグリは別種、俳句では前者をイヌフグリという
イヌホズスキ	1年草小花白色	分類名	ナス科 イヌホズスキ <i>Solanum nigrum</i> L.
イヌマキ		分類名	マキ科 <i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) D.Don
イネ	1年草	農作物名	イネ科 <i>Oryza sativa</i> L.
イネノハナ	夏小花地味	農作物名・季節	
イノコヅチ	夏緑多年草1m	分類名	ヒユ科 <i>Achyranthus bidentata</i> Blume
イノハナ		分類名・季節	
イバラ		一般名 ノイバラの仲間	
イバラノミ		一般名・季節	
イブキ		分類名 ビャクシンの別名	
イボタ	落葉低木	分類名	イボタノキ モクセイ科 <i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et
イボタノハナ	白小花多数初夏	分類名・季節	
イモ		一般名	
イモノハナ		一般名・季節	
イヨカン	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科 <i>Citrus indica</i> Tanaka 伊予柑、
イロカエヌマツ		一般名・季節	
イワカガミ	常緑多年草初夏淡紅花	分類名	イワウメ科 <i>Achizokodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc.
イワギキョウ	夏緑多年草高山夏紫花	分類名	キキョウ科 <i>Campanula lasiocarpa</i> Cham.
イワギリソウ	夏緑多年草初夏紅紫花	分類名	イワタバコ科 <i>Opithandra primuloides</i> (Miq.) B. L. Burt
イワチドリ	夏緑多年草花初夏紅紫美麗	分類名	ラン科 <i>Amitostigma keiskei</i> (Maxim.) Schultr.
イワナシ	常緑小低木	分類名	ツツジ科 <i>Epigaea asiatica</i> Maxim.
イワナシノハナ	早春淡紅色	分類名・季節	
イワヒバ		分類名	イワヒバ科 <i>Selaginella tamariscina</i> (Beauv.) Spring シダ植
イワフジ		分類名 ニワフジの別名	
イワレンゲ	常緑多年草海岸岩上	分類名	ベンケイソウ科 <i>Orostachys iwawange</i> (Makino) H. Hara
インゲンマメ	1年草	農作物名	マメ科、中国産 <i>Phaseolus vulgaris</i> L.
インドボダイジュ	常緑大高木	園芸作物名	クワ科、インド・東南アジア産 <i>Ficus religiosa</i> L.
ウイキョウ	夏緑多年草2m	園芸作物名	セリ科、欧州、西アジア産 <i>Foeniculum vulgare</i> Mill.
ウイキョウノハナ	夏黄色小花多数	園芸作物名・季節	
ウキクサ		一般名	ウキクサ科 日本に3種8種あり特定できない
ウキクサオイスム		一般名・情景 浮き草が生え初める、の意味	
ウグイスナ		一般名 鶯菜、若い菜、小松菜	
ウコ		分類名 オコノリノ別名	
ウコギ	落葉低木	分類名	ウコギ科 <i>Acanthopanax gracilistyla</i> W. W. Smith
ウコン	多年草	園芸作物名	ショウガ科、インド産 <i>Curcuma domestica</i> Valet. 根は黄色の染料
ウコンノハナ	初秋黄色花多数	園芸作物名・季節	
ウサギギク	夏緑多年草高山夏黄色花	分類名	キク科 <i>Amica unalaschensis</i> Less.
ウスノキ	落葉低木1m小黃緑花	分類名	ツツジ科 <i>Vaccinium hirtum</i> Thunb.
ウスノミ	夏白形小果紅色可食	分類名・季節 ウスノキの実	
ウスモミジ		一般名 薄色の紅葉	
ウスユキソウ	多年草花夏〜秋淡茶色	分類名	キク科 <i>Leontopodium japonicum</i> Miq.
ウチオウラン	夏緑多年草花紅紫色初夏〜夏	分類名	ラン科 <i>Orchis graminifolia</i> (Reich. F.) Tang et Wang
ウツボクサ	夏緑多年草紫花夏	分類名	シソ科 <i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H. Hara
ウド	夏緑多年草	分類名	ウコギ科 <i>Aralia cordata</i> Thunb.
ウドノハナ	夏〜秋小花淡緑色径3mm	分類名・季節	
ウドノミ	秋黒紫色球形径2mm	分類名・季節	
ウツギ	落葉低木	分類名	ユキバナ科 <i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.
ウノハナ	初夏白色	分類名・季節 ウツギの花	
ウマコヤシ	越年草	分類名	マメ科 <i>Medicago hispida</i> Gaertn. 江戸時代帰化欧州産
ウマコヤシノハナ	春小花黄色	分類名・季節	
ウメ	落葉小高木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Prunus mume</i> Siebold et Zucc.
ウメガサソウ	常緑多年草白花初夏	分類名	イチヤクソウ科 <i>Chimaphila japonica</i> Miq.
ウメモドキ	落葉低木初夏小花淡紅色	分類名	モチノキ科 <i>Ilex serrata</i> Thunb.
ウメモミジ		園芸作物名・季節 梅の紅葉	
ウラガレ		一般名・季節 未枯れ、晩秋に草の葉が先のほうから枯れる様子	
ウラシマソウ	夏緑多年草花春	分類名	サトイモ科 <i>Arisaema urashima</i> H. Hara
ウラジロハコヤナ	落葉高木	園芸作物名	ヤナギ科、欧州他産 <i>Populus alba</i> L.
ウリ		園芸作物名 瓜類の総称	
ウリナエ		園芸作物名・季節	
ウリイノハナ		園芸作物名・季節	
ウルシグサ	海藻、褐藻類	分類名	ケヤリモ科 <i>Desmarestia ligulata</i> (Lightfoot) Lamouroux
ウルシ	落葉高木	園芸作物名	ウルシ科、中国産 <i>Rhus verniciflua</i> Stokes
ウルシノハナ	初夏黄緑色小花多数	園芸作物名・季節	
ウルシノミ	秋扁球形径8mm	園芸作物名・季節	
ウルシモミジ		園芸作物名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ウルップソウ	夏緑多年草花夏紫高山	分類名	ウルップソウ科 <i>Lagotis glauca</i> Gaertn.
ウフバミソウ	夏緑多年草小花春〜初夏	分類名	イラクサ科 <i>Elatostema umbellatum</i> Blume var. <i>majus</i> Maxim.
エグ		分類名 恵具、クロクワイの別称(角川歳事記の松田修の説に従う)	
エゴノキ	落葉高木花初夏白色	分類名	エゴノキ科 <i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.
エゴノリ	海藻、紅藻類	分類名	イキス科 <i>Campylaeophora hypnaeoides</i> J. Agardh
エシキザクラ		固有名 会式桜、江戸谷中領玄寺にある十月に咲く桜	
エゾギク	夏緑多年草花は多様	園芸作物名	キク科、中国産 <i>Callistephus chinensis</i> (L.) Nees
エゾニュウ	夏緑多年草夏小白花多数	分類名	セリ科 <i>Angelica ursina</i> (Rupr.) Maxim.
エニシダ	落葉低木	園芸作物名	マメ科、欧州産 <i>Cytissus scoparius</i> (L.) Link
エノキ	落葉高木	分類名	ニレ科 <i>Celtis sinensis</i> Pers.
エノキノハナ	春極小淡緑花	分類名・季節	
エノキノミ	秋球形径6mm可食甘い	分類名・季節	
エノコログサ	1年草	分類名	イネ科 <i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv.
エビツル	落葉木本つる	分類名	ブドウ科 <i>Vitis thunbergii</i> Siebold et Zucc.
エビネ	夏緑多年草花春	分類名	ラン科 <i>calanthe discolor</i> Lindl.
エリカ		特定不能	ツツジ科 <i>Erica</i> 属、630種ある
エンコウソウ	夏緑多年草花早春黄色	分類名	キンポウゲ科 <i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> H. Hara
エンジュ	落葉高木	園芸作物名	マメ科、中国産 <i>Sophora japonica</i> L. 街路樹
エンジュノハナ	淡黄色花夏	園芸作物名・季節	
エンドウマメ	1〜2年草、つる性	農作物名	マメ科、地中海沿岸他産 <i>Pisum sativum</i> L.
エンドウマメノハ	初夏白、紅、紫	農作物名・季節	
オイランソウ		園芸作物名	クサキョウチクトウの別名
オウトウ		園芸作物名	セイヨウミザクラの別名
オウトノハナ	春桜に似る	園芸作物名・季節 オウトウと思う	
オウゴンカズラ	つる性多年草	園芸作物名	サトイモ科、ソロモン諸島産 <i>Epipremum sureus</i> (Lind. et Andre') Bunting
オウトウノミ	サクランボ	園芸作物名・季節	
オウバイ	落葉低木花春黄色径2.5cm	園芸作物名	モクセイ科、中国産 <i>Jasminum nudiflorum</i> Lindl.
オウレン	常緑多年草早春小白花	分類名	キンポウゲ科 <i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino
オオギカツラ	夏緑多年草淡紫花春	分類名	ソノ科 <i>Ajuga japonica</i> Miq.
オオケタデ	大型1年草夏〜秋淡紅穂状花	園芸作物名	タデ科、東〜南アジア産 <i>Persicaria orientalis</i> (L.) Spach
オオタニワタリ	シダ植物、常緑多年草	分類名	チャセンシダ科 <i>Asplenium antiquum</i> Makino
オオチ		分類名 センダンの別名	
オオチノハナ	初夏紫花多数	分類名・季節	
オオハイボタ	常緑小高木小白花夏	分類名	
オオハコ	夏緑多年草	分類名	モクセイ科 <i>Ligustrum ovalifolium</i> Hassk.
オオハコノハナ	花極小緑色、春と秋	分類名・季節	オオハコ科 <i>Plantago asiatica</i> L.
オオバタネツケバナ	夏緑多年草春小白花	分類名	アブラナ科 <i>Capsella scutata</i> Thunb.
オオヤマレンゲ	落葉低木初夏白花	分類名	モクレン科 <i>Magnolia sieboldii</i> C. Koch subsp. <i>japonica</i> Ueda
オカタマ	常緑高木20m	分類名	オカタマノキ モクレン科 <i>Michelia compressa</i> (Maxim.) Sarg.
オギ	夏緑多年草	分類名	イネ科 <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.
オギザリス		特定不能	カタハミ科、 <i>Oxalis</i> (オギザリス、オクザリス)属、800種
オキナグサ	夏緑多年草春暗赤紫有毛花	分類名	キンポウゲ科 <i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Spreng.
オギノワカバ		分類名・季節	
オギョウ		分類名 ハハコグサの別名	
オクサンキチ		園芸作物名 梨の晩生品種	
オクテ		農作物名・季節 晩稲、晩生の稲	
オクラ	1年草花夏〜秋黄色果食用	園芸作物名	アオイ科、インド産 <i>Abelmoschus esculentus</i> (L.) Moench
オグルマ	夏緑多年草花夏黄色	分類名	キク科 <i>Inula japonica</i> Thunb.
オケラ	夏緑多年草	分類名	キク科 <i>Atractylodes japonica</i> Koidz.
オケラノハナ	白、淡紅色秋	分類名・季節	
オゴノリ	海藻、褐藻類	分類名	オゴノリ科 <i>Gracilaria verrucosa</i> (Hudson) Papenfuss
オジギソウ	多年草花桃色夏〜秋	園芸作物名	マメ科、ブラジル産 <i>Mimosa pudica</i> L. 触れると葉を閉じる、別名含ムリグサ
オンシロバナ	1年草夏夕開花色多様	園芸作物名	オンシロバナ科、南米産 <i>Mirabilis jalapa</i> L.
オンザクラ		一般名・季節 遅く咲く桜	
オダマキ	夏緑多年草	園芸作物名	キンポウゲ科 <i>Aquilegia flabellata</i> Siebold et Zucc.
オダマキノハナ	初夏紫色	分類名・季節	
オチバ		一般名	
オチボ		農作物名・季節 晩稲、晩生の稲	
オトギリソウ	夏緑多年草小花夏黄色	分類名	オトギリソウ科 <i>Hypericum erectum</i> Thunb.
オトコエシ	夏緑多年草小白花夏〜秋	分類名	オミナエシ科 <i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.
オトコヨモギ	夏緑多年草小花茶夏〜秋	分類名	キク科 <i>Artemisia japonica</i> Thunb.
オドリコソウ	夏緑多年草花春白、淡紅色	分類名	シソ科 <i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.
オナモミ	1年草小白花夏〜秋	分類名	キク科 <i>Xanthium strumarium</i> L.
オニゲシ	夏緑多年草初夏大花色多様	園芸作物名	ケシ科、西アジア産 <i>Papaver orientale</i> L.
オニシバリ	夏に落葉の低木	分類名	ジンチョウゲ科 <i>Daphne pseudomezereum</i> A. Gray
オニシバリノハナ	淡緑色早春	分類名・季節	
オニシバリノミ	初夏球形赤色	分類名・季節	
オニドコロ	つる性多年草	分類名	ヤマノイモ科 <i>Dioscorea tokoro</i> Makino
オニハス	1年生水草夏紫花	分類名(オニハスが正しい)	スイレン科 <i>Euryale ferox</i> Salisb.
オニヤブソテツ	常緑多年草、シダ植物	分類名	オンシダ科 <i>Cyrtomium falcatum</i> (L.f.) K. Presl
オノマンネングサ	常緑多年草	分類名	ベンケイソウ科 <i>Sedum lineare</i> Thunb.
オバナ		分類名 ススキの古名	
オヒシハ	1年草小花夏〜秋	分類名	オヒシハ イネ科 <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaert.
オミナエシ	夏緑多年草黄小花秋	分類名	オミナエシ科 <i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.
オモイグサ		分類名 ナンバンギセルの別名	
オモダカ	多年生水草小白花夏〜秋	分類名	オモダカ科 <i>Sagittaria trifolia</i> L.
オモト	常緑多年草初夏緑小白花多数	分類名	
オモトノミ	秋赤熱球形径8mm	分類名・季節	
オランダカイウ	多年草湿地白花初夏	園芸作物名	サトイモ科、南アフリカ産 <i>Zantedeschia aethiops</i> Spreng.
オリブ	常緑高木	園芸作物名	モクセイ科、中近東産 <i>Olea europaea</i> L.
オリブノハナ	白色、モクセイに似る	園芸作物名・季節	
オリブノミ	紫黒色	園芸作物名・季節	



植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
カーネーション	1年草と多年草あり	園芸作物名	ナデシコ科、南欧州産 <i>Dianthus caryophyllus</i> L.に由来する園芸植物群
ガーベラ	夏緑多年草	園芸作物名	キク科、南アフリカ産 <i>Gerbera hybrida</i> Hort. <i>G.jamesonii</i> Bolus と <i>G. viridifolia</i> Sch. の交配種群
カイウ		園芸作物名 オランダカイウの別称	
カイザイクソウ	1年草	特定不能	キク科、オーストラリア産 <i>Ammobium alatum</i> R. Br.の和名だが、花屋では別種の改良園芸品種を呼ぶ
カイドウ	落葉小高木淡紅色花春	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Malus micromalus</i> Makino
カエデ		一般名	
カエデノハナ		一般名・季節	
カエデノメ		一般名・季節	
カエリバナ		一般名 綿花、返花、返り咲、狂い咲など、季節はずれに咲いた花	
カエルノカサ		分類名 (カエルノカサという植物はない、ヒキノカサと誤る)	
カエンナ		園芸作物名(カエンサイと誤る、さとうだいこん、ビート)	
ガガイモ	夏緑つる性多年草夏花淡紅色	分類名	ガガイモ科 <i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino
カガミグサ		特定不能 特定できない、朝顔の古名、白蓮、浮き草、松、正月の大根	
カガリビバナ	夏緑球根植物	園芸作物名	サクラソウ科 <i>Cyclamen persicum</i> L. ヨーロッパ原産
カキ(カキノキ)	落葉高木	園芸作物名	カキノキ科 <i>Diospyros kaki</i> L.f.
カキオチバ		園芸作物名・季節	
カキツバタ	夏緑多年草花初夏	園芸作物名	アヤメ科 <i>Iris laevigata</i> Fischer
カキトオシ	夏緑つる性多年草淡赤紫花春	分類名 カキドウシのこと	シソ科 <i>Glechoma hederacea</i> L. <i>subsp. grandis</i> (A. Gray) H. Hara
カキノハナ	初夏淡黄小花	園芸作物名・季節	
カキマメ		所属不明 (ハッシュウマメ、熱帯アジア原産、17世紀渡来、現在ない)	
カキモミジ		園芸作物名・季節	
カキワカバ		園芸作物名・季節	
カクノハナ		分類名・季節 ガクはガクアジサイの別称	
カザグルマ	夏緑つる性多年草花初夏	分類名	キンポウゲ科 <i>Clematis patens</i> Morr. et Decne.
カシ		一般名 樫	
カシオチバ		一般名・季節 樫の落ち葉	
カシノハナ		一般名・季節	
カシノミ		一般名・季節	
カシュウイモ	夏緑つる性多年草花初夏	分類名	ヤマノイモ科 <i>Dioscorea bulbifera</i> L.
カシワ	落葉高木	分類名	ブナ科 <i>Quercus dentata</i> Thunb.
カシワオチバ		分類名・季節	
カシワカバ		一般名・季節	
カシワチル		分類名・季節	
カシワモミジ		分類名・季節	
カズノコソウ	越年草	分類名 カズノコグサと同じと思う	イネ科 <i>Beckmannia syzigacne</i> (Steud.) Fernald
カズミソウ	越年草春白小花多数	園芸作物名	ナデシコ科 <i>Gypsophylla elegans</i> Bieb.
カゼクサ	夏緑多年草	分類名	イネ科 <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauv.
カタクリ	夏緑多年草	分類名	ユリ科 <i>Erythronium japonicum</i> Deene.
カタクリノハナ	早春赤紫色	分類名・季節	
カタシロクサ		分類名 ハンゲショウの別名	
カタバミ	夏緑多年草	分類名	カタバミ科 <i>Oxalis corniculata</i> L.
カタバミノハナ	黄色	分類名・季節	
カヂメ	海藻、褐藻類	分類名	コンブ科 <i>Ecklonia cava</i> Kjellman
カトレア		特定不能	ラン科、カトレア属、南米に40種野生種あり、栽培ほとんど改良品種
カナヒクソウ	小型多年草白極小花初夏	分類名	カナヒクソウ ビャクダン科 <i>Thesium chinense</i> Turcz
カナムグラ		特定不能 俳句では古くカナムグラとヤエムグラは区別しない	
カナメノハナ	初夏白小花多数	分類名・季節 カナメモチの花の意味と思う	
カナメモチ	常緑小高木	分類名	バラ科 <i>Photinia glabra</i> (Thunb.) Maxim.
カニクサ	シダ植物、夏緑つる	分類名	フサジダ科 <i>Lygodium japonicum</i> (Thunb.) Sw.
カノコソウ	夏緑多年草淡紅色小花初夏	分類名	オミナエシ科 <i>Valeriana fauriei</i> Briq.
カバノリ	海藻、紅藻類	分類名	オゴノリ科 <i>Gracilaria textori</i> Suringar
カビ		一般名 黴	
カブラ(カブ)	2年草春黄色花	園芸作物名	アブラナ科 <i>Brassica campestris</i> L. <i>var. glabra</i> Kitam.
カボチャ		特定不能	ウリ科 日本ではセイヨウカボチャ、ニホンカボチャ、ペボカボチャの3別種がある
カボチャノハナ		園芸作物名・季節	
ガマ	水辺夏緑多年草	分類名	ガマ科 <i>Typha latifolia</i> L.
ガマノホ	夏赤茶色穂状花序	分類名・季節	
ガマノワタ	花後雌花基部白毛が綿となる	分類名・季節	
カミヤツデ	落葉低木晩秋黄白小花	園芸作物名	ウコギ科、中国産 <i>Tetrapanax papyrifera</i> (Hook.) K. Koch
カモジグサ	夏緑多年草路傍雑草	分類名	イネ科 <i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi <i>var. transiens</i> (Hack.) Ohwi
カモンソウ		分類名? 笹類にカモンシノ	<i>Arundinaria tutaroana</i> がある
カヤ		特定不能	チガヤ、カルカヤ、ススキなどイネ科の別称、ススキの古名、イチイ科のカヤ
カヤツリグサ	1年草、雑草	分類名	カヤツリグサ科、中国産 <i>Cyperus microiria</i> Steud.
カヤノハナ		特定不能 芽、穂?	
カヤノミ		特定不能	
クライトソウ	夏緑多年草桃紅花夏	分類名	バラ科 <i>Sanguisorba hakusanensis</i> Makino
カラシナ	2年草春黄色花	園芸作物名	アブラナ科、欧州産のセイヨウカラシナ <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. et Coss.から栽培化
カラスウリ	多年生つる草	分類名	ウリ科 <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.
カラスウリノハナ	夏夜白花	分類名・季節	
カラスビシャク	夏緑多年草花初夏緑、暗紫	分類名	サトイモ科 <i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breit.
カラスムギ	越年草	分類名(帰化)	イネ科、欧州他産 <i>Avena fatua</i> L.
カラタチ	落葉小高木	園芸作物名	ミカン科、中国産 <i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raffin.
カラタチノハナ	春黄白花	園芸作物名・季節	
カリフラワー		園芸作物名	アブラナ科、地中海沿岸産 <i>Brassica oleracea</i> L. <i>var.</i>
カラムシ	夏緑多年草花夏〜秋地味	分類名	イラクサ科 <i>Boehmeria nipononivea</i> Koidz.
カリネギ		園芸作物名 ヤグラネギの別称、刈葱(カリギと読む)	
カリヤス	夏緑多年草	分類名	イネ科、日本特産 <i>Miscanthus tinctorius</i> (Steud.) Hack.
カリン	落葉高木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Chaenomeles sinensis</i> (Thunb.) Koehne
カリノハナ	春〜初夏淡紅花	園芸作物名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
カリノミ	秋楕円形、倒卵円形、黄熟	園芸作物名・季節	
カルカヤ		特定不能 イネ科の別種、メガルガヤとオガルガヤ両方の別	
カレアシ		分類名・季節 枯れヨシ	
カレイバラ		一般名・季節 枯れ茨	
カレキ		一般名・季節 枯れ木	
カレギク		一般名・季節 枯れ菊	
カレクサ		一般名・季節 枯草	
カレクワ		分類名・季節 枯れ桑	
カレシバ		一般名・季節 枯れ芝	
カレススキ		分類名・季節 枯れ薄	
カレハ		一般名・季節 枯れ葉	
カレハギ		一般名・季節 枯れ萩	
カレバシヨウ		園芸作物名・季節 枯れ芭蕉	
カレハス		分類名・季節 枯れ蓮	
カレフヨウ		分類名・園芸作物・季節 枯れ芙蓉	
カレマコモ		分類名・季節 枯れマコモ	
カレヤナギ		一般名・季節 枯れ柳	
カレヤマブキ		分類名・季節 枯れヤマブキ	
カワチシャ	越年草、湿地初夏淡紅紫小花	分類名	ゴマノハグサ科 <i>veronica undulata</i> Wall.
カワタケ		分類名	茸類 コウヤクダケ科 <i>Peniophora quercina</i> (Pers.:Fr.) Cooke
カワノリ	淡水緑藻類	分類名	カワノリ科 <i>Prasiola japonica</i> Yatabe
カンアオイ	常緑多年草花秋～冬	分類名	ウマノスズクサ科 <i>Heterotropa nipponica</i> (F. Maek.) F. Maek.
カノウド		園芸作物名・季節 寒うど、寒中に促成栽培されるウド	
カンギク		分類名 シマカンギクの別称	
カンツルイノミ		一般名・季節	
ガンコウラン	常緑矮生低木初夏極小花	分類名	ガンコウラン科 <i>Empetrum nigrum</i> L. var. <i>japonicum</i> K. Koch
カンシノブ		分類名 タチシノブの別名	
カンショ		農作物名 サツマイモの別称	
カンショノハナ		農作物名・季節	
カンスゲ	常緑多年草	分類名	カヤツリグサ科 <i>Carex morrowii</i> Boott
カンススキ		分類名 トキワススキの別名	
カンゾウ		特定不能	マメ科 甘草の和名が <i>Glycyrrhiza glabra</i> と <i>G. uralensis</i> に当てられている。中国では後者
カンゾウノハナ		特定不能	
カンチク	小型の竹	園芸作物名	イネ科 <i>Chimonobambusa marmorata</i> (Mitf.) Makino
カンチクノコ		分類名・季節	
カンナ	多年草	特定不能	カンナ科、 <i>Canna</i> 属、種が多い
カンビ		特定不能	デンチョウゲ科の落葉低木、ナデシコ科の多年草
カンビノハナ		特定不能	
カンボケ		園芸作物名 寒中に開花する木瓜の園芸品種群	
カンラン		特定不能 菓の一種甘藍、カンラン科の樹木、寒蘭	
キイチゴ		特定不能	バラ科 <i>Rubus</i> (キイチゴ) 属植物の総称、種数多い
キイチゴノハナ		特定不能	
キカラスウリ	夏緑多年草	分類名	ウリ科 <i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.
キキョウ	夏緑多年草	分類名	キキョウ科 <i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A. DC.
キキョウノメ		分類名・季節	
キク	夏緑多年草	園芸作物名	キク科 <i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat. (狭義のきく)
キクイモ	夏緑多年草花秋黄色	園芸作物名	キク科、北米産 <i>Helianthus tuberosus</i> L. 帰化もある
キクタニギク	夏緑多年草花秋黄色	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum boreale</i> Makino
キクチシャ		園芸作物名 (キクジシャ)	キク科、東部地中海沿岸 <i>Cichorium endivia</i> L.
キクノナエ		一般名・季節	
キクノワカバ		一般名・季節	
キクラゲ	菌類	分類名	キクラゲ科 <i>Auricularia auricula</i> (Hook.) Underw.
キコクノミ		園芸作物名・季節 の果実(キコクはカラタチの別名)	
キサラギナ		園芸作物名 (如月菜として戦前中国から輸入された漬け菜、最近ターツァイの名前で再輸入)	アブラナ科 <i>Brassica campestris</i> L. var. <i>pioch-<i>tsai</i></i> Kitam.
キシアオム		一般名・季節、情景 ? 岸青むの意味で、春の岸辺に草が生えた様子と思う	
キンギシ	夏緑多年草	分類名	タデ科 <i>Rumex crispus</i> L. subsp. <i>japonicus</i> (Houtt.) Kitam.
キンギシノハナ	初夏～夏、円錐花序	分類名・季節	
キンシムシロ	夏緑多年草花春黄色	分類名	バラ科 <i>Potentilla sprengeliana</i> Lehm.
キスイセン	夏緑多年草花春黄色	園芸作物名 (キズイセン)	ヒガンバナ科、欧州他産 <i>Narcissus honquilla</i> L.
キツネアザミ	越年草雑草花春桃色	分類名	キク科 <i>Hemistepta lyrata</i> Bunge
キツネノボタン	夏緑多年草花春黄色	分類名	キンポウゲ科 <i>ranunculus silerifolius</i> Lev.
キヌイトソウ		園芸作物名 オオアワガエリの種を水盤に蒔いて苗にした観賞用	
キヌガサソウ	夏緑多年草白花夏高山	分類名	ユリ科 <i>Kinugasa japonica</i> (Franch. et Sav.) Tatewaki et
キノメ		特定不能 木の芽のこと、または山椒の芽の意味	
キビ	1年草または多年草	農作物名	イネ科、原産地不明 <i>Panicum miliaceum</i> L.
キブネギク		分類名・帰化 シュウメイギクの別名	
キボシ		特定不能	ユリ科 <i>Hosta</i> (ギボウシ) 属、種が多い
キュウリ	つる性1年草	園芸作物名	ウリ科、ヒマラヤ産 <i>Cucumis sativus</i> L.
キュウリノエ		園芸作物名・季節	
キュウリノハナ	黄色	園芸作物名・季節	
キョウカノコ	夏緑多年草小桃色花夏	園芸作物名	キョウカノコ バラ科 <i>Filipendula purpurea</i> Maxim.
キョウチクトウ	常緑低木有毒花夏	園芸作物名	キョウチクトウ科、インド産 <i>Nelium olander</i> L. var. <i>indicum</i> (Mill.) Degener et Greenwell
キランソウ	夏緑多年草小紫花春雑草	分類名	シソ科 <i>Ajuga decumbens</i> Thunb.
キリ	落葉高木紫花初夏	分類名	ゴマノハグサ科 <i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.
キリノハナ		分類名・季節	
キリノミ		分類名・季節	
キリヒトハ		分類名・季節	
キリンソウ		分類名	ベンケイソウ科 <i>Sedum aizoon</i> L. var. <i>floribundum</i> Naiaki
キンカン	常緑低木	特定不能	ミカン科、 <i>Fortunella</i> (キンカン) 属、数種栽培される園芸作
キンカンノハナ	初夏～初秋白花数回咲	園芸作物名・季節	
キンギョソウ	多年草、12年草花冬	園芸作物名	ゴマノハグサ科、南欧州他産 <i>Antirrhinum maius</i> L.
キンギョモ		特定不能 マツモの別名、ホザキノフサモの標準和名	
キンクイギク	秋蒔き1年草花黄色	園芸作物名	キク科、アフリカ他産 <i>Coreopsis basalis</i> Blake
キンシバイ	落葉低木花夏黄色	園芸作物名	オトギリソウ科、中国産 <i>Hypericum patulum</i> Thunb.
キンセンカ	秋蒔き1年草花春	園芸作物名	キク科、南欧州産 <i>Calendra officinalis</i> L.
キントウグワ		特定不能 キントウカはベボカボチャの変種	<i>Cucurbita pepo</i> L. var. <i>kintoga</i> Makino とされるが、見解が分かれている
キンナン		イチヨウの別名(分類名)または果実(分類名・季節)	
ギンバイソウ	夏緑多年草白、淡紅色花夏	分類名	ユキノシタ科 <i>Deinathe bifida</i> Maxim.

植物学語	特徴	分類学的考察	分類名
キンボウゲ	夏緑多年草黄色花春	分類名	キンボウゲ科 <i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.
キンラン	夏緑多年草黄色花春	分類名	ラン科 <i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume
キンラン	夏緑多年草白花春	分類名	ラン科 <i>Cephalanthera erecta</i> Lindl.
キンリョウソウ	腐生植物、初夏白花	分類名	イチヤクソウ科 <i>Monotropastrum humile</i> (D. Don) H. Hara
キンレイカ	夏緑多年草黄色花夏	分類名	オミナエシ科 <i>Patrinia triloba</i> (Miq.) Miq. var. <i>palinata</i> (Maxim.) H. Hara
クキタチナ		園芸作物名 莖立菜 ククタチという菜の東北地方から北海道にある系統と考えられている	
クキナ		一般名 莖を漬け物にする菜一般	
ククタチ		一般名 莖立、春に莖や葉が開花のために花莖を伸ばす様子。しかし莖立菜との関係は分らない	
クコ	落葉小低木紫花秋	分類名	ナス科 <i>Lycium barbarum</i> L.
クコノミ	赤色楕円形果実可食	分類名・季節	
クサイキレ		情景	
クサイチゴ	落葉小低木白花春	分類名	バラ科 <i>Rubus hirsutus</i> Thunb.
クサギ	落葉低木	分類名	クマツヅラ科 <i>Clerodendron trichotomum</i> Thunb.
クサギノハナ	白花夏〜初秋	分類名・季節	
クサギノミ	秋青紫球形	分類名・季節	
クサキョウチクトウ	夏緑多年草花夏赤、桃、白	園芸作物名	ハナシノブ科、北米産 <i>Phlox paniculata</i> L.
クサシゲル		情景	
クサシゲカズラ	多年草海岸性	分類名	ユリ科 <i>Asparagus cochinchinensis</i> (Lour.) Merrill
クサネム	一年草花夏	分類名	マメ科 <i>Aeschynomene indica</i> L.
クサノオウ	越年草黄色花春	分類名	ケシ科 <i>Chelidonium majus</i> L. var. <i>asiaticum</i> (H. Hara) Ohwi
クサノカ		情景 草の香り	
クサノハナ		一般名 草の花	
クサノホ		一般名 草の種	
クサノミ		一般名 草の実	
クサノメ		一般名 草の芽	
クサノワカバ		一般名 草の若葉	
クサフジ	多年生つる草青紫花初夏〜秋	分類名	マメ科 <i>Vicia cracca</i> L.
クサボケ	落葉小低木橙黄色花春	分類名	バラ科 <i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl.
クサボケノミ	球形径3cm黄熟	分類名・季節	
クサボタン	落葉小低木淡紫小花夏	分類名	キンボウゲ科 <i>Clematis stans</i> Siebold et Zucc.
クサモミジ		一般名 草紅葉	
クサレダマ	夏緑多年草黄色花夏	分類名	サクラソウ科 <i>Lysimachia vulgaris</i> L. subsp. <i>davurica</i> (Ledeb.) Tatew.
クジャクソウ		特定不能 クジャクソウの別名、ハルシャギク、コウオウソウの別名	
クス(クスノキ)	常緑大高木小淡黄色花初夏	分類名	クス科 <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl
クス	つる性多年草	分類名	マメ科 <i>Pueraria lobata</i> (Willd.)
クスオチバ		分類名・季節 楠の落ち葉	
クスノハナ	赤紫花初秋	分類名・季節 葛の花	
クスノミ	黒球形小果	分類名・季節 楠の実	
クスノワカバ		分類名・季節 葛の若葉	
クスワカバ		分類名・季節 楠の若葉	
クチナン	常緑低木	分類名	アカネ科 <i>Gardenia jasminoides</i> Ellis
クチナンノハナ	白花夏有香	分類名・季節	
クチナンシノミ	楕円形赤黄熟	分類名・季節	
クチハ		情景 朽ちた葉	
クチベニスイセン	夏緑多年草花春白中心黄色	園芸作物名	ヒガンバナ科、欧州産 <i>Narcissus poeticus</i> L.
クヌギ	落葉高木	分類名	ブナ科 <i>Quercus acutissima</i> Garth
クヌギノハナ	早春雄花紐状黄色	分類名・季節	
クヌギノミ	秋実	分類名・季節	
クヌギモミジ		分類名・季節 栲の紅葉	
クネンボ	常緑樹	園芸作物名 蜜柑の仲間 九年母	ミカン科、インドシナ産 <i>Citrus × nobilis</i> Lour. (タンゴール)の栽培品種
クネンボノハナ	白花?	園芸作物名・季節	
クマガイソウ	夏緑多年草黄色花春	分類名	ラン科 <i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.
クマツヅラ	夏緑多年草小花淡紫色	分類名	クマツヅラ科 <i>Verbena officinalis</i> L.
グミ		一般名 グミの仲間、グミ科	
グラジオラス	夏緑多年草	分類名	アヤメ科、アフリカ産 <i>Gladiolus</i> cv. 品種改良が進み数千以上の園芸品種があり、一般にグラジオラスという
クリ	落葉高木	分類名・園芸作物名	ブナ科 <i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.
クリスマスローズ	常緑多年草花冬	園芸作物名	キンボウゲ科、欧州産 <i>Helleborus niger</i> L.
クリタケ	菌類	分類名	モエキタケ科 <i>Naematoloma sublateritium</i> (Fr.) Karst.
クリノハナ	雄花初夏紐状淡黄色	分類名・季節	
クリンソウ	夏緑多年草	分類名	サクラソウ科 <i>Primula japonica</i> A. Gray
クルミ	落葉高木	特定不能	オニグルミ、ヒメグルミ、カングルミがある。
クルミノハナ	初夏雄花紐状淡緑色	分類名・季節	
グレープフルーツ	常緑高木	園芸作物名	グレープフルーツ ミカン科、西インド諸島産 <i>Citrus paradisi</i> Macf.
クロクワイ(クログワイ)	夏緑多年草	分類名	カヤツリグサ科 <i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi
クロベ	常緑高木	分類名	ヒノキ科 <i>Thuja standishii</i> Carr.
グロキシニア	多年草花春	園芸作物名	イワタバコ科、南米産 <i>Sinningia × hybrida</i> Hort.
クロノリ	海藻、	分類名 アサクサノリの仲間マルバチシマクロノリ	ウツケノリ科 <i>Porphylla umbilicalis</i> (L.) J. Agardh forma <i>laciniata</i> (Lightfoot) Thuret
クロベ	常緑針葉樹	分類名	ヒノキ科 <i>Thuja standishii</i> Carr.
クロメ	海藻、褐藻類	分類名	コンブ科 <i>Ecklonia cava</i> Kielman
クロンボウ		一般名 植物の黒い種	
クワ		分類名 ヤマグラの別名	
クワイ	夏緑多年草白花夏〜秋	分類名	オモダカ科 <i>Sagina trifolia</i> L. var. <i>edulis</i> (Siebold) Ohwi
クワノハナ	春小花地味	分類名・季節 桑の花	
クワノミ	初夏液果楕円形可食	分類名・季節 桑の実	
クンシラン	常緑多年草花春美麗	園芸作物名	ヒガンバナ科、南アフリカ産 <i>Clivia miniata</i> Regel
ケイトウ	1年草	園芸作物名	ヒコ科、中国産 <i>Cerosia argentea</i> L. var. <i>cristata</i> (L.) Kunze
ケイトウカ		園芸作物名 ケイトウの別称	
ゲゲソウ		分類名 解夏草、キチジョウソウの古名	
ケン	越年草果実麻薬原料	園芸作物名	ケシ科、地中海沿岸他産 <i>Papaver somniferum</i> L.
ケンノハナ	初夏径10cm美麗	園芸作物名・季節 芥子の花	
ケンノワカバ		園芸作物名・季節 芥子若葉	
ケンボウズ		園芸作物名・季節 芥子坊主	
ケツルアスキ		園芸作物名	マメ科、インド産 <i>Vigna radiata</i> R.Wilz.
ケマンソウ	多年草花春	園芸作物名	ケシ科、中国産 <i>Dicentra spectabilis</i> (L.) Lem.
ゲンゲ		分類名 レンゲソウの別名	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ゲンショウコ	夏緑多年草白、紅花夏 ～秋	分類名	フウソウ科 <i>Geranium nepalense</i> Sweet. var. <i>thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Kudo
ケンボナシ	落葉高木淡緑小花初夏	分類名	クロウメモドキ科 <i>Hovenia dulcis</i> Thunb.
コウオウソウ	1年草花夏	園芸作物名	キク科、メキシコ産 <i>Tagetes patula</i> L. マリゴールドの元
コウジ		特定不能 カラタチバナの別名、こうじかび みかんの仲間 こうじかび	
コウジュ		特定不能 紅樹、オヒルギの漢名(分類名)、紅色の花の	
コウシンバラ	落葉低木	園芸作物名 長春花	バラ科 <i>Rosa chinensis</i> Jacq. 中国原産
コウゾ	落葉低木	分類名	クワ科 <i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold
コウゾノハナ	初夏雌花序球形雌花多 数	分類名・季節	
コウバイ		園芸作物名 梅の園芸品種群	
コウメ		特定不能 梅の別称、梅の園芸品種の名前	
コウヨウ		一般名 紅葉	
コウラク		情景 黄落、木の葉や果実が黄色になって落ちること	
コオホネ	水生の多年草鮮黄色花 夏	分類名	スイレン科 <i>Nuphar japonicum</i> DC.
コケシゲル		情景	
コケノハナ		一般名 不正確、こけに花は咲かない	
コケリンドウ	小型越年草淡青色花春	分類名	リンドウ科 <i>Gentiana squarrosa</i> Ledeb.
コシクワ		一般名 萩の別称、胡枝花	
コジクワ		園芸作物名 キンセンカの別名、午時花	
コシタヤミ		情景 木下闇、木陰の暗い所	
ゴシュウノハナ		特定不能 五臭の花、五の臭気を持つ花、五臭は中国の 匂いのある5種の植物	
コスモス	春蒔き1年草花秋美麗	園芸作物名	キク科 <i>Cosmos bipinnatus</i> Cav.
コチョウラン	常緑着生	園芸作物名	ラン科、フィリピン他産 <i>Phalaenopsis aphrodite</i> Reich. 園 芸では属もいう
コデマリ(スズカ ケ)	落葉小低木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Spiraea cantoniensis</i> Lour. スズカケは古 名、江戸時代からコデマリ
コデマリノハナ	春白小花多数球状に集 まる	園芸作物名・季節 小手鞠の花	
コナギ	1年草水田雑草青紫花 夏～秋	分類名	ミズアオイ科 <i>Monochoria vaginalis</i> (Burm.f.) Presl var. <i>plantaginea</i> (Roxb.) Solms-Laub.
コノハ		一般名 木の葉	
コノメ		一般名 木の芽	
コハマギク	夏緑多年草白花秋海岸	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum yezoense</i> F. Maek.
コハンソウ	1年草	分類名	イネ科、地中海沿岸産 <i>Briza maxima</i> L.
コヒガン	落葉高木	園芸作物名 マメザクラ×エドヒガン	バラ科 <i>Prunus × subhirtella</i> 'Subhirtella'
コヒゲ		園芸作物名 イグサの栽培品種	
コフシ	落葉高木白花早春	分類名	モクレン科 <i>Magnolia praecocissima</i> Koidz.
コフナソウ	1年草	分類名(多分コフナグサ)	イネ科 <i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino
コボウ	2年草	園芸作物名	キク科 <i>Arctium lappa</i> L.
コボウノハナ	赤紫、白夏	園芸作物名・季節	
ゴマ	1年草種子胡麻油	園芸作物名	ゴマ科、アフリカ産? <i>Sesum indicum</i> L.
コマカヘルクサ		一般名 コマカエルクサ、古くさともいう。若葉にまじる前年の	
コマクサ	夏緑多年草	分類名	ケシ科 <i>Dicentra peregrina</i> (Rudolphi) Makino
コマツナギ	草本的落葉小低木赤紫 花夏	分類名	マメ科 <i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsum.
ゴマノハナ	帯白色淡紫夏	園芸作物名・季節	
コゴウソウ		分類名 コマツナギの別名	
コンニャク	夏緑多年草	園芸作物名	サトイモ科 <i>Amorphophalus rivieri</i> Dirieu var. <i>konjac</i> (K. Koch) Engl.
コンニャクノハナ	暗紫色仏炎苞花初夏	園芸作物名・季節	
コンブ	海藻、褐藻類	一般名 昆布	
サイカチ	落葉高木	分類名	マメ科 <i>Gleditsia japonica</i> Miq.
サイカチノハナ	初夏黄緑色小花、雄花 雌花	分類名・季節	
サイハイラン	夏緑多年草	分類名	ラン科 <i>Cremastra appendiculata</i> (D. Don) Makino
サイフリボク	落葉大高木小白花春	分類名	バラ科 <i>Amelanchier asiatica</i> Endl.
サカキ	常緑小高木10m	分類名	ツバキ科 <i>Cleyera japonica</i> Thunb.
サカキノハナ	夏白後帯黄色	分類名・季節	
サキコケ	夏緑多年草	分類名	ゴマノハグサ科 <i>Mazus miquelii</i> Makino
サギソウ	夏緑多年草白花夏	分類名	ラン科 <i>Habenaria radiata</i> Spreng.
サクラ		一般名 桜	
サクラアサ		園芸作物名・季節 麻(たいま)の雄花	
サクラシベフル		情景 桜の雄しべが落ちる	
サクラジマダイコ	大根大型球形、櫻島大	園芸作物名	アブラナ科 <i>Raphanus sativus</i> (Sakurjima-daikon)
サクラソウ	夏緑多年草紅紫花春美 麗	分類名	サクラソウ科 <i>Primula sieboldii</i> E. Morren
サクラノミ		一般名・季節	
サクラノリ		特定不能 紅藻類のムカデノリまたは別科ノオキツノリ	
サクラマンデマ		園芸作物名 フクロナデシコの別名	
サクラモミジ		一般名・季節	
ザクロ	落葉高木小白緑花夏	園芸作物名	ザクロ科 <i>Punica granatum</i> L. 地中海東岸他原産
ザクロノハナ		園芸作物名・季節	
ササゲ		園芸作物名 大角豆	
サザンカ	常緑小高木花秋	園芸作物名・分類名	マメ科 <i>Vigna unguicula</i> (L.) Walp. 西・中央アフリカ原産
サツキ	常緑低木花赤初夏	分類名・園芸作物名	ツバキ科 <i>Camellia sasanqua</i> Thunb.
サツマイモ	夏緑多年草つる性	園芸作物名	ツツジ科 <i>Rhododendron indicum</i> (L.) Sweet
サツマイモノハナ	夏黄色	園芸作物名・季節	ヒルガオ科、中南米産 <i>Ipomea batatas</i> (L.) Lam.
サトウキビ	常緑多年草	園芸作物名	イネ科 <i>Saccharum officinarum</i> L. ニューギニア原産
サトウダイコン		園芸作物名 テンサイの別名	
サナエ		一般名(早苗)	
サナカズラ	常緑つる花秋	分類名	マツバサ科 <i>Kadzura japonica</i> (L.) Dunal
サビタ		分類名 ノリウツギの別名	
サビタノハナ		分類名・季節	
サフラン	夏緑多年草花秋淡紫色	園芸作物名	アヤメ科 <i>Crocus sativus</i> L. 原産地不明
サフランノハナ		園芸作物名・季節	
サボテン		特定不能	サボテン科 種数が多い
サボテンノハナ		特定不能	
ザボン		園芸作物名 ブンタンの別名	
ザボンソウ	夏緑多年草淡紅花初夏	園芸作物名	ナデシコ科 <i>Saponaria officinalis</i> L. ヨーロッパ原産
ザボンノハナ		園芸作物名・季節	
サモモ		園芸作物名(早桃、サモモの品種)	
サルオガセ		一般名	
サルスベリ		園芸作物名	ミソハギ科 <i>Lagerstroemia indica</i> L. 中国南部原産
サルトリイバラ	落葉つる淡黄小花春	分類名	ユリ科 <i>Smilax china</i> L.
サワギキョウ	夏緑多年草花夏濃紫色	分類名	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
サウフタギ	落葉低木花白初夏	分類名	ハイノキ科 <i>Symplocos chinensis</i> (Lour.) Druce var. <i>leucocarpa</i> (Nakai) Ohwi f. <i>pilosa</i> (Nakai) Ohwi
サウフタギノハナ		分類名・季節	
ザンカ		一般名 散り残った桜の花	
サンガイグサ		分類名(ホトケノザの別名)	シソ科
サンガツダイコン		園芸作物名 三月大根	
サンガツナ		一般名 早春に播いて3月に食べる菜	
ザンギク		一般名(秋の末に咲き残った菊花)	
サンキライ		分類名 サルトリイバラの俗称、サンキライ(山帰来)という植物は中国、インド原産の別種	日本産マルバサンキライ、サツマサンキライはユリ科
サンキライノハナ		分類名・季節	
サンゴジュ	常緑高木花白初夏	分類名・園芸作物名	スイカズラ科 <i>Viburnum odoratissimum</i> Kew.=Gaul.
サンザシ	落葉低木花白春	園芸作物名	バラ科 <i>Crataegus cuneata</i> Siebold et Zucc. 中国原産
サンザシノハナ		園芸作物名・季節	
サンシキスミレ		園芸作物名	スミレ科 <i>Viola ×witrockiana</i> Hort.
サンシチノハナ		園芸作物名・季節)	菊科、中国原産
サンショウ	落葉低木3m枝有刺	分類名	ミカン科 <i>Zanthoxylum piperitum</i> DC.
サンショウノハナ		分類名・季節	
サンショウノミ	春小丸緑色多数	分類名・季節	
サンショウノメ	秋赤熟球形径5mm	分類名・季節	
サンショウノメ		分類名・季節	
サンショウノメ		園芸作物名 サンシキスミレと同じ	
サンシュユ	落葉小高木黄小花春	園芸作物名	ミズキ科 <i>cornus officinalis</i> Siebold et Zucc. 中国朝鮮原産
サンシュユノハナ		園芸作物名・季節	
サンポーカン	常緑小高木柑橘	園芸作物名 三宝柑	ミカン科 <i>Citrus sulcata</i> Hort. ex Takahashi
スイ		一般名 スダジイとコジイを含む	
スイタケ		菌類	ヒラタケ科 <i>Lentinus edodes</i> (Berk.) Sing.
スイノハナ		一般名・季節	
スイノミ		一般名・季節	
スイワカバ		一般名・季節	
シオン	夏緑多年草藤紫花秋	分類名・園芸作物名	キク科 <i>Aster tatalicus</i> L. f.
シガツダイコン		園芸作物名・季節 四月大根	
シキミ	常緑高木15m花淡黄色春	分類名	シキミ科 <i>Illicium anisatum</i> L.
シキミノハナ		分類名・季節	
シクラメン		園芸作物名 カガリビバナの別名	
シゲリ		情景 茂り	
シソ	1年草小淡紅花秋	分類名(園芸作物名)	シソ科 <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) Decne.
シソノミ		分類名・季節	
シダ		一般名	
シタモエ		情景 下萌え 地中から芽がでる様子	
シダモユル		情景 羊歯萌える	
シダレザクラ	枝垂れ桜	園芸作物名	バラ科 <i>Prunus pendula</i> 'Pendula'
シドミ		分類名 クサボケの別名	
シドミノハナ		分類名・季節	
シノノガキ	落葉高木花春	分類名	カキノキ科 <i>Diospyros lotus</i> L. ヒマラヤ、中国他原産
シノビグサ		特定不能 忍草(しのぶくさ)はノキシノブと、ヤブカンゾウの	
シノブ	落葉着性シダ	分類名	シノブ科 <i>Davallia mariesii</i> Moore
シバ		一般名	
シバアオム		一般名・季節 芝青む	
シバカル		一般名・季節 芝枯る	
シバザクラ	多年草花春	園芸作物名	ハナシノブ科、北米産 <i>Phlox subulata</i> L.
シバノメ		一般名・季節 芝の芽	
シバヒ		一般名・季節 芝火	
シバモユル		一般名・季節 芝萌ゆる	
シバヤク		一般名・季節 芝焼く	
シマカンギク	夏緑多年草花秋黄色	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum indicum</i> L. キクの原種の一つ
シメジ		菌類 特定不能	キシメジ科シメジ属、種類が多い
シモガレ		情景 下枯れ	
シモツケ	落葉低木桃色小花夏	分類名	バラ科 <i>Spiraea japonica</i> (L.) f.
シモツケソウ	夏緑多年草桃色花夏	分類名	バラ科 <i>Filipendula multijuga</i> Maxim.
シャガ	常緑多年草淡青花春	分類名・園芸作物名	アヤメ科 <i>Iris japonica</i> Thunb.
シャガイモ		農作物名	ナス科 <i>Solanum tuberosum</i> L. 南アメリカ原産
シャガイモノハナ		農作物名・季節	
シャクナゲ		園芸作物名(一般名)	
シャクヤク	夏緑多年草花春	園芸作物名	ボタン科 <i>Paeonia latiflora</i> Pall. 中国原産
ジャコウソウ	夏緑多年草赤紫花秋	分類名	シソ科 <i>Chelonopsis moschata</i> Miq.
ジャコサボテン	常緑多年草花冬	園芸作物名 ジャコサボテン	サボテン科 <i>Zygocactus truncatus</i> (Haw.) K. Schum. ブラジル原産
ジャノヒゲ	常緑多年草小花夏淡紫色	分類名	ユリ科 <i>Ophiopogon japonicus</i> (L.f.) Kaw.-Gawl.
ジャノヒゲノミ		分類名・季節	
シャボンソウ		園芸作物名(分類名)(シャボンソウの別名、欧州原産、観賞用が野生化)	
シュウカ		一般名(秋に熟す果物)	
シュウカイドウ	夏緑多年草桃色花秋	園芸作物名	ペコニア科、中国産 <i>Begonia evansiana</i> Andr.
シュウニヒトエ	夏緑多年草白花春	分類名	シソ科 <i>Aiuga nipponensis</i> Makino
シュウヤガキ		園芸作物名 十夜柿	
シュクン		分類名・季節(熟柿) 園芸作物とする可	
ジュスタマ	夏緑多年草花夏	分類名	イネ科 <i>Coix lachryma-jobi</i> L. 東南アジア原産
シュロ	常緑小高木10m	分類名	ヤシ科 <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) Wendl. 中国原産
シュロノハナ		分類名・季節	
シュンギク	食用、周年出荷	園芸作物名	キク科 <i>Chrysanthemum coronarium</i> L. 地中海地方原産
ジュンサイ	水草、食用	分類名	スイレノ科 <i>Brasenia schreberi</i> Gmel.
ジュンラン	常緑多年草淡緑花春	分類名	ラン科 <i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. f.) Reichb. f.
シウガ	夏緑多年草、食用	園芸作物名	シウガ科 <i>Zingiber officinale</i> Rosc. インド原産?
シウキラン		特定不能	ヒガンバナ科とラン科に同名あり
シウシヨウソウ		園芸作物名	ドウダイクサ科 <i>Euphorbia heterophylla</i> L. ブラジル原産
シウジョウバカ	夏緑多年草赤紫花春	分類名	ユリ科 <i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C. Tanaka
シウワロ		菌類、松露、食用	シウワロ科 <i>Rhizopogon rubescens</i> (Tul.) Tul.
ジョチュウギク	夏緑多年草、殺虫剤	園芸作物名	キク科 <i>Chrysanthemum cinerariaefolium</i> (Trev.) Bocc. パルカン半島原産
シラカバ	落葉高木	分類名 シラカンバ	カバノキ科 <i>Betula platyphylla</i> Sukatochev var. <i>japonica</i> (Miq.) H. Hara
シラカバノハナ		分類名・季節	
シラネアオイ	夏緑多年草淡青花春	分類名	シラネアオイ科 <i>Glaucidium palmatum</i> Siebold et Zucc.
シラモ	海藻(褐藻)	分類名	オノリ科 <i>Glacilaria compressa</i> (Agardh) Greville
シラン	夏緑多年草赤紫花初夏	分類名	ラン科 <i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Reichb. f.
シロウリ	白瓜	園芸作物名	ウリ科 <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>conomon</i> (Thunb.) Makino
シロガネヨシ	常緑大型多年草	園芸作物名	イネ科、ブラジル南部産 <i>Cortaderia argentea</i> Stapf

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
シロショウブ		園芸作物名 白い花のハナショウブ: '白天女' '白竜の爪' '千代の春' '雪割草' などの園芸品種がある	
シロツメクサ	夏緑多年草白花春牧草	分類名	マメ科、欧州他産 <i>Trifolium repens</i> L.
シンイモ		一般名 新芋	
ジンジャー	常緑多年草白花	園芸作物名	ショウガ科、インド、マレーシア産 <i>Hedychium coronarium</i> K. Koenig
ジンジャーノハナ		園芸作物名・季節	
シンジャガイモ		農作物名・季節	
シンジュ	落葉高木小白緑花夏	分類名・園芸作物名	ニガキ科、中国産 <i>Ailanthus altissima</i> Swingle
シンチドリ		一般名・季節(新松子、今年で来た松かさ、青松かさ)	
シンチョウゲ		園芸作物名	ジンチョウゲ科、中国産 <i>Daphne odora</i> Thunb.
シンリョク		情景	
スイートピー	1年草、つる性	園芸作物名	マメ科、イタリア産 <i>Lathyrus odoratus</i> L.
スイカ	西瓜	園芸作物名	ウリ科 <i>Citrullus lanatus</i> (Thunb.) Matsum. アフリカ原産
スイカズラ	半常緑つる花夏白後黄色	分類名	スイカズラ科 <i>Lonicera japonica</i> Thunb.
スイカズラノハナ		分類名・季節	
スイカノハナ	黄色	園芸作物名・季節	
スイキ		園芸作物名	サトイモ科 <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
スイセン	球根類	一般名	
スイセンノウ	二年草または多年草	園芸作物名 酔仙翁	ナデシコ科 <i>Lychnis coronaria</i> (L.) Desr. ヨーロッパ原産
スイバ	夏緑多年草花穂初夏〜夏	分類名	タデ科 <i>Rumex acetosa</i> L. 別名スカンボ
スイレン	水草、睡蓮	一般名 園芸植物に多くの品種がある。原種も多い、	スイレン科スイレン属
スノウミ		園芸作物名	マメ科 <i>Caesalpinia sappan</i> L. インド、マレーシア原産
スギ	常緑針葉樹高木	分類名	スギ科 <i>Cryptomeria japonica</i> D.Don
スギオチバ		分類名・季節	
スギナ	シダ植物	分類名	トクサ科 <i>Equisetum arvense</i> L.
スギノハナ		分類名・季節	
スギノミ		分類名・季節	
スグリ	落葉低木	分類名	ユキノシタ科 <i>Ribes sinanense</i> F. Maekawa
スグリノミ		分類名・季節	
スグロノスキ		分類名・情景 末黒のススキ(スエグロとは読まない)野焼きで春の芽が黒く焼けているススキの様子、黒生の芒、焼け野の芒ともいう	
スズカケ	落葉高木花春	園芸作物名 スズカケノキ	スズカケノキ科 <i>Platanus orientalis</i> L. 小アジア原産
スズカケソウ	夏緑多年草紫花秋	分類名	ゴマノハグサ科 <i>Veronicastrum villosulum</i> (Miq.) Yamazaki
スズカケノハナ		園芸作物名・季節 コデマリ	別名
ススキ	夏緑多年草花秋	分類名	イネ科 <i>Miscanthus sinensis</i> Anderss.
ススキチル		分類名・季節	
スズシロ		園芸作物名 ダイコンの別称	
スズナ	蕪	園芸作物名(かぶ)	
スズノ		一般名・季節 篠の子(スズタケの竹の子、笹の子、入梅前後に出る)	
スズメカクレ		情景 雀隠、スズメカクレ、春に草が伸び出して雀が隠れるようになった季節をいう	
スズメノカタビラ	一年草 越年草	分類名 庭の雑草	イネ科 <i>Poa annua</i> L.
スズメノテッポウ	一年草、越年草	分類名 水田の雑草	イネ科 <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol.
スズメノヒエ	夏緑多年草	分類名 路傍の雑草	イネ科 <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth
スズラン	夏緑多年草白花春有毒	分類名	ユリ科 <i>Convallaria keiskei</i> Miq.
ストケシア		園芸作物名	キク科、北米産、一属一種 <i>Stokesia laevis</i> (J.Hill) Greene
スノキ	落葉低木	分類名	ツツジ科 <i>Vaccinium smallii</i> A.Gray var. <i>glabrum</i> Koidz.
スノーフレーク	夏緑多年草	園芸作物名	ヒガンバナ科、南部欧州産 <i>Leucojum aestivum</i> L.
スハマソウ	夏緑多年草花春	分類名	キンポウゲ科 <i>Hepatica nobilis</i> Schreber forma <i>variegata</i> (Makino) Kitam.
スベリヒユ	一年草	分類名 畑の雑草	スベリヒユ科 <i>Portulaca oleracea</i> L.
スミ	落葉小高木白花春	分類名	バラ科 <i>Malus sieboldii</i> Rehd.
スミノハナ		分類名・季節	
スミレ		一般名	
スモモ	落葉小高木白花春	園芸作物名	バラ科 <i>Prunus salicina</i> Lindl.
スモモノハナ		園芸作物名・季節	
セイヨウキツタ	常緑つる	園芸作物名	ウコギ科 <i>Hedera helix</i> L. ヨーロッパ他原産
セイヨウトチノキ	落葉高木	園芸作物名	トチノキ科、欧州南部産 <i>Aesculus hippocastanum</i> L.
セイヨウハコヤナ	落葉高木	園芸作物名	ヤナギ科、原産地不明 <i>Populus nigra</i> L. var. <i>italica</i> Koehne
セイヨウミザクラ	落葉高木	園芸作物名	バラ科、欧州他産 <i>Prunus avium</i> L.
セキショウ	常緑多年草黄色小花春	分類名	サトイモ科 <i>Acorus gramineus</i> Soland
セキチク	多年草	園芸作物名	ナデシコ科、中国産 <i>Dianthus chinensis</i> L.
セッコク	多年草、着生	分類名	ラン科 <i>Dendrobium moniliforme</i> (L.) Sw.
セッコクノハナ	初夏白花	分類名・季節	
セツブンソウ	球根、多年草	分類名	キンポウゲ科 <i>Eranthis pinnatifida</i> Maxim.
セミダケ	菌類	分類名	バツカクキン科 <i>Cordyceps prolifica</i> Kobayashi
セリ	小型夏緑多年草、水辺、可食	分類名	セリ科 <i>Oenanthe javanica</i> (Bl.) DC.
セリノハナ	白花夏	分類名・季節	
セルリー	一〜二年草	園芸作物名 別名セロリ、オランダミツバ	セリ科 <i>Apium graveolens</i> L. var. <i>dulce</i> DC. 欧州原産
センノウゲ		分類名 仙翁花で、フシグロセンノウの別称	
センキュウ	夏緑多年草、葉草	園芸作物名	セリ科 <i>Cnidium officinale</i> Makino 中国原産
センキュウノハナ		園芸作物名・季節	
センダイハギ	夏緑多年草黄色花夏	分類名	マメ科 <i>Thermopsis lupinoides</i> (L.) Link
センダン	落葉高木	分類名	センダン科 <i>Melia azedarach</i> L.
センダンノミ		分類名・季節	
センニチソウ	一年草	園芸作物名 センニチコウ	ヒコ科 <i>Gomphrena globosa</i> L. 南アメリカ原産
センブリ	一〜二年草 葉草	分類名	リンドウ科 <i>Ophelia japonica</i> (Schult.) Griseb.
ゼンマイ	多年性シダ植物	分類名	ゼンマイ科 <i>Osmunda japonica</i> Thunb.
ゼンリョウ	常緑低木	分類名・園芸作物名	ゼンリョウ科 <i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai
ゾウキモミジ		情景 雑木紅葉	
ゾウバイ		園芸作物名 早梅(早咲きの梅)	
ソテツ	常緑小高木	分類名・園芸作物名	ソテツ科 <i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ソテツノハナ		分類名・季節	
ソバ	一年草	農作物名	タデ科、東アジア北東産 <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench.
ソバノハナ	白花夏	農作物名・季節	
ソラマメ	一〜二年草	農作物名	マメ科、アフリカ産?、起源は古い <i>Vicia faba</i> L.
ソラマメノハナ		農作物名・季節	
ダーリヤ	球根、多年草	園芸作物名 ダリアの別名	キク科、メキシコ産 <i>Dahlia pinnata</i> Cav.
ダイコン	大根	園芸作物名	アブラナ科、アジア産、古くから栽培 <i>Raphanus sativus</i> L.
ダイコンノハナ		園芸作物名・季節	
タイザンボク	常緑高木大白花春有香	園芸作物名	モクレン科、北米産 <i>Magnolia grandiflora</i> L.
タイザンボクノハ		園芸作物名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ダイズ	一年草・大豆	農作物名	マメ科、中国産? <i>Glycine max</i> (L.) Merrill
ダイダイ	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科、インド?東南アジア?産 <i>Citrus aurantium</i> L.
ダイダイノハナ		園芸作物名・季節	
タイマ	1年草、繊維作物、麻薬	農作物名	アサ科、中央アジア産 <i>Cannabis sativa</i> L.
ダイモンジソウ	岩上、多年草白花秋	分類名	ユキノシタ科 <i>Saxifraga fortunei</i> Hook. f. var. <i>incislobata</i> (Engl. et Irmsh.) Nakai
タウエバナ		一般名・季節 田植えの季節に咲く花各種	
タウコギ	一年草、水田雑草	分類名	キク科 <i>Bidens tripartita</i> L.
タカサゴソウ	多年草	分類名	キク科 <i>Ikeris chinensis</i> (Thunb.) Nakai subsp. <i>strigosa</i> (Level. et Vant.) Kitam.
タカナ		園芸作物名	アブラナ科、中国産 <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern. et Coss. var. <i>integrifolia</i> (Stockes) Sinsk.
タガラシ		特定不能	キンポウゲ科とアブラナ科にある
タケニグサ	大型多年草	分類名	ケシ科 <i>Macleaya cordata</i> (L.) R. Br.
タケノアキ		一般名・季節 春の終わり頃、黄色く色付く竹の葉	
タケノオチバ		一般名・季節 篠の子(スズタケの竹の子、笹の子、入梅前後に出る)	
タケノカワヌグ		一般名・季節	
タケノコ		一般名・季節	
タケノハナ		一般名・季節	
タケノハル		一般名・季節	
タケノミ		一般名・季節	
タチシノブ	シダ植物	分類名	ホウライシダ科 <i>Onychium japonicum</i> (Thunb.) Kunze
タチバナ		特定不能	ミカン科とヤブコウジ科にある
タツナミソウ	夏緑多年草紫花春	分類名	シソ科 <i>Scutellaria indica</i> L.
タテ		一般名	
タテノハナ		一般名・季節	
タチバナモドキ	常緑低木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Pyracantha angustifolia</i> Schneid.
タネイモ		一般名 種芋	
タネツケバナ	越年草小白花春	分類名 水田雑草	アブラナ科 <i>Cardamine flexuosa</i> With.
タネナス		一般名 種茄子	
タネフクベ		一般名 種フクベ	
タバコ	一年草	園芸作物名 煙草	ナス科、南米産、雑種起源 <i>Nicotiana tabacum</i> L.
タバコノハナ		園芸作物名・季節	
タブノキ	常緑高木大	分類名	クスノキ科 <i>Mchilus thunbergii</i> Siebold et Zucc.
タブノミ		分類名・季節	
タマギボウシ		園芸作物名 タマノカンザシの別名	ユリ科 <i>Hosta plataginea</i> (Lam.) Acsh var. <i>japonica</i> Kikuchi et F. Maek.
タマズダレ	夏緑多年草白花秋	園芸作物名	ヒガンバナ科、アルゼンチン産 <i>Zephyranthes candida</i> (Lindl.) Herb.
タマズダレノハナ		園芸作物名・季節	
タマネギ		園芸作物名	ユリ科、中央アジア産 <i>Allium cepa</i> L.
タマノカンザシ	夏緑多年草	園芸作物名	ユリ科 <i>Hosta plantaginea</i> Aschers. var. <i>japonica</i> Kikuchi et F. Maekawa
タママクラン		園芸作物名・季節	
タママクズ		分類名・季節 葛の新葉が玉のように巻く様子	
タママクハシヨウ		園芸作物名・季節 堅く巻いた芭蕉の新葉	
タマミズキ	落葉高木	分類名	<i>Ilex micrococca</i> Maxim.
タムラソウ	夏緑多年草赤紫花秋	分類名	キク科 <i>Serratula coronata</i> L. subsp. <i>insularis</i> (Ilijin) Kitam.
タモノミ		特定不能 タモノミ?シロタモ、タブノキなどらしいが確定できない	
タラノキ	落葉低木	分類名	ウコギ科 <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.
タラノハナ		分類名・季節	
タンドク		園芸作物名	カンナ科、インド他産 <i>Canna indica</i> L. var. <i>orientalis</i> Hook.
タンポポ		一般名	
チ		分類名	
チガヤ	夏緑多年草花白穂初夏	分類名 チガヤの別名	
チギタリス		園芸作物名 ジギタリス	イネ科 <i>Imperata cylindrica</i> Beauv.
チヨクリ	夏緑多年草小白花春	分類名	ゴマノハグサ科、欧州産 <i>Digitalis purpurea</i> L.
チシャ		園芸作物名 レタス	ユリ科 <i>Disporum smilacinum</i> A. Gray
チヤノハナ		園芸作物名・季節	キク科 <i>Lactuca sativa</i> L. ヨーロッパ原産
チチコグサ	多年草路傍雑草	分類名	キク科 <i>Gnaphalium japonicum</i> Thunb.
チドリソウ		特定不能	ラン科のテガタチドリとキンポウゲ科のヒエンソウの別名
チヤ	常緑低木	園芸作物名	ツバキ科 <i>Camellia sinensis</i> (L.) O. Kuntze 中国原産
チヤノハナ		園芸作物名・季節	
チヤラン	常緑低木	園芸作物名	ゼンリョウ科、中国産 <i>Chloranthus spicatus</i> (Thunb.) Makino
チャルメルソウ	多年草	分類名	ユキノシタ科 <i>Mitella furusei</i> Ohwi var. <i>subramosa</i>
チュウリップ	夏緑多年草花春	園芸作物名	ユリ科、トルコ産 <i>Tulipa gesneriana</i> L.
チョウジソウ	多年草藍青花春	分類名	キョウチクトウ科 <i>Amsonia elliptica</i> Roem. et Schult.
チョウシュンカ		園芸作物名(コウシンバラの別名、長春花)	バラ科、中国産 <i>Rosa chinensis</i> Jacq.
チョウセンアサガ	一年草	園芸作物名	ナス科、インド産 <i>Datura metel</i> L.
チョロギ	多年草	園芸作物名 地下塊茎食用	シソ科、中国産 <i>Stachys sieboldii</i> Miq.
ツギミソウ	二年草	分類名	アカバナ科、メキシコ産 <i>Oenothera tetraoptera</i> Cav.
ツクシ	シダ植物	分類名 スギナの胞子茎	
ツクネイモ		園芸作物名	ナガイモの栽培品種、ヤマノイモ科、中国産、いもが塊茎 <i>Dioscorea opposita</i> Thunb. cv.
ツクバネ	半寄生落葉低木	分類名	ビャクダン科 <i>Buckleya lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.
ツクバネノハナ		分類名・季節	
ツクバネソウ	多年草	分類名	ユリ科 <i>Paris tetraphylla</i> A. Gray
ツクバネソウノハ	夏緑色	分類名・季節	
ツクバネアサガオ	多年草	園芸作物名 一年草として栽培	ナス科、南米産 <i>Petunia hybrida</i> Vilm.
ツゲ	常緑低木	分類名	ツゲ科 <i>Buxus microphylla</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonica</i> (Muell. Arg.) rehd. et Wils.
ツゲノハナ	淡黄色小花早春	分類名・季節	
ツタ	落葉つる	分類名	ブドウ科 <i>Parthenocissus tricuspidata</i> Planch.
ツタノメ		分類名・季節	
ツタノワカバ		分類名・季節	
ツチバリ		特定不能	ツクバネソウ説は否定され、ほかの名前はどの植物が分からない
ツツジ		一般名	
ツツラフジ	落葉木つる	分類名	ツツラフジ科 <i>Sinomenium acutum</i> (Thunb.) Rehd. et Wils.
ツナノ		農作物名 黄麻、インドアサ、ジュート	シナノキ科、中国産 <i>Corchorus capsularia</i> L.
ツノクムオギ		一般名・季節 角ぐむ荻(荻や薄が角のような芽をだす様)	
ツノマタ	海藻	分類名	スギノリ科 <i>Chondrus ocellatus</i> Holmes
ツバキ	常緑小高木	分類名	ツバキ科 <i>Camellia japonica</i> L.
ツバキノミ		分類名・季節	
ツバナ		分類名 チガヤの別名	
ツハ		分類名 ツバノキの別称	
ツハノハナ		分類名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ツママ		分類名(タフノキの古名)	
ツメレンゲ	多年草	分類名	ベンケイソウ科 <i>Orostachys japonicus</i> (Maxim.) Berger
ツユクサ	一年草	分類名	ツユクサ科 <i>Commelina communis</i> L.
ツユダケ		一般名(梅雨茸)	
ツリガネニンジン	多年草花夏	分類名	キキョウ科 <i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H. Hara
ツリフネソウ	一年草赤花秋	分類名	ツリフネソウ科 <i>Impatiens textori</i> Miq.
ツルウメモドキ	落葉つる赤果実晩秋	分類名	ニシキギ科 <i>Cerastrum orbiculatus</i> Thunb.
ツルウメモドキノハナ		分類名・季節	
ツルナ	常緑多年草	分類名	ツルナ科 <i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) O. Kuntze.
デイコ	落葉高木花赤	園芸作物名 デイコ	マメ科 <i>Erythrina variegata</i> L. 熱帯東南アジア原産
テイレギ		方言名	オオバタネツケバナの四国の松山の呼称
テッセンカ	落葉つる	園芸作物名	キンポウゲ科、中国産 <i>Clematis florida</i> Thunb. テッセンは <i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. subsp. <i>macrophylla</i> f. <i>macrophylla</i>
テマリバナ	落葉低木	園芸作物名 アジサイの別名	
テリハ		一般名 照葉、秋の陽光に照り輝く紅葉	
テングサ	海藻	一般名	テングサ科、日本約20種、マクサ <i>Gelidium masnii</i> Lamour. のことが多い。
テンサイ	夏緑2年生	農作物名	アカザ科 <i>Beta vulgaris</i> L. var. <i>flavescens</i> (Lam.) Lam. ヨーロッパ原産
テンジクアオイ	多年草	園芸作物名	フウロソウ科 <i>Pelargonium</i> × <i>hortorum</i> Bailey
テンツキ	草本	分類名	カヤツリグサ科 <i>fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl
テンナンショウ		一般名	
テンナンショウノハナ		一般名・季節	
テンモンドウ		分類名 クサスギカズラの別名	
テンモンドウノハ	うす黄緑夏	分類名・季節	
ドウガラシ	一年草	農作物名	ナス科、北米南部産 <i>Capsicum annuum</i> L.
ドウガラシノハナ	白小花	農作物名・季節	
ドウガン	一年草	園芸作物名	ウリ科、東南アジア産? <i>Benincasa hispida</i> (Thunb.) Cogn.
ドウカンソウ		園芸作物名	ナデシコ科、南欧州産 <i>Vaccaria pyramidata</i> Medic.
トウキ	夏緑多年草	分類名 薬用	セリ科 <i>Angelica acutiloba</i> (Siebold et Zucc.) Kitagawa
トウキビ		農作物名(トウモロコシの別名)	
トウコマ	一年草	農作物名 ヒマ	トウダイグサ科、エチオピア産 <i>Ricinus communis</i> L.
トウダイグサ	越年草	分類名 路傍雑草	トウダイグサ科 <i>Euphorbia helioscopia</i> L.
トウダンノハナ		分類名・季節 トウダンツツジの花	
トウダンモミジ		分類名・季節 トウダンツツジの紅葉	
トウモロコシ	一年草	農作物名	イネ科 <i>Zea major</i> L. 南アメリカ原産
トウモロコシノハ		農作物名・季節	
トキウキノオチバ		一般名 常緑樹の落ち葉	
トキウススキ	大型常緑多年草	分類名	イネ科 <i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb.
ドクウツギ	落葉低木	分類名	ドクウツギ科 <i>Conaria japonica</i> A. Gray
ドクウツギノハナ		分類名・季節	
ドクサ	常緑シダ植物	分類名	ドクサ科 <i>Equisetum hyemale</i> L.
ドクダケ		毒茸(一般名)	
ドクダミ	夏緑多年草	分類名	ドクダミ科 <i>Houttuynia cordata</i> Thunb.
ドケイソウ	つる草	園芸作物名	ドケイソウ科、ブラジル産 <i>Passiflora caerulea</i> L.
ドコナツ		園芸作物名	トウナデシコの品種名
ドコロ		分類名(オニドコロの別名)	
ドサカリ	海藻	分類名	ミリン科 <i>Meristotheca papulosa</i> (Montagne) J. Agardh
ドサミズキ	落葉低木黄色花早春	分類名・園芸作物名	マンサク科 <i>Corylopsis spicata</i> Siebold et Zucc.
トチノキ	落葉高木	分類名	トチノキ科 <i>Aesculus turbinata</i> Bl.
トチノハナ		分類名・季節	
トチノミ		分類名・季節	
トベラ	常緑低木花初夏	分類名	トベラ科 <i>Pittosporum tobira</i> (Thunb. ex Murray) Aiton
トベラノハナ		分類名・季節	
トベラノミ		分類名・季節	
トマト	一年草	園芸作物名	ナス科、南米産 <i>Lycopersicon esculentum</i> L.
トモエクス	分類名 トモエソウ巴草の意味と思う		オトギリソウ科 <i>Hypericum ascyron</i> L.
トモエソウ	夏緑多年草黄色花春〜夏	分類名	オトギリソウ科 <i>Hypericum ascyron</i> L.
ドヨウメ		一般名 土用の芽	
ドラノオ		分類名 クガイソウの別名	
トリカブト		一般名 キンポウゲ科、種数多い	
トリトマ	春植耐寒性多年草	園芸作物名	ユリ科、アフリカ産 雑種起源 <i>Knifofia hybrida</i> Hort
トレニア	夏緑1年草	園芸作物名	ゴマノハグサ科、インドシナ産 <i>Torenia fourieri</i> Lindl. 別名 ハナウリクサ
トロロアオイ	夏緑多年草	園芸作物名	アオイ科、中国産 <i>Abelmoschus manihot</i> (L.) Medic.
ドングリ		一般名	
ナエシロイチゴ		誤用	ナワシロイチゴが正しい
ナエシログミ		誤用	ナワシログミが正しい
ナエシログミノハ		分類名・季節	
ナワシロイチゴ	落葉低木花春	分類名	バラ科 <i>Rubus parvifolius</i> L.
ナワシログミ	常緑低木花秋	分類名	グミ科 <i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.
ナガイモ	夏緑多年草	農作物名	ヤマノイモ科、中国産 <i>Dioscorea opposita</i> Dennst.
ナカテ		一般名 中手	
ナカヌキダイコン		一般名 中抜き大根、多くの中から引き抜いた大根	
ナゴラン	常緑多年草淡緑白花夏	分類名	ラン科 <i>sedirea japonica</i> Garay et Sweet
ナシ		園芸作物名	バラ科 <i>Pyrus pyrifolia</i> (Burm.f.) Nakai
ナシノハナ	落葉小高木白花春	園芸作物名・季節	
ナスナ	越年草白小花春	分類名	アブラナ科 <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medic.
ナスナノハナ		分類名・季節	
ナス	夏緑1年草	園芸作物名	ナス科、インド産 <i>Solanum melongena</i> L.
ナスナエ		園芸作物名・季節 茄子の苗	
ナスノハナ		園芸作物名・季節	
ナスビ		園芸作物名 ナスの別名	
ナタマメ	多年草	園芸作物名	マメ科、熱帯アジア産 <i>Canavalia gladiata</i> (Jacq.) DC.
ナツアサガオ		園芸作物名・季節	
ナツアザミ		一般名・季節 夏薊	
ナツカブ		園芸作物名 季節 夏蕪	
ナツキク		園芸作物名・季節 夏菊	
ナツクサ		一般名 夏草	
ナツグミ	落葉小高木花春〜初夏	分類名	グミ科 <i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb.
ナツクワ		園芸作物名・季節 夏桑、養蚕のために栽培する桑	
ナツコダチ		情景	
ナツスイセン		誤用 ナツスイセンが正しい	
ナツスイセン	球根性多年草桃色花夏	園芸作物名	ヒガンバナ科、自生疑問 <i>Lycoris squamigera</i> Maxim.
ナツダイコン		園芸作物名・季節 夏に収穫する大根	
ナツツバキ	落葉高木白花夏	分類名	ツバキ科 <i>Swertia pseudo-camellia</i> Maxim.



植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ナツナ		一般名 夏の菜	
ナツネギ		園芸作物名・季節 夏葱	
ナツハギ		特定不能	ミヤギノハギの別名であるが、俳句では夏に開花する萩類の意味もある <i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai
ナツフジ	落葉低木つる性	分類名	マメ科 <i>Millettia japonica</i> (Siebold et Zucc.) A. Gray
ナツマメ		特定不能 夏に収穫する大豆(枝豆ともいう)と別種のソラマメをいう	
ナツミカン	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科、熱帯アジア産、雑種起源 <i>Citrus natsudaikai</i>
ナツミカンノハナ		園芸作物名・季節	
ナツメ	落葉高木	園芸作物名	クロウメモドキ科、中国産 <i>Ziziphus ujuba</i> Mill.
ナツメノハナ		園芸作物名・季節	
ナツメノミ		園芸作物名・季節	
ナツヤナギ		一般名・季節 夏の柳	
ナツユキソウ	夏緑多年草	園芸作物名	バラ科、雑種起源、日本。キョウガノコの白花 <i>Fullpendula purpurea</i> Maxim. var. <i>albiflora</i> Makino
ナツヨモギ		分類名・季節 夏に伸びた蓬	
ナツワラビ		分類名・季節 夏に伸びた	
ナデシコ		一般名	
ナナカマド	落葉小高木白花初夏	分類名	バラ科 <i>Sorbus commixta</i> Hedl.
ナノキカレル		情景 名木枯れる、名木が枯れる	
ナノキチル		情景 名木散る	
ナノクサカレル		情景 名草枯れる	
ナ		一般名 菜類	
ナノハナ		農作物名・季節	
ナノリソ		分類名 ホンダワラの古名、海藻	
ナマクルミ		一般名・季節 若い胡桃の果実、オニグルミ、ヒメグルミを区別しない	
ナメコ	菌類	分類名 茸類	モエキタケ科 <i>Pholiota nemeko</i> (T.Ito) S. Ito et Imai
ナラ		一般名 ミスナラ、コナラ類の総称	
ナラノミ		一般名・季節	
ナリヒラダケ	中型の竹	園芸作物名 葉平竹	
ナルトカン	常緑小高木	園芸作物名	イネ科 <i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitf.) Makino
ナウシログミ	常緑低木花初秋	分類名	ミカン科、ナルトミカンの別名、淡路島特産 <i>Citrus medioglobosa</i> Hort. ex Tanaka
ナンテン	落葉低木花夏	園芸作物名	グミ科 <i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.
ナンテンノハナ		園芸作物名・季節	
ナンテンノミ		園芸作物名・季節	
ナンバンギセル	寄生植物秋淡紫花	分類名	ハマウツボ科 <i>Aeginetia indica</i> L.
ニオイシミレ	夏緑	分類名	スミレ科、欧州産 <i>Viola odorata</i> L.
ニシキギ	落葉低木	分類名	ニシキギ科 <i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold
ニシキギノハナ		分類名・季節	
ニシキグサ		特定不能 分類名のニシキソウ以外に葉鶏頭、カエデの意味がある。	
ニシキゴロモ	夏緑多年草淡紫花春	分類名	シソ科 <i>Ajuga yezoensis</i> Maxim.
ニシキフジツツギ	落葉低木	園芸作物名	フジツツギ科、中国産 <i>Buddleja davidii</i> Franch.
ニチニチソウ	木本状多年草紫花春	園芸作物名	キョウチクトウ科、マダガスカル産 <i>Vinca rosea</i> L.
ニラ	球根性多年草白小花秋	園芸作物名	ユリ科、東アジア産 <i>Allium tuberosum</i> Rottl. ex Spreng.
ニラノハナ		園芸作物名・季節	
ニリソウ	夏緑多年草白小花春	分類名	キンボウゲ科 <i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm.
ニワウメ	落葉低木	園芸作物名	バラ科、中国産、古く渡来 <i>Prunus japonica</i> Thunb.
ニワウメノハナ		園芸作物名・季節	
ニワウルシ		分類名 シンジュの別名	
ニワセキショウ	帰化多年草	分類名 (ニワセキショウの意味と思う)	アヤメ科、北米産、帰化 <i>Sisyrinchium atlanticum</i> Bicknell
ニワトコ	落葉低木	分類名	スイカズラ科 <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara
ニワトコノハナ		分類名・季節	
ニワフジ	つる性落葉低木	分類名	マメ科 <i>Indigofera decora</i> Lindl.
ニワヤナギ		分類名 ミチヤナギの別名	
ニンジン		園芸作物名	セリ科、アフガニスタン産 <i>Daucus carota</i> L.
ニンジンノハナ		園芸作物名・季節	
ニンニク	球根性多年草	園芸作物名	ユリ科、中央アジア産? <i>Allium sativum</i> L.
ニンニクノハナ		園芸作物名・季節	
ヌナワオウ		分類名・季節 沼纏(ジュンサイの別名)が生えるの意味、春	スズメ科 <i>Brasenia shreberi</i> Gmel.
ヌメリグサ	一年草	分類名	イネ科 <i>Sacciolepis indica</i> (L.) Chase subsp. <i>oryzeterum</i> (Makino) T. Kyamaa
ヌルデ	落葉小高木	分類名	ウルシ科 <i>Rhus chinensis</i> Mill.
ヌルデモミジ		分類名・季節	
ネイモ		園芸作物名・季節 根芋、スイキと読む、サトイモの葉柄	サトイモ科 <i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
ネーブル	常緑小高木	園芸作物名 ネーブルオレンジ	ミカン科、スイートオレンジ ( <i>Citrus sinensis</i> Osbeck) の園芸的な系統 (var. <i>brasiliensis</i> Tanaka) 種はインド原産、品種はブラジルで枝変わりとして見出された
ネギ		園芸作物名	ユリ科、中央アジア産 <i>Allium fistulosum</i> L.
ネギノギボ		園芸作物名・季節 葱の擬室、葱坊主、ネギの花序	
ネコノメウ	夏緑多年草	分類名	ユキノシタ科 <i>Chrysosplenium gravalanum</i> Maxim.
ネコヤナギ	落葉低木	分類名	ヤナギ科 <i>Salix gracilistyla</i> Miq.
ネジリバナ	夏緑多年草桃色小花夏	分類名 ネジバナ	ラン科 <i>Spiranthes sinensis</i> Ames. var. <i>amoena</i> H.Hara
ネジロクサ		分類名 セリの別称	
ネズミタケ	菌類	分類名 ホウキタケの別名	
ネズミノオ	一年草	分類名	イネ科 <i>Sporobolus indicus</i> (L.) R. Br. var. <i>purpureo-suffusus</i> (Ohwi) T. Koyama
ネズミモチ	常緑小高木	分類名	モクセイ科 <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.
ネズミモチノハナ	白小花初夏	分類名・季節	
ネズミモチノミ	秋黒色	分類名・季節	
ネチアヤメ	夏緑多年草	園芸作物名 ネチアヤメ	アヤメ科、中央アジア産 <i>Iris lactea</i> Pall.
ネムヒグサ		一般名 子の日草 正月の子の日に引く小松	
ネム	落葉高木桃色花夏	分類名 ネムノキ	マメ科 <i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
ネムノハナ		分類名・季節	
ネムノミ		分類名・季節	
ネムモミジ		分類名・季節 ネムノキの紅葉	
ネメシア		特定不能 園芸作物	ゴマノハグサ科、アフリカ産 <i>Nemesia</i> 属、約60種ある
ノイバラ	落葉低木白花初夏	分類名	バラ科 <i>Rosa multiflora</i> Thunb.
ノウルシ	夏緑多年草	分類名	トウダイグサ科 <i>Euphorbia adenochlora</i> Morr. et Decne.
ノオゼンカズラ	夏緑つる	園芸作物名 ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ科、中国産 <i>Campsis grandiflora</i> (Thunb.) K. Schum.
ノギク		一般名 野菊	
ノコギリソウ	夏緑多年草白花夏	分類名	キク科 <i>Achillea alpina</i> L.
ノジギク	夏緑多年草白花秋海岸性	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum occidentalojaponense</i> (Kitam.) Kitam.
ノダイコン		園芸作物名 野生化した大根	

植物学名	特徴	分類学的考察	分類名
ノビエ		一般名 野稗、野生の種類の総称	
ノビル	球根性夏緑多年草花春	分類名	ユリ科 <i>Allium grayi</i> Regel
ノビルノハナ		分類名・季節	
ノブドウ	つる性落葉低木	分類名	ブドウ科 <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv.
ノボタン	常緑低木	分類名(園芸作物名)	ノボタン科、奄美以南に自生 <i>Melastoma candidum</i> D.Don
ノミノフスマ	越年草白小花春	分類名	ナデシコ科 <i>Stellaria alsine</i> Grimm var. <i>undulata</i> (Thunb.)
ノリ		一般名 海苔	
ノリウツギ	落葉小高木花白夏	分類名	ユキノシタ科 <i>Hydrangea paniculata</i> Sieb.
ノイモ	球根性多年草花春	園芸作物名	ユリ科 <i>Fritillaria thunbergii</i> Miq. 中国原産
ノイモノハナ		園芸作物名・季節	
ノエトリソウ	多年草	園芸作物名(ハエトリグサ)	モウセンゴケ科、北米産 <i>Dionaea muscipula</i> Ellis
ハギ		一般名	
ハギノミ		一般名・季節	
ハギノワカバ		一般名・季節	
ハウサイ		園芸作物名	アブラナ科、中国産 <i>Brassica rapa</i> L. var. <i>amplexicaule</i> Tanaka et Ono subvar. <i>pe-tsai</i> (L.H.Bailey) Kitam.
ハウサンイチゲ	夏緑多年草白夏	分類名 高山植物	キンポウゲ科 <i>Anemone narcissiflora</i> L. var. <i>nipponica</i>
ハウチヨウゲ	常緑低木白夏	園芸作物名	アカネ科、中国産 <i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb.
ハゲイトウ	夏緑1年草	園芸作物名	ヒコ科、インド産 <i>Amaranthus tricolor</i> L. subsp. <i>Tricolor</i>
ハコネウツギ	落葉小高木	分類名	スイカズラ科 <i>Weigela coraeensis</i> Thunb.
ハコベ	越年草白小花春	分類名 路傍雑草	ナデシコ科 <i>Stellaria media</i> (L.) Villars
ハザクラ		一般名・季節 葉桜	
ハシバミ	落葉低木	分類名	カバノキ科 <i>Corylus heterophylla</i> Fisch.
ハシバミノハナ		分類名・季節	
ハシバミノミ		分類名・季節	
ハシウ	常緑草本	園芸作物名	バショウ科、中国産 <i>Musa basjoo</i> Siebold et Zucc.
ハシウノハナ		園芸作物名・季節	
ハス	多年草水生	園芸作物名	ハス科、ユーラシア大陸産 <i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn.
ハスノウキハ		園芸作物名 蓮浮き葉	
ハスノハ		園芸作物名・季節	
ハスノミ		園芸作物名・季節	
ハスノワカネ		園芸作物名・季節	
ハゼ	落葉小高木	分類名 ハゼノキ	ウルシ科 <i>Rhus succedanea</i> L.
ハゼノハナ		分類名・季節	
ハゼノミ		分類名・季節	
ハゼモミジ		分類名・季節	
ハセリ	二年草～多年草	園芸作物名	セリ科、地中海沿岸産 <i>Petroselinum crispum</i> (Mill.) Nym. ex A.W.Hill.
ハタザオ	越年草白小花春	分類名	アブラナ科 <i>Arabis glabra</i> (L.) Bernh.
ハタザオノハナ		分類名・季節	
ハタンキョウ	落葉小高木	園芸作物名 アーモンド、ヘントウ	バラ科、アジア西部産 <i>Prunus dulcis</i> (Mill.) D.A.Webb
ハタンキョウノハ		園芸作物名・季節	
ハッカ	多年草	分類名	シソ科 <i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinv.
ハッカノハナ		分類名・季節	
ハツサクカン	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科、日本特産 <i>Citrus hassaku</i> Hort. ex Tanaka
ハツサクバイ		園芸作物名 角川では中国産の梅の品種「八朔梅」とある	
ハツサクラ		一般名 初桜	
ハツタケ	菌類	分類名 食用	ベニタケ科 <i>Lactarius hatsudake</i> Tanaka
ハツハナ		一般名 初花	
ハツモミジ		一般名	
ハトムギ	一年草花夏	園芸作物名	イネ科、東南アジア産 <i>Coix lachryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.) Stapf
ハナ		一般名 花	
ハナアマ		園芸作物名 ベニバナアマの別称	
ハナイカタ	落葉低木緑色小花初夏	分類名	ミズキ科 <i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F.G.Dietr.
ハナカンザシ	一年草	園芸作物名	キク科 <i>Helipterum roseum</i> (Hook.) Benth. オーストラリア原産
ハナキンポウゲ	多年草花春様々	園芸作物名	キンポウゲ科、欧州・南西アジア産 <i>Ranunculus asiaticum</i>
ハナショウブ	多年草花初夏様々	園芸作物名	アヤメ科 <i>Iris ensata</i> Thunb. 日本でハナショウブから改良された
ハナスオウ	落葉小高木花春	園芸作物名	マメ科、中国産 <i>Cercis chinensis</i> Bunge
ハナタチバナ		一般名 蜜柑類の花の総称	
ハナツクハネウツギ	常緑低木	園芸作物名	スイカズラ科、交配でできた <i>Abelis × grandiflora</i> (Andre) Rehd.
ハナツメクサ		園芸作物名 シバザクラの別名	
バナナ		特定不能	原種はバショウ科、インド、東南アジア産 <i>Musa acuminata</i> Collaだが交配や多数の野生種が関与
ハナピシソウ	一年草花初夏	園芸作物名	ケシ科、北米産 <i>Eschscholzia californica</i> Cham.
ハナミヨウガ	常緑草本花春	分類名	シヨウガ科 <i>Alpinia japonica</i> Miq.
ハナムラサキ		分類名 ムラサキの別称、花紫	
ハナヤサイ		園芸作物名 カリフラワーの別名	
ハバイヤ		園芸作物名	パパイヤ科、南米産 <i>Carica papaya</i> L.
ハバコクサ	越年草黄色小花春	分類名	キク科 <i>Gnaphalium affine</i> D.Don
ハバソ		分類名 コナラの別名	
ハボタン		園芸作物名	アブラナ科、欧州産 <i>Brassica oleracea</i> L. var. <i>acephala</i> DC.
ハマウツボ	寄生植物秋淡紫花	分類名	ハマウツボ科 <i>Orobanche coerulescens</i> Stephan
ハマエンドウ	多年草赤紫花初夏	分類名 海岸植物	マメ科
ハマオモト	多年草白夏	分類名 海岸植物	
ハマカンザシ		特定不能	ヒガンバナ科 <i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker
ハマギク	多年草白夏	分類名	ハマカンザシ属、種名はない、イソマツ科 <i>Armeria</i> spp.
ハマスケ	多年草	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum nipponicum</i> (Fr. ex Maxim.)
ハマダイコン	越年草花春	分類名	カヤツリグサ科 <i>Cyperus rotundus</i> L.
ハマダイコンノハ		分類名・季節	アブラナ科 <i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>raphanostroides</i>
ハマナス	落葉低木花夏	分類名 海岸植物	バラ科 <i>Rosa rugosa</i> L.
ハマヒルガオ	多年草赤紫花夏	分類名 海岸植物	ヒルガオ科 <i>Calystegia soldanella</i> (L.) Roem. et Schult.
ハマボウフウ	多年草	分類名 海岸植物	セリ科 <i>Glehnia littoralis</i> Fr. Schm.
ハマユウ		分類名 ハマオモトの別名	
ハマユウノハナ		の花(分類名・季節)	
ハマユウノミ		の葉(分類名・季節)	
ハヤトリ		園芸作物名	ウリ科、南米産 <i>Sechium edule</i> (Jacq.) Swartz
ハヤナギ		一般名 葉柳	
ハヤマツタケ		分類名・季節	
ハラ		一般名 藪薺	
ハラノメ		一般名・季節	
ハラタケ	菌類	一般名(はりたけ科)	
ハルガヤ	多年草	分類名 元来は牧草、帰化	イネ科 <i>Anthoxanthum odoratum</i> L.
ハルシタケ		分類名・季節 春椎茸	
ハルシヤギク	一年草花夏	園芸作物名	キク科、北米産 <i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.
ハルダイコン		園芸作物名・季節 春大根	
ハルタケノコ		園芸汚名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ハルカタデ	一年草	分類名	タデ科 <i>Persicaria vulgaris</i> Webb et Moq.
ハルナ		一般名 春菜	
ハルノイチゴ		園芸作物名・季節 春の苺	
ハルノオチバ		一般名・季節 春の落ち葉	
ハルノクサ		一般名・季節 春の草	
ハルノフキ		分類名・季節	
ハルノミカン		園芸作物名・季節	
ハルノリンドウ	越年草青紫花春	分類名	リンドウ科 <i>Gentiana thunbergii</i> (G.Don) Griseb.
ハレイショウ		農作物名 馬鈴薯 ハレイショ、ジャガイモの別名	
ハンガイソウ	多年草	分類名 (ハンカイソウ)	キク科と思う <i>Ligularia japonica</i> (Thunb.) Less.
ハンギク		一般名 晚菊、おそく咲く菊	
ハンショウツル	多年草	分類名 ハンショウツル	キンボウゲ科 <i>Clematis japonica</i> Thunb.
ハンノキ	落葉高木	分類名	カバノキ科 <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.
ハンノキノハナ		分類名・季節	
ハンリョク		一般名 万緑	
ヒイラギ	常緑小高木	分類名	モクセイ科 <i>Osmanthus heterophyllus</i> (G.Don) P.S.Green
ヒイラギノハナ		分類名・季節	
ヒエ	一年草	農作物名	イネ科、中国産 <i>Echinochloa utilis</i> Ohwi et Yabuno
ヒエンソウ	秋播一年草	園芸作物名 別名チドリソウ、デルフィニウム	キンボウゲ科、欧州産 <i>Consolida ambigua</i> (L.) P.W.Ball et Heyw.
ヒオウギ	多年草	分類名	アヤメ科 <i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC.
ビカクシダ	着生シダ植物	園芸作物名	ウラボシ科、ジャワ他産 <i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr. 園芸では風を呼ぶことが多い
ヒガンザクラ		園芸作物名 コヒガンの別名	
ヒガンバナ	球根性多年草花秋	分類名	ヒガンバナ科 <i>Lycoris radiata</i> (L'Herit.) Herb. 古い帰化(史前帰化)
ヒギリ	落葉低木	園芸作物名 熱帯では常緑	クマツヅラ科、インド産 <i>Clerodendron japonicum</i> Mkin
ヒギリノハナ		園芸作物名・季節	
ヒコバエ		一般名	
ヒコロモソウ	春播一年草	園芸作物名 熱帯では多年草	シソ科、ブラジル産 <i>Salvia splendens</i> Ker 別名サルビア
ヒサカキ	常緑低木	分類名	ツバキ科 <i>Eurya japonica</i> Thunb.
ヒサカキノハナ		分類名・季節	
ヒサギ		特定不能 ヒサカキの別名、園芸作物名キササゲ	
ヒサゴ		一般名 ヒョウタン、夕顔、冬瓜などの総称	
ヒサゴナエ		一般名・季節	
ヒサゴノハナ		一般名・季節	
ヒジキ	海藻	分類名	ホンダワラ科 <i>Hizikia fusiforme</i> (Harvey) Okamura
ヒシ	一年草	分類名	ヒシ科 <i>Trapa hispinosa</i> Roxb. var. <i>iinumai</i> Nakano
ヒシコウヨウ		分類名・季節	
ヒシノハナ		分類名・季節	
ヒシノミ		分類名・季節	
ビショザクラ		園芸作物名 バーベナの別名、美女桜	
ヒツジ		分類名(ヒツジグサと思う)	
ヒツバ	常緑草本シダ植物	分類名	ウラボシ科 <i>Pyrosia lingua</i> (Thunb.) Farw.
ヒトリシズカ	夏緑多年草白小花春	分類名	ゼンリョウ科 <i>Chloranthus japonicus</i> Siebold
ヒナギク	小型多年草花春	園芸作物名 別名デージー、エンメイギク	キク科 <i>Bellis perennis</i> L. ヨーロッパ原産
ヒナゲシ	一年草・越年草	園芸作物名 別名クビジソウ(虞美人草)	ケシ科 <i>Papaver rhoeas</i> L. ヨーロッパ原産
ヒマワリ	一年草	農作物名・園芸作物名	キク科、北米産 <i>Helianthus annuus</i> L.
ヒムロザクラ		一般名 氷室で冷やして運ばせにした桜 ヒムロザクラ	
ヒメウツ	多年草小花早春	分類名	キンボウゲ科 <i>Semiaquilegia adoxoides</i> (DC.) Makino
ヒメウリ	一年草	園芸作物名 果実球形径5cm元禄時代女児雛人形の頭とし	ウリ科 <i>Cucumis melo</i> subsp. <i>melo</i> var. <i>hime</i> Makino
ヒメジオン	一年草・越年草花初夏	分類名(ヒメジオン) 帰化、雑草	キク科 <i>erigeron annuus</i> (L.) Pers.
ヒメハギ	多年草	分類名	ヒメハギ科 <i>Polygala japonica</i> Houtt.
ヒメハシヨウ	多年草	園芸作物名	バショウ科、中国-インドシナ半島産 <i>Musa coccinea</i> Andr.
ヒメハナワラビ	夏緑シダ、高山	分類名	ハナヤスリ科 <i>Botrychium lunaria</i> (L.) Sw.
ヒヤクギク		一般名 菊の逸品多数の意味	
ヒヤクニチソウ	一年草	園芸作物名	キク科、北米産 <i>Zinnia elegans</i> Jacq.
ヒヤシンス	球根性多年草花春	園芸作物名	ユリ科、地中海沿岸産 <i>Hyacinthus orientalis</i> L. ヒヤシンスが正しい
ヒユ	一年草	分類名	ヒユ科、インド産 <i>Amaranthus tricolor</i> L.
ビヨウヤナギ	落葉低木	園芸作物名	オトギリソウ科、中国産 <i>Hypericum chinense</i> L. var. <i>salicifolia</i> (Siebold et Zucc.) Choisy
ヒヨドリジョウゴ	つる性多年草白花秋	分類名	ナス科 <i>Solanum lyratum</i> Thunb.
ヒヨドリジョウゴノハナ		分類名・季節	
ヒヨドリバナ	多年草	分類名	キク科 <i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) Murata et H.Koyama
ヒヨノキ		分類名 イソノキの別名	
ヒヨノミ		の美(分類名・季節) イソノキの美	
ヒラタケ	菌類	分類名 食用	ヒラタケ科 <i>Pleurotus ostreatus</i> (Jacq.Fr.) Kummer
ヒルガオ	多年草、つる性桃色花	分類名	ヒルガオ科 <i>Calystegia japonica</i> Choisy
ヒルムシロ	多年草	分類名	ヒルムシロ科 <i>Potamogeton distinctum</i> Bennett
ビウ	常緑小高木	分類名	バラ科、中国産 <i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.
ビワノハナ		分類名・季節	
フウセンカズラ	つる性多年草白小花夏	園芸作物名	ムクロジ科、世界の熱帯中心 <i>Cardiospermum halicacabum</i>
フウチソウ		分類名 風知草、カゼクサの別名	
フウチョウソウ	一〜二年草白花夏	園芸作物名	フウチョウソウ科、中米産 <i>Gynandropsis gynandra</i> (L.) Briq.
フウラン	多年草	分類名	ラン科 <i>Neofinetia falcata</i> (Thunb.) Hu
フキ	多年草	分類名	キク科 <i>Petasites japonica</i> Miq.
フキノトウ		分類名・季節	
フクジュソウ	多年草	分類名	キンボウゲ科 <i>Adonis amurensis</i> Regel et Radde
フクロナデシコ	1年草花春桃色、白他	園芸作物名	ナデシコ科、地中海沿岸産 <i>Silene pendula</i> L.
フサザキスイセン	球根性多年草花春	園芸作物名	ヒガンバナ科、地中海沿岸他産 <i>Naricissus tazetta</i> L.
フジ		固有種 ヌルデの葉の付子	
フジアザミ	夏緑多年草赤紫花秋	分類名	キク科 <i>Cirsium purpuratum</i> (Maxim.) Matsum.
フシノキ		分類名 ヌルデの別名	
フジノミ		分類名・季節 藤の美	
フジノカマ	多年草白・淡赤紫花秋	分類名	キク科 <i>Eupatorium japonicum</i> L.
フジマメ	一年草、つる性	園芸作物名 熱帯では多年草、藤豆、中国経由渡来	マメ科 <i>Lablab purpurea</i> (L.) Sweet 熱帯アフリカ原産
ブシュカン	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科、インド産 <i>Citrus medica</i> L. var. <i>sarcodactylis</i> (Nooten) Swingle
ブシュカンノハナ		園芸作物名・季節	
フタバ		一般名(双葉)	
フタバアオイ	多年草	分類名	ウマノスズクサ科 <i>Asarum caulescens</i> Maxim.
フタリスズカ	多年草白小花春	分類名	ゼンリョウ科 <i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et
フツクソウ	多年草	分類名	ツゲ科 <i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.
フツクソウ	常緑低木	園芸作物名	アオイ科、原産地不明、熱帯産 <i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L.
フデリンドウ	越年草青紫花春	分類名	リンドウ科 <i>Gentiana zollingeri</i> Fawcett
フトイ	多年草	分類名	カヤツリグサ科 <i>Schoenoplectus lacustris</i> (L.) Pallas subsp. <i>validus</i> (Vahl) T.Koyama

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
フドウ	落葉つる	一般名 野生種の交配	
フドウノハナ		一般名・季節	
フドウモミジ		一般名・季節	
フワリ		一般名(海藻)	
フエアオイ	多年草	分類名(帰化)	アオイ科 <i>Malva verticillata</i> L.
フイチゴ	常緑つる	分類名	バラ科 <i>Rubus buergeri</i> Miq.
フユガレ		情景 冬枯れ	
フユキ		一般名 冬木	
フユキノサクラ		一般名 冬木の桜、冬枯れの桜で花はない	
フユコダチ		一般名 冬木立	
フユザクラ	落葉小高木	園芸作物名	バラ科、日本産 <i>Prunus xparvifolia</i> cv. <i>Parvifolia</i>
フユサンゴ	常緑低木	園芸作物名	ナス科 <i>Solanum pseudocapsicum</i> L. 旧世界原産
フユザンショウ	常緑低木	分類名	ミカン科 <i>Zanthoxylum armatum</i> DC. var. <i>subtrifoliatum</i> (Franch.) Kitam.
フユスミレ		一般名	
フユツタ		分類名 キツタの別名	
フユツバキ		特定不能 早咲きの種の品種群 品種の特定は不能	
フユナ		一般名 冬菜	
フユノウメ		園芸作物名・季節 冬の梅	
フユノクサ		一般名・季節 冬の草	
フユノハナワラビ	多年草シダ植物	分類名	ハナヤスリ科 <i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.
フユバラ		園芸作物名・季節 冬薔薇	
フユボタン		園芸作物名・季節 冬牡丹	
フユメ		一般名 冬芽	
フユモエ		一般名 冬萌え	
フユモミジ		一般名 冬紅葉	
フユリンゴ		園芸作物名・季節 冬林檎	
フユワラビ		冬蕨(分類名) フユノハナワラビの別称	
フヨウ	落葉低木	分類名・園芸作物名	アオイ科、日本、中国産 <i>Hibiscus mutabilis</i> L.
フリージア	球茎多年草	園芸作物名	アヤメ科、南アフリカ産 <i>Freesia refracta</i> Klatt
フルクサ		一般名 古草	
フロックス		特定不能園芸植物	フロックス属 <i>Phlox</i> spp.
フンジボク		分類名 イスノキの別称	
フンタン	常緑小高木果実冬	園芸作物名	ミカン科 <i>Citrus grandis</i> (L.) Osbeck インド北東他原産
フンドウ		園芸作物名 ケツルアズキの別名	
ヘクソカズラ	多年生つる、臭い、花夏小	分類名	アカネ科 <i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merrill
ヘゴ	木生シダ植物	分類名	ヘゴ科 <i>Cyathea spinulosa</i> Wall. et Hook. 大型の木生した
ヘチマ	一年草	園芸作物名	ウリ科、熱帯アジア産 <i>Luffa cylindrica</i> (L.) Roem.
ヘチマナエ		園芸作物名・季節	
ヘチマノハナ		園芸作物名・季節	
ベチニア		園芸作物名 ツクバネアサガオの別名	
ベニタケ	菌類	特定不能 ベニタケ科50種	
ベニノハナ		園芸作物名 ベニノハナの別称 紅の花	
ヘビイチゴ	夏緑多年草黄花香	分類名	バラ科 <i>Duchesnea chrysantha</i> Miq.
ヘリオトロープ		特定不能	
ベンケイソウ	多年草	分類名	ムラサキ科、南米産 <i>Heliotropium corymbosum</i> Ruiz et Pav. ニオイムラサキと <i>H. peruvianum</i> L. キダチルリソウがある
ヘンルウダ	多年草	園芸作物名	ベンケイソウ科 <i>Sedum arborescens</i> Baker.
ポインセチア	常緑低木	園芸作物名	ミカン科、南欧州産 <i>Ruta graveolens</i> L. 薬用、香料
ポウオチバ		分類名・季節 朴の落ち葉	トウダイグサ科、メキシコ産 <i>Euphorbia pulcherrima</i> Willd.
ホウキギ	一年草	園芸作物名	アカザ科、ユーラシア大陸産 <i>Kochia acoparia</i> (L.) Schrad.
ホウキタケ		菌類 食用	ホウキタケ科 <i>Ramaria botrys</i> (Pers.) Ricken
ホウセンカ	一年草	園芸作物名	ツリフネソウ科、インド他産 <i>Impatiens balsamina</i> L.
ホウチャクソウ	夏緑多年草白小花春	分類名	ユリ科 <i>Disporum sessile</i> (Thunb.) D. Don
ホウノミ		分類名・季節 朴の実	
ホウフウ		分類名 ハマホウフウの別称	
ホウライショウ	常緑多年草、葉大切れ込む	園芸作物名	サトイモ科、南米産 <i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
ホウレンソウ	一年草	園芸作物名	アカザ科、西アジア産 <i>Spinacia olerace</i> L.
ホオズキ	夏緑多年草白小花夏	園芸作物名	ナス科、欧州・中央アジア産 <i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>francheti</i> (Mast.) Makino
ホオズキノハナ		園芸作物名・季節	
ホオノキ	落葉高木白花初夏	分類名	モクレン科 <i>Magnolia hypoleuca</i> Siebold et Zucc.
ホオノハナ		分類名・季節	
ボケ	落葉低木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Chaenomeles speciosa</i> (Sweet) Nakai
ボケノハナ	赤花春	園芸作物名・季節	
ボケノミ		園芸作物名・季節	
ホザキノフサモ	水草	分類名	アリトウグサ科 <i>Myriophyllum spicatum</i> L.
ホシクサ	一年草	分類名	ホシクサ科 <i>Eriocaulon cinereum</i> R.Br.
ボダイシ		園芸作物名・季節 菩提樹の実、植物学ではこの用語はない	
ボダイジュ	落葉高木	園芸作物名	シナノキ科、中国産 <i>Tilia miqueliana</i> Maxim. インドボダイジュとは別科別種
ボダイジュノハナ		園芸作物名・季節	
ホタルカヅラ	多年草青紫花春	分類名	ムラサキ科 <i>Lithospermum zollingeri</i> DC.
ホタルグサ		分類名 ツユクサの別名	
ホタルブクロ	多年草	分類名	キキョウ科 <i>Campanula punctata</i> Lam.
ホダワラ		分類名(海藻) ホンダワラの別称	
ボタン	落葉低木	園芸作物名	ボタン科、中国産 <i>Paeonia suffruticosa</i> Andr.
ボタンノメ		園芸作物名・季節	
ホップ	つる性多年草	園芸作物名	クワ科 <i>Humulus lupulus</i> L. 西アジア原産
ホテイアオイ	多年草淡紫花夏	分類名	ミスアオイ科、南米産 <i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms-Laub. 帰化
ホトケノザ		特定不能	シソ科とキク科にあるキク科のタバコ(オニタバコ)は春の七草
ホトギス	多年草紫花秋	分類名	ユリ科 <i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook.f.
ホリイリダイコン		園芸作物名 掘入大根、ホリイリダイコンも同じ、大根の品種	
ホンカン	常緑小高木	園芸作物名	ミカン科、インド産 <i>Citrus reticulata</i> Blanco
ホンダワラ	海藻	分類名	ホンダワラ科 <i>Sargassum fulvellum</i> Agardh
ボンバイ		園芸作物名・情景 盆梅、盆栽の梅	
マーガレット		園芸作物名 モクシユンギクの別名	
マクワウリ		園芸作物名	ウリ科、アフリカ産 <i>Cucumis melo</i> L. var. <i>makuwa</i> Makino 古く渡来
マコモ	多年草	分類名	イネ科 <i>Zizania latifolia</i> (Grieseb.) Stpf
マコモノハナ		分類名・季節	
マサキ	常緑小低木、高山	分類名	ニシキギ科 <i>Euonymus japonicus</i> Thunb.
マサキノカヅラ		分類名 テイカカズラの別称(古名)	
マサキノハナ		分類名・季節	
マサキノミ		分類名・季節	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
マタタビ	つる性落葉低木	分類名	マタタビ科 <i>Actinidia polygama</i> Siebold et Zucc.
マタタビノハナ		分類名・季節	
マツ		一般名	
マツオチバ		松落ち葉(一般名・季節)	
マツタケ	菌類	分類名 食用	キシメジ科 <i>Tricholoma matsutake</i> (S. Ito et Imai) Sing.
マツナ	一年草	分類名 海岸砂丘	アカザ科 <i>Suaeda glauca</i> (Bunge) Bunge
マツノハナ		一般名・季節	
マツバギク	多年草	園芸作物名	ツルナ科、南アフリカ産 <i>Lampranthus spectabilis</i> (Haw.) N.E.Brown
マツバボタン	一年草	園芸作物名	スベリヒユ科、ブラジル産 <i>Portulaca grandiflora</i> Hook.
マツムシソウ	夏緑多年草淡青紫花夏	分類名	マツムシソウ科 <i>Scabiosa japonica</i> Miq.
マツモ		特定不能 植物季語には海藻のイソガラ科の海藻と種子植物のホザキノフサモの二つがある。	イソガラ科 <i>Analphus japonicus</i> (Harvey) Wynne (湯藻類)
マツモト		分類名 別名マツモトセンノウ(分類名、栽培も)	ナデシコ科 <i>Lychis sieboldii</i> van Houtte
マツユキソウ		特定不能	ヒガンバナ科、南欧州産 <i>Galanthus</i> マツユキソウ属、15種ある属
マツリカ	常緑低木花白	園芸作物名 ジャスミン茶、茉莉	モクセイ科、アラビアーインド産 <i>Jasminum sambac</i> (L.) Ait. 茉莉花
マテバシイ	常緑高木	分類名	フナ科 <i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai
マテバシイノミ		分類名・季節	
マナ		園芸作物名 真菜、関東で作られる菜の類、冬と春に漬け物にする	
マビキナ		一般名 間引き菜	
マムシグサ	夏緑多年草	分類名	サトイモ科 <i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott
マメノハナ		一般名・季節	
マメレイノハナ		一般名・季節	
マユミ	落葉小高木	分類名	ニシキギ科 <i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold
マユミノハナ		分類名・季節	
マユミノミ		分類名・季節	
マルバデイコ	高木赤花夏〜秋	園芸作物名	マメ科、産地不明、雑種起源の可能性もある <i>Erythrina pulcherrima</i> Tod.
マルメロ	落葉高木	園芸作物名	バラ科、西部アジア産 <i>Cydonia oblonga</i> Mill.
マルメロノハナ	淡紅色初夏	園芸作物名・季節	
マロニエ		園芸作物名 セイヨウトチノキの別名	
マロニエノハナ		園芸作物名・季節	
マンゴー	常緑高木	園芸作物名	ウルシ科、インド他産 <i>Mangifera indica</i> L.
マンサク	落葉小高木	分類名	マンサク科 <i>Hamamelis japonica</i> Siebold et Zucc.
マンジュシャゲ		園芸作物名 ヒガンバナの別名	
マンネングサ		分類名 オノマンネングサの別名	
マンネンシギ	常緑多年草シダ植物	分類名	ヒカゲノカズラ科 <i>Lycopodium obscurum</i> L. シダ植物
マンリョウ	常緑小低木、高山	分類名	ヤブコウジ科 <i>Ardisia crenata</i> Sims.
ミカン		一般名	
ミカンノハナ		一般名・季節	
ミスアオイ	水草一年草紫花夏	分類名	ミスアオイ科 <i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maak
ミスアオイハコ	夏緑多年草白花夏	分類名	トチカガミ科 <i>Otteria japonica</i> Miq.
ミスカケナ		園芸作物名栽培品種 富士山麓で栽培されるアブラナの仲	
ミスキ	落葉高木白小花春	分類名	ミスキ科 <i>Cornus controversa</i> Hemsley
ミスキノハナ		分類名・季節	
ミスキノミ		分類名・季節	
ミスクサオウ		情景 水草生える	
ミスクサノハナ		一般名・季節	
ミスクサモミジ		一般名・季節	
ミスナ		特定不能	イラクサ科とアブラナ科にある
ミスナギ		分類名 水葱(みずなぎと読む)、コナギの別称(古名)	
ミスバショウ	多年草花春	分類名	イネ科 <i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc.) Makino
ミスヒキソウ	多年草	分類名	タデ科 ミスヒキが正しい <i>Antenoron filiforme</i> (Thunb.) Rob. et Vaut.
ミスヒキノハナ	赤小花夏	分類名・季節	
ミスワラビ	水草シダ植物	分類名	ホウライシダ科 <i>Ceratopteris thalictroides</i> (L.) Brongn. シダ植物
ミセハヤ	多年草	分類名	ベンケイソウ科 <i>Sedum sieboldii</i> Sweet
ミソバ	一年草花秋	分類名	タデ科 <i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Gross
ミソハギ	多年草赤紫花夏	分類名 湿地	ミソハギ科 <i>Lythrum anceps</i> (Koehe) Makino
ミチヤナギ	一年草	分類名 路傍雑草	タデ科 <i>Polygonum aviculare</i> L.
ミツバゼリ	夏緑多年草白小花春	分類名 ミツバが正しい	セリ科 <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk.
ミツマタ	落葉低木花早春	分類名	ジンチョウゲ科 <i>Edgeworthia chrysantha</i> Lindl.
ミツタノハナ	黄色	分類名・季節	
ミヅナ		園芸作物名 アブラナの栽培品種	
ミミナグサ	越年草白小花春	分類名 路傍雑草	ナデシコ科 <i>Cerastium holosteoides</i> Fries var. <i>hallaisanense</i> (Nakai) Mizushima
ミヤコグサ	夏緑多年草黄色花	分類名	マメ科 <i>Lotus corniculatus</i> L. var. <i>japonicus</i> Regel
ミヤコウスレ	夏緑多年草花初夏	園芸作物名	キク科 <i>Miyamayomena savatieri</i> (Makino) Kitam.
ミヤマシキミ	常緑小低木、高山	分類名	ミカン科 <i>Skimmia japonica</i> Thunb.
ミヤマシキミノハ		分類名・季節	
ミヤマバクシン	常緑小低木、高山	分類名・園芸作物名	ヒノキ科 <i>Juniperus chinensis</i> L. var. <i>sargentii</i> Henry
ミウガ	多年草	分類名・園芸作物名	ショウガ科 <i>Zingiber mioga</i> Rosc.
ミウガタケ		分類名・園芸作物・季節 若芽	
ミウガノコ		分類名・園芸作物名・季節 花穂の俗称である	
ミウガノハナ	秋黄色	分類名・園芸作物名・季節	
ミル	海藻	分類名	ミル科 <i>Codium fragile</i> (Suringar) Hariot
ムカゴ		一般名 無性芽	
ムギ		一般名	
ムギノクロホ		一般名・状態 黒穂病に侵された麦の穂	
ムギノメ		一般名・季節	
ムギワラギク	一年草として栽培	園芸作物名 原産地では多年草	キク科、オーストラリア産 <i>Helichrysum bracteatum</i> Willd.
ムクゲ	落葉小高木	分類名	アオイ科、中国産 <i>Hibiscus syriacus</i> L.
ムクノキ	落葉高木	分類名	ニレ科 <i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.
ムクノキノミ		分類名・季節	
ムグラ		一般名	
ムグラシゲレル		一般名・季節 蓍繁れる	
ムグラワカバ		一般名・季節 蓍若葉	
ムクロジ	落葉高木	分類名	ムクロジ科 <i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.
ムシトリスミレ	多年草淡紫花夏	分類名	タヌキモ科 <i>Pinguicula macroceras</i> Link
ムシリナデシコ	一年草・越年草赤紫花	分類名 帰化	ナデシコ科 <i>Silene armeria</i> L. ヨーロッパ原産
ムスビバ		一般名 結び葉	
ムベ	常緑つる花春	分類名	アケビ科 <i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decne.
ムベノハナ	花春	分類名・季節	
ムラサキ	夏緑多年草白小花夏根染料	分類名	ムラサキ科 <i>Lithospermum officinale</i> L. subsp. <i>erythrorhiza</i> (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ムラサキシキブ	落葉小高木	分類名	クマツヅラ科 <i>Callicarpa japonica</i> Thunb.
ムラサキハシドイ	落葉低木花春1cm長有芳香	園芸作物名	モクセイ科、南欧州産 <i>Syringa vulgaris</i> L.
ムレスズメ	落葉低木黄花初夏	園芸作物名	マメ科、中国産 <i>Caragana sinica</i> (Buc'hoz) Rehd.
ムロザキ		一般名 室咲、室の中で暖めて咲かせた花	
メキャベツ		園芸作物名	アブラナ科、ベルギー産 <i>Brassica leracea</i> L. var. <i>gemmifera</i> Zenk. 別名コモチカンラン
メダケ	小型竹	分類名	イネ科 <i>Pleoblastus smonii</i> (Carr.) Nakai
メダチ		芽立ち(情景、一般名)	
メナモミ	一年草黄花秋	分類名	キク科 <i>Siegesbeckia orientalis</i> L. subsp. <i>pubescens</i> (Makio) Kitam.
メハジキ	越年草1m、花は夏桃色小型	分類名	シソ科 <i>Leonurus Japonicus</i> Houtt.
メハルカツミ		分類名・季節 メハルカツミ芽張るかつみが正しい、カツミはマコモの古名、角組(つのがむ、角のように出る)新芽	
メロン		園芸作物名 ウリの内、南西アジアや欧米で品種分化した	ウリ科 <i>Cucumis melo</i> L. 熱帯アフリカ原産
モクシュンギク	半低木性多年草白花初夏	園芸作物名 別名マーガレット	キク科、カナリア諸島産 <i>Chrysanthemum frutescens</i> L.
モクセイソウ	一年・多年草黄小花初	園芸作物名	モクセイソウ科 <i>reseda odorata</i> L. 北アフリカ原産
モクセイノハナ		一般名・季節 (キンモクセイ、ギンモクセイを含む)	
モクレン	落葉小高木赤紫花春	園芸作物名	モクレン科、中国産 <i>Magnolia quinquepeta</i> (Buchoz) Dandy
モダマ	常緑つる黄緑花夏	分類名	マメ科 <i>Enteda phaseoloides</i> (L.) Merrill
モダマノミ		分類名・季節	
モチノキ	常緑高木黄緑小花春	分類名	モチノキ科 <i>Ilex integra</i> Thunb.
モチノハナ		分類名・季節	
モチノミ		分類名・季節	
モツク	海藻	分類名	モズク科 <i>Nemacystus decipiens</i> (Suringar) Kuckuck
モツコク	常緑高木白小花夏	分類名	ツバキ科 <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.)
モツコノハナ		分類名・季節	
モノノメ		一般名 あらゆるものの芽	
モノハナ		一般名 葉の花	
モミジ		一般名 カエデ科の樹木と紅葉の意味がある	
モミジアオイ	大型多年草紅花夏	園芸作物名	アオイ科、北米産 <i>Hibiscus coccineus</i> (Medics.) Walt.
モミジイチゴ	落葉低木白花春実可食	分類名	バラ科 <i>Rubus palmatus</i> Thunb. forma <i>coptophyllus</i> Makino
モミジチル		一般名・季節 紅葉散る	
モモ	落葉小高木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Prunus persica</i> (L.) Batsch
モモノハナ		園芸作物名・季節	
モモフク		農作物名・季節 桃の実に似た形の綿の果実から吹き出した綿毛、シロバナワタと思われる	
モヨウビユ	多年草、葉はへら形で、銅赤色または血色 園芸作物	園芸作物名	ヒユ科、南米産 <i>Alternanthera ficoidea</i> 'Vesicolor'
ヤエザクラ	落葉高木	一般名 八重咲の桜、多くの園芸品種がある	
ヤエムグラ		特定不能 カナムグラ参照	
ヤグラネギ	ネギの変種、檜葱	園芸作物名	ユリ科 <i>Allium fistulosum</i> L. var. <i>viviparum</i> Makino 葉先に種芽がでぎ増える
ヤグルマギク	1年草1m花冬春青、白、赤	園芸作物名	キク科、欧州産 <i>Centaurea cyanus</i> L.
ヤシヤビシヤク	落葉小低木着生	分類名	ユキノシタ科 <i>Ribes ambiguum</i> Maxim.
ヤツシロソウ	多年草1m花夏紫	分類名	キキョウ科 <i>Campanula glomerata</i> L. var. <i>dahurica</i> Fisch.
ヤツデ	常緑低木3m葉犬狗団	分類名	ウコギ科 <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne.
ヤツデノハナ	冬小型白4弁	分類名・季節(ヤツデの花)	
ヤトバハナ		分類名(ヤトバナが正しい?、ヘクソカツラの別名)	
ヤナギ		一般名	ヤナギ属種数が多い
ヤナギチル		一般名・季節 柳の葉散る	
ヤナギノメ		一般名・季節	
ヤナギラン	落葉多年草、夏赤紫花、亜高山 分類名	分類名	アカバナ科 <i>Chamerion angustifolium</i> (L.) Holb.
ヤノネクサ	1年草雑草花初秋白、淡紅	分類名	タデ科 <i>Persicaria nipponensis</i> (Makino) H. Gross
ヤブカラシ	落葉つる、夏小花、雑	分類名	ブドウ科 <i>Cavrtia japonica</i> (Thunb.) Gagn.
ヤブコウジ	常緑小低木、冬小赤実	分類名	ヤブコウジ科 <i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Bl.
ヤブジラミ	越年草70cm、雑草	分類名	セリ科 <i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.
ヤブジラミノハナ	小白花初夏	分類名・季節	
ヤブレガサ	落葉多年草白花夏秋	分類名	キク科 <i>Synneilesis palmata</i> (Thunb.) Maxim.
ヤマアザミ	落葉多年草2m花赤紫秋、九州 分類名	分類名	キク科 <i>Cirsium spicatum</i> (Maxim.) Matsum.
ヤマウメ		分類名 ヤマモモの別称	
ヤマグワ	落葉高木	分類名	クワ科 <i>Morus bombycis</i> Koidz.
ヤマゴボウ		特定不能 ヤマゴボウ科とキク科のモリアザミの根、オヤマボクチの若葉	
ヤマゴボウノハナ		特定不能・季節	
ヤマザクラ	落葉高木	分類名 ヤマザクラ	バラ科 <i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz.
ヤマヂシャノハナ		分類名・季節 ヤマヂサ(ヤマヂシャ)はエゴノキの古名	
ヤマナシ		特定不能 ナシの野生化、オオズミの別名、誤用としての堂梨あり	
ヤマナシノハナ		特定不能・季節 俳句では堂梨の花として使われた	
ヤマフキ	落葉低木花春黄色	分類名	バラ科 <i>Kerria japonica</i> (L.) DC.
ヤマフキソウ	落葉多年草花春黄色	分類名	ケン科 <i>Hylomecon japonicum</i> (Thunb.) Prantl
ヤマブドウ	落葉つる葡萄食可	分類名	ブドウ科 <i>Vitis coignetia</i> Pulliat
ヤマモモ	常緑高木20m赤実初夏食用	分類名	ヤマモモ科 <i>Myrica rubra</i> Siebold et Zucc.
ヤマモモノハナ		分類名・季節	
ヤレバショウ		園芸作物名・季節 バショウの葉が破れている、破れ芭蕉の	
ヤレハス		園芸作物名・季節 蓮の葉が枯れて敗れている、敗れ蓮の葉の意味	
ユウガオ	落葉つる	園芸作物名	ウリ科、アフリカ産 <i>Lagenaria siceraria</i> (Molina) Standl.
ユウガオノミ		園芸作物名・季節	
ユーカリ	常緑高木55m	園芸作物名(林業樹木もある)	フトモモ科、オーストラリア産 <i>Eucalyptus globulus</i> Labill.
ユウスゲ	花夏黄色夕方開花	分類名	ユリ科 <i>Hemerocallis citrina</i> Baroni var. <i>vespertina</i> (H. Hara) M. Hotta
ユカウ		特定不能?	ミカン科、中国産 園芸作物 ヌズに似て非なるもの? 柚柑
ユキオレ		情景 積もった雪の重みで樹木が折れる	
ユキタケ		一般名 雪の下でも生える草のこと(ユキタケなど)	
ユキノシタ		特定不能	ユキノシタ科の植物、雪の下ではえる草の別称
ユキマグサ		一般名 雪間草、積雪の消えた所に生えた草	
ユキヤナギ	落葉低木早春小白花多数	分類名・園芸作物名	バラ科 <i>Spiraea thunbergii</i> Siebold
ユキワリソウ		特定不能キンボウゲ科のスハマソウの別名、サクラソウ科のユキワリソウ	

植物季語	特徴	分類学的考察	分類名
ユズ	常緑亜高木果黄色有香	園芸作物名	ミカン科、中国産 <i>Citrus junos</i> Siebold ex Tanaka
ユズノハナ		園芸作物名・季節	
ユズラウメ	落葉低木	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Prunus tomentosa</i> Thunb.
ユズラウメノハナ	花春白・淡紅色	園芸作物名・季節	
ユズラウメノミ	液果径1cm.6月桃紅色	園芸作物名・季節	
ユズリハ	常緑高木	分類名・園芸作物名 バラ科	ユズリハ科 <i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.
ユズリハノハナ	花弁無初夏小雄雌別	分類名・園芸作物名・季節	
ユッカ		特定不能	リュウゼツラン科、ユッカ属、約40種ある
ユリ		一般名	
ユリカシテチヨウトナル		情景 百合化して蝶となる 山の中に咲く百合の花の神秘的な様子	
ユリノハナ		一般名	
ユカ		一般名 余花(遅れて咲く花、夏の季語)	
ヨマキキウリ		園芸作物名・季節 夜時きの胡瓜(初夏に種をじか蒔きした胡瓜、夏から秋に収穫)	
ヨメガハギ		分類名 嫁が萩(よめなの意味)	
ヨメナ	多年草西日本	分類名	キク科 <i>Kalimeris yomena</i> Kitam.
ヨメナノハナ	花夏秋薄紫	分類名・季節	
ヨモギ	多年草雑草	分類名	キク科 <i>Artemisia princeps</i> Pamp.
ヨルガオ	1年性つる、夏朝顔の白花	園芸作物名	ヒルガオ科、熱帯南米産 <i>Ipomea alba</i> L.
ライラック		園芸作物名 ムラサキハシドイの別名	
ラショウモンカズ	落葉多年草花春紫	分類名	シン科 <i>Meehania urticifolia</i> (Miq.) Makino
ラッカ		情景 落花、桜の花が風に吹かれて散ったり、地面に散っている様子	
ラッカセイ	1年草花夏黄色実ピーナツ	農作物名	マメ科、南米産 <i>Arachis hypogaea</i> L.
ラッキョウ	多年草鱗茎食用有臭	園芸作物名	ユリ科、中国産 <i>Allium chinense</i> G. Don
ラッキョウノハナ	晩秋紫小花多数	園芸作物名・季節	
ラッパスイセン	花副花冠ラッパ型	園芸作物名	ヒガンバナ科、欧州産 <i>Narcissus pseudo-narcissus</i> L.
ラン		一般名	
リアトリス		特定不能	キク科 <i>Liatris</i> リアトリス属、北米に40種
リキウバイ	落葉小高木5m花春白径4cm 園芸作物	園芸作物名	バラ科、中国産 <i>Exochorda racemosa</i> (Lindl.) Rehd.
リクトウ		農作物名 陸稻	
リュウジョ		一般名・季節 柳じよ、柳の種子を包む綿	
リュウノウギク	夏緑多年草白花秋	分類名	キク科 <i>Chrysanthemum makinoi</i> Matsum. et Nakai
リョウブ	落葉小高木小白花夏	分類名	リョウブ科 <i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.
リョクイン		情景 夏の木陰	
リンゴ	落葉高木果実食用	園芸作物名	バラ科、アジア西部・欧州産 <i>Malus pumila</i> Mill.
リンゴノハナ	白・淡紅色、春	園芸作物名・季節	
リンドウ	落葉多年草花秋青紫	分類名	リンドウ科 <i>Gentiana acabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. subvar. <i>orientalis</i> (H. Hara) Toyokuni
ルピナス		特定不能	マメ科、 <i>Lupinus</i> ルピナス(ハウチワマメ)属、300種、日本では園芸作物
ルリソウ	落葉多年草初夏青紫小花	分類名	ムラサキ科 <i>Omphalodes krameri</i> Franch. et Sav.
ルリチョウチョウ	多年草花初夏美麗	園芸作物名	キキョウ科、南アフリカ産 <i>Lobelia erinus</i> L.
レイシ	常緑樹果実鮮紅色食用	園芸作物名	ムクロジ科、中国・東南アジア産 <i>Litchi chinensis</i> Sonnerat
レタマ	低木3m	園芸作物名	マメ科、カナリア諸島・地中海沿岸産 <i>Spartium junceum</i> L.
レタマノハナ	夏黄色2.5cm長有芳香	園芸作物名・季節	
レモン	常緑果樹	園芸作物名	ミカン科、ヒマラヤ東部産 <i>Citrus limon</i> (L.) Burm.
レンゲソウ	越年草紅紫花春水田緑肥	園芸作物名	マメ科、中国産 <i>Astragalus sinicus</i> L.
レンギョウ	落葉低木花早春黄色多数	園芸作物名	モクセイ科、中国産 <i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl
レンリソウ	夏緑多年草花初夏赤紫	分類名	マメ科 <i>Lathyrus quinquerivius</i> (Miq.) Litv.
ロウバイ	落葉低木4m花冬黄色	園芸作物名	ロウバイ科、中国産 <i>Chimonanthus praecox</i> (L.) Link
ロコウ		一般名 露光、広辞苑にはつゆの光りとある	
ロベリア		園芸作物名 ルリチョウチョウの別名	
ワカカエデ		一般名 若いカエデの葉	
ワカクサ		一般名 若草	
ヨボウ	夏緑多年草根野菜	園芸作物名	キク科、欧州へアジア東部産 <i>Arctium lappa</i> L.
ワコボウ		園芸作物名・季節 若い牛蒡	
ワカモ		分類名・季節 若いマコモの新苗	
ワカシバ		一般名・季節 若い芝	
ワカタケ		一般名・季節 若竹	
ワカナ		一般名・季節 若い葉	
ワカバ		一般名・季節 若い葉	
ワカバノハナ		一般名・季節 春に遅れて青葉、若葉の間に咲き残る桜の	
ワカミドリ		一般名・季節 若い松の葉	
ワカムラサキ		分類名・季節 ムラサキの若い苗	
ワカメ		特定不能 若い芽と海藻のワカメ(若布)がある、漢字では区別可能	
ワクラバ		一般名 病葉、夏に病気で変色した葉	
ワケギ		園芸作物名 ネギの園芸品種	<i>Allium fistulosum</i> 'Wakegi'
ワサビ	多年草根食用	分類名	アブラナ科 <i>Eutrema wasabi</i> (Siebold) Maxim.
ワサビノハナ	早春小白花	分類名・季節	
ワスレグサ		特定不能	ナツズイセンの別称、ヤブカンゾウの標準和名、これと別種の <i>Hemerocallis aurantiaca</i> Baker の標準和名
ワスレナグサ	1~2年草小青紫花春	分類名	ムラサキ科、欧州産 <i>Myosotis scorpioides</i> L.
ワセ		一般名 早生	
ワセミカン		園芸作物名・季節 早生蜜柑	
ウタ	1年草または落葉低木黄色夏	農作物名	アオイ科、東アジア産 <i>Gossypium arboreum</i> L.
ウタノハナ		農作物名・季節	
ウビスケ	常緑低木早春開花	園芸作物名	ツバキ科、来歴不明 <i>Camellia wabisuke</i> Kitam. 園芸品種群だが分類名の学名がついている
ウラビ	夏緑多年草シダ植物	分類名	コバノイシカグマ科シダ <i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn var. <i>latiusculum</i> (Desv.) Underw. ex Hell.
ウレモコウ	夏緑多年草暗赤小花多数夏	分類名	バラ科 <i>Sanguisorba officinalis</i> L.
ウケスイ		方言名 スノキの三重県鈴鹿地方の方言名	

表 1.1 では、季語名とその分類結果に加えて、それが植物名である場合は、その特徴、科名、学名、外国産植物ではその原産地を示した。科名と学名を記入することによって当該植物の分類学上の位置を明確に示した。また日本で用いる植物名を国際的に翻訳することが可能となった。植物名が別名、別称、方言名、俗称などの場合は、特徴、科名、学名などは原則として、当該植物の標準和名の欄でしめした。季語の数は約 1,700 であった。この数値は上記の文献の合計よりも多い。それは 1)植物の名称の実体とその植物が示す季節を区別したことである。例えばカンショノハナは、植物の開花の季節を示す言葉であるので植物の実体を示すカンショを加えて分析した。2)標準和名にたいして別名や別称が多くそれらの一部は文献に表示されていないものであることによる。分類名や作物名などには標準和名とそれに対する別の呼び方である別名がある。



## 2. 俳句を通して人々に親しまれた植物の変遷

Transition of Season Words, *Kigo*, for Plants in Haiku from the Edo Era to the Present

国際俳句交流協会翻訳委員 ジャンポール絹子

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

Kinuko JAMBOR, Proofreader of Haiku International

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

要旨：江戸時代から俳句は広く人々に詠まれてきた。俳句を通してどんな植物が好まれてきたか、江戸時代から現代までを俳句作品や歳時記を資料にして植物調査をした。その結果を分析し植物に変化があるかどうかを調べた。変化があるとすれば、それは気象変化によるのか、人為による地形態の変化か、生活様式の変化による人の嗜好変化かなどを考察した。その結果、1647年の季吟による『山之井』(井本, 2004)から1851年の青藍による『俳諧歳時記栞草』(堀切, 2000)までの約200年間で11倍に季語数が増えているが、その後、同じような植物が現代まで詠まれてきたことがわかった。また芭蕉、蕪村、一茶の比較では、季節によってお互いの好みは異なっていた。

キーワード：俳諧、俳句、植物季語

Abstracts: Japanese have been writing haiku since Edo times. Using glossaries of season words, this study noted the frequency of the season plant from haiku's beginnings in the Edo period until the present. An analysis of this data saw changes in these season words. What caused these changes? Were they caused by changes in the weather? Or were the causes manmade; for example, clearing land or the introduction of new species? Or were these changes simply the result of poets' favoring certain species? Results show that the number of plants used as season words increased eleven-fold over two hundred years. Finally, season words used by the leading Edo poets, Basho, Buson, and Issa, were especially cited to show similarities and differences.

Keywords: haikai, haiku, season words for plants

### 2.1 研究の目的

俳句を通してどんな植物が好まれてきたか、江戸時代から現代までを俳句作品や歳時記を資料にして植物調査をし、結果を分析し植物に変化があるかどうかを調べる。また、季節ごとの変化を調べる。また江戸時代を通して代表的な俳諧師3人、芭蕉、蕪村、一茶の好みを比較する。

### 2.2 研究の方法

まず俳句の成立について考察する。このことにより俳句における植物季語の発生と変遷が理解されてくる。次に俳句の植物季語の種類とそこに詠まれた植物の種類を明らかにする。そして、植物季語の時代変遷について考察する。そして、代表的な3人の俳諧師(芭蕉、

蕪村、一茶)の作品から植物季語を抽出する。その結果から変化の傾向を考察する。

これらの結果をまとめて結論とし、最後に今後の課題を述べる。

## 2.3 俳句の季語誕生

### ①俳諧時代前後

長い和歌、連歌の流れのなかで、初めは歌の題にそって詠うということはなかったが、次第に題をつけて歌を詠むという題詠の風が盛んになっていく。この題詠意識のもとに類題和歌集の編成を生む。10世紀後半には『古今和歌六帖』の成立が見られ題詠の成熟へと導かれていった。鎌倉時代、14世紀初めごろ成立したといわれる『夫木和歌集』は『万葉集』以降の和歌集で17350首、36巻からなるが、597語の題に分けてあり類題集の一つの達成といわれている。

題を細分化して集成した類題和歌集はいろいろ出てくるが、仔細についてはこれからの研究課題になろう。その一つの『纂題和歌集』は『名題和歌集』と呼ばれ、その成立も編者も未詳である。

この書物の題の内容をみると天候、地儀、時候、草類、木類、人倫部、雑部、形躰、用事の10部から構成されている。そして、巻数9巻、類題数660余語、歌数8745首である。

植物に関係する箇所は次の通りである。

#### 巻5(中之2)

草類の中には、若草、早蕨、菫菜、山吹など。題数は112語、歌の数は1099首。

#### 巻6(中之3)

木類の中には、梅、櫻、櫻花、山櫻、緋櫻など。題数は73語、歌の数は959首。

和歌連歌の歌のかたちを受け継いだ俳諧連歌にも発句で景物を詠み込む約束は引き継がれ俳諧の季語となっていく。芭蕉前後のころから和歌の題になかった新しい季題が少しずつ増加していく。和歌からの歌の題を俳諧では縦題と呼ばれ、新しく参入した題を横題とも呼ばれることもある。松江重頼編、正保2年(1645)刊の『毛吹草』(井本他, 2004)の巻2「俳諧四季之詞」にその新しい題となった言葉に俳言と記してあることから 民衆の俳諧作句に寄与したのである。

民衆の間に俳諧の風が盛んになると季題の説明とその句例が記された歳時記が次々に刊板されていった。『連歌至宝抄』(天正13年(1585))から『俳諧季寄持扇』(慶応2年(1866))の間に俳諧の作法書で季寄を収めたものが167書を数える。(井本, 1981)

和歌では優美な和歌的心情をうたうものであったが、定められた季の題は季節の景物に対してのイメージやその本情も固定していった。この歌の形式が江戸時代に引き継がれて滑稽、機知を特色とした庶民の文芸詩が俳諧の連歌と呼ばれて広く発展した。

和歌連歌をもとにして発達した俳諧の連歌にもこの詩形は引き継がれた。連歌の各季節で規定されていた季の題も芭蕉(1644-1694)時代になると新しい季の題の増加が盛んになっていった。初め天体の現象(日、月、星など)、動物、植物を季題にしていたものが次第に気象、人事、宗教などの分野も含まれていった。俳諧の発句を「俳句」と呼んで独立

の詩としたのは明治 20 年代以降である。(伊地知他, 1990)

季題ということばは、近代の造語で明治末になり定着した語である。中世に呼ばれていた「季の題」は季語と同義である(井本, 1981)。俳句時代になっても季節に結びつくこの季語を句の中に入れて詠むことを約束ごととして引き継がれてきた。

この俳諧の季題をまとめた季吟の『山之井』(1647 年刊)(井本, 1981)から青藍の『俳諧歳時記栞草』(1851 年刊)(堀切, 2000)までの間にどのような変化がみえるかをみてみよう。両書の四季の季題数を宇田(1933)に基づいて比べると約 200 年の間に 3 倍以上の増加がある。(表 2.1)

更に両書の四季を通して植物季語数をみると 約 11 倍の増加がある。(表 2.2)

## ②俳句の植物季語

植物季語の内容を『山之井』に見ると春部、夏部、秋部、冬部にわけられ季語内容の「いろは」順にならべられ種類わけはみられない。

『俳諧歳時記栞草』では同じように雑の部を加えて季節ごとに分けられている。さらに「いろは」順の月別に構成され、句例はないが語に多くの説明がなされ、他の文献から引用されている。現代の歳時記では四季に新年を加えて大別され、時候、天文、地理、人事、動物、植物にわけられそれぞれの季語の説明と句例をもつのが普通である。現代に見る『図説俳句大歳時記』(角川, 1973)では各季節の植物の項をさらに「花木」、「果樹」、「樹木」、「草花」、「野草」、「野菜」、「作物」、「海草」に分類されている。

近世末期に広く利用された『増補俳諧歳時記栞草』(1851 年刊)(堀切, 2000)は現代の歳時記の基になったと評価されている。この『栞草』と現代の代表的な歳時記『図説俳句大歳時記』(角川, 1973)の植物季語数を比べると次の表 2.3 から約 3 倍の増加が読み取れる。

## ③江戸時代の代表的な俳諧師の句における植物

近世の俳諧時代を考察するにあたり、俳諧時代を網羅するのは困難なため 取り掛かりの目安として芭蕉(1644—1694)、蕪村(1716—1783)、一茶(1763—1827)の 3 者のそれぞれの作品から句に詠まれた植物種を表にして多使用植物季語を比べてみた。季節ごとの植物種使用のベスト 10 を芭蕉、蕪村、一茶の作品について挙げると以下のようなになる。(表 2.4)

上記の 3 者は俳諧師としての門弟の指導や自己の作品制作に活躍した。芭蕉の作家活動の寛文 3 年 20 歳(1663)から一茶の作家活動を終えた没年の文政 10 年 65 歳(1827)までのこの約 164 年間にどのような植物季語の使用変化があるかを上の表から見る事ができる。

春は 3 者とも 花(桜)、梅、柳 が共通して多く使用されている。

夏は芭蕉の個人的な好みからか「真桑瓜」が使用最多。

蕪村は「牡丹」、「若葉」、「藻の花」。

一茶は「卯の花」、「牡丹」、「若葉」の順である。

秋には芭蕉は「菊」、「萩」、「朝顔」。

蕪村は「菊」、「紅葉」、「萩」。

一茶は「朝顔」、「菊」、「紅葉」。3 者とも「菊」が好まれているのがわかる。

冬には芭蕉は「水仙」、「木の葉」、「寒菊」。

蕪村は「落葉」、「冬木立」、「枯尾花」。

一茶は「冬枯」、「落葉」、「水仙」。

冬の淋しい音である「雪折」は蕪村に好んで句にされているが他の2者にはみられない。

## 2.4 植物季語の変遷

現代の植物季語使用はどうか。その状態を『図説俳句大歳時記』(角川、1973)に見てみよう。『図説俳句大歳時記』の季節別植物季語の句例から一番多い植物ベスト10を選ぶと次のようになる。(表2.5)

上表から分かるように 春の部は「桜」、「梅」が上位にあり 古くから詠われてきた「辛夷」、「福寿草」を抜いている。

夏の部は 和歌時代と同じように「牡丹」が依然として親しまれているのが分かる。「卯の花」、「余花」は下位にある。

秋の部は 和歌時代と同じように「菊」、「萩」が上位で「柿」、「朝顔」、「曼珠沙華」とつづき、江戸期に好まれた「瓜」が下位にとどまっている。

冬の部は 「枯葉」が上位、「枯木」、「冬木」、「水仙」と続く。古く親しまれた「帰花」は下位にある。

現代に入り植物種は増えているものの依然として同じ植物種が人々に好まれていることを知ることができる。

## 2.5 まとめと今後の研究課題

これまでの分析結果をまとめると以下の4点になる。

- 1)植物季語は約200年間で11倍増加していた。
- 2)四季を通して植物季語数は3倍に増加した。
- 3)現代に入り植物種は増えたが同じ植物種が人々に好まれていることが分かった。
- 4)春は花(桜)、梅、柳が芭蕉、蕪村、一茶に共通して多く使用されていた。夏は3人が異なる植物を使用した。秋には3者とも「菊」が好まれた。冬には植物ではないが植物に関係ある「雪折」は蕪村に好まれた。

今後は植物季語が増加した理由、増加した種類の傾向、その原因などを調べる。

## 謝辞

植物種の確認では近田文弘氏の協力を得た。俳文学から堀信夫氏、堀切実氏、東聖子氏に多くの示唆をいただいた。多くの先生方のご指導に深く感謝する。

## 参考文献

- 東聖子 (2006) 蕉風俳諧における〈季語季題〉の研究, 明治書院, 東京, 2-72pp  
荒木尚他 (1987) 纂題和歌集, 解題, 明治書院, 東京, 3-14pp.  
伊地知鉄男他 (1990) 俳諧大辞典, 明治書院, 東京, 149-150pp  
井本農一・堀信夫校注 (1995) 松尾芭蕉発句集, 小学館, 東京, 15-531pp.  
井本農一 (1981) 季語の研究, 古川書店, 東京, 1-86pp.

- 井本農一他 (2004) CD-ROM 版編集委員会編(2004), 増補卷「山の井」, 「毛吹草」, 「12 卷蕪村集全」, 「15 卷一茶集」, 『古典俳文学体系』(勉誠社影印本), 集英社, 東京, 17-006.
- 堀切実校注 (2000) 増補俳諧歳時記栞草、上、下, 岩波文庫, 東京, 11-530, 5-566pp.
- 木藤才蔵、井本農一校注 (1985) 連歌論集, 俳論集, 岩波書房, 東京, 5-29, 277-298pp.
- 角川源義 (1973) 図説俳句大歳時記, 全 5 卷, 角川書店, 東京, 新年 362-370pp, 春 350-478pp, 夏 488-671pp, 秋 440-606pp, 冬 470-518pp.
- Miner, E., Odagiri, H. and Morrell, R. E. (1988) The Princeton Companion to classical Japanese Literature, Princeton University Press, Princeton, “haikai” 276p, 348-350pp, kidai (seasonal topic) 283p.
- 丸山一彦校注 (1990) 一茶集, 岩波文庫, 東京, 12-369pp.
- 尾形侑、森田蘭校注 (1992) 蕪村全集, 第 1 卷 発句, 講談社, 東京, 6-593pp.
- 尾形侑筆 (1999) 俳文学大辞典, 角川書房, 東京, 200-201pp.
- 宇田久筆 (1933) 季語の変遷, 俳句講座, 改造社, 東京, 61-75pp.
- 山本健吉 (1993) 『基本季語 500 選』, 講談社学術文庫, 講談社, 東京, 2-1019pp.

表 2.1 『山之井』と『俳諧歳時記栞草』の季語数比較(宇田(1933)による)

	春	夏	秋	冬	合計
『山之井』	309	185	350	188	1032
『栞草』	972	831	1035	586	3424

表 2.2 『山之井』と『俳諧歳時記栞草』の植物季語数比較

	春	夏	秋	冬	合計
『山之井』	15	14	10	2	41
『栞草』	250	106	75	15	446

表 2.3 『図説俳句大歳時記』と『俳諧歳時記栞草』の植物季語数の比較表

季節別	植物季語数(『図説大俳句歳時記』)	植物季語数(『俳諧歳時記栞草』)	増加比率
春	366	250	1.46
夏	540	106	5.09
秋	381	75	5.08
冬	106	15	7.06
計	1393	466	2.98

表 2.4 芭蕉、蕪村、一茶の作品に見る季節別植物季語比較

	芭蕉	蕪村	一茶		芭蕉	蕪村	一茶
春の部				秋の部			
1	花(桜)	梅	梅	1	菊	菊	朝顔
2	梅	花	桜	2	萩	紅葉	菊
3	柳	柳	菜の花	3	朝顔	萩	紅葉
4	山吹	菜の花	柳	4	芭蕉	蕎麦の花	芒
5	椿	椿	菫	5	蘭	穂蓼	草の花
6	桃の花	つつじ	若菜	6	萩	散る銀杏	女郎花
7	若菜	藤	山吹	7	唐辛子	女郎花	桐一葉
8	薺	桃の花	藤	8	薄	蘭	栗
9	菫	梨の花	桃の花	9	蕎麦の花	薄	鶏頭
10	藤	海苔	若草	10	鳶	梅もどき	茸
夏の部				冬の部			
1	真桑瓜	牡丹	卯の花	1	水仙	落葉	冬枯
2	杜若	若葉	牡丹	2	木の葉	冬木立	落葉
3	昼顔	藻の花	若葉	3	寒菊	枯尾花	水仙
4	夕顔	夏木立	夏木立	4	大根	寒梅	枯芒
5	若葉	若竹	夕顔	5	霜枯れ	帰り花	枇杷の花
6	夏草	青梅	瓜	6	葱	雪折	木の葉
7	麦	蓮	木下闇	7	落葉	葱	大根
8	茂り	竹の子	杜若	8	枯草	茶の花	茶の花
9	竹の子	夕顔	苔の花	9	枯木	水仙	石蓀の花
10	紫陽花	卯の花	蓮の花	10	枯忍	寒菊	枯萩

表 2.5 季節 植物季語使用数順位(多い順)

季節	春	English	使用数	夏	English	使用数
1位	桜	cherry blossoms	678	牡丹	peony	135
2位	梅	plum	288	麦	wheat	93
3位	木の芽	bud	149	若葉	young leaves	91
4位	椿	camellia	141	芥子の花	poppy flowers	89
5位	菜の花	rape blossoms	119	卯の花	deutzia	88
6位	桃の花	peach flowers	89	蓮	lotus	81
7位	菫	violet	80	百合の花	lily	69
8位	山吹	Japanese rose	68	薔薇	roses	68
9位	若菜	young green	60	夕顔	bottle gourd	67
10位	土筆	horse tail	54	紫陽花	hydrangea	66
季節	秋	English	使用数	冬	English	使用数
1位	菊	mums	220	落葉	fallen leaves	149
2位	萩	Japanese bush clover	124	枯木	dead tree	74
3位	柿	persimmon	102	冬木	withered trees	65
4位	朝顔	morning glory	95	水仙	daffodil	61
5位	曼珠沙華	cluster amaryllis	92	冬木立	winter grove	52
6位	紅葉	maple	88	葱	leek	50
7位	芒	Japanese pampas grass	87	山茶花	sasanquus	48
8位	栗	chestnut	85	茶花	tea plant	47
9位	鶏頭	cockscornb	64	帰花	unseasonable flowers	44
10位	木の実	nut	55	蜜柑	mandarin	43

### 3. 俳句季語における空間意識：『最新俳句歳時記』(山本健吉編)による分析

Spatial Image of *Kigo* (season word) in Haiku, an Analysis on Saishin-Haikusajiki (glossary of season words) by Keikichi Yamamoto

俳人 野末琢二

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

Takuji NOZUE, Haijin

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

要旨：俳句歳時記における空間概念を分析し、山本健吉の『最新俳句歳時記』の俳句季語の時代背景を調べ、ひとびとが好ましいと意識する空間要素の影響を抽出した。植物季語の季節的及び空間的に出現頻度を分析し、季語の空間分布を明らかにした。また俳句季語をデータベース化することで、環境指標への活用方法を探った。

キーワード：俳句歳時記、季語、空間意識

Abstract: To clarify the effects of spatial elements on people's preference, we analyzed the spatial rank order in the historical background of *kigo*, seasonal words, used in haiku compiled in Saishin-Haikusajiki by Kenkichi YAMAMOTO. We examined the frequency of spatial distribution of the plant *kigo*. And we established a *kigo* database exploring for their usage in the environmental indices.

Keywords: Haikusajiki (glossary of season words), *kigo* (season words), spatial image

#### 3.1 はじめに

わが国の短詩型文芸として俳句の人気は、高い。青木(2001)によれば俳句文学館に登録されている俳句会は11822に及ぶといわれる。俳句結社を中心としたより熱心な愛好者のもとより、新聞や雑誌への投句、地方自治体における講座での受講まで俳句の作句のあり方はまことに多様だ。さらに、海外にも熱心な愛好者がおり、まさに短さにおいて、俳句は世界一短い一行詩として人気を集めている。

俳句愛好者が作句する場合に、必ず手元に置き、参照するのが俳句歳時記だ。俳句歳時記は、春、夏、秋、冬、新年の季節別に季語が分類されるのが通常で、季語の解説と例句からなる。季語は、正確には俳諧連歌の発句が独立して俳句となってから用いられるようになった季節の語彙(詞=ことば)で、連歌や俳諧の発句の立て題(季題)とは区別される。ここでは季題との区別を意識することなく、広い意味で季語としておく。作句する場合は、当季のふさわしい季語を決め、その季語を用いた過去に作られた句を参照にしながら、独自性のある作句を試みる。過去の句をベースにしながらそれを超えようとする作句における意図は、俳句歳時記に歴史変遷を経た季語の取捨選択をもたらす。過去から評価され続けた価値観を有する季語を継承させ、そうでない季語は捨てられる。さらに「いま」の時代の価値観を表す季語が、新たに付加される。俳句歳時記における季語の取捨選択は時代ごと、編者の方針により異なる。時代ごとに編纂を繰り返してきた俳句歳時記の季語の分析は、ある時代にひとびとが好ましいと評価してきた意識を表す。ここでは、俳句季語を

通してひとびとが意識してきた空間の姿を明らかにする可能性を探った。

### 3.2 研究の手法

分析にあたり、空間の概念を桑子敏雄(1999)の「空間の履歴」から引用する。そして桑子の空間の履歴の概念とほぼ同じ視点から編纂された山本健吉(1971)の『最新俳句歳時記』(以下、「最新歳時記」)の植物季語を分析する。

これまで、俳句歳時記の研究は主に国文学資料として分析されてきた。歳時記を季節の語彙のデータベースとして扱う研究では、尾形(1981)や尾形・小林(1984)の近世以降の歳時記の季語の分類、整理の研究が知られている。また、空間を意識した俳句歳時記の研究では、植物季語を景観評価の指標として扱った研究がなされている(Aoki, Konta and Nozue, 2004)。これらの研究により、山本の「最新歳時記」における季語の空間分析で植物季語を用いる理由がここにある。

桑子(1999)は、空間を単に目に見える景色でなく、歴史的な時間を組み込んだものとし、空間の履歴をひとびとが好ましいと感じる環境の有効な要因と考えた。山本は「最新歳時記」<新年>の「日本文学と季節感」で、四季ごとの季題である「花、月、時鳥、雪、紅葉」の「五箇の景物」を核として変遷してきた季語の歴史的特性を明らかにした(図 3.1)。花は通常は桜で晩春であり、時鳥(ホトトギス)は鳥で初夏、仲夏、晩夏を通した三夏である。月は、通常は仲秋の象徴(ただし俳諧連歌では秋に限らず四季の月でも良いとされる)であり、晩冬の代表としては雪である。そして、晩秋を象徴する紅葉は恋とも置き換えられる。実際、連歌や俳諧連歌では恋は重要なテーマだ。

山本の「季語の年輪」を歴史年代的に整理すると以下のようなになる。

五箇の景物＝前古代

和歌の題＝古代

連歌の季題＝中世

俳諧の季題＝近世

俳句の季題＝近代(とくに明治・大正・昭和)

季語＝いま

わが国の思想史において言語の持つ力は「言霊」として表現される。これは抽象的な概念ではなく、ことば、より具体的には季節の語彙(詞)が、歴史的変遷において重みを持ち、影響を与えてきたことを意味する。山本は季節の語彙の履歴を2次元的に、木の年輪に例えたが、3次元的に見れば、中心にある五箇の景物は、いわば季語の核として絶えず周囲に影響を与える季語の年輪の輪と考えることができる。中心に行けばいくほど歴史の重みは増し、凹みは大きくなるが、中心の磁場の力に対し、外側は磁界の影響が薄れ現代社会において見出される季語が日増しに増え、膨張し続ける。このように、3次元に見れば、季語の年輪の全体は「季語の磁場」ともいえる(図 3.1)。

山本は「最新歳時記」で、季語の変遷を明らかにすると同時に、それまで俳句歳時記の慣例を破り、季節ごとの季語を空間概念で分類整理した。従来は「時候・天文・地理・人事・宗教・動物・植物」だったが、山本は「時節・気象・暦日・山野・園芸・水沢・海洋



・田園・行事・飲食・衣住・遊戯・雑」など空間概念を取り入れた分類法を用いた。ただし衣住は、衣と住に別れるが、山野、園芸、水沢、海洋、田園などは、分類手法に季語が詠まれた空間概念を取り入れた。

また、山本は季語の分類を連歌からの伝統に基づき、各季を初・仲・晩と細かく分類した。春、夏、秋、冬をさらに「初、仲、晩」の3つと、3つの季に渡るものとの4つに細かく分類した。たとえば春なら春を通して見られる「三春」の季語と、初春、仲春、晩春のそれぞれに見られる季語とに分け、それらの違いを明確にしようとした。実際は、冬に新年を迎える行事の歳晩が4つに分けられ、ほかに新年が独立しているので、季の分類は18に上っている(表3.1)。

日本の詩歌の歴史的背景を明らかにすることで、空間概念を取り入れた山本の「最新歳時記」に収録された季語を、季ごとに分析する。そして、植物季語と植物季語に関連する農産物関連の季語を加え分析する。例えば、稲の花、梨の花など農産物でありながら植物としても観賞される。これらを植物として拾うにはやや抵抗があり、さらに収穫物である稲や梨、そして蕎麦、麦などとなると純粹に植物として拾うには抵抗がある。そこで、農産物を別に掲げ、区別した。

また、「最新歳時記」の季語を整理する上で、季節による18分類、その季語が属するいわば空間属性による25分類をコード化し、ひとつひとつの季語に固有の7桁のコードを付した。これは、全ての季語のなかから目的の季語を選びやすくするという実用目的もあるが、後々、季語をデータベース化し、インターネットなどを通して広く公開する際の試みである。

季語にコード番号を付し、「植物季語」と「農産物」を抽出し、季節ごとに数がどう変化していくかを分析する。そして、季節ごとに植物季語がどの空間において顕著であるかを分析し、そこにひとつひとつの景観への潜在意識を探った。

**【季語のコード化の例】**

春の草	10dd070	→最初の「10」は三春、ddは「山野」、070は三春の70番目
梅	11dd023	→最初の「11」は初春、ddは「山野」、023は初春の23番目

### 3.3 結果と考察

#### ①季ごとに見た季語数の変化と変化要因

歳時記の季語を、植物に関する季語、農産物に関する季語、その他の季語の3季語ごとに、18の季ごとに分けた(表3.2)。ただし、分析では1年を通した季ごとの変化を12分類とした。春を通した「三春」のような1つの大きな季は、その季を細かく分けた分類数(春

・夏・秋は3、冬は4)で除し、均等に初、仲、晩のおのおのの季に加算した。また、新年は便宜上季節ごとの変化の分析から除外した。

その結果以下の点が明らかになった。

・春、夏、秋、冬という4季の分類では、季語の総数は夏がもっとも多い。続いて春、秋となる。これは青木(2001)の指摘と合致する。そして、この傾向は植物、農産物ともに同じである。

・これに対し、より細かな12分類では季語の総数は4つのピーク、すなわち晩春(4月5日 - 5月5日)、晩夏(7月8日 - 8月7日)、晩秋(10月8日 - 11月6日)、晩冬(1月6日 - 2月3日)が現れる(図3.2)。

・12分類による植物季語数は晩春(4月5日 - 5月5日)と晩秋(10月8日 - 11月6日)にピークがある(図3.2)。

・12分類において農産物季語数は顕著なピークは見られなかったが、晩夏(7月8日 - 8月7日)と晩秋(10月8日 - 11月6日)にやや高いピークが見られる(図3.3)。

・12分類においては、その他の季語数では晩夏(7月8日 - 8月7日)と、晩冬(1月6日 - 2月3日)の2つにピークが見られた(図3.3)。

Aoki, Konta and Nozue (2004)の指摘では見えなかった植物季語のピークが晩春と晩秋にあることは、季を細かく分類したことで明らかになった。

季語総数として現れた4つのピークがいずれも、「晩」というシーズンの終わりにあることは、季節の境界に意識が多く集まることを意味している。つまり季語とは、季節の変わり目をいち早く意識づける重要なファクターとなっていることが分かる。

また各季節の「晩」の4つのピークは、どの季語の影響であるかを調べた。

- ・晩春のピークは、植物季語である。
- ・晩夏はその他の季語と農産物である。
- ・晩秋は植物季語と農産物である。
- ・晩冬はその他の季語である。

山本の指摘した「五箇の景物」のうち、晩春のピークに影響を与えている植物季語の核は花(桜)であり、晩秋のピークの植物季語の核は紅葉である。

晩夏に影響をおよぼしている「その他の季語」とは、梅雨という温帯モンスーンの気象現象である。梅雨時期の重要な農事は、田植えで、現代では初夏だが、季語では伝統的に仲夏に分類されている。晩夏は田植え後の草むしり、青田をはじめ植物、農産物が旺盛に成長を遂げる時期で、梅雨から梅雨明け後の多様な気象、祭りなどの行事、蒸し暑さを逃れるための暮らし(衣住)、そしてさまざまな動植物などの季語があり、バリエーションが広がる。

晩冬に影響を与えているその他の季語は、雪である。

五箇の景物のうち時鳥(トトギス)と月は出ていない。時鳥は三夏と長期にわたるため、影響力が見えにくい。また月は、連歌や俳諧連歌では月は必ずしも秋としなくても良いという約束ごとがあるように季節全体を通して影響を与えていた。

## ②季節ごとに見た植物季語の空間ごとの変化

植物季語が、季節ごとの空間との関連は以下のとおりである。

- ・植物季語の出現場所の多くは、四季を通して山野であり、数がもっとも多いのは表 3.3 の春(205)であり、続いて秋(198)だった。

- ・季語数のピークである夏の山野における植物季語数は、春や秋より少なく 49.2%である(表 3.3)。

- ・山野で植物季語数の割合がもっとも多いのは、春は初春(81.3%)、夏は初夏(66.3%)、秋は晩秋(73.6%)、冬は初冬(62.5%)であった(表 3.3)。

- ・植物季語を農産物季語と比べると、空間の広がりが多様であることが分かる。農産物季語の場合は最大 6 項目(時節・気象、山野、田園、園芸、行事、飲食・衣住)(表 3.4)で足りたのに対し、植物季語は最大 11 項目に上った(上記以外に暦日、水沢、海洋、遊戯、雑)(表 3.3)。

空間で見ると植物季語は多様な出現の場があり、とくに山野に関連していることが分かった。季語総数で季節の変わり目である「晩」が多かったのに比べ、山野の植物季語は、季節の始めの「初」に季語の出現回数が増える。秋のみ晩秋が 73.6%と高くなっているが、初秋も 64.9%と高率である。

具体的に見ると、初春は「春の七草」である芹摘みに代表されるように、寒さが残るなかいち早く春の草花を「摘む」行為が顕著となる。冬場のビタミン補給という実質的な目的もあろうが、それ以上に季節の変化をいち早く察知しようという積極的な景観への意識がうかがえる。初夏も同じく新緑に代表されるように、さまざまな木々の芽吹きへの関心がうかがえる。初秋は、実質的には夏の暑さが残っているが、春の七草とおなじく秋の七草にいち早く季節の訪れを感じようとする季語が核となっている。秋でもっとも多い晩秋は、冬への訪れを予感させる紅葉が中心となっている。その意味では、晩秋から初冬へは連続しているともいえる。「残る紅葉」は初冬の季語として分類される。

植物季語の出現する場の多様性については、植物を契機として気象現象と結びつけた空間認識に負うところが大きい。たとえば気象では仲春の「木の芽起し」(木の芽を目覚めさせるような風)。晩春の「花冷」、「花曇」、「菜種梅雨」、「桜南風(はえ)」(桜の花のころの南風)。初夏の「筍流し」、「茅花流し」や仲夏の「木の芽流し」(いずれも強い雨)。初冬の「木枯らし」など植物の名前を冠して雨や風を表現している。実景として見える植物とその時期に訪れる気象現象とを複眼的に捉えた季語で、歴史過程で生み出された季節の語彙(詞)は多様に蓄積されてきた結果といえる。

山野や園芸、田園という場において次々と新たな植物季語が加えられ増加する一方で、時節・気象、行事、遊戯などでは季の題として営々と受けつがれてきた歴史の重みを負った語彙が残されている。現実的にはこれらの行事は行われなくなっているが、実景よりも想像のなかでよみがえらせることで、空間をより豊かにする語彙として、支持され受け継がれてきた。

生物で固有種の多様性を受け継ぐために基準として絶滅危惧のリストが作成されているが、季語の多様性を受け継ぐという意味において、こうした植物季語は絶滅危惧季語

と言えるのかも知れない。

### 3.4 まとめ

俳句の歴史に造詣が深い山本健吉が、集大成として編んだ「最新歳時記」を分析し、季語の背後に隠された意識について分析を試み、以下の点が明らかとなった。

1. 季語の無造作な一覧の背後に、季語のひとつひとつが負っている履歴の重みが空間の概念を通して見えた。

2. 植物季語とその関連で農産物季語を対象にした分析を通して、季節の変化が生じる「晩」や「初」において、ひとびとが積極的に山野に出ることが分かった。季節の移り変わりを愛でる行為は、たんに自然への関心に敏感であるというだけでなく、過去から受け継がれてきた季節の語彙(詞)を契機に歴史的空間に身を置くことで、はじめていまの空間を評価し、好ましいと感じることができる。この複眼的な空間のとらえ方、空間履歴を端的に組み込んだのが俳句の季語といえる。

今後は、生物指標のように、鳥類、昆虫、脊椎動物などさまざまな生物季語の評価により俳句の季語が環境を意識する上で有効に活用できる、いわば環境指標としての季語の活用が考えられるのではないかと思われる。しかし Aoki, Konta and Nozue (2004) が分析した「角川図説大歳時記」の植物季語を、近田(2009)は植物分類学の立場からより詳細な整理を試みた。このように俳句季語は、文芸としてリズムや表現上の意味を第一義とし、科学的な正確さは二義的であることが分かった。

山本健吉は「最新歳時記」〈春〉において、俳句季語が俳句作家だけのものに終わらせることなく日本固有の歴史遺産として自然科学者まで巻き込んだ開かれた編さんの可能性を意識し、その整理のために編さんしたことを述べている。俳句季語は、景観をより豊かにし、作り出すための契機になり得ると思われる。そのためには季語の履歴を整理し、多くのひとに知ってもらうことが必要である。今回はその手がかりとしてコード化を試みた。林まゆみ(2004)は「100年以上前から国内に自己繁殖する植物」を「風土性植物」と位置づけ、風土性植物がエコロジカルな環境形成に活用できないかを意識調査により探った。それによると、教育啓発が風土性植物を景観に活かす決め手になることが判明した。その意味では俳句歳時記が広く一般のひとに知ってもらうために、環境との関わりにおける評価と同時に、より広範な学問分野からの参加による啓蒙啓発が必要と思われる。

### 謝辞

論考をまとめるにあたり、ジャンポール絹子氏には多大なるご教示、ご支援を賜った。ここに感謝申し上げます。

### 参考文献

Aoki, Y., Konta, F. and Nozue, T. (2004) Diversity in Reference to Japanese Plants compiled in the

Kadokawa Haiku Saijiki Glossary of Seasonal Haiku Terminology, Journal of Environmental Information Science 32(5), 155-160.

青木陽二 (2001) 俳句の植物季語に表れた季節変化に関する研究, 環境情報科学論文集 15, 85 - 95.

林まゆみ (2004) 風土に馴染んだ植物の利用に関する意識調査 環境情報科学論文集 18, 19 - 24.

近田文弘 (2009) 植物に関する季語の植物分類学的分析, 俳句における環境植物の研究, 国立環境研究所研究報告 201, 9 - 39.

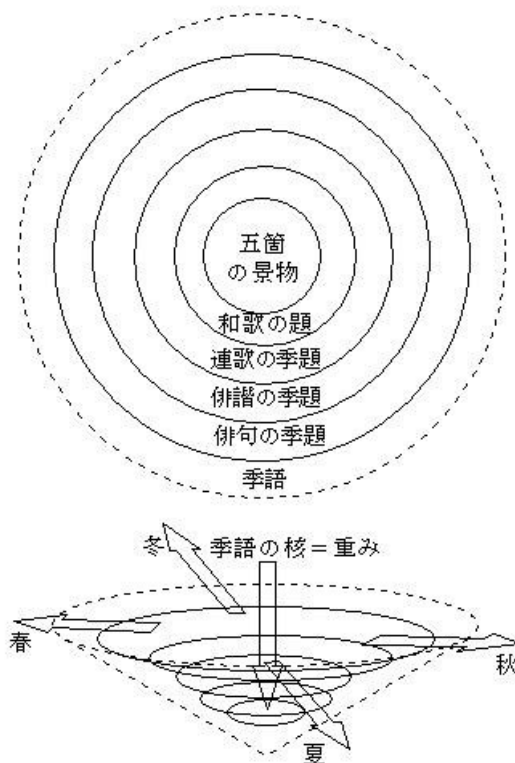
桑子敏雄 (1999) 環境の哲学—日本の思想を現代に活かす, 講談社, 東京, 21p.

尾形侑・小林祥次郎 (1981) 近世前期歳時記十三種本文集成並びに総合索引, 勉誠社, 東京, 588pp.

尾形侑・小林祥次郎 (1984) 近世後期歳時記本文集成並びに総合索引, 勉誠社, 東京, 1090pp.

山本健吉 (1971) 最新俳句歳時記, 全 5 巻, 文芸春秋社, 東京, 春 403pp, 夏 459pp, 秋 402pp, 冬 400pp, 新年 398pp.

山本健吉 (1972) 季語の年輪, 最新俳句歳時記<新年>, 文芸春秋社, 東京, 235-241p.



山本健吉は「季語の年輪図」(上)で、季語の履歴を「五箇の景物=前古代」「和歌の題=古代」「連歌の季題=中世」「俳諧の季題=近世」「俳句の季題=近代(とくに明治・大正・昭和)」「季語=いま」として表した。それに空間履歴の概念を加えると3次元的な「季語の磁場」の図(下)になる。

中心部は語彙の重みにより凹み、いわば季語の磁場ができあがる。周辺部は季節の語彙が拡大し、外側に向かって膨張する。円の中心部から四方に春夏秋冬の座標軸を取り、履歴の度合いを季節の語彙の重みとし、負の縦軸上にとれば立体的な季語の空間履歴を明確に表すことができる。

図 3.1 山本健吉の「季語の年輪と磁場」の図

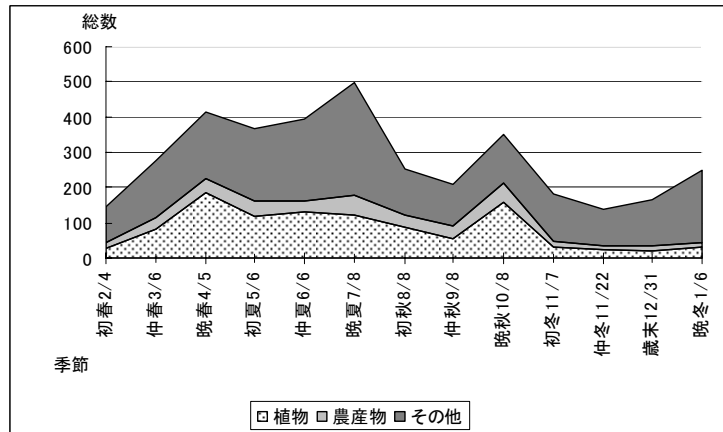


図 3.2 季節ごとの季語数(総数)

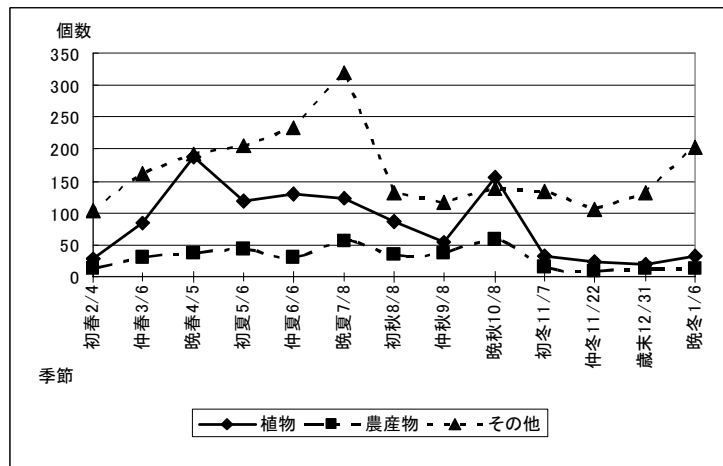


図 3.3 季節ごとの季語の変化(種類別)

表 3.1 18 季分類における季語の出現数

季節大	季節中	季語数	植物(1)	農産物(2)	(1)+(2)	その他
春	三春	210 5.4%	37 17.6%	16 7.6%	53 25.2%	157 74.8%
	初春	76 1.9%	16 21.1%	8 10.5%	24 31.6%	52 68.4%
	仲春	205 5.3%	71 34.6%	24 11.7%	95 46.3%	110 53.7%
	晩春	345 8.8%	175 50.7%	31 9.0%	206 59.7%	139 40.3%
春		836 21.4%	299 35.8%	79 9.4%	378 45.2%	458 54.8%
夏	三夏	506 13.0%	53 10.5%	16 3.2%	69 13.6%	437 86.4%
	初夏	198 5.1%	101 51.0%	38 19.2%	139 70.2%	59 29.8%
	仲夏	225 5.8%	112 49.8%	26 11.6%	138 61.3%	87 38.7%
	晩夏	329 8.4%	106 32.2%	50 15.2%	156 47.4%	173 52.6%
夏		1258 32.3%	372 29.6%	130 10.3%	502 39.9%	756 60.1%
秋	三秋	203 5.2%	36 17.7%	38 18.7%	74 36.5%	129 63.5%
	初秋	185 4.7%	74 40.0%	22 11.9%	96 51.9%	89 48.1%
	仲秋	141 3.6%	42 29.8%	25 17.7%	67 47.5%	74 52.5%
	晩秋	284 7.3%	144 50.7%	45 15.8%	189 66.5%	95 33.5%
秋		813 20.9%	296 36.4%	130 16.0%	426 52.4%	387 47.6%
冬	三冬	382 9.8%	62 16.2%	37 9.7%	99 25.9%	283 74.1%
	初冬	85 2.2%	16 18.8%	5 5.9%	21 24.7%	64 75.3%
	仲冬	44 1.1%	9 20.5%	0 0.0%	9 20.5%	35 79.5%
	晩冬	153 3.9%	16 10.5%	4 2.6%	20 13.1%	133 86.9%
	歳末	71 1.8%	5 7.0%	4 5.6%	9 12.7%	62 87.3%
冬		735 18.9%	108 14.7%	50 6.8%	158 21.5%	577 78.5%
新年		257 6.6%	18 7.0%	8 3.1%	26 10.1%	231 89.9%
		3899 100.0%	1093 28.0%	397 10.2%	1490 38.2%	2409 61.8%

表 3.3 場所別にみた植物季語の出現回数(18 季)

	三春		初春		仲春		晩春		春	
時節・気象	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	4	2.3%	6	2.0%
暦日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	2	0.7%
山野	17	45.9%	13	81.3%	46	64.8%	129	73.7%	205	68.6%
水沢	0	0.0%	0	0.0%	7	9.9%	0	0.0%	7	2.3%
海洋	11	29.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	3.7%
田園	6	16.2%	0	0.0%	6	8.5%	2	1.1%	14	4.7%
園芸	0	0.0%	3	18.8%	7	9.9%	29	16.6%	39	13.0%
行事	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	8	4.6%	10	3.3%
飲食・衣住	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	0.3%
遊戯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.3%
雑	3	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.0%
	37	100.0%	16	100.0%	71	100.0%	175	100.0%	299	100.0%

	三夏		初夏		仲夏		晩夏		夏	
時節・気象	0	0.0%	2	2.0%	1	0.9%	0	0.0%	3	0.8%
暦日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	28	52.8%	67	66.3%	38	33.9%	50	47.2%	183	49.2%
水沢	15	28.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	4.0%
海洋	3	5.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.1%
田園	0	0.0%	3	3.0%	18	16.1%	3	2.8%	24	6.5%
園芸	3	5.7%	28	27.7%	45	40.2%	50	47.2%	126	33.9%
行事	0	0.0%	0	0.0%	9	8.0%	0	0.0%	9	2.4%
飲食・衣住	4	7.5%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.9%	6	1.6%
遊戯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雑	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	2	0.5%
	53	100.0%	101	100.0%	112	100.0%	106	100.0%	372	100.0%

	三秋		初秋		仲秋		晩秋		秋	
時節・気象	0	0.0%	1	1.4%	2	4.8%	0	0.0%	3	1.0%
暦日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	24	66.7%	48	64.9%	20	47.6%	106	73.6%	198	66.9%
水沢	3	8.3%	2	2.7%	3	7.1%	15	10.4%	23	7.8%
海洋	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
田園	3	8.3%	2	2.7%	0	0.0%	8	5.6%	13	4.4%
園芸	6	16.7%	16	21.6%	17	40.5%	13	9.0%	52	17.6%
行事	0	0.0%	5	6.8%	0	0.0%	1	0.7%	6	2.0%
飲食・衣住	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
遊戯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.3%
雑	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	36	100.0%	74	100.0%	42	100.0%	144	100.0%	296	100.0%

	三冬		初冬		仲冬		晩冬		歳末		冬	
時節・気象	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
暦日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	48	77.4%	10	62.5%	0	0.0%	3	18.8%	0	0.0%	61	56.5%
水沢	5	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%
海洋	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
田園	1	1.6%	3	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.7%
園芸	7	11.3%	2	12.5%	8	88.9%	12	75.0%	0	0.0%	29	26.9%
行事	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	1	6.3%	5	100.0%	7	6.5%
飲食・衣住	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
遊戯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雑	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	62	100.0%	16	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	5	100.0%	108	100.0%

	新年	
時節・気象	0	0.0%
暦日	0	0.0%
山野	1	5.6%
水沢	0	0.0%
海洋	0	0.0%
田園	0	0.0%
園芸	0	0.0%
行事	7	38.9%
飲食・衣住	10	55.6%
遊戯	0	0.0%
雑	0	0.0%
	18	100.0%

表 3.2 山本健吉編『最新俳句歳時記』〈春、夏、秋、冬、新年〉（1971, 1972）の季と項目  
分類の仕方

季節の分類		主な項目	概念*
春 (4)	三春	時節	時間
	初春	暦日	時間
	仲春	気象	現象
	晩春	山野	空間
夏 (4)	三夏	水沢	空間
	初夏	海洋	空間
	仲夏	水沢・海洋	空間
	晩夏	田園	空間
秋 (4)	三秋	園芸	空間
	初秋	行事	時間
	仲秋	飲食	行為
	晩秋	衣住	行為
冬 (5)	三冬	住	行為
	初冬	衣	行為
	仲冬	遊戯	行為
	晩冬	雑	行為
	歳末	芸能	行為
新年(1)			
計		18	

\*概念は山本によらず  
筆者が便宜上分類した

表 3.4 場所別にみた農産物季語の出現回数(18 季)

	三春		初春		仲春		晩春		春	
時節・気象	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
田園	16	100.0%	8	100.0%	23	95.8%	31	100.0%	78	98.7%
園芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
行事	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	1	1.3%
飲食・衣住	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	16	100.0%	8	100.0%	24	100.0%	31	100.0%	79	100.0%

	三夏		初夏		仲夏		晩夏		夏	
時節・気象	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
山野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
田園	15	93.8%	34	89.5%	26	100.0%	49	98.0%	124	95.4%
園芸	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
行事	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食・衣住	1	6.3%	2	5.3%	0	0.0%	1	2.0%	4	3.1%
	16	100.0%	38	100.0%	26	100.0%	50	100.0%	130	100.0%

	三秋		初秋		仲秋		晩秋		秋	
時節・気象	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
田園	38	100.0%	21	95.5%	25	100.0%	43	95.6%	127	97.7%
園芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
行事	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食・衣住	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	2	4.4%	3	2.3%
	38	100.0%	22	100.0%	25	100.0%	45	100.0%	130	100.0%

	三冬		初冬		仲冬		晩冬		歳末		冬	
時節・気象	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
山野	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
田園	29	78.4%	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	34	68.0%
園芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
行事	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	4	8.0%
飲食・衣住	7	18.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	11	22.0%
	37	100.0%	5	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	4	100.0%	50	100.0%

	新年	
行事	2	25.0%
飲食・衣住	6	75.0%
	8	100.0%



#### 4. 俳句の植物季語に表れた日本の季節変化

##### Expression of the Seasonal Experience of Vegetation in Haiku

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

独立行政法人国立科学博物館 近田文弘

俳人 野末琢二

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

Fumihiko KONTA, National Science Museum

Takuji NOZUE, Haijin

要旨：多くの季語を収録した歳時記を用い、俳句に現れた植物の記述を調べ、日本の季節感における植物の役割についてまとめた。その結果、214の季語が植物季節の表示として用いられていることが見出された。花は1年中、俳句に詠まれて楽しまれていた。新緑は冬から夏にかけて、緑葉は春から夏にかけて、繁茂は夏に、紅葉は秋から冬に、木のシルエットは冬に詠まれていた。植物は夏に最も多く俳句に詠まれている。植物は春と秋に図として読まれている。花卉や芽、新葉のような小さなものは至近景で詠まれている。植物は大きいものは森から、小さいものは花粉まで、また冷温帯のものから亜熱帯のものまで多様な方法で詠まれている。

キーワード：季語、季節変化、景観植物、俳句

Abstract: The vegetation of Japan has been a long-standing source of fascination. The description of seasonal changes in haiku in a *sajiki* (glossary of season words) was investigated in terms of the distance of landscape from the viewer, the variation in figure-background dominance, and the type of vegetation. The haiku poems display six main points. First, 214 categories of characteristic haiku terminology (*kigo*) were identified which related to the seasonal plants. These described flowers throughout the year; the emergence of fresh leaves from winter to summer; foliage from spring to summer; flourishing (i.e. luxuriant growth of leaves and twigs) during summer; colored leaves from autumn to winter; and the silhouette of trees in winter. Summer poems contained the most frequent descriptions of vegetation within a landscape, while spring and autumn poems most often focused on individual plants. Small objects, such as a flower, bud, and fresh leaf, were often described in a close-up views. The haiku reflected the diversity of vegetation in the landscape from forest to pollen, from boreal plants to tropical ones.

Keywords: *kigo* (season words), seasonal change, vegetation, haiku

#### 4.1 はじめに

俳句で用いられている季語は、日本人にとっては大変なじみの深いものであり、人は皆このような言葉を理解出来るものだと思いがちである。しかしながら、日本人がはぐくんできた季語は、日本の自然が人々に染み込ませた文化である。俳句が植物季語を多く含むことは、日本の自然の特徴を表している。この違いは外国に暮らしたり、外国人と親しく

付き合うようになると分かる。そして、外国には季語を集大成した歳時記のようなものが見当たらないと言われることから分かる(成田, 1968)。また依然として日本では歳時記に関する著述は増えており、俳句歳時記さえ増加している(図 4.1)。

このところの科学技術の進歩や交通手段の発達により、花卉や野菜、果物などでは、外来の種が導入されたり、人工的な栽培や外国で作られた農産物の輸入などで、日本人の季節感次第に失われている。このような人為による自然環境の改変が、人間の心に与える影響についての研究は少ない。日本人の季節感が無くなることは、日本の文化が無くなることでもある。俳句の植物季語が無くなることも、日本人の心が大きな影響を受けたことを示す。

植物季語の変遷を調べればこの変化を知ることが出来るが、始めは過去の季語にどのような植物が用いられたかを知るべきである。本研究では、一番多くの植物種が収録された歳時記について分析を試み、どのような植物が親しまれていたかを明らかにする。

俳句では色々な事情で植物を詠む。その中で植物を視覚的に捉えた句に注目したい。これは高浜虚子(1952)が勧めた写生という作句が、多くの人々の心を環境のながめ(中村 1977)に導いたからである。よって、ここでは、風景要素として有効な植物表現について分析した。

本研究は、自然記述のひとつである俳句(有馬, 2002)にある植物季語を分析し、ゆくゆくは化学記号や数式、物理単位、生物分類のような科学的な記述用語としての利用も目指している。俳句の科学的研究を季語より始めることは、グラスゴー大学の David Platt 博士にも支持された。

#### 4.2 気候条件による季節感の違い

風景の記述が、個々の人々の景観体験によることは Appleton(1994)の指摘する通りである。交通が不便で行き来が容易でない時代には、気候風土が異なる場所に住む人の体験を理解することは困難であった。

最近までの日本人は、戦争やその後の復興でゆとりがなく、異なった気候風土を経験することができず、せいぜい北海道から沖縄までの気候風土の違いを話として聞いていた。北緯 45 度の北海道から 24 度の沖縄までは、寒冷帯から亜熱帯まで幅広く広がるが、ユーラシア大陸の東岸に、日本海及び東シナ海を挟んで位置する条件から、ほぼ全体が四季の変化を体験できる気候条件にある。よって日本人にとって、四季の移り変わりは、当然なことと受けとめられて来た。

日本に滞在した西洋人は、この気候条件の違いに気づき多くを記述している(Aoki and Konta, 2000)。また外国に滞在した少数の日本人も、このような違いに気づいた(和辻 1963)。そして外国に移住した人の中には、日本の四季を恋い焦がれる人もあった。しかし、このような気候条件がどのように日本人の情感を作り上げ、そのことが人間の心にどのような影響を与えているのか、科学的に研究されることはなかった。それは、外国滞在に限られた人だけであり、特別な人々の感想としてしか理解されなかったからである。

近年、多くの日本人が外国を頻繁に訪れるようになり、また長期に滞在する人も多くな

った。さらに外国へ移住した人々の中にも、ようやく生活が安定して、日本を訪れたり、日本について考える余裕も出来てきた。このことは、異なった文化や異なった言語を体験した日本人が、気候風土の違いによる、自然観の違いを明らかにできる条件が整いつつあることを示している。

#### 4.3 季語分析の有効性

日本では俳句は非常に多くの人によって楽しまれ(俳人協会, 1996)、愛好者は2,000万人とも推定されている(古屋敷, 1998)。一部の俳句は風景を記述するものである(水原, 1947)。よって季語も、景観体験を含み、風景記述のデータとして使える(青木, 1995)。

俳句は、明治時代に Chamberlain(1902)により西洋に紹介され、近年では、世界に広まりつつある(Higginson, 1996)。またドイツの俳人ギュンター・クリンゲ(Guenter Klinge)氏の話によれば、各国での歳時記の編纂さえも始まりつつある。よって世界の季語の国際比較研究ができる可能性もある。

外国で作られる俳句は言語や風土の違いから容易には相互に理解されない。しかし、中には日本人が理解できる内容のものが見られる。

例えば、ドイツのギュンター・クリンゲ氏の俳句

Die alte Mutter

warm nimmt der Winter ihr

letzeten Lebensmut

(冬ざるる老いたる母の力なく, 訳: 加藤慶二)

また英国のジェームス・ベイリー少年の俳句

again and again

the sound of waves lapping

on the empty beach

など十分に筆者には理解できる内容である。よって、共通の季語の発見の可能性もある。

季語について識者の理解を調べると、物理学者、寺田寅彦(1961)は、変化の多い日本の季節の最良の美的感覚を記録したものであると記している。また気象学者倉嶋厚(1985)は季節によって変化する気象条件の主要な記録であると記している。何れも季節感の重要な指標と指摘している。

#### 4.4 歳時記の選定

俳句歳時記は室町時代からあると言われ(尾形ら, 1995)、国会図書館の蔵書で調べても、現在でも毎年約7冊程度増加している(図4.1)。最初の頃の季語の数は少なく500程度であるが、江戸時代には既に3000を越えるものが出版され、現在の俳句歳時記では全季語数は2000-4000語位のものが多い(図4.2)。地域による違いが認識され、最近では地域別の俳句歳時記や植物や花のみに注目した歳時記も編纂されている(表4.1)。植物季語は多くの歳時記において図4.3のように、季語全体に対する回帰係数の0.21が示すように、季語全体の平均約21%を占め、重要な季語である。また植物季語の中では図4.4のように、回帰係数

が示すように、夏期の植物が多く植物季語全体の平均 38%もある。

この研究では、最も多くの植物季語を収集した歳時記(角川, 1974)について、分析を行った。最近のものには外来の植物が多く収集され、旧来の日本人の季節感を推定するには、少し古いものの方が適切である。また季語の中で一番多いのは、人間生活の記述であるが、2番目は植物(1421項)であり、春と秋には人間生活の項目を凌ぎ重要である(表 4.2)。これら植物季語には植物の専門家による写真を付した説明があるので理解しやすい。例句は多くの選者によってなされているので、俳句の理解が人々に共通していると思われる。

この歳時記に収録された俳句を、伝統的な日本の風景を記述したデータとして分析に用いた。まず、風景の記述として読み取れる俳句を選定し、植物種の判定を行った。

#### 4.5 植物記述を含む風景句の選定

植物を用いた風景を読んだと思われる俳句を選び、その記述を調べた。風景表現として確認するため、植物が視対象となっているか、背景となっているかを判断した。そして視対象となった植物の種類、植物の記述された部分、視対象までの距離について調べた。全体の 2.8%に当たる 397 句が選ばれ、214 季語を含んでいた(表 4.3)。これらは、風景の構成が明らかなものである。最も多くの種類の季語は草木の繁茂する夏に得られ、最も少ない季節は、枯れ木と室内の植物が記述される冬・新年である。選ばれた俳句は全体の 2.8%であるが、季語全体の 15.1%を含んでいる。俳句の抽出率に比すると季語が良く抽出されている結果である。

#### 4.6 俳句に詠まれた植物の部位とその効果

抽出された俳句の代表例は表 4.4 に示す。表には俳句、詠まれた植物の部位、見ている人から植物までの距離、植生の種類、植物の風景としての効果(視対象となる効果、背景となる効果)とその他の風景の主対象もしくは補助対象も読み取った。いくつかの俳句は視対象と背景の両方の効果に植物を使っていた。

新年には 3 種、春には 43 種、夏には 78 種、秋には 40 種、冬には 21 種、合計 185 種の植物の記述があった。春には多くの新葉と多種類の花が見られた。夏には緑葉が多く見られた。秋には多くの紅葉が見られた。冬には木々のシルエットが見られた。多くの植物は草本であった。また木本や蔓も見られた。記述は草原や森林の眺望景観だけでなく、花や芽の記述も見られた。

俳句における植物の視対象と背景の効果を調べるため、俳句を理解できる俳人の助けを借りてその風景の構成を明らかにした。視対象と背景の効果の判定には植物の大きさ、視距離、視対象の明るさ、色の対比などを用いた。65 の俳句が両方の効果があった(表 4.5)。

視対象の効果は春の花と新葉、秋の紅葉に多かった。背景の効果は、夏の緑葉と冬の枯れ木のシルエットに見られた。日本では、春の若葉の山を山笑うと表現し、秋の紅葉は錦秋として有名である。

#### 4.7 見えの大きさ

表 4.6 は見えている植物までの距離は、見えるものの大きさを決める。人の目にはズームアップという機能があるので、同じ距離でも大きく見えたり、小さく見えたりする。また遠くのは空気中の水蒸気により良く見えない。全体を通して、植物の細部が詠まれるのは春に多い。それは花や芽、新葉など、近くで見るものが多いからである。

一つの実や花、芽は非常に近い距離で見られている。例えば水仙の花や栃の若葉などである。この傾向は春と冬に明かである。樹木全体の実、花、芽は近景で見られている。この傾向は夏と秋に多い。柔らかい明るい印象の橡の芽は、多くの俳句に読まれている。美しい春蘭とカタクリの花も多くの人に読まれていた。オレンジ色の柿の実が目立つので、葡萄よりも多く読まれていた。新緑と紅葉は中距離景と遠景でも読まれていた。一方、単木とその緑葉は近景に読まれていた。これは新緑と紅葉によるテクスチャーの変化は目立つので、遠くまで識別出来るためである。結果として小さいものは近景で、大きいものや目立つものは遠景でも記述されていることが分かり、樋口(1975)のビジビリティ理論が有効であることが分かった。

#### 4.8 植生形態の多様性

表 4.7 のように、植生は視対象としては大きい森から、花よりも小さな花粉まで、俳句に読まれていることが分かった。森や樹木、竹、草原、水草、新緑は夏に多く、花や芽は春に多かった。蔓や紅葉、実は秋に多く、笹や竹、草原、落葉は冬に多い。

表 4.8 のように同じ植生タイプでも異なって記述されていることが分かった。例えば落葉樹の芽は春に、緑葉は夏に、紅葉は秋に、シルエットは冬に記述されていた。水田は田植えとして春に、青田として夏に、稲穂として秋に、落ち穂として晩秋に記述されていた。

多雪地域では笹の葉が、小雪地域では草の芽や椿の花が同じ季節の冬に記述されていた。夏にはより大きな地域差が見られ、冷温帯のハマナスが北部で記述され、藤の花が温帯で記述され、ヒオウギの花が暖温帯で記述された。これらは俳句の記述から見た、日本の植生景観の豊かさを示している。

#### 4.9 結論

角川の歳時記に収録された季語を用い、風景を記述した俳句の内容を調べることにより、以下の結論を得た。

- ・ 214 の季語が風景記述の季節表示として見出された。
- ・ 植物は夏に最も多く俳句に詠まれている。種でも夏に最も多く、次いで春に多く、年間で 185 種が用いられていた。
- ・ 植物は春と秋に視対象の中心に詠まれることが多い。
- ・ 花卉や芽、新葉のような小さなものは至近景で詠まれることが多い。
- ・ 日本では植物は大きいものは森や林、小さいものは花卉や花粉まで詠まれている。
- ・ 花は 1 年中、新緑は冬から夏にかけて、緑葉は春から夏にかけて、繁茂は春と夏に、紅葉は秋から冬に、木のシルエットは秋と冬に詠まれていた。また冷温帯の植物から亜熱帯の植物まで多様な姿で俳句に詠まれていた。

謝辞:俳句と自然の関連については国際俳句交流協会長の有馬朗人氏にご教授いただいた。英国での俳句の理解については、英国俳句協会会長の David Cobb 氏と Glasgow 大学の David Platt 博士より示唆をいただいた。外国での俳句の活動については星野恒彦国際俳句交流協会委副会長にお教えいただいた。俳句協会の活動については吉野洋子俳句協会主任司書にお教えいただいた。ドイツにおける歳時記の編纂の動向は Guenter Klinge 氏と Takako v. Zerssen さんに伺った。合わせて謝意を表す。

また視距離の定義は、山梨大学の北村真一教授に従った。俳句の解釈は、青木タケノの協力を得た。各位の協力に感謝する。

#### 参考文献

- 青木陽二(1995)植生景観記述から探る景観体験の解明に関する研究, 第 8 回環境情報科学論文集, 75-80.
- Aoki, Y. and Konta, F. (2000) Sustainable planning of Japanese landscape based on the appreciation of western visitors in Edo and Meiji era, IFLA Eastern Regional Conference '00 Proceedings Book, 85-92.
- Appleton, J. (1994) How I Made the World: Shaping a View of Landscape, The University of Hull Press, Hull, 255pp.
- 有馬朗人(2002)有馬朗人, 花神社, 東京, 166pp.
- Chamberlain, B. H. (1902) Things Japanese, John Murray, London, 408pp.
- 俳人協会(1996)俳人協会・俳句文学館要覧, 俳人協会, 東京, 10pp.
- Higginson, W. J. (1996) Haiku World, Kodansha, Tokyo, 407pp.
- 樋口忠彦(1975)景観の構造, 技報堂, 東京, 168pp.
- 角川源義(1974)図説俳句大歳時記, 角川, 東京, 5 巻.
- 古屋敷晶子(1998)読売新聞 10 月 16 日夕刊.
- 倉嶋厚(1985)日本の気候, 古今書院, 東京, 253pp.
- 水原秋桜子(1947)俳句になる風景, 新思潮社, 東京, 176pp.
- 中村良夫(1977)景観原論, 土木工学大系 13 景観論, 彰国社, 東京, 1-13.
- 尾形仵ら(1995)俳文学大辞典, 角川, 東京, 1184pp.
- 成田成寿(1968)英語歳時記／春, 研究社, 東京, 332pp.
- 高浜虚子(1952)俳句の作りやう, 実業之日本社, 東京, 240pp.
- 寺田寅彦(1961)俳諧・俳諧論, 寺田寅彦全集 12, 256pp.
- 和辻哲郎(1963)風土, 岩波, 東京, 253pp.

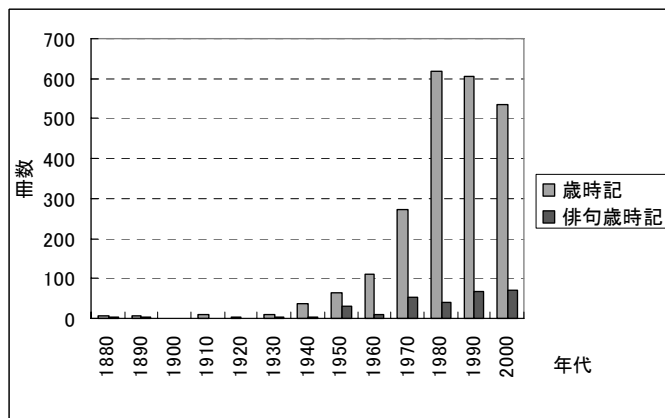


図 4.1 明治以降の歳時記の出版数(国会図書館蔵)

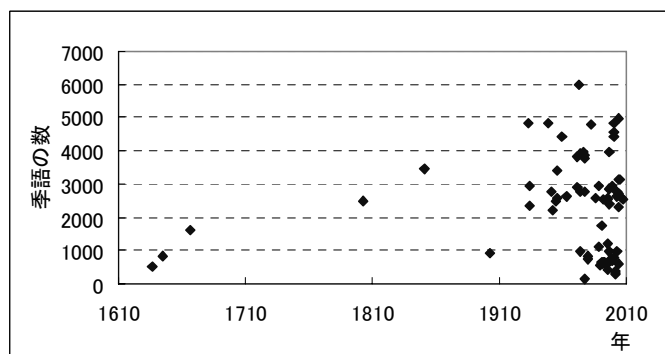


図 4.2 時代による歳時記に収録された季語の数

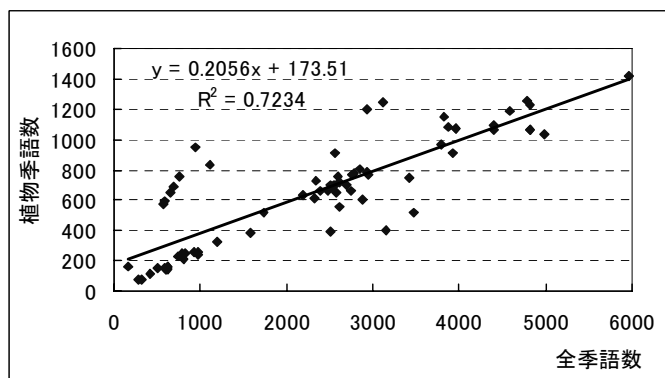


図 4.3 全季語に対する植物季語の占める割合

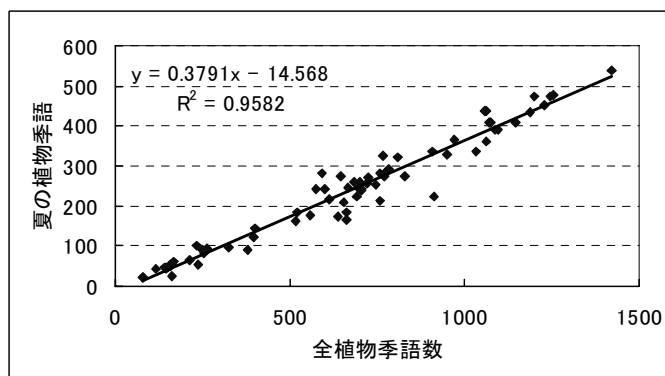


図 4.4 植物季語の中で夏の植物の占める割合

表 4.1 俳句歳時記に表れた植物季語の数

歳時記名	春	夏	秋	冬	新年	植物一年	全季語	発行年	編者
はなひ草	52	50	41	8	3	154	498	1636	立圃
毛吹草	102	84	39	28		253	822	1645	重頼
増山の井	143	92	83	61		379	1592	1667	季吟
俳諧歳時記	104	122	145	23		394	2503	1803	馬琴
俳諧歳時記 菜草	125	161	193	37		516	3467	1851	青藍
歳時記例句集	63	90	82	26	1	262	924	1903	寒川鼠骨
俳諧歳時記	237	437	296	69	26	1060	4824	1933	山本三生
新歳時記	171	271	208	74		724	2349	1934	高浜虚子
俳句季語事典	178	325	203	43	18	767	2944	1934	高橋仁
俳諧歳時記	237	436	296	69	26	1064	4818	1948	山本俊太
俳諧歳時記	205	168	197	77	15	662	2747	1951	村山古里
新しい季寄せ	148	174	242	63	10	637	2193	1952	加藤芳次郎
写真俳句歳時記	181	186	214	69	13	663	2481	1955	志摩芳次郎
俳句歳時記	76	276	213	69	13	647	2572	1956	秋元不死男
俳句歳時記	208	254	207	78		747	3426	1956	角川書店
俳句歳時記	291	392	336	96	12	1096	4402	1959	富安風生
写真俳句歳時記	152	176	168	61		557	2618	1963	横田正知
最新俳句歳時記	288	410	342	101	4	1145	3824	1971	山本健吉
俳句歳時記	181	243	127	39	10	600	2889	1972	永田義直
角川図説俳句大歳時記	339	540	414	106	22	1421	5967	1973	角川源義
俳句歳時記植物	248	328	243	132		951	951	1974	中村汀女
新編季語集	296	223	297	95		911	3934	1974	水原秋桜子
合本俳句歳時記	184	280	215	76	12	767	2763	1974	角川書店
新撰俳句歳時記	278	409	276	100	12	1075	3963	1976	明治書院
入門俳句歳時記	187	289	217	73	12	778	2779	1977	志摩芳次郎
最新俳句歳時記	222	365	289	93	3	972	3789	1977	山本健吉
植物歳時記	21	24	23	4		161	161	1978	尾藤忠旦
新編俳句歳時記	288	390	295	100	13	1086	3878	1978	森澄雄
入門歳時記	51	64	61	32	3	211	806	1980	大野林火
カラ一版俳句歳時記	195	212	208	143		758	758	1980	飯田龍太
カラ一図説日本大歳時記	306	478	337	127	7	1255	4793	1982	水原秋桜子
ホトギス新歳時記	139	260	229	63	7	698	2564	1986	稲畑汀子
新訂現代俳句歳時記	192	291	217	85		785	2931	1988	志摩芳次郎
花鳥俳句歳時記	214	273	221	110	13	831	1120	1988	黒田杏子
花の大歳時記	156	243	123	53		575	575	1990	森澄雄
光文社俳句歳時記	143	186	129	50	11	519	1744	1991	大坪昌夫
ふるさと大歳時記・関東	33	45	45	18	4	145	612	1991	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・九州沖縄	32	60	48	22	4	166	630	1991	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・北海道東北	37	51	49	17	4	158	624	1992	角川文化振興財団
文芸俳句歳時記	151	262	193	73	6	685	2512	1992	山口誓子
ふるさと大歳時記・甲信東海	39	53	47	18	4	161	631	1993	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・近畿	33	46	42	18	4	143	601	1993	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・北陸	33	47	43	18	4	145	617	1994	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・中国四国	35	48	44	18	4	149	591	1994	角川文化振興財団
ふるさと大歳時記・世界	24	45	36	13		118	413	1995	角川文化振興財団
蝸牛新季寄せ	221	337	255	92	4	909	2562	1995	蝸牛社
俳句歳時記	100	97	83	33	12	325	1201	1995	水原秋桜子
第三版俳句歳時記	181	245	194	68	8	696	2514	1996	角川歴彦
季寄せ草木花	178	210	182	83		653	653	1997	山口誓子
鑑賞俳句歳時記	69	95	61	37		262	975	1997	山本健吉
新撰俳句歳時記	278	409	275	98	12	1072	3958	1997	皆川爽雨
現代俳句歳時記	135	244	200	77	9	665	2390	1997	角川春樹
季寄せ	190	321	216	77	10	808	2848	1997	大野林火
山の俳句歳時記	66	100	48	18	0	232	738	1998	岡田日郎
草木花歳時記	186	225	199	82		692	692	1999	山田恒史
山暦俳句歳時記	255	472	350	117	7	1201	2941	1999	青柳志解樹
現代子ども俳句歳時記	6	4	5	3	2	20	126	1999	金子兜太
季寄せ	289	451	351	123	15	1229	4823	2000	角川春樹
新日本大歳時記	282	434	340	123	7	1186	4580	2000	講談社
山の俳句歳時記	59	90	76	23		248	794	2000	大野雑草子
俳句歳時記	290	361	305	96	12	1064	4402	2000	富安風生
沖縄俳句歳時記							350	2002	沖縄俳句研究会
増殖する俳句歳時記	27	23	23	7		80	293	2002	清水哲男
筆墨俳句歳時記	21	23	22	11	2	79	312	2002	村上護
今は始める人のための俳句歳時記	64	56	72	37	9	238	970	2003	角川書店
新版・俳句歳時記	185	256	200	70	8	719	2609	2003	桂信子
現代俳句歳時記	175	276	230	79	9	769	2762	2003	中村汀女
ジュニア版写真で見る俳句歳時記	58	104	47	39	6	254	878	2003	長谷川秀一
現代俳句歳時記	157	218	163	74		612	2322	2004	現代俳句協会
花の俳句歳時記	157	282	112	41		592	592	2004	大野雑草子
新山暦俳句歳時記	294	475	352	116	7	1244	3126	2004	青柳志解樹
携行版俳句歳時記	310	336	245	133	11	1035	4994	2004	小島哲夫
実用俳句歳時記	179	240	197	81	7	704	2702	2004	辻桃子
小学生の俳句歳時記	28	26	29	12	0	95	385	2004	金子兜太
福井俳句歳時記	94	146	115	47		402	3151	2005	斎藤耕子
ザ・俳句歳時記	190	281	205	76	7	759	2596	2006	有馬朗人
合本俳句歳時記	194	241	188	68	12	703	2537	2008	角川学芸出版



表 4.2 季節による季語数の変化

季節	時候	天気	地方	行事	信仰	動物	植物	歳時記合計
春	63	59	38	300	156	155	339	1110
%	5.7	5.3	3.4	27	14.1	14	30.5	100
夏	59	88	38	578	185	276	540	1764
%	3.3	5	2.1	32.8	10.5	15.6	30.6	100
秋	83	79	30	319	220	143	414	1288
%	6.4	6.1	2.3	24.8	17.1	11.1	32.1	100
冬・新年	114	81	33	884	348	117	128	1705
%	6.7	4.8	1.9	51.8	20.4	6.9	7.5	100
通年	319	307	139	2081	909	691	1421	5867
%	5.3	5.2	2.3	35.5	15.4	11.7	24	100

表 4.3 選ばれた季語と俳句の数

季節	季語	歳時記の全季語	俳句	歳時記の全句数
春	49	339	83	3421
	14.50%		2.40%	
夏	89	540	162	4097
	16.50%		4.00%	
秋	45	414	82	3640
	10.90%		2.30%	
冬・新年	31	128	70	3019
	24.20%		2.30%	
通年	214	1421	397	14177
	15.10%		2.80%	

表 4.5 季節による風景の中の植物の効果

季節	視対象	背景	不定	合計
春	47	19	17	83
%	56.6	22.9	20.5	100
夏	66	72	24	161
%	41	44.7	14.9	100
秋	46	25	11	82
%	56.1	30.4	13.4	100
冬・新年	28	20	13	61
%	45.9	32.8	21.3	100
通年	187	136	65	387
%	48.3	35.1	16.8	100

表 4.4 俳句の分析例

俳句	効果	視距離	植生形	視対象・色彩
春				
大雪にうずまって咲く椿かな	視対象	近景	樹	赤花ツバキ・積雪
山を背に日の輝きの桜かな	視対象	中景	樹	光ピンク花サクラ・山
藤揺れて朝な夕な切通し	視対象	近景	蔓	紫花フジ・土崖
山吹をさし出し貌の垣根かな	視対象	近景	灌木	黄花ヤマブキ・生垣
栃の芽の大きさがほぐる岳のまへ	視対象	接遠景	芽	新芽トチ・山
ほぐれては花かとまぶし襟の芽	視対象	近景	樹	新芽クスギ
・の芽の仏に似たる瀬のひかり	視対象	接近景	芽	新芽タラ・光川
菜の花の四角に咲きぬ麦の中	視対象	中景	草原	黄花ナノハナ畑・緑麦
春蘭や実生の松にかこまれて	視対象背景	近景	草	黄緑花シュラン・芽出松
かたくりや山水奔る崖裾に	視対象	近景	草	紫花カタクリ・土崖
夏				
庭石を抱きてさつきの盛りかな	背景	近景	灌木	赤花サツキ・石
柿若葉雨後の濡富士雲間より	背景	近遠景	樹	新緑葉カキ・山雲
なつ木立いとど木曾路の空せまし	背景	近景	樹林	緑葉林・空
信濃路は夏木にまじる蔵白く	背景	中景	樹林	緑葉林・白い蔵
緑陰の置きし日傘も冷え冷えと	背景	近景	樹	緑葉樹・日傘
新緑に紛れず杉の林立す	視対象	中景	樹林	緑スギ・新緑葉林
とある木の幹に日のさす茂りかな	視対象	近景	樹林	灰色幹・緑葉林
ガヂマルの並木の木陰朝のバス	視対象	近景	樹林	緑葉林・バス
棕呂の花真昼の雲が海に湧く	視対象	近遠景	樹	黄花シュロ・海雲
忍冬の花うちからむくまでかな	背景	近景	蔓	黄花スイカズラ・くまで
はまなすや親潮と知る海のいろ	視対象	近遠景	灌木	赤紫花ハマナス・緑海
こんこんと水は流れて花菖蒲	背景	近景	草	白紫花ショウブ・流水
鬼百合にそふいばら木の籬かな	視対象背景	近景	草	赤花オニユリ・緑葉籬イバラ
白鷺の羽すりうごく早苗かな	背景	近景	草原	緑芽イネ苗代・白鷺
夏草や所々にはなれ駒	背景	中景	草原	緑葉草原・馬
鉄板路隙間夏草天に噴き	視対象	近景	草	緑葉草茂り・鉄板路
おもだかや弓矢たてたる水の花	視対象	近景	水草	緑葉オモダカ・水面
藻の花の楽譜の如し水の面	視対象	近景	水草	白花藻・水面
秋				
かまくらやむくげのうえの大仏	背景	近中景	樹林	白紅花ムクゲ林・大仏
里古りて柿の木持たぬ家もなし	中景	中景	樹	赤実カキ・村落
まるめろにはや新雪の槍穂高	視対象	近遠景	樹	黄実マルメロ・山々
畠から畠へ櫓のみみじかな	視対象	中景	樹林	紅葉ハゼ畑
大南瓜這いのぼりたる寺の屋根	視対象	近景	蔓	緑実カボチャ・屋根
芒野や浅間の煙吹き下ろす	背景	近遠景	草原	白穂ススキ原・山噴煙
岩あれば岩の秀つたひ葛の花	視対象	近景	蔓	紫花クス・岩
りんどうに岳の夕影濃くなりぬ	視対象	近遠景	蔓	青花リンドウ・夕山々
紫の泡を野に立て松虫草	視対象	近景	草原	紫花マツムシソウ・緑野
冬・新年				
青し青し若菜は青し雪の原	視対象	中景	草	新緑菜・積雪
雨降るや冬木の中の翌松	視対象背景	近景	樹林	緑葉アスナロ・灰幹林
大いなる冬芽飛雪が岳を消す	視対象	接景	芽	冬芽・飛雪
雪折の笹青々とみづきけり	視対象	近景	草	緑葉ササ・積雪
水仙や垣に結いこむ筑波山	視対象	接遠景	草	白花スイセン四つ目垣・山
麦の芽の丘の起伏も美まし国	中景	中景	草原	緑芽ムギ畑丘
枯蘆の中へ中へと道のあり	背景	近景	草原	灰葉アシ原・径

表 4.6 季節による視距離の変化

季節	至近景	近景	中距離景	遠景	その他
春	11	45	28	16	83
%	13.3	54.2	33.2	19.3	120
夏	5	128	30	23	161
%	3.1	79	18.6	14.2	116
秋	1	62	26	15	82
%	1.2	75.6	31.7	18.3	127
冬・新年	7	41	14	7	61
%	11.5	67.2	23	1.5	113
通年	24	276	98	61	387
%	6.2	73	25.9	16.1	119

表 4.7 季節毎に詠まれた植物の形態

植物形態	春	夏	秋	冬・新年	一年
森	15	40	11	14	83
草原	19	23	20	9	71
笹			1	1	2
樹木	20	33	21	19	93
切り株	1			1	2
竹		5		2	7
藪	11	12	4	3	30
蔓	3	13	15	1	32
草	18	41	24	7	90
水草		12	1	3	16
苔		2		1	3
花	49	63	34	5	151
花卉		3		1	4
新葉		15			15
紅葉			14	3	17
落葉				5	5
果実	2	2	21	5	30
芽	16	1		2	19
花粉	2				2
通年	155	265	166	81	667

表 4.8 季節毎に詠まれた植物の部分

季節	植物の詠まれた部分と色
春	花粉: 杉、柳 花: 梅、椿、桜、山桜、サンシュユ、辛夷、連翹、躑躅、藤、山吹、桃、梨、杏、林檎、木瓜、棠、マンサク、金 実: 夏蜜柑 緑葉: 麦、藤、柳、京菜、山葵、草、菖蒲、萱、芝生、蕨、蓆 新緑: 椋、樺、胡頹子、接骨木、松、柳、タラノキ、桑、猫柳、草 群緑: 竹、杉、麦、草 切り株: 幹: 松
夏	花: 薔薇、牡丹、紫陽花、百日紅、梔子、皐、シモツケ、泰山木、ノウゼンカズラ、蜜柑、栗、木苺、藤、卯の 実: 柚子、桑、筍、夕顔、綿 緑葉: 桜、庭梅、杉、蓆、柳、竹、睡蓮、ササゲ、蓮、沢瀉、ヘクソカズラ、浮草 新緑: 柿、新葉、樟、赤葉、樺、水草、楓 群緑: 杉、松
秋	花: 木槿、朝顔、菊、ナタマメ、イネ、蕎麦、草、萩、葛、野菊、イソギク、貴船菊、フジアザミ、彼岸花、桔梗 実: 桃、柿、林檎、葡萄、蜜柑、キンカン、マルメロ、蓮、カボチャ、冬瓜、ナタマメ、イネ、カラスウリ、数珠、 緑葉: 桃、竹、草、薩摩芋、ミョウガ、笹 色葉: 葡萄、モミジ、樺、蕨 枯葉: 萱、草、芒 幹: 竹、白樺、枯れ木
冬・新年	花: 椿、山茶花、水仙、竜胆 実: 橙、アオキ、蜜柑、冬苺、藪柑子 緑葉: アスナロ、草、竹、笹、菜、葱、麦、苔 新緑: 菜、薺 色葉: 柿、モミジ 枯葉: 蓮、萱、草、葦、菰 冬芽: 切り株: 幹: 樺、櫻、梧桐、銀杏、葡萄、枯れ木

## 5. 身近な植物に対する認知度の分析

### Testing Knowledge of Name of Plants in Neighborhood

北海道大学大学院農学研究院 松島肇

つくばアーバンガーデニング 井口百合香

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

Hajime MATSUSHIMA, Graduate School of Agricultural Institute, Hokkaido University

Yurika IGUCHI, Director of Tsukuba Urban Gardening

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

要旨：身近な植物に対する人々の認知度を測るため、北海道大学農学部 of 学生、独立行政法人国立環境研究所の職員とその家族、つくばアーバンガーデニングの参加者に対し、造園関係で作られた植物のリストを提示し、知っている植物について調査した。その結果、ガーデニングの参加者が多くの植物を知っていることが分かった。また認知度と植物の知り方では、難度の高い植物では、多くの植物を知っている人に置いて偏りが大きいことが分かった。

キーワード：身近な植物名、認知度

Abstract: To provide important information for a proposed landscape plan in residential area, the extent of knowledge of people about the plants in their everyday environment was investigated. The awareness of plants by three kinds of respondents, e.g. the students of faculty of horticultural school in Hokkaido University, the members of National Institute of Environmental Studies and their families, and the members of Tsukuba Urban Gardening Club, was determined by showing each person the list of familiar plants. The Gardening group knew the greater number of plants compared to the other groups. And the people of higher knowledge to the plants knew the peculiar plants in the unfamiliar group of plants.

Keywords: name of familiar plants, familiar level

#### 5.1 はじめに

身近に日々接するような植物にはどのようなものが必要だろうか。そのような植物を人びとは知っているのだろうか。人びとが植物を知っている割合を認知度として調査し分析した結果について報告する。認知度は人々がどのような植物をどれだけ知っているかを示し、植物の好ましさを調査する上でまず知らなければならない情報である。人々がどのような植物を好み、必要とするかは、人々が知っている植物から選ばれる可能性が大きい。よって、居住地の緑としてどのような植物を計画したら良いかを決めるにも必要な情報である。住民から見て、好ましい居住地周辺の緑の質を決め、これから育てる望ましい緑の計画を展開する為の基礎資料として調査した結果を報告する。

## 5.2 認知度の調査方法

認知度を調査するためには数種類の方法が考えられる。その一つの方法としては知っている植物の名前をあげてもらふ方法があり、また別の方法として植物の写真や絵を提示して、その植物の名前をあててもらふ方法などが考えられる。今回の測定では一番簡単な植物の名前のリストを提示し、知っているものに印をつけてもらふ方法をとった。このリストとして用いるものには植物図鑑や植物事典の索引が考えられるが、今回の測定では身近な植物について調べたいので、造園に用いる植物を中心にリストされたものを用いた(西沢 1970)。

このリストには広葉喬木 103 種、針葉喬木 35 種、灌木 98 種、竹類 22 種、山草・下草 59 種、地被植物 37 種、蔓性植物 25 種、観葉植物 21 種、水草 18 種、花壇用植物 134 種の計 552 種があげられている。またこれら植物には造園家が知るべき 4 段階が示してあり、ランク 1: 知らないかと恥ずかしい思いをするもの、ランク 2: もう少し常識として知っていてよいもの、ランク 3: この程度知っていれば十分、ランク 4: 知っている植木屋を押えられる、に分れている。本調査では、これを「認知の難易度」として分析を行った。調査はこのリストを回答者に提示し、知っているものに○印をつけてもらった。回答者は国立環境研究所職員家族 20 名(以下、研究所)、つくば在住のガーデニング仲間 25 名(以下、ガーデニング)、北海道大学農学部の学生 22 名(以下、北大学生)である。

## 5.3 認知度の高さ

回答者がどのくらいの植物を知っているかを調べると表 5.1 のようになり、最高で 97%、最低で 5%、多くの方は 2-4 割にとどまっていた。この結果は植物の種類によっても異なり、水草が 41%、広葉喬木が 40%で多く知られているほうであり、蔓性植物 17%、竹類 20%などが知られていないほうであった。また研究所の人びとは平均で 30%であるのに対し、ガーデニングの人たちは 46%、北大の花弁園芸の学生は 17%であった。これらの人びとの差を t 検定すると、つくばアーバンガーデニングと北海道大学の学生は  $t=6.6$  (1%有意)、研究所と北大学生は  $t=4.1$  (1%有意)で明らかな差が見られた。このことは北大学生の植物に対する認知度が低いことと、北海道の人には馴染みのない種類が多かったことが考えられる。研究所の人とガーデニングのグループでは、 $t=3.1$  (5%有意)でガーデニングの人の方がよく知っていた。ここであげた身近な植物に対する認知度に関しては、現在植物に興味をもっているか否かが影響しているようである。

次に認知度合との関連を調べると、ガーデニングの人が全般に高い値を示した(図 5.1)。北大学生は全般に知らないと回答した植物が多かった。ランク 1(良く知られている)ものでは、ガーデニングは 70%を示し、北大学生では 35%くらいであった。ランク 4(高い)ものでは、ガーデニングの人は回答率が下がらないことが分かった。全体的

に見るとランクごとに知らない植物の数が増加し、設定されたランクは植物の認知度合を表すに妥当であったことを示す。ガーデニングをしている人は、多くの植物を知っており、居住環境において植物を選定する場合、このような住民の要望はかなり多い植物から選ばれることになる。

#### 5.4 認知の多様性

人びとの植物に対する認知の度合は人によって異なっていることがわかったが、それでは植物の種類によっては、各人同じような傾向を示すのであろうか。そこで多様な被験者を含む研究所職員が示す各種類別の認知度を、相関分析法(芝, 1967)の主軸法によって分析した。その結果図 5.2 に示すように 2 軸が有意に得られた。1 軸はどれだけ全体によく知っているかを示す意味をもち、2 軸は観葉植物や花壇用植物をどれだけ知っているかを示す意味を持っていた。このことは回答者の特性として観葉植物や花壇用植物など園芸品を特化してよく知っているものと、そうでないものとに分かれる軸があることを示している。

このような傾向は認知のどのランクを通じても同じであろうか。そこで先の四つのランクに分けて回答者間の認知の類似性を求めた。この類似性はある植物を 2 人の回答者が知っていた場合には、おのこの回答者の類似性を表わす得点に 1 を加えていくという方法で、あるランクに属するすべての植物について調べた。このような回答者間の類似性を表わす類似得点で作られたマトリックスの固有値をそれぞれのランクで求めた。この考え方は数量化Ⅲ類(安田・海野, 1977)の考え方と同じである。

その結果図 5.3 に示すようにランクが上昇するほど、最大固有値に対する他の固有値の値が大きくなっていった。固有値の大きさは固有ベクトルの相対的大きさを表わし、相対的に大きい固有値が多い場合、そのマトリックスの多様な固有性を持っていることを表わす。よってランクが高くなると相対的に大きな固有値が数多く表われ、多くの固有性の高いベクトルで構成されていることを示す。すなわち、よく知られているランクの植物の知り方は、だれもが同じようになることを示し、ある人が知っているものはだれでも知っている傾向を示す。また知られていないランクの知り方には、人による個性が強く表われ、ある人が知っているものに対し他の人が知っている可能性は少ないことを示している。この傾向をレベル 4 の植物で得られた固有ベクトルをもとに展開すると、図 5.4 のようになり、植物をよく知っていた人(40%以上知っていた人)が図の端に表われる。この結果は植物の知識が多い人は、その知識が高度になるに従い、偏りが大きくなることを示す。よって、知識ある人を住民の代表として一群にまとめるには困難があることを示す。

#### 5.5 まとめと今後の課題

回答者の数が2地域と少なく、地域により年齢も大きく異なっているため、十分な気候的差異や経験的差異を検討できないが、身近な植物に関する人びとの認知の度合を測定することによって次の2点が明らかとなった。

- ① 身近な植物について、ガーデニンググループは造園家と同じように多くの種類の植物を知っていることがわかった。
- ② 人びとが知っている植物の種類の変り方は、多くの植物を知っている人において強くなる傾向があることがわかった。

このようなことから身近な環境の緑を調査するには、住民の知識に偏りがあること、写真や標本など資料を集め、提示方法を工夫すべきことが分かる。今後、住民が望む植物や動物の調査の結果をどのように政策に結びつけるか考えなければならない。

### 謝辞

調査に協力いただいた国立環境研究所の職員やつくばアーバンガーデニングの方々、北海道大学農学部の方々に感謝する。また適切な助言をいただいた北海道大学名誉教授の浅川昭一郎先生と植物分類学者近田文弘博士に謝意を表す。

### 参考文献

西沢文隆（1970）植物一覧表，ディテール NO. 26，62-63.

芝祐順（1967）相関分析法，東大出版会，259pp.

安田三郎・海野道郎（1977）社会統計学，丸善出版，340pp.

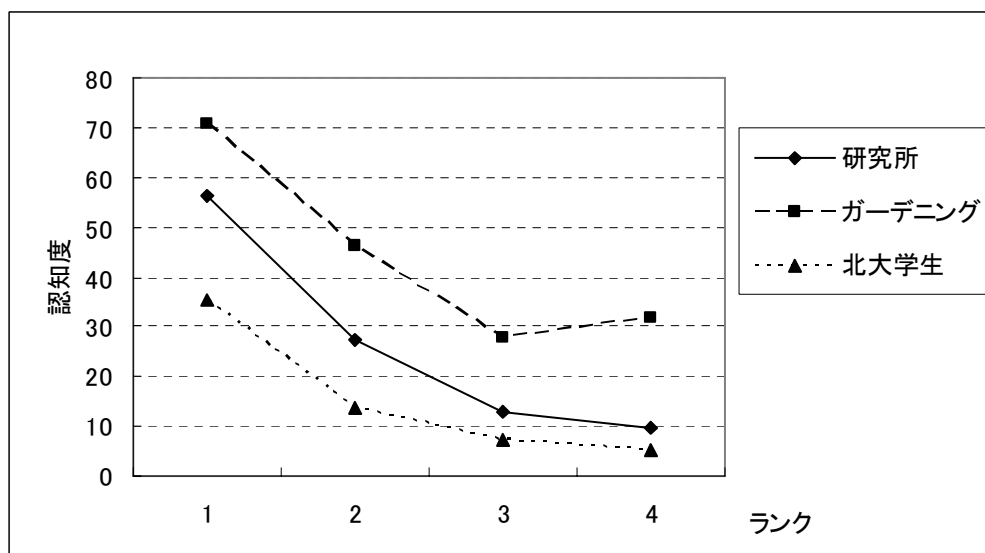


図 5.1 難易度ランクと認知度の関係

表 5.1 植物の種類別の認知度順位

被験者（認知度順）	全体	広葉喬木	広葉喬木	灌木	竹類	山草	地被	蔓性	観葉	水草	花壇
1ガーデニング	96.8	97.1	100.0	97.1	81.8	100.0	97.4	96.0	100.0	88.9	97.0
2ガーデニング	71.7	85.4	64.9	73.8	50.0	88.3	47.4	32.0	61.9	72.2	73.1
3研究所	64.1	72.8	68.6	66.3	63.6	69.5	51.4	56.0	71.4	66.7	56.0
4ガーデニング	64.0	69.9	51.4	68.9	31.8	76.7	42.1	32.0	42.9	72.2	73.1
5ガーデニング	63.8	69.9	37.8	58.3	54.5	70.0	47.4	48.0	52.4	61.1	79.1
6ガーデニング	61.1	57.3	27.0	64.1	40.9	68.3	47.4	52.0	71.4	50.0	76.9
7ガーデニング	60.2	45.6	45.9	61.2	31.8	60.0	42.1	44.0	71.4	72.2	84.3
8ガーデニング	57.2	64.1	35.1	67.0	50.0	70.0	31.6	32.0	33.3	83.3	58.2
9ガーデニング	56.0	60.2	48.6	60.2	36.4	58.3	28.9	32.0	42.9	66.7	66.4
10ガーデニング	55.8	74.8	43.2	59.2	18.2	61.7	31.6	28.0	47.6	55.6	59.0
11研究所	48.7	47.6	48.6	42.9	27.3	45.8	40.5	20.0	57.1	55.6	64.2
12研究所	48.4	63.1	42.9	49.0	22.7	33.9	29.7	32.0	61.9	50.0	54.5
13ガーデニング	47.8	47.6	24.3	54.4	18.2	51.7	31.6	28.0	33.3	55.6	61.9
14ガーデニング	47.1	55.3	27.0	48.5	31.8	35.0	42.1	24.0	47.6	61.1	56.7
15ガーデニング	46.0	51.5	24.3	46.6	27.3	41.7	39.5	40.0	38.1	61.1	54.5
16ガーデニング	45.8	62.1	21.6	40.8	27.3	38.3	21.1	28.0	33.3	50.0	61.9
17ガーデニング	43.0	32.0	13.5	38.8	4.5	43.3	31.6	24.0	47.6	44.4	74.6
18研究所	41.8	72.8	54.1	35.7	13.6	59.3	40.5	32.0	9.5	50.0	22.4
19ガーデニング	40.3	46.6	29.7	3.2	22.7	40.0	23.7	24.0	33.3	61.1	53.7
20ガーデニング	37.3	42.7	21.6	35.9	27.3	38.3	23.7	12.0	28.6	50.0	47.8
21研究所	36.6	40.8	25.7	24.5	22.7	23.7	37.8	12.0	71.4	38.9	51.5
22ガーデニング	36.5	48.5	43.2	28.2	18.2	31.7	28.9	20.0	28.6	44.4	42.5
23研究所	35.9	39.8	25.7	30.6	18.2	25.4	37.8	20.0	38.1	44.4	47.8
24ガーデニング	34.0	31.1	10.8	31.1	4.5	40.0	21.1	8.0	38.1	27.8	56.0
25研究所	33.7	45.6	28.6	25.5	31.8	25.4	29.7	28.0	14.3	61.1	37.3
26ガーデニング	32.6	47.6	51.4	30.1	13.6	25.0	13.2	28.0	19.0	27.8	33.6
27北大学生	31.7	48.5	24.3	24.3	4.5	18.3	18.4	16.0	38.1	50.0	40.3
28北大学生	31.6	30.1	18.9	25.2	4.5	31.7	26.3	28.0	28.6	38.9	47.0
29研究所	30.1	47.6	40.0	28.6	22.7	32.2	8.1	4.0	9.5	44.4	27.6
30北大学生	30.1	54.4	32.4	20.4	31.8	28.3	21.1	12.0	14.3	55.6	23.9
31ガーデニング	28.0	44.7	40.5	25.2	27.3	16.7	13.2	4.0	19.0	55.6	25.4
32ガーデニング	27.6	46.6	32.4	23.3	40.9	16.7	15.8	0.0	19.0	22.2	28.4
33研究所	27.4	39.8	28.6	21.4	18.2	28.8	18.9	12.0	9.5	44.4	28.4
34ガーデニング	26.9	32.0	13.5	22.3	13.6	31.7	18.4	8.0	23.8	44.4	34.3
35ガーデニング	26.7	49.5	29.7	23.3	18.2	10.0	34.2	20.0	28.6	16.7	20.1
36研究所	25.7	35.9	22.9	15.3	22.7	27.1	24.3	12.0	14.3	44.4	28.4
37北大学生	25.3	43.7	32.4	16.5	18.2	20.0	13.2	0.0	14.3	33.3	28.4
38研究所	25.0	29.1	20.0	21.4	31.8	18.6	10.8	4.0	23.8	50.0	32.1
39研究所	24.3	26.2	17.1	24.5	13.6	32.2	10.8	12.0	19.0	27.8	29.1
40研究所	24.1	32.0	17.1	23.5	4.5	16.9	18.9	16.0	23.8	27.8	29.1
41ガーデニング	24.1	21.4	2.7	18.4	9.1	20.0	13.2	12.0	19.0	50.0	43.3
42研究所	22.6	35.9	31.4	16.3	36.4	11.9	16.2	0.0	14.3	33.3	23.1
43北大学生	21.7	38.8	21.6	11.7	18.2	15.0	21.1	12.0	14.3	38.9	20.9
44研究所	21.6	34.0	31.4	16.3	9.1	11.9	16.2	12.0	14.3	44.4	20.9
45北大学生	21.0	36.9	18.9	10.7	18.2	15.0	21.1	8.0	19.0	50.0	19.4
46研究所	20.8	28.2	14.3	20.4	18.2	15.3	18.9	12.0	4.3	33.3	21.6
47研究所	19.4	33.0	25.7	15.3	4.5	15.3	10.8	4.0	0.0	33.3	20.9
48北大学生	19.3	29.1	10.8	7.8	13.6	20.0	10.5	4.0	19.0	33.3	26.9
49北大学生	19.1	31.1	18.9	8.7	9.1	11.7	15.8	0.0	14.3	33.3	26.1
50北大学生	19.1	26.2	18.9	15.5	13.6	13.3	15.8	0.0	14.3	38.9	22.4
51研究所	19.0	34.0	22.9	16.3	4.5	11.9	10.8	4.0	4.8	33.3	19.4
52研究所	18.8	30.1	37.1	11.2	13.6	22.0	5.4	4.0	4.8	27.8	17.9
53北大学生	17.3	22.3	8.1	9.7	9.1	13.3	23.7	4.0	14.3	22.2	25.4
54研究所	16.5	27.2	20.0	9.2	9.1	6.8	10.8	16.0	19.0	33.3	17.2
55北大学生	16.2	17.5	18.9	7.8	22.7	11.7	26.3	8.0	23.8	33.3	17.2
56北大学生	15.9	26.2	32.4	6.8	4.5	6.7	13.2	0.0	9.5	22.2	20.1
57北大学生	15.7	27.2	27.0	7.8	13.6	6.7	13.2	0.0	4.8	27.8	17.9
58北大学生	13.2	29.1	13.5	7.8	0.0	10.0	2.6	0.0	9.5	16.7	14.2
59北大学生	12.3	24.3	8.1	5.8	0.0	5.0	15.8	4.0	9.5	11.1	15.7
60ガーデニング	10.7	18.4	2.7	6.8	0.0	6.7	7.9	8.0	14.3	11.1	14.2
61北大学生	10.2	9.7	5.4	5.8	18.2	5.0	10.5	4.0	14.3	16.7	15.7
62北大学生	10.2	16.5	2.7	4.9	4.5	6.7	2.6	0.0	14.3	11.1	17.2
63北大学生	10.0	18.4	5.4	4.9	0.0	6.7	5.3	4.0	9.5	16.7	13.4
64北大学生	9.6	10.7	13.5	5.8	0.0	6.7	7.9	4.0	9.5	5.6	15.7
65北大学生	7.3	11.7	10.8	2.9	0.0	5.0	10.5	0.0	9.5	5.6	9.0
66北大学生	5.2	14.6	2.7	2.9	0.0	3.3	0.0	0.0	4.8	5.6	4.5
67北大学生	4.6	6.8	2.7	3.9	0.0	3.3	0.0	0.0	4.8	16.7	6.0
平均値	31.5	40.2	27.1	27.1	19.6	28.9	23.0	16.5	26.8	40.8	36.9

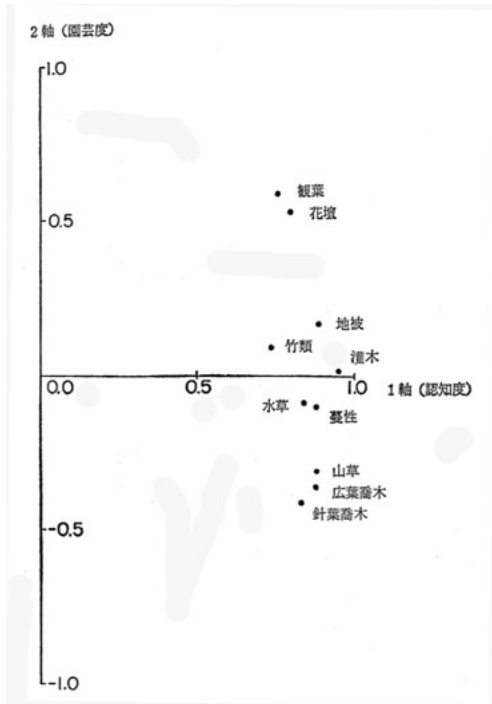


図 5.2 主軸法による植物認知の特性

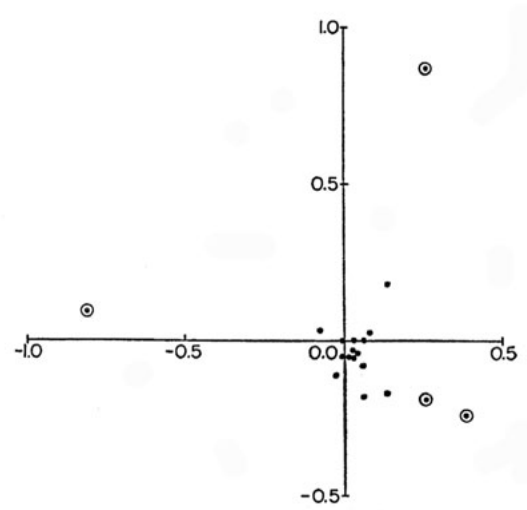


図 5.4 難易度 4 における第 2, 3 固有ベクトルによる回答者の分布  
(⊙は回答率 40%以上の被験者を示す)

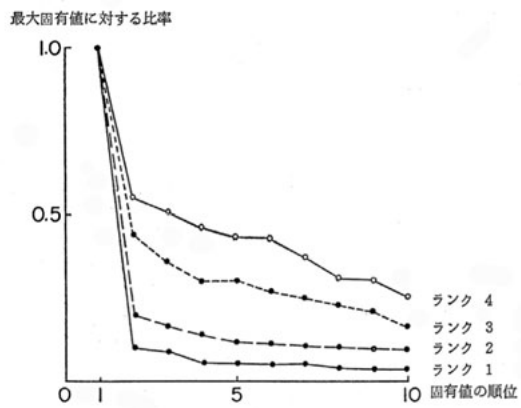


図 5.3 認知の難易度と固有値の変動



## 6. ネイチャーライティングから見た俳句と環境植物

### Plants in Haiku from the Viewpoint of Nature Writing

独立行政法人国立環境研究所 多田満

Mitsuru TADA, National Institute for Environmental Studies

要旨：俳句における環境植物は、生態学的には植物の部分、植生、場所の三つに分けることができる。松尾芭蕉の名句には、部分から植生につながる句、植生や場所のつながりを詠んだ句などがみられる。また、ネイチャーライティングの‘Sense of Place(場所の感覚)’や植物を通してその場所の‘sense of wonder’を詠んだ句もみられる。

キーワード：ネイチャーライティング、環境植物

Abstract: Plants in haiku can be divided into part of plant, vegetation and sense of place. I found a twig of tree to form the scenery of autumn evening with the existence of a crow in Basho's haiku. And I realized the haiku of summer grasses to give the image of samurai corps and associated by the haiku of winter fields to provide the recollection of his life. I found the similar feeling of ‘Sense of Place’ in nature writing and ‘sense of wonder’ by R. Carson through the plants in his haiku.

Key words: Nature Writing, plants in haiku

#### 6.1 はじめに

俳句に登場する環境植物のほとんどは、生態系の階層からすると花や木などの個としての植物、あるいは、それら植物の群落として、さらには山などの景観に分けることができる(McIntosh, 1989)。ある場所(生態系)の階層化からはじまる生態学(場所の科学)と「それぞれの場所ごとに固有の自然を感情のゆらめきとともに語る／想像するまなざしからはじまる」(生田ら, 2008)ネイチャーライティング(環境文学＝「場所の詩学」)から、俳句における環境植物について一考察をおこなう。

#### 6.2 部分から景色へのつながり

枯枝に鳥のとまりたるや秋の暮(東日記)

本句は、古来より蕉風樹立の句として世評の高い一句であり、長く水墨画「寒鴉枯木」の世界の翻案と目されている。枝は落葉した枝の意から秋の暮れも「秋の夕暮」の意に解するのが妥当であると考えられる(嶋中, 1994)。「枯枝」という個としての環境植物とそれに止まる鳥を組み合わせて、それを「秋の夕暮」の風情へと結びつける。つまり枯れ枝と鳥により「秋の夕暮」の広がり表現していると考えられる。

#### 6.3 植生群落と人のつながり

## 夏草や兵どもが夢の跡(おくのほそ道)

本句は、解釈の上では「兵ども」を義経主従とする説、また藤原氏の一族などこの地で戦ったすべての勇士たちを含むとする説がある(嶋中, 1994)。『おくのほそ道』本文とあわせて解釈するときは、この地で戦った藤原氏一門のすべての勇士たちの面影を群落としての「夏草」に重ねて読むことで、ネイチャーライティングの主要な概念の一つである‘Sense of Place’(場所の感覚)(山里, 2000)として、ある場所に対する人間の密接な関係を生じ、自分がどこにいるかということを表示していると考えられる。つまり「夏草」は、その茂る場所の「原植生」としての群落を意味しており、芭蕉は過去に消えた「兵ども」に同化した「夏草」を通して時間を越えた「兵ども」とのつながりを感じている。Carson(1965)は、“The Sense of Wonder”で「知ることは感じることの半分も重要ではない」と感性の大切さを述べているが、芭蕉は、この「夏草」を見て、そこに勇士たちの面影を感じ、彼らの儂く消えた思いを知ったのである。

## 6.4 ‘Sense of Place’ と人のつながり

### 旅に病んで夢は枯野をかけ廻る(芭蕉翁追善之日記)

本句は、辞世の句とされる。この句には個の植物もなく、一つの群落としての枯野でもない、あちこちの枯野を経廻っていることで、芭蕉にとって思い出となった「枯野」を読み取ることができる。また、芭蕉のこれまでの人生において「枯野」という場所を大切に思って生きてきた芭蕉の‘Sense of Place’も読み取れる。

## 6.5 おわりに

本考察では、環境植物を部分、植生、場所として捉えて、芭蕉の句を紹介し、ネイチャーライティングの‘Sense of Place’と Carson の ‘sense of wonder’ の見方の類似性について考察をおこなった。今後は、他の俳句についても同様な考察をおこない、環境植物や動物と人のつながりの時代的な変遷を明らかにしたい。

## 参考文献

Carson, Rachel (1965) *The Sense of Wonder*, Harper Collins Publishers, New York, 111pp.

生田省吾・村上清敏・結城正美編 (2008) *場所の詩学—環境文学とは何か*, 藤原書店, 東京, 298pp.

松尾芭蕉, 中村俊定校注 (1970) *芭蕉俳句集*, 岩波文庫, 東京, 538pp.

松尾芭蕉, 荻原恭男校注 (1979) *おくのほそ道一付・曾良旅日記、奥細道菅菰抄*, 岩波文庫, 東京, 290pp.

McIntosh, R. P., 大串隆之・井上弘・曾田貞滋訳 (1989) *生態学—概念と理論の歴史*, 思索社, 東京, 498pp.

嶋中道則編 (1994) 芭蕉を読むための研究事典, 国文学, 第 39 卷, 第 4 号, 122-131p.

山里勝己 (2000) 場所の感覚, 文学・環境学会編, たのしく読めるネイチャーライティング, ミネルヴァ書房, 京都, 246pp.

俳句に詠まれた植物についてのアンケート

この度、国立環境研究所では国際俳句交流協会の協力を得て、俳句に詠まれた植物について調査を実施することになりました。このアンケートは世界の俳句に詠まれた植物を紹介し、相互理解を深めるための資料とする為、また気候風土による違いを比較する資料とする為ものです。ご多用のところとは存じますが、ご協力いただきたく、1月31日までに、ご回答(投函)いただければ幸いです。回答は各設問につき該当項目に○記号、または事項記入でお答え下さい。

(送付先〒305-8506 つくば市小野川16-2 国立環境研究所青木陽二)

調査企画：国立環境研究所研究員 青木陽二、俳人 宮下恵美子、俳句研究家 野末たく二  
調査指導：国立科学博物館名誉研究員(植物分類学) 近田文弘、俳句史研究家 ジャンポール絹子

回答者氏名( ) 住所( ) 性別：男 女  
年齢：0-20歳、21-40歳、41-60歳、61-80歳、80歳以上

1 あなたの植物俳句(3作まで)をあげて下さい。吟詠地はなるべく詳しく分かるように教えて下さい。詠まれた植物は吟詠地の戸外に自生・栽培されているものだけとします。それらの和名(カタカナ)を記入下さい。また現地名(現地言語)、学名をご存知でしたら記入下さい。吟詠時期も教えて下さい。

俳句①：  
吟詠地( ) 植物名( ) 現地名( ) 学名( )  
吟詠時期( )月の初・中・下旬 現地の春・夏・秋・冬

俳句②：  
吟詠地( ) 植物名( ) 現地名( ) 学名( )  
吟詠時期( )月の初・中・下旬 現地の春・夏・秋・冬

俳句③：  
吟詠地( ) 植物名( ) 現地名( ) 学名( )  
吟詠時期( )月の初・中・下旬 現地の春・夏・秋・冬

2 吟詠地の植物生育の環境条件について。①、②、③を記入下さい。  
街中 農村 庭園 公園 海辺 川辺 里山 奥山  
高山 草原 その他( )

3 植物を詠じているのはどの感覚ですか。①、②、③を記入下さい。  
視覚 嗅覚 聴覚 味覚 触覚

4 俳句の中で主に植物のどの部分を詠んでいますか。①、②、③を記入下さい。  
花粉 花卉 花 葉 実 枝 幹(茎)  
群集(樹林・草原) その他( )

5 あなたの俳句を表すような自作の写真や絵をお持ちですか。それらは提供可能ですか。  
①ある ない 提供可能 提供不可  
②ある ない 提供可能 提供不可  
③ある ない 提供可能 提供不可

ご協力有難うございました。青木陽二(e-mail: yojaoki@mies.go.jp)  
なお世界の結果がまとまりましたら協力いただいた日本人会を通じて公表します。

図 7.0 世界の植物俳句の調査票

## 7. 俳句季語の国際性

### Season Words in International Haiku

国際俳句交流協会評議員 宮下恵美子

Emiko MIYASHITA, trustee of Haiku International Association

要旨：俳句季語の国際性について日本語で書かれた俳句について調査を行った(図 7.0)。その結果、違った気候条件では名も知らない植物が詠まれており、季語として認識することは困難であることが分かった。また熱帯などでは季節の区切りも明確でなく、季節性を植物で表すことが難しいことも分かった。今後、各々の気候帯で固有の歳時記を持つことを提案したい。他の言語で詠まれた俳句では、いくつかの歳時記が提案されているが、日本のように多くの人々の合意を得た歳時記を作ることは難しい状態である。英国、インド、フランスから俳句に詠まれた植物についてその地域でまとめた植物の傾向が寄せられた。今後、世界の俳句に詠まれた植物を理解する上で、学名は重要な助けになると思われる。

キーワード：季語、植物、世界、気候条件

Abstract: To provide an overview of *kigo* (season words) found in Japanese-language haiku written overseas, we investigated the appearance of plants in haiku composed in various places around the world. It was difficult to tell the specific season from the plants described in the sample haiku due to the unfamiliarity of their names, and also because of differences in each location's climate. We suggest that each climatic area should have its own *sajiki* (a glossary of *kigo*). Several trial databases are already in use. To provide a botanical name for each plant in such *sajiki* will help us understand haiku better, thus enabling a deeper consideration of climatic conditions. As a consequence, haiku may serve an important role in observing changes caused by global warming.

Keywords, *kigo*, plant, world, climatic condition

#### 7.1 植物季語について

アジア（大韓民国、タイ国、フィリピン共和国、カンボジア王国、スリランカ民主社会主義共和国、インド連邦共和国）、南米（ボリビア共和国）、北米（アメリカ合衆国）より集められた植物を詠んだ日本語の俳句について、季語としての植物という観点から簡単な考察を述べた後に俳句季語の国際性ということをつけ加えてみたい。

季語として詠まれる限り、一句の中の植物は「季」を喚起する力を持たねばならない。集まった句を読んでも、現地俳壇の中では共感を得られても、現地滞在経験のない読者には植物の名前も耳新しく目に浮かべることさえ難しく、まして季節を喚起するまでには到底至らないという問題がまず浮上する。例えば、「チョワンチョム（タイ国）」、「パラス（インド）」、「キンバイカ（ボリビア）」など。日本でも馴染みのある「ブーゲンビリア」を例にとってみると、もっぱら花が詠まれるのであるが、花期が長いために12月の句もあれば6月の句もある。現地では特定の「季」を喚起する植物であっても、太陽暦上ではどの辺りに来るのかといったことが異なる地域の読者には共感されない。時間軸の上に刻ま

れた目盛りとしての季語であることを読者は体感できないのである。

全体を通してみると、国柄或いは気候柄とでも呼べそうな地域色が今回のデータに現れてきていた。フィリピンやタイでは色鮮やかな花（「ブーゲンビリア」、「火炎樹」、「タイ桜」等）が作者の目を引き、ソウルでは葉の変化（「葉桜」、「銀杏黄葉」、「ポプラ落葉」等）を捉えた句が多かった。また「ねこじゃらし」、「梅の花」、「みそ萩」など比較的地味な植物が選択されており現地の植物環境を思わせた。

異なる地域で詠まれた句を鑑賞するためには、現地特有の植物、或いは、観葉植物として世界中に一般的に見られる植物となったものであっても、各地域ごとにその植物の持つ季節感と文化的な背景を記した固有の歳時記（写真付き・学名付き）を編むこと、或いはそれをインターネット上で公開することが手助けとなるだろう。英語になるが、インターネットにはワールドキゴ・データベース <http://worldkigodatabase.blogspot.com/> が存在し、地域の季語と歳時記のリストが 20 程載っており、オーストラリア歳時記、ケニアと熱帯歳時記、トルコ歳時記などがある。この他にアルファベット順に検索できる季語リストも具えている。書籍では、故 Higginson, W. J. (1996)編の *Haiku World: An International Poetry Almanac*、が春、夏、秋、冬、新年、雑の目次を持つ英語の世界歳時記として挙げられる。地域の歳時記では、日本語で書かれ多くのカラー写真を入れた黄靈芝(2003)の『台湾俳句歳時記』があり、人事、自然・天文地象、自然・植物、自然・動物の項目にそれぞれ年始年末、暖かい頃、暑い頃、涼しい頃、寒い頃という区分がしてある。また、英国俳句協会前会長の Cobb, D. (2004)の *English Seasonal Images: An Almanac of Haiku Season Words Pertinent to England* は冬（クリスマス後）、春、夏、秋、冬（クリスマス前）に通年・雑が加った構成になっている。

花が咲いた、よい香りがする、葉が色づいた、葉が散ったという観察によって共有される「季」は、その植物がそういう状態である時期の周囲の情景を一句に持ち込むのに有効である。こういう観察の積み重ねとそれを作品に仕立てていくこと無しには、地域の歳時記は形をなさない。

各地域で実際に歳時記を編む場合に、日本の歳時記がその時間軸に採用している二十四節気を取り入れることも考えられる。気候には春夏秋冬の季節だけではなく雨期・乾期といった分け方もあるので、二十四節気（太陽年を太陽の黄経に従って 24 等分して季節を示す）のように一年を規則的な時間の目盛りで刻んでいくのが便利であろうと思われる。太陽暦の週ごと、月ごとに区切る方法も一案であるが、日本語で作る俳句の場合は伝統的な俳句の歳時記と同じ目盛りを採用することで俳句の伝統を守りつつの国際性ということで如何であろうか。但し「立春」や「大寒」など現地の気候と必ずしも合致しない名前が付いているので、時間軸の目盛りの幅という提案に留めておくことにする。

俳句季語の国際性とは取りも直さず、各地域の季語の充実と情報の相互交換によって織り成されていく綾を楽しむことであり、日本の伝統的な歳時記に収められている季語の輸出をもっぱらにすることではない。これからも各地域で季語となる植物を見出し、それを作品に詠み続けることで、温暖化の進む地球環境の「今」を観察し、愛でつつ、記録していくという新しい役割を俳句は担っていくことにもなるだろう。

### 7.1.1 世界の植物俳句調査の結果について

植物季語を文芸用語としてのみ扱っている限り、世界各地で異なる名称で呼ばれる植物の数だけ「姿も形もわからない植物」が増えてゆくことになり、異なる地域間での相互の俳句作品鑑賞は難しいと言わざるを得ない。今回の調査では学名を記入してもらった。学名から特定することが出来るので植物図鑑やインターネットを使っての検索が可能となり、海外の植物季語を詠んだ俳句の鑑賞がより具体的にできるようになった。

「現地の季節」という項目では、熱帯地域の「乾季・乾季の酷暑期、雨季」という回答があった。「春夏秋冬」という四季の変化のある温帯地域に属する日本の季節の区分とは別の循環、或いは変化を植物にもたらすサイクルのあることが理解できる。高浜虚子の言葉に「俳句というものは、時候の変化によって起こる現象を詠う文学であるから、春夏秋冬の区別は必ずしも重きを為さない。ただ、時候の変化その物が重要なものである。(中略) ブラジル辺では春夏秋冬の観念の混乱があったところで、その四時の移り変りの現象を詠うということに変わりがなくば、俳句の使命は全いとってよいのである。(中略) 地球の回転によって起こって来る変化と現象を詠えばそれでいいという事になる。いかなる地帯にあらうとも移り変りの現象ということには変りはない。」(星野, 2002) とある。それぞれの地域に固有の循環のサイクルがあることを理解することは大切であろう。また四季のある地域であっても、湿度や文化の違いがあるので、時間軸の植物の変化を日本の四季の目盛りに引き合わせて鑑賞したり作句したりすることの無いように留意することも大切かと思われた。

調査の結果は都市部で読まれた俳句が多かったので、ブーゲンビリア、マンゴーなど都市部にも育成するものが多く挙げられた。樹木と草木の比率では梅・銀杏・ポプラ・火炎樹・タイ桜・マンゴー・檜・合歓など樹木の種類が多く目に付いた。バナナ・蓮・鳳仙花・布袋葵・ねこじゃらし・ススキなどの草木が続き、農作物は少なかった。樹木と草木の頻度の比率は76%と24%である。植物の部位としては、果実として詠まれるマンゴー、花として詠まれるバナナなどが含まれる。花を詠んだもの42%、実を詠んだもの11%、葉をよんだもの7%、その他22%となっている。感覚器官の項目では、視覚に訴える句が圧倒的に多く88%、臭覚6%、聴覚4%となっている。

今回の調査では、日本の歳時記に挙げられている植物を季節の指標としない熱帯地域や、同じ温帯地域でも異なる宗教や文化的背景をもつ西洋、それに日本に近い自然・文化環境にある韓国など、7ヶ国からの74通の回答が寄せられた。熱帯地域の俳句では、何ヶ月にも渡って詠まれている開花期の長い植物(例:ブーゲンビリア)があり、そういう句には他に季語(「西日」、「台風」、「蟬時雨」、「復活祭」等)を入れてある場合が多くみられた。開花期の長い植物は現地では季語としては扱われておらず、一句の背景を成す句材となっているようだ。

地域ごとの植物環境を観察し記録していくための手段として植物「季語」を含んだ俳句は有用である。また、今回のデータを使い、30年前、50年前に出版されている歳時記、或いは神話や小説を含む記述に載る植物の状況との比較をすることで地球環境の近年の変化を推察することが可能となるだろう。また未来へ向けての現在の記録としても価値がある

う。約束事である「季語」は季節を計る目盛りの役割を果たすので「季語」として地域で認められた植物を多くの俳人が詠み継ぐことによって、開花期の推移など、植物ごとにかなり細かい変化を捉えデータ化することが可能であろうと期待される。

俳句を詠むに当たって「写生」は、広く行われている手法の一つである。作者の生活の場である地域の環境が句の中に記録されていく。世界中で詠まれる植物季語の俳句を定期的に集計するシステムとネットワークを整備していくことは今後の植物環境の研究のためにも役立つことと思われる。

### 7.1.2 海外俳句事情報告書

前英国俳句協会会長の Cobb, D.の報告書「歳時記を欠く英国の俳句」によると、シェークスピアの時代には植物が善悪や道徳・邪悪などの象徴として使われ、19世紀にはロマンチックな花言葉の流行が見られたが、英国の俳人は、抽象的な概念を想起するものとして植物を詠むのではなく、眼前の植物を捉える。季節を特定できる植物のリストの例として春にはスノードロップや堇、夏はパンジーや立葵、秋はブラックベリーや茸、冬は柊やヤドリギを挙げている。スナップショットプレス社が2000年から出している俳句カレンダーには、月毎にふさわしいと思われる句が選ばれて載ることから、今後、日本の歳時記のような季節の植物というコンセンサスが徐々に纏まっていく可能性があるとしている。

インドの俳人、Deodhar, A.の報告書、「インドの植物相」によると、俳句協会が無いインドでは各自が好きなように俳句を作っており、季語を用いるという通念は確立されていない。気候は大きく4季、冬(1月、2月)、夏(3月-5月)、モンスーン(雨期)(6月-9月)、モンスーン後(10月-12月)に分けられるが、植物は季語の働きをしていない。インドでは樹木が古くから崇拜の対象とされ、植物は自然の生命に共感する様々な祭事の供物となり、それぞれに役割や意味を持つ。多くの植物が俳句に詠まれているが、言語や地域ごとに名前が異なる為、相互の作品鑑賞は困難である。表として、「聖なる植物と樹木」、「一般的な樹木」、「聖なる種」等を紹介している。

フランス俳句協会の編集長、Duteil, D.の報告書、「フランス俳句の植物」は、「ゴング」誌より選び出した167句を対象に行った分析結果である。「木」と「花」では「木」の頻度が高く、樹木を特定している場合よりも単に「木」、「枝」や「枯葉」のような使われ方をすることが多い。花も同様に「花束」のように使われる。大抵の場合、植物は一句の主題では無く、しばしば時季を特定する季語(桜の花、茸、栗等)として使われている。俳人は具象的な世界を観察するので、明らかな象徴としての植物には関心を示さない。以下、野菜、果物、その他と使用頻度が少なくなっていた。表として「フランス俳句の植物」の出現頻度を樹木、花、果物、野菜、その他に分けて紹介している。

### 謝辞

英国での季語について紹介いただいた俳人 David COBB 氏と、インド、シャンデイガールにおける俳句植物について情報をいただいた医師 Angelee DEODHAR 氏、フランスの植物俳句を調べていただいた Danièle DUTEIL 氏には感謝する。



参考文献

Cobb, D. (2004) English Seasonal Images: An Almanac of Haiku Season Words Pertinent to England, Braintree, 119pp

Higginson, W. J. (1996) Haiku World: An International Poetry Almanac, 講談社インターナショナル, 東京, 407pp.

星野恒彦 (2002) 俳句とハイクの世界, 早稲田大学出版, 東京, 314pp.

黄靈芝 (2003) 台湾俳句歳時記, 言叢社, 東京, 325pp.

## 7.2 English Haiku in the Absence of a *Saijiki*

David COBB, President of British Haiku Society

English poets and society in general, have used flowers as symbols of virtues and vices, of good qualities and bad, at least since the middle Ages and probably much earlier than that. In a famous scene in Shakespeare's *Hamlet*, the mad Ophelia makes gifts of various flowers to other characters in the tragedy, telling them the meanings of the flowers she has chosen for them.

There's rosemary; that's for remembrance; pray, love,  
Remember; and there is pansies, that's for thoughts.

In the C19th, the 'language of flowers' became a romantic fashion, and many people were familiar with it and knew how to use it to send messages, perhaps from a young man to the young woman whose heart he hoped to conquer. The flower called forget-me-not is an obvious example, for the name of the flower is its actual message. The thistle stood for independence and is used by the Scots as a favourite symbol. This 'language of flowers' has now gone out of fashion, except that florists will advise customers that certain flowers are more suitable for weddings, others for funerals, and so on.

These traditions are, however, almost irrelevant to writers of haiku. They are not interested in making a connection between particular flowers or plants and abstract qualities. The purpose of a *kigo* (season word) is to evoke a much wider recollection of the surrounding physical scene, its general setting, with all the emotions that arise with it. To this end, the Japanese have over many centuries developed a sort of codex (known as *saijiki*.) This is something that the English do not have.

Nevertheless, there are numerous words in the English language, including many for flowers, plants and trees, that most people would regard as pointing to a certain time of year, and which generate feelings that people may well share. For the rest of this short article I will simply list some of the words that, in themselves, indicate a season, and need no other word to help them do so. (For example, if a poet wrote 'spring daffodils', he would be guilty of a tautology; but in the case of crocuses, it may be necessary to specify 'autumn crocuses', as most people otherwise connect the name 'crocus' with early spring.)

For this purpose, I draw on a much larger almanac of haiku season words, *English Seasonal Images*, which I published in 2004.

Spring seasonal images.

First, flowers that are more likely to be found in gardens: snowdrops and aconites, whose flowering is the first sign that winter is ending; the primrose, the violet, blossoms of apples, plums and cherries; *forgetmenots*. Daffodils, of course. In the wild: earliest of all, *catkins* and *pussy willow* and *blackthorn blossom (sloe blossom)*; *crab apple blossom*; the *weeping willow*, which ambiguously suggests both fresh hope and disappointment; the *bluebell*, the cowslip; *wild clematis*, known popularly as *traveller's joy*.

#### Summer seasonal images

Pansies, some forms known as *heart's ease*; foxgloves; harebells; honeysuckle, which in the Victorian language of flowers stood for devotion; *dandelions*; *buttercups*; *poppies* (which, because of their association with victims of wars, might have some of the same resonances as cherry blossoms have for the Japanese); *lavender*; *buddleia*; *rosebay willow herb*; *roses*, of course; *clover*; *daisies* (there is an old tradition that you know summer has begun when you can cover ten lawn daisies with one of your feet.)

In summer time, the fruits of plants also begin to have seasonal meaning: *strawberries* might take the reader's mind straight to the lawn tennis championships at Wimbledon; *elderberries*; *rowan berries*; *gooseberries*; *cherries*.

#### Autumn seasonal images

Now the emphasis is much more on fruits and nuts and the end of the flowering season: *blackberries*, *crab apples*, *rose hips*, *haws* (from the wild hawthorn); *mushrooms* and *toadstools*; *corn* that is ripe for harvesting (in a 'cornfield' in Britain you might find wheat, barley, oats, rye, but NOT maize!); and of course, *falling leaves* (here one may think first of leaves of the *beech tree*, but in London it would be the *plane tree*.) *Horse chestnuts* (known as *conkers* to children who collect them and use them to play games) and *acorns* (the fruit of the oak tree) are also very suggestive of autumn.

There are still a few fresh flowers that imply autumn: *Michaelmas daisies*, *chrysanthemums*.

#### Winter seasonal images

We have a dearth of seasonal words that suggest this season: *holly* (because it and its red berries are used to decorate houses at Christmas time), *mistletoe* (with its white berries used at the same time, as an invitation to receive a kiss), perhaps *ivy*, because in some Christmas songs it is combined with *holly*.

There are also, as has been said, many names of flowers, plants and trees that one cannot tie to any particular time of year. An extreme example is the *gorse*, because it is said, 'When gorse is out of bloom, kissing's out of fashion!' In other words, gorse blooms all the year round.

Being in possession of that valuable compendium, the *saijiki*, it is the habit of many Japanese haiku poets to consult it frequently, to find a 'season word' (*kigo*) that may be an inspiration for a haiku, and relate it in an appropriate way to some actual event at the time of composition.

This is neither possible for English writers of haiku, nor does it really enter their thoughts. Rather, they focus on the scene or action before their eyes, and try to isolate the images that best encapsulate its reality, as well as the mood and feelings it generates. If they are able to record the phenomenon faithfully, their haiku is quite likely to contain some word that does pin its subject to a season. But this is something the writer may not really be aware of until after the haiku has been written. He will be glad to have found he has connected his poem to a season, even though he probably did not set out with the deliberate intention of making such a relationship.

To keep things in perspective, it should also be said that there are many other English seasonal images that are not to do with plants, trees, flowers and fruits - derived instead from the season, the heavens, weather, the earth, from the animal world, and from human life. The number of possible words from the animal world is more or less equal to that from the plant world; the number of activities and situations from human life is at least equally large.

One might speculate that, at a very slow rate, some kind of consensus similar to the *saijiki* may be developing in English haiku, because it is now becoming popular to publish *haiku calendars* in the West - calendars that are illustrated by haiku that are, in the writer's mind, associated with a particular month of the year, e.g. the *Snapshot calendars*, published annually since the year 2000 by Snapshot Press, Liverpool.

If this process is indeed happening, it will probably take centuries to complete!

### 7.3 Flora in Indian haiku

Dr. Angelee DEODHAR, Indian Haijin

#### Introduction

In India, trees have been held in veneration since ancient times. Poetic texts about and with natural themes employed the symbols primarily referring to nature. Ancient Aryans worshiped nature, and the other elements were always revered and several rituals were connected to them. Indian literature has a very close relationship to nature. Plants were used to mark rites of passage both in human and in the annual cycle, as well as to decorate and to symbolize events. Tree worship continues to be an element of modern Indian traditions. Plants, trees, flowers play a very important part in every ritual, religious or otherwise and no ceremony or festival is complete without the use of flowers or other parts of a plant.

The concept of the sacredness of plants enters into every form of religion as a concept of the unity of life in nature, a sense of communion and fellowship with the divine source of life. Flowers are considered symbolic of life and happiness and are therefore an important aspect of any worship. Each deity in Hinduism has its own favorite flower which, if offered, adds merit to the prayer. Usually, fragrant soft-petalled flowers are offered in worship. Red flowers are usually offered to female deities. Plants were used to mark rites of passage both in human and in the annual cycle, as well as to decorate and to symbolize events. Plants, especially flowers, have been used at funerals in many cultures.

Haiku in India is being written in several languages, all of which use various references to trees, plants, flowers, seeds and various parts of plants, but not as a representative of a particular season. There is no haiku association in India and although there are a few regional haiku clubs, whose members write in Hindi or other regional languages, none of them represent India completely. Most poets, writing as individuals, do not follow any standard definition of haiku. Some regard the season word, *kigo* as being absolutely essential while others completely ignore it.

#### Indian haiku

In Indian haiku, very rarely is a plant or flower used as a *kigo* to indicate a season. In India there is no *saijiki* to refer to and the poets writing in English adhere to an English (American) concept of using a *kigo* or refer to the *kigo* of Japanese origin.

In India, climatic diversity comprises a wide range of weather conditions across a large geographic scale and varied topography. India's unique geography and geology strongly influence its climate. The nation has four seasons: winter (January and February), summer (March to May), a monsoon (rainy) season (June to September), and a post-monsoon period (October to December). As in much of the tropics, monsoonal and other weather conditions in India are unstable: major droughts, floods, cyclones and other natural disasters are common.

The change in climate varies from region to region and thus influences the writing of poets living in those places. The local, vernacular names of plants and flowers are often used in poetry other than

haiku also. However no generalizations can be made as poets living in different regions will refer to their local flora, and if writing in a language other than English, may not be understood universally.

#### Category of plants

In order to familiarize readers with the various plants/trees which are sacred to Indians and often mentioned in Indian poetry I have tabulated these plants in the following categories:

Sacred plants and trees were shown in Table 7.1.

Plants and their parts/flowers used for rituals and worship

#### Flora of Chandigarh

Chandigarh is located near the foothills of the Shivalik range of the Himalayas in Northwest India. It covers an area of approximately 114 km<sup>2</sup> and shares its borders with the states of Haryana in the south and Punjab in the north. Chandigarh has 3245 hectares under forest and most of it is hilly with famous gardens (Table 7.2).

Nature has endowed Chandigarh with beautiful surroundings: Shivalik Hills as backdrop, seasonal rivulets of and a fertile soil. Chandigarh has a sub-tropical continental monsoon climate characterized by a seasonal rhythm: hot summers, slightly cold winters, unreliable rainfall and great variation in temperature (0 °C to 46.5 °C).

Forming the southernmost belt of the Himalayan range, the Shivaliks are also the lowest and narrowest range in the entire Himalayan system, having an average elevation of about 900 - 1200 m (3,000 to 4,000 feet) and in places, a width of only 16 km (10 miles). The Shivaliks rise steeply from the great northern plains of India and Pakistan and run parallel to the main ranges of the Himalayas towards the north, from which they are separated by high mountains and deep valleys. The name Shivalik is a Sanskrit word literally meaning "Belonging to the Lord Shiva (of the Hindus)".

#### Roadside plants

There is green foliage all around Chandigarh, offset by a splashes of colour of flowering trees.

A pattern becomes evident to the more discerning.

1. All roads running north-south are planted with canopy - forming trees (Table 7.3), possibly to minimize the low rays of the sun.
2. Roads running east-west have these 'vista' forming trees like the Kachnar and the Kusum.
3. The road dividers have flowering bougainvillea, while the silver oaks and the eucalyptus trees lining the main roads are distinctive.
4. Within the Sectors, the shopping streets have flowering trees of the same species (Table 7.4).
5. Roundabouts are beautifully landscaped with evergreen shrubs and sculptures.
6. The Mango Belt, with 5,000 trees runs north east to south west covering about 4 km. On both sides of the road 12 rows of mango of different varieties have been planted. This belt constitutes a complete tree buffer to protect the residential areas from the pollutants emanating from the factories and also from the heavy traffic (Table 7.6).

### Sacred seeds (Table 7.5)

In India, plants and plant products are elaborately used in every religious ritual. Sacred seeds said to be blessed by Gods and Goddesses are used for helping overcome difficulties, professional failures, mental stress and various ailments and diseases. The different sacred seeds of India are :

### Sacred grasses (Table 7.7)

*Cynodon dactylon*, Durva is used for all kinds of worship. Whenever water has to be offered in prayer, it is done by dipping a bunch of durva into the water and sprinkling it on the deity. This grass is considered a purifier. It is also used to purify the cremation site. Durva is dipped into water, which is then sprinkled on the site.

*Desmostachya bipinnata*, Elephant grass with long, sharp-edged blades, Kusha is an important component in all religious ceremonies.

### Conclusion

It is not possible to write in any detail about the plants which are usually grown in individual gardens. Flora in Indian haiku do not have the seasonal reference of Japanese haiku. In the absence of a *saijiki*, Indian poets writing haiku in English or in their regional languages do so as a response to nature in general and although floral references are used they do not indicate any particular season.

### Acknowledgement

I gratefully acknowledge the use of material from the following web sites.

[www.flowersofindia.net/](http://www.flowersofindia.net/), [www.iu.ff.cuni.cz/pandanus/database/](http://www.iu.ff.cuni.cz/pandanus/database/), [www.ecoheritage.cpreecorg](http://www.ecoheritage.cpreecorg), <http://en.wikipedia.org/wiki/Chandigarh>, <http://www.mapsofindia.com/maps/india/india-political-map.htm>



Fig. 7.1 Location of Chandigarh

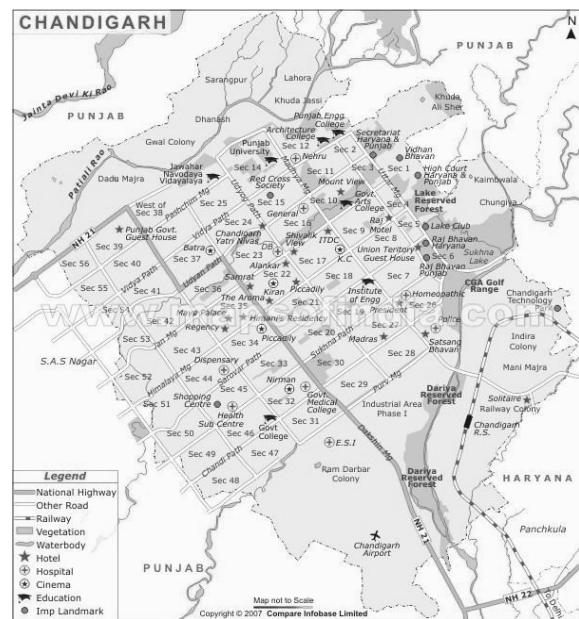


Fig. 7.2 Map of Chandigarh

Table 7.1 Sacred Plants and Trees

Botanical name	Feature of plant
<i>Adenanthera pavonina</i> - Red Sandalwood Tree	Sandalwood is commonly used for incense and religious ceremonies.
<i>Aegle marmelos</i> - Bel, Beli fruit, quince, Stone apple, Wood apple	This is a sacred tree, dedicated to Lord Shiva.
<i>Aganosma dichotoma</i> – Malati	Malati is a vine with very fragrant white jasmine-like flowers. This flower is frequently confused with jasmine.
<i>Azadirachta indica</i> - Neem	The neem tree besides having various medicinal benefits is a highly revered tree among the Hindus.
<i>Bambusa vulgaris</i> - Bamboo	Bamboo is revered in India because it is associated with Lord Krishna who always carries a flute made of bamboo.
<i>Bauhinia purpurea</i> Kovidar - Purple orchid tree	Kovidara occurs frequently in the Ramayana.
<i>Calophyllum inophyllum</i> - Sultan	This flower is sacred to Lord Vishnu, forming his garland.
<i>Calotropis gigantea</i> - Crown flower	A pretty purple coloured, and slightly scented flower, having a sweet and agreeable smell. It is called Arca in Sanskrit, and has two varieties, both of which are held to be sacred to Shiva.
<i>Cannabis sativa</i> - Marijuana Bhang Tree	To all Hindus, the Bhang Tree is a very Holy Tree.
<i>Cocos nucifera</i> - Coconut	The coconut is used for all religious purposes. Coconuts are offered in Temples to worship to various Gods and Goddesses.
<i>Datura wrightii</i> - Sacred Datura, Hairy thorn-apple. Sacred thorn apple	Sacred Datura is considered a sacred plant that has been used in sacred ceremonies and rites of passage.
<i>Ficus bengalensis</i> – Vat, Banyan	The banyan tree, India's National Tree, is a symbol of spiritual knowledge. Like the Peepal Tree, the Banyan Tree also symbolizes the Trinity or Trimurti-Lord Vishnu, Lord Shiva and Lord Brahma.
<i>Ficus religiosa</i> Peepal , - Bo tree, bodhi tree, holy tree, scared fig	Peepal is unrivalled for its antiquity and religious significance. After 49 days of meditation, it was here that Siddharta Guatama became the Buddha, the "Enlightened One."
<i>Garcinia xanthochymus</i> Tamal - Himalayan Garcinia	The dark green beauty of this tree and its leaves, and its long limbs make it a favourite simile for the Lord Rama.
<i>Hibiscus rosa-sinensis</i> - China	Rose The glory of the rising sun is often compared to this resplendently beautiful
<i>Hiptage benghalensis</i> - Madhavi	In stories of Krishna
<i>Jasminum auriculatum/molle</i> – Juhi /Yuthika	This is a beautiful Jasmine vine with fragrant, attractive white flowers which are used in worship is used as sacred offerings during Hindu religious ceremonies.
<i>Jasminum multiflorum/pubescens</i> - Star jasmine	In Indian mythology, Kund is known for its whiteness. So, instead of the common western phrase 'white as snow', what often appears in Hindu mythological stories is 'white as kunda'
<i>Linum usitatissimum</i> - Flax	This pretty blue flower is popular for comparing with the complexion of Krishna.
<i>Mangifera indica</i> - Mango	The mango tree is another sacred tree of the Hindus. The mango as a fruit is a symbol of love and fertility.
<i>Michelia champaca</i> - Champa	This beautiful, delightfully scented cream-yellow flower is used often in worship. The tree is grown in temple precincts and is considered particularly sacred to
<i>Mimusops elengi</i> - Mulsari	A very small, yellowish and fragrant flower used for garlands and other ornaments
<i>Musa paradisiaca</i> - Banana	It is a very sacred tree and all parts of the tree are used for some purpose or the
<i>Nelumbo nucifera</i> - Lotus	The Lotus is a sacred symbol for both Hindus and Buddhists. The Lotus is the national flower of India.
<i>Neolamarckia cadamba</i> - Kadamb	Kadamba trees and flowers are also a universal favourite among the Gods
<i>Nyctanthes arbor-tristis</i> - Har-Singar	According to mythology, Parijata is a heavenly tree brought to earth by lord
<i>Nymphaea lotus var. pubescens</i> - White waterlily	The White waterlily is another romantic favourite. The moon is her friend (since she blooms at night) and the sun is her enemy.
<i>Nymphaea nouchali/stellata</i> - Blue Waterlily	The dark complexion of Krishna is compared to that of Neelkamal. For this reason, the Blue Waterlily is also called Krishna Kamal.
<i>Ocimum sanctum</i> - Tulsi, Holy basil	This is a widely grown, sacred plant of India. Hindus grow Tulsi as a religious plant in their homes.
<i>Pandanus odoratissimus</i> - Kewda	A fragrant flower used in making perfume and aromatic oil, Ketaki is not used in worship.
<i>Pentapetes phoenicea</i> - Midday Flower, Bandhook	Bandhook is often used to symbolize glowing red color.
<i>Pterospermum acerifolium</i> - Kanak Champa	This golden-hued flower has a beautiful tassel-like form which makes it look very ornamental. It has an intense fragrance, perceptible even from a great distance while it is on the tree
<i>Saraca indica</i> - Ashok	Ashok' is a Sanskrit word meaning without grief or that which gives no grief. This tree is revered by the Hindus, Buddhists and Jains.
<i>Stereospermum chelonoides</i> - Paral	This beautiful red flower is another favourite of the Gods and decorates the hair of Goddesses and maidens.
<i>Stereospermum colais</i> - Yellow Snake Tree. Trumpet flower tree	Lord Shiva appeared and he united with the Goddess Uma under the sacred Padiri tree.



Table 7.2 Gardens of Chandigarh

Name of garden	Features of gardens
<b>Botanical Gardens</b>	There are two botanical gardens in Chandigarh and the third one is proposed.
<b>Bougainvillea Park</b>	It stretches over an area of 20 acres, with 65 different varieties of Bougainvillea. A Bougainvillea show is organized here every year.
<b>Garden of Fragrance</b>	This garden is renowned for its identifiable redolent and fragrant plants.
<b>Leisure Valley (Fitness Trail &amp; Flower Garden)</b>	Stretching over an area of 94 acres, full of medicinal and ornamental trees and the sculptures of celebrated artists.
<b>Rock Garden</b>	This 40 acresculpture garden designed by Nek Chand is the only one of its kind in the world. Built of industrial waste and thrown away items, it expresses the fragility of the environment and the need for conservation of the earth's natural resources.
<b>Rose Garden</b>	The largest of its kind in India, it stretches over an area of 27 acres, houses more than 17,000 plants and approximately 1,600 varieties of roses.
<b>Shanti Kunj</b>	The term 'Shanti' means peace.
<b>Smriti Upavan</b>	This garden was set up in 1988 with the view of planting trees for the departed souls. The term Smriti means 'remembrance' and Upavan means 'forest'.
<b>Terraced Flower Garden</b>	Spread across two levels this garden hosts the annual Chrysanthemum show.

Table 7.3 Common trees

Botanical name	Common name
<i>Acacia auriculiformis</i>	Earleaf acacia
<i>Azadiachta indica</i>	Neem
<i>Bauhinia variegata</i>	Kachnar
<i>Bombax ceiba</i>	Silk Cotton Tree, Kapok Tree
<i>Butea monosperma</i>	Flame of the Forest
<i>Callistemon vimnalis</i>	Bottle brush
<i>Cassia fistula</i>	Amaltas, Indian Laburnum
<i>Delomix rigia</i>	Gulmohar
<i>Eucalyptus spp</i>	Eucalyptus, Safeda
<i>Grevillea robusta</i>	Silver oak
<i>Jacranda ovalifolia</i>	Jacranda
<i>Phyllanthus emblica</i>	Amla, Indian gooseberry
<i>Tamarindus indica</i>	Tamarind

Table 7.5 Sacred Seeds

Botanical name	Common name
<i>Abrus precatorius</i>	Guni
<i>Adenanthera pavonina</i>	Red Sandalwood
<i>Areca catechu</i>	Areca-nut Betel Palm
<i>Elettaria cardamomum</i>	Cardamom, Elaichi
<i>Guazuma ulmifolia West</i>	Rudraksh used as beads in
<i>Indian Elm</i>	rudraksh maala worn by
<i>Ocimum sanctum</i>	Tulsi, Holy basil
<i>Zizyphus mauritiana</i>	Indian jujube, Indian plum

Table 7.4 Ornamental/Flowering trees in Chandigarh's Botanical Garden

Botanical name	Common name
<i>Acacia auriculiformis</i>	Australian Kikar
<i>Acacia farnesiana</i>	Vilayati Kikar
<i>Acacia nilotica</i>	Kikar
<i>Albizzia lebbek</i>	Siris (Kokoo Tree)
<i>Albizzia procera</i>	Safed Siris
<i>Artabotrys odoratissimus</i>	Hari Champa
<i>Barringtonia acutangula</i>	Samudraphal
<i>Bauhinia accuminata</i>	Kachnar
<i>Bauhinia alba</i>	Safed Kachnar
<i>Bauhinia blackiana</i>	Kachnar
<i>Bauhinia purpurea</i>	Geranium tree/ Kachnar
<i>Bauhinia sulpharai</i>	Kachnar
<i>Bauhinia tomentosa</i>	Yellow Kachnar
<i>Bauhinia variegata</i>	Kachnar
<i>Butea frondosa</i>	Dhak, Flame of the Forests
<i>Callistemon lanceolatus</i>	Bottle Brush
<i>Cassia fistula</i>	Amaltas
<i>Cassia javanica</i>	java-ki-Rani
<i>Cassia nodosa</i>	Pink-mohur
<i>Cassia renigera</i>	Pink-Cassia
<i>Cassia siamea</i>	Kassod
<i>Chorisia speciosa</i>	Mexican-Silk Cotton tree
<i>Delonix regia</i>	Gulmohar
<i>Erythrina blackei</i>	Shrub
<i>Erythrina indica</i>	Indian Coral tree
<i>Jacaranda mimosifolia</i>	Nili Gulmohar
<i>Koelreuteria apiculata</i>	Koelreuteria
<i>L. flos reginae</i>	Pride of India
<i>Lagerstroemia thorelli</i>	Queen's Flower
<i>Millettia ovalifolia</i>	Rosewood
<i>Murraya paniculata</i>	Satin Wood
<i>Nyctanthes arboritis</i>	Haar Shringhar
<i>Peltophorum ferrugineum</i>	Yellow Flame tree
<i>Plumeria alba</i>	Pagoda
<i>Plumeria rubra</i>	Pagoda
<i>Robinia pseudoacacia</i>	Black locust (Kashmiri Kikar)
<i>Saraca asoka</i>	Sita Ashok
<i>Tecoma argentea</i>	Tecoma tree
<i>Tecomella undulata</i>	Lahura
<i>Terminalia myriocarpa</i>	Hollock

Table 7.6 Trees and Shrubs of the Shivaliks

Botanical name	Common name
<i>Acacia catechu</i>	Khair
<i>Acacia modesta</i>	Phalahi
<i>Acacia nilotica</i>	Kikar
<i>Adathoda vasica</i>	Basuti
<i>Anogeisus latifolia</i>	Chhal
<i>Artemesia spp</i>	Jhav
<i>Capparis decidua</i>	Hins
<i>Cassia tara</i>	Panwar
<i>Dalbergia sissoos</i>	Shisham
<i>Lanea grandis</i>	Jhingan
<i>Lantana camara</i>	Phul buti
<i>Marraya koenigil</i>	Gandhala
<i>Zizyphus mauritiana</i>	Ber
<i>Zizyphus nummularia</i>	Mallah

Table 7.7 Grasses of the strip forest in the plains

Botanical name	Common name
<i>Demostachya bipinata</i>	Dhab
<i>Dicanthium annulatus</i>	Khabal
<i>Heteropogon contortus</i>	Sariala
<i>Saccharum bengalense</i>	Kana
<i>Saccharum spontaneum</i>	Kahi
<i>Typha elephantiana</i>	Dib

## 7.4 Plants in French Haiku

Danièle DUTEIL, Editor of the AFH (French Association of Haiku)

The authors of haiku indifferently approach all the subjects and the “Gong” reviews of the French Association of haiku (AFH) shows well their variety. However this study will observe more particularly which place plants occupy in the haiku. The word "plants" being taken in the general sense of “flora” that is to say flowers, trees, vegetables and the other plants.

The base of observation which follows leans on the haiku selected in the last eight publications of the “Gong” review from April 2007 to January 2009 and the last three special issues of the “Gong” review from January 2007 to October 2008. That means a whole total of 167 haiku.

A table and a figure are proposed. The first table indicates the proportion of haiku treating of plants in the whole of the considered texts. The figure indicates the proportion of haiku for each category.

The five tables propose a general vision of the five categories: trees, flowers, fruits, vegetables, other plants. They indicate the French word, the English word, the occurrence in the haiku, when plants are not a seasonal keyword, when they are an implicit *kigo*, when they are a symbol, some various observations such as particular uses.

In most cases, plants are part of the ornament. Sometimes pointing out a moment of the year, they are an implicit *kigo* (cherry or plum blossom, mushrooms, chestnuts, strawberries, daisies, poppies...).

Plants naturally take part in the poets’ emotion, but the intention of the writers often goes far beyond. The symbolic system does not really interest *haijins* because they observe concrete world. Yet symbolic system may be present in a more or less aware way. Poets may refer to it to emphasize a contrast or an unexpected image. They can also treat with mockery some stereotypical approaches.

The theme of half the haiku approaching the plants is the tree. Its name is not always indicated. So the generic word “tree” is frequent. Some parts of the tree can be evoked such as branches, leaves (dead leaves in autumn), the bark engraved as a recollection, the trunk, the blossom. The tree can be personified, for example when its branches are compared with arms and the wind blowing in trees with a voice or a complaint. It happens that *haijins* identify themselves with trees and they can feel a physical and moral pain seeing them destroyed in a forest fire, suffering with erosion or all sorts of mutilations.

The theme of flowers is less frequent. Their name is not always specified (a bouquet, a spray of flowers...). Petals of flowers are often linked with the flimsiness and transience of any living being. Their fall means the end of spring and it is frequently related to the idea of imminent death.

Then we observe in decreasing order, plants in general, vegetables and fruits.

Table 7.8 Number of Haiku investigated

TOTAL HAIKU	HAIKU FLORE
956	167

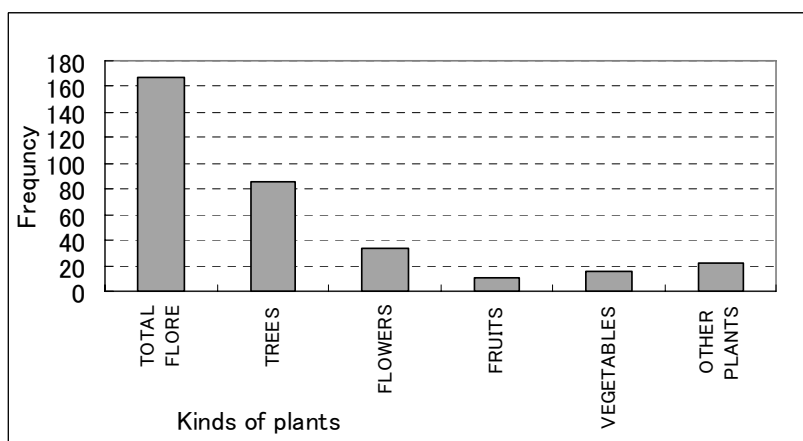


Fig. 7.3 Kinds of plants described in French haiku

Table 7.9 Plants (Flore) in French haiku trees

French word	English word	Occurrence	Not a seasonal keyword	Implicit kigo	Symbol	Various observations
Ajonc	Gorse	1		Spring and summer (gorse blossom)		Flowers smell
Amandier	Almond tree	3		Spring (almond tree blossom)	Purity and fragility	Beauty of image / Contraste / Comparison between almond tree blossom and milk teeth
Arbre à pain	Breadfruit tree	1	X			Exoticism Leaf of the breadfruit fruit : recollection of a travel
Bananiier	Banana	1	X			Exoticism
Bonsaï	Bonsai	1	X		Longevity and plenitude	Commune reference for haidjins
Bouleau	Birch	1	X			Word game because of the French homonymy between « bouleau » (tree) and « boulot » (work)
Cerisier	Cherry tree	1		Spring (cherry tree)		
Chêne	Oak	4	X		Robustness	Oak hundred-years old / hardness of the trunk
Cyprès	Cypresses	2	X			Ornamental and familiar tree in South of France. Frequently met in cemeteries
Deutzie	Deutzie	1	X			Commune reference for haidjins
Erable	Maple	3		Autumn (red leaves, dead leaves)		Beauty of the tree in autumn
Figuier	Fig tree	3		Summer (1) End of Autumn (1)		Smell
Filao	Filao	1	X			Exoticism
Flamboyant	Blazing	1	X			Exoticism. Beauty of image
Glycine	Wistaria	2		Spring, summer (blossom)		Smell / ornamental
Laurier rose	Rose laurel	1		Summer		Smell / ornamental
Marronniers	Chestnut trees	1		End of summer (brown leaves)		
Mimosa	Mimosa	1		Winter		Smell
Oranger	Orange tree	1		Orange tree blossom		Beauty of image
Pin	Pine	7	X			Tree most familiar often linked to great and cosmic themes (night, wind, life or
Platane	Plane tree	1	X			
Prunier	Plum tree	1	X			
Prunus	Prunus	1		Spring (prunus blossom)		Beauty of image
Sapin	Fir tree	1		Winter	Christmas	
Saule	Willow	1	X			Wind in the leaves
Tilleul	Lime	1		Autumn		
Arbre	Tree	21	X			Part of the scenery / personification
Branche	Branch	3	X			Branch often linked with bird
Ecorce	Bark	2	X			To be engraved
Feuillage	Leaves	1	X			Part of the scenery
Feuilles mortes	Dead leaves	7		Autumn		Colour/ noise/ movement of the fall
Tronc de l'arbre	Tree trunk	1	X			Hardness
Les bois	Wood	1	X			Part of the scenery
Haie	Hedge	3	X			Part of the scenery
Buisson	Bush	1	X			Part of the scenery
Conifère	Conifer	1	X			Part of the scenery
Pinède	Pine forest	1		Summer		Pine forest fire

Table 7.10 Flowers

French	English	Occurrence	Not a seasonal keyword	Implicit seasonal Kigo	Symbol	Various observations
Bégonia	Begonia	1	X			Ornamental
Chardon sauvage	Wild thistle	1		Spring		Poetic image and idea that thistle has to keep a defensive attitude
Clématite	Clematis	1	X			Comparison with a nimble child
Coquelicot	Poppy	4	X (1)	Beginning of summer (3)		Beauty of the image. The colour of the poppy often contrasts with whiteness and darkness
Jasmin	Jasmine	2		Spring	Lightness, love feeling	
Jonquille	Jonquil	1		Spring		Image
Lavande	Lavender	1	X			Perfume and moth repellent
Lotus	Lotus	2	X		Buddhist reference = accomplishment	In contrast the image of a wilted lotus flower or any image of death near the lotus is disturbing
Marguerite	Marguerite	1		Spring		"Marguerite" is a first name and the name of the flower (word game)
Muguet	Lily of the valley	1	X		Spring and peace symbol	
Narcisse	narcissus	2		Spring (2)		The onions of narcissus can be compared with woman's breasts
Nénuhar	Water lily	2	X		Life, peace	
Pâquerette	Daisy	3		Spring (3)	Spring symbol	Image of vivacity
Pensée	Pansy	2	X			French word is the same for "pansy = pensée" and "thought = pensée". Homonymy which often leads to word
Pissenlit	Dandelion	1		Summer		Blowed up dandelion
Rose	Rose	2	X		Love	Petals of roses frequently refer to the marriage
Tournesol	Sunflower	1	X			Poetic image
Fleur	Flower	6	X (2)	Spring (4)		Colour / Love / Linked with happy or sad events

Table 7.11 Fruits

French word	English word	Occurrence	Not a seasonal key word	Implicit Kigo	Symbol	Various Observations
Banane	Banana	1	X			
Cerise	Cherry	2	X (1)	End of spring (1)		Song / Fruit
Clémentine	Clementine	1		Winter		
Gland	Acorn	1	X			Word Game : homonymy between the acorn of the oak ("gland") and the "glans" ("gland") in anatomy
Groseille	Redcurrant	1		Summer		
Marron	Chestnut	2		Autumn / Winter	Christmas (marron glacé)	
Orange	Orange	2		Winter		Association of ideas (orange/sun) / Comparison between blood orange juice and blood
Pomelos	Pomelos	1	X			

Table. 7.12 Vegetables

French word	English word	Occurrence	Not a seasonal key word	Implicit kigo	Various observations
Asperge	Asparagus	2		Spring	Humor : asparagus compared with penis (1)
Carottes	Carrots	1	X		
Champignon	Cultivated mushroom	1		Autumn	
Citrouille	Pumpkin	1		Autumn	
Fenouil	Fennel	1		End of summer : fennel burned by the sun	
Oignon	Onion	1	X		Humor : Link between sadness and onions that provoke tears
Pomme de terre	Potato	1		Spring : Flowers of potatoes	
Poireau	Leek	1	X		
Potiron	Pumpkin	1		Autumn	Humor : Used as a balloon
Salade	Salad	1	X		
Tomate	Tomato	2		Summer	Beauty of red colour and contrast
Jeunes plants	Young seedlings	2		Spring	

Table. 7.13 Other plants

French word	English	Occurrence	Not a seasonal keyword	Implicit	Symbol	Various observations
Blé	Wheat	2		- End of Spring		- Beauty of colours (green wheat fields and poppies)
				- Beginning of Summer	- Prosperity (1)	
Bruyère	Heather	1		Spring		
Champignon sauvage	Wild mushroom	2		Autumn		
Fougère	Fern	1	X			- Link between plant and petrol
Fraisier	Strawberry plant	1		Spring		
Gui	Mistletoe	1			Happiness / luck	- Reference to tradition
Herbe	Grass	7	Permanent element	Spring (2)		- Place of rest including eternal
						- Olfactory meaning : smell of recently cut grass
						- Comparison with woman's pubic hair
						- Feeling of worry
Mélisse	Melissa	1		Spring		Perfume which makes memories re-appear
Paille	Straw	3		End of summer		- Seasonal keyword - Comparison of human being with a wisp of straw
Plantes aromatiques	Aromatic plants	1	X			Olfactory meaning
Roseau	Reed	1	X			Decorative and auditive meaning : noise of the wind in the reeds / haidjins' reference
Jeunes plants	Young seedlings	1		Spring		

## 8. 植物季語のデータベース

### Database of Plants *Kigo*, Season Words for Haiku

独立行政法人国立環境研究所 青木陽二

国際俳句交流協会 ジャンボール絹子

独立行政法人国立科学博物館 近田文弘

国際俳句交流協会 宮下恵美子

俳人 野末琢二

Yoji AOKI, National Institute for Environmental Studies

Kinuko JAMBOR, Haiku International Association

Fumihiko KONTA, National Science Museum

Emiko MIYASHITA, Haiku International Association

Nozue TAKUJI, Haijin

#### 資料の解説

ここではこれまでに植物季語について調査をした結果を紹介する。

初めに紹介する資料は、独立行政法人国立環境研究所と国際俳句交流協会が行った世界の俳句愛好家による植物を詠み込んだ俳句の調査結果である。世界の日本人会に所属する俳句愛好者に、植物の入った俳句を3句まで挙げてもらい、その中に詠まれた植物の和名、現地名、学名について回答を得た。またそれぞれの句がどのような場所で詠まれたか、現地の季節はいつか、感覚器官は何を使っているか、植物のどのような部分を詠んでいるかなどを尋ねた。この調査の結果を表としてまとめた(表 8.1)。

次の資料は現代の歳時記(山本, 1971)に挙げられている植物関係の季語にはどんなものがあるか、3章の基準でコード番号が付けられている。また角川(1973)の歳時記との比較を調べている。これらの比較から、歳時記における植物季語の違いや新しい季語の増加などを知ることができる(表 8.2)。

最後は植物の記述が最も多い角川(1973)の季語について、1章の植物分類学的考察の原データを紹介する。考察はまだ最終的な段階ではではないが、現在の分析力でどこまで分かっているかを示した。分類学的な分析ができるものは少ないが、俳句の国際化において相互理解を深めるためには、必要なデータである(表 1.1 参照)。

#### Introduction of the tables

The materials collected about plants referenced in haiku are described as follows:

The first graphic (table 8.1) shows the list of haiku describing plants which were collected from the haijin, poets, belonging to the Japanese Society abroad. The table also shows the environment of the haiku described, the season in which haiku was composed, the kind of perception used, and the parts of plants appreciated.

The second graphic (table 8.2) shows the code number related to the fourth section. The list

describes the variety of *kigo*, season words, and compares them to the *saijiki* of Kadokawa (1973) It also shows the differences among the different *saijiki* and the increase in new plants.

The third graphic (see table 1.1) shows the taxonomical considerations for the *kigo* in the Kadokawa *saijiki*, a glossary of season words, which is the largest of the compilations of plants. This table was not completed but the contents showed the kind of contribution that can be made by taxonomical analysis. We could identify a part of the name of the plant listed with taxonomical distinction, but this will be necessary to know the plants in haiku through the words.

#### 参考文献

角川源義(1973)図説俳句大歳時記, 角川, 東京, 全5巻.

山本健吉(1971)最新俳句歳時記, 文芸春秋社, 東京, 全5巻.



表 8.1 世界植物俳句調査の結果(宮下恵美子・ジャンポール絹子・近田文弘・野末琢二・青木陽二)

Results on the investigation into plants in haiku of the world, E. MIYASHITA, et al.

(1)作者名	(2)国名・都市名・連絡先	(3)俳句1	(4)吟詠地1	(5)植物名1	(6)現地名1
1宮城由美子	ボリビア国サンタクルス県オキナワ第一移住地	ハチドリ群れて揺るかさندانカ	自宅の庭	サンダンカ	
2樋口浩章	#9B, St.271 Sangkat TeukThla, Khan Russey Keo, Phnom Penh, Cambodia.	ツリフネソウ探しあるが未だ現われず	プノンペン	ツリフネソウ	知らないのです
3韓玉榮・汀舟	ソウル特別市松阪旬蚕質504-302	葉桜の木漏れ日踏みて湖へ	ソウル・蚕質	葉桜	イッピインボツナム
4久門美知子	韓国	墓までは坂道小道ねこじやらし	江原道平昌	ねこじやらし	カンガジフル
5牛嶋毅	大韓民国ソウル市	チャングの音銀香黄葉を襲いけり	トクソムソウルの森	銀香	ウネンナム
6大津泰史	韓国ソウル市	入り来るホブラの落ち葉A4サイズ	ソウル	ホブラ	ホブラ
7野村好子	韓国ソウル	梅の花手を組む二人見つめけり	ソウル大学	梅	桜
8マハスエタバスムガーン	c/o REKHA Bose SAPTAPARNI Flat A-31, 58/3, Bally Gunge Circular Road, Kolkata-700019	夜が明けてはすのはなびつちひかる	コルカタ	はす	Padma
9安田雅行	マニラ	屋下がり時刻とが止まるや火炎樹に	マニラ	火炎樹	英名Fire Tree西名Flameboyant
10永田恵理	マニラ	旅立ちやゴールデンジャワーの眩しすぎ	マニラ	ゴールデンジャワー	kana-pistola
11岩崎宏	マニラ	火炎樹花流む夕陽に立ち向かう	マニラ	火炎樹	英名Fire Tree
12栗田謙子	マニラ	夕すき素直に風と向きを変え	マニラ	夕すき、野生サトウキビ	タラヒブTalahib
13合田恵子	マニラ	噴水の飛沫に舞い込むブーゲンビリア	マニラ	ブーゲンビリア	Bougainvillea
14榎本直幹	マニラ	風そよとマンゴステインの珠簾	マニラ近郊	マンゴステイン	Mangosta
15山浦優子	マニラ	あばら屋を覆ふバナバや線路傍	マニラ	バナバ、オオバナサルズベリ	Banaba
16七條天蛇	マニラ	ピナツポの赤砂に椰子の芽天仰ぐ	ピナツポ火山山麓	椰子、ココヤシ	Nivog
17水野暁	マニラ	風に舞ひ棘ふりかざすブーゲンビリア	マニラ	ブーゲンビリア	Bougainvillea
18水野美枝	マニラ	グマメラの垣をめぐらさ陸の館	マニラ	グマメラ、ハイビスカス	Gumamela
19村上きみい	マニラ	宇宙へとつづく蒼空翔を干す	マニラ近郊	イネ	翔Palay米Bigas
20長谷川宏美	マニラ	光浴び色鮮やかにハイビスカス	マニラ	ハイビスカス	Gumamela
21渡邊淳子	マニラ	緑風を抜かんと匂ふ珈琲花	マニラ近郊	珈琲の花	Kape
22北村由美	マニラ	ハンの実の天までとどく急斜面	マニラ近郊タガタイ高	ハンノキ	Antipilo
23宮田美紀	フィリピン国マニラ、現在は日本	ブーゲンビリア風の乾きの音放ち	マニラ	ブーゲンビリア	Bougainvillea
24佐々木節子	フィリピン国マニラ、現在は日本	窓外にゴールデンジャワー浮かひ来し	マニラ	ゴールデンジャワー	Kana-pistola
25小島和子	フィリピン国マニラ、現在は日本	鈍色にいらの湖面彩る布袋草	マニラ近郊	布袋草	英名WaterHyacinth
26小林英治	フィリピン国マニラ、現在は日本	火炎樹や赤燃え盛り村包む	マニラ近郊農村	火炎樹	英名Fire Tree
27小樽宏	フィリピン国マニラ、現在は日本	風捲めぐる本のまどろみ椰子木蔭	マニラ	椰子	Nivog
28清水優子	フィリピン国マニラ、現在は日本	葉の上にきちんと座するパイナップル	マニラ近郊	パイナップル	英名Pineapple
29浅野真理	フィリピン国マニラ、現在は日本	建物の谷に埋れむ合歡大樹	マニラ	合歡	Acacia英名Rain Tree
30塚原治	フィリピン国マニラ、現在は日本	その色を燃尽きさせてカノナ咲く	マニラ	カノナ	Canna
31田口右竜子	フィリピン国マニラ、現在は日本	グマメラの風を見ている鼠寢覚め	マニラ	グマメラ・ハイビスカス	Gumamela
32田尻すえ子	フィリピン国マニラ、現在は日本	タリサイ紅葉ジブニー(小型乗合バス)の音楽め にけり	マニラ	タリサイ	Talisay
33田部浩子	フィリピン国マニラ、現在は日本	ゴールデンジャワー身に浴びてあし木下閣	マニラ	ゴールデンジャワー	kana-pistola
34藤田孝子	フィリピン国マニラ現在・日本	雨季の森バナバのほかに色のなく	マニラ近郊	オオバナサルズベリ	Banaba
35野澤勝美	フィリピン国マニラ、現在は日本	慰霊碑は石段ごとのおじき草	マニラ近郊	おじき草	Makahiya
36兒玉利幸	フィリピン国マニラ、現在は日本	ラハールにまず青薄綿り来てラハール・ピナツ ポ火山噴火の火山灰泥流	ピナツポ山近く	薄、野生サトウキビ	Talahib
37井上憲昭	フィリピン国マニラ、現在は日本	酷暑来る都塵に續せるダブダブ花	マニラ、マカティ市	ダブダブ、構梧	Dapdap
38永田華輪	フィリピン国マニラ、現在は日本	火炎樹や紅一点や目に入りぬ	マニラ	火炎樹	英名Fire Tree
39岡田正子	フィリピン国マニラ現在・日本	片蔭にバス待つ人とマンゴ売り	マニラ	マンゴー	Mangga
40吉田吉子	フィリピン国マニラ、現在は日本	バナバ咲く紫かける夕暮れに	マニラ	バナバ、オオバナサルズベリ	Banaba
41宮地正和	マニラ	しめりたる夕風残し合歡閉じる	マニラ	合歡	Acacia英名Rain Tree
42窪田雅夫	フィリピン国マニラ、現在は日本	ブーゲンビリア燃え立つばかり朝を往く	マニラ、マカティ市	ブーゲンビリア	Bougainvillea
43高橋正和	フィリピン国マニラ、現在は日本	火炎木見上げる子等に丘の風	マニラ近郊	火炎木	英名African Tulip Tree
44高橋千代	フィリピン国マニラ、現在は日本	夕日落ち墨絵のごとき椰子並木	マニラ	椰子	Nivog
45佐々木なな	フィリピン国マニラ、現在は日本	張りつめし身に撥とほすデイゴの朱	マニラ	デイゴ	Dapdap
46鮫島典子	フィリピン国マニラ、現在は日本	ハイビスカス撒き水に刃を赤深し	マニラ	ハイビスカス	Gumamela
47三好哲也	フィリピン国マニラ、現在は日本	楚々たるも群れなし乱るススキ原	マニラ	ススキ野生サトウキビ	Talahib
48山口囀一	マニラ	住家なき人寄り添い合歡の蔭	マニラ	合歡	Acacia英名Rain Tree
49酒井弘之	フィリピン国マニラ、現在は日本	ダブダブや散り敷きてなほ鮮やかに	マニラ	ダブダブ、構梧	Dapdap
50世戸新部	フィリピン国マニラ、現在は日本	バスを待つ人にやさしくデイゴ咲く	マニラ	デイゴ・構梧	Dapdap
51西村まり	フィリピン国マニラ、現在は日本	子雀の寝るに弾むブーゲンビリア	マニラ、マカティ市	ブーゲンビリア	Bougainvillea
52石間千實子	フィリピン国マニラ、現在は日本	ナラの木の黄花草らして風あそぶ	マニラ、マカティ市	ナラ	Narra
53大山清美	フィリピン国マニラ、現在は日本	ナラの花年に一度の晴れ着かな	マニラ、マカティ市	ナラ	Narra
54大石玲子	フィリピン国マニラ、現在は日本	一列の椰子が垣根の青田かな	マニラ近郊	椰子	Nivog
55田中研一	フィリピン国マニラ、現在は日本	掌々の影連ねたり合歡並木	マニラ近郊	合歡	Acacia英名Rain Tree
56田中竹美	フィリピン国マニラ、現在は日本	衣も食も並ぶ露店や合歡大樹	マニラ近郊	合歡	Acacia英名Rain Tree
57島岡美智子	フィリピン国マニラ現在・日本	デイゴ落つ大地を熱く朱に染めて	マニラ、マカティ市	デイゴ・構梧	Dapdap
58梅田海太	フィリピン国マニラ、現在は日本	さらさらと波打つ野原にデイゴたち	マニラ近郊	デイゴ	Dapdap
59梅田知子	フィリピン国マニラ、現在は日本	ナラ大樹咲きて少年入學す	マニラ	ナラ	Narra
60梅田典夫	フィリピン国マニラ、現在は日本	風に舞ふ南洋さくらどじじみ蝶	マニラ近郊	南洋さくら	Ikakawati
61福島きみ子	フィリピン国マニラ、現在は日本	露上がりカシナの露にビル映る	マニラ	カシナ	Canna
62平尾かおり	フィリピン国マニラ、現在は日本	朝の陽のシャンテリアとなるシェイドバイン	マニラ近郊・ロスバニョス	シェイドバイン	Bayou
63峯山昇	フィリピン国マニラ、現在は日本	街道のバス火炎樹の輪をぐる	マニラ近郊	火炎樹	英名Fire Tree
64郷富佐子	マニラ	湖風のシャツ躍らせて椰子の間に	リゾート地	椰子	Nivog
65濱田寛	マニラ	たそがれの野に火炎樹の道しるべ	マニラ近郊	火炎樹	英名Fire Tree
66濱田民子	マニラ	タラヒブや野に白波の立てること	マニラ近郊	タラヒブ、野生サトウキビ	Talahib
67節子ワルナ リラスーリヤ	147Park Road Clombo	我庭に嫁きて咲くほうせん花	コロンボ市内	ほうせん花	Buniila
68長尾俊郎	バンコク 現在は日本	火焔樹の花をこぼして風少し	バンコク	火焔樹	ハーンノックユーンファラン
69大口のり子	バンコク	寺の鐘樓道にチュワンチヨム	チャオプラヤ川	アデニウム	チュワンチヨム
70中田朗子	タイ	洗生の休日耳にフルメリア	バンコク	インドンクイフルメリア	ラントム又はリーラーワディー
71川井順子	タイ	初霧ブーゲンビリアの花匂む	シーラチャー	ブーゲンビリア	ファンファー
72大口瞳遊	バンコク	戸感いはブーゲン花咲く年の暮	バンコク	ブーゲンビリア	ファンファー
73イーブン美奈 子	99/103 Banchoomdao, Soi Sonthornsabatton Sukhumni177, Sualuang, BKK, Thailand	やはらかきブルメリア手に君三歳	タイ国チョンプリ県シー ラーチャー郡ロイ島	ブルメリア	ラントム又はリーラーワディー
74豊田美帆		アユタヤや火焔樹燃ゆる遺跡かな	アユタヤ	鳳凰木	ハーン・ノックユーンファラン

(7)学名1	(8)吟詠時期1	(9)現地の季節1	(10)俳句2	(11)吟詠地2
<i>Ixora chinensis</i> Lamk	3月初旬	夏	キンバイカ嘶き往きて風渡る	草原牧場
<i>Impatiens</i> なるとかかんとかだと思ひます	忘れました	春・夏・秋・冬	ふわふわとシラタマホクサ心も揺れる	コンボートからシアヌークビルに行く途中
<i>Pururus serrusata</i>	4月下 9月下旬 10月中旬 10月中旬 3月○下旬	春 春・夏・秋・冬 秋 秋 現地○春	縞すすむ真紅の巴目杏食みてより みそ萩や妻には妻の独り言 人の手を寄せぬ岩場にチンダルレ 朝毎に鮮やぐ銀杏紅葉かな ハンジーの色扱えわたる雨あがり	ソウル 漢江・公園 南山公園 ソウル 大学路
<i>Nelumbo Nucifera</i> Gaetn	10月初旬	秋	巢作りでバスラの中にとりのむれ	コルカタ
<i>Poinciana regia</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	火炎樹の根元環そべる親子猫	マニラ
<i>Cassia fistula</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	カラチュチの香りの記憶曲がり角	マニラ
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	目に染みる布袋婆と空の青	マニラ近郊
<i>Saccharum spontaneum</i>	9月	雨季	ブーゲンビリア崩れるほどに咲きみだれ	マニラ
<i>Bougainvillea</i> sp.	5月	乾季の酷暑期(サマー)	ブーゲンビリア垣根ピンクに埋め尽くし	マニラ
<i>Garcinia mangostana</i>	9月	雨季	マカヒアに幼き児の手ふと重ね	マニラ
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	7月	雨季	青空へブーゲンビリアのモザイク画	マニラ
<i>Cocos nucifera</i> L.	3月	乾季	風招き戯れ踊るブーゲンビリア	マニラ
<i>Bougainvillea</i> sp.	6月	雨季	夕間へ雨だれ落とす実マンゴー	マニラ近郊
<i>Hibiscus</i> CV.	5月	乾季の酷暑期(サマー)	午後疾風はやて光をこぼすブーゲンビリア	マニラ
<i>Oryza sativa</i> L.	11月	乾季	一斉に葉裏のざわと芋嵐	マニラ近郊
<i>Hibiscus</i> CV.	3月	乾季	香しきほひの主は花珈琲	マニラ近郊
<i>Coffea arabica</i>	2月	乾季	風そよぎ里に香るやコーヒー花	マニラ近郊
<i>Artocarpus incidsa</i>	3月	乾季	小さくも群れてかしましコーヒー花	マニラ近郊
<i>Bougainvillea</i> sp.	3月	乾季	トウボ茂る朝の光を切りきざみ	マニラ近郊
<i>Cassia fistula</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	おじぎ童児等が握手す暮つばら	マニラ近郊
<i>Eichhornia crassipes</i> Solms	7月	雨季	廃屋を隠して赤きハイビスカス	マニラ
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	戦犯の眠る丘ありブルメリア	マニラ、マカティ市
<i>Cocos nucifera</i> L.	11月	乾季	マンゴ樹や陽をはねとばし仁王立ち	マニラ近郊
<i>Ananas comosus</i> Merr.	4月	乾季	カニヤスは幹より出づる涙かな	マニラ
<i>Samanea saman</i>	2月	乾季	こうべ振るブーゲンビリアに風を知る	マニラ
<i>Cannaceae</i>	9月	雨季	布袋草花の重みに傾ぎ居り	マニラ近郊
<i>Hibiscus</i> CV.	3月	乾季	芋嵐山の精霊守る部落	ルソン島中部
<i>Terminalia catappa</i> L.	12月	乾季の涼期	サンタンカ酒の匂ひの主めし迎ふ	マニラ
<i>Cassia fistula</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	陽を浴びて光と影のススキ原	マニラ近郊
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	7月	雨季	ポインセチア貧しき窓を被ひけり	マニラ
<i>Mimosa pudica</i> L.	8月	雨季	カラバオ(牛)のぬつと鼻出す花芒	マニラ近郊
<i>Saccharum spontaneum</i>	9月	乾季の初め	城壁に隠れてスラム青バナナ	マニラ
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	3月	乾季の酷暑期(サマー)	ススキ野に還らむとする塵墟かな	マニラ近郊
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	椰子の木を登る少年点となり	マニラ近郊
<i>Mangifera indica</i>	5月の初旬	乾季の酷暑期のサマー	椰子売女山刀ボロのさばきもあざやかに	マニラ近郊タガイタイ高原
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	8月	雨季	白き蝶白きカラチュチより出づる	マカティ市
<i>Samanea saman</i>	6月	雨季	台風の来ている気配ススキにも	マニラ
<i>Bougainvillea</i> sp.	5月	乾季の酷暑期(サマー)	カラチュチの白の一樹や月の光かけ	マニラ
<i>Spathodea campanulata</i>	1月	乾季	彼方まで合歓の木陰や墓地の丘	マニラ
<i>Cocos nucifera</i> L.	12月	乾季	ゴールデンシャワー西日の中に舞う黄蝶	マニラ
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	12月	乾季	照る海へつづく道なりカンナ咲く	マニラ近郊
<i>Hibiscus</i> CV.	3月	乾季	陽のマッチつけて燃えだす火炎樹花	マニラ
<i>Saccharum spontaneum</i>	9月	雨季	椰子の道遠い歴史の軍靴の音	マニラ近郊パターン半島
<i>Samanea saman</i>	3月	乾季	耳打ちのように枝揺れバウヒニア	マニラ
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	1月	乾季	火炎樹やアメリカ墓地の華やげり	マニラ
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	11月	乾季	陰り濃き大樹やマンゴぶらさがり	マニラ近郊
<i>Bougainvillea</i> sp.	3月	乾季のサマー	マカヒアにそつと指ふれ子守唄	マニラ近郊
<i>Pterocarpus indicus</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	ポインセチア聖歌を聴きて赤を増す	マニラ
<i>Pterocarpus indicus</i>	3月	乾季	火炎樹下今落つ花弁の鮮紅かな	マニラ、マカティ市
<i>Cocos nucifera</i> L.	5月	乾季	合歓樹下の無数の墓標を渡る風	マニラ
<i>Samanea saman</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	タラヒフや疾風はやてにビルの見え隠れ	マニラ
<i>Samanea saman</i>	3月	乾季	雨あがるマホガニー並木の蟬時雨	マニラ近郊
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	2月	乾季	風の綾ナラの芳香を身に纏ふ	マニラ、マカティ市
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. <i>orientalis</i>	1月	乾季	道路わきふりそそぐ雨ゴールデンシャワー	マニラ
<i>Pterocarpus indicus</i>	4月	乾季	バナナ樹の紫散らし驟雨去る	マニラ
<i>Gliricidia sepium</i>	3月	乾季	バレット戦士の墓に蘭の花	北ルソン
<i>Cannaceae</i>	9月	雨季	マンゴ採り少年の穂ふらふらと	マニラ近郊
<i>Strongylodon macrobotrys</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	朝露の月に飛び込みしハイビスカス	マニラ、マカティ市
<i>Poinciana regia</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	サンバキタ幼き子の手に萎れをり	マニラ、マカティ市
<i>Cocos nucifera</i> L.	8月	雨季	小さき香を風が奪ひぬサンバキタ	マニラ
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	火炎樹や深き緑に紅をひく	マニラ近郊
<i>Saccharum spontaneum</i>	9月	雨季の終り	戦跡にブーゲンビリア賑ひて	マニラ近郊
<i>Impatiens Balsamina</i>	5月中旬	夏	ランタナで水色作るわらべかな	近村
	4月初旬	夏	花アンチアンソウめん髪のマリア像	バンコク
<i>Adenium obesum</i> Apocynaea	3月中旬	夏	リラフデ散りても色添ふ石畳	公園
<i>Plumeria acutifolia</i> Poiri Linn.	4月中旬	夏	火焰樹を三度通るは迷い道	チョンブリー
<i>Bougainvillea</i> Spp.	1月初旬	冬	タイ桜成敵令の続くなり	シーラチャー
<i>Bougainvillea</i> Spp.	12月下旬	冬	チェンマイや古都の名残のタイ桜	チェンマイ
<i>Plumeria acutifolia</i> Poiri Linn.	2月中旬	冬(涼期又は寒期)	薔薇色のチョムプー響る吾は王女	タイ国バンコク
<i>Delonix regia</i> (bojer) Rafin	7月初旬	夏		

(12)植物名2	(13)現地名2	(14)学名2	(15)吟詠時期2	(16)現地の季節2
キンバイカ			4月中旬	秋
シラタマホシクサ	知らないのです	Eriocaulonどうのこうの	10月	雨季の終わりというか乾季のはじめ
巴且香:はたんきょう	チャド	Prunus Salina var. typicabanana	8月中	夏
みそ萩	プチヨッコ		9月下旬	春・夏・秋・冬
山つつじ?	チンダルレ		4月初旬	春
銀香、紅葉	ウネナム、タジナム		11月中旬	春・夏・秋・冬
パンジー	パンジー		3月○下旬	現地○春
パラス	Palash	Butea Monosperma Runtze	3月中旬	春
火炎樹	英名FireTree西名Flameboyant	Poinciana regia	4月	乾季の酷暑期(サマー)
カラチュチ、ブルメリア	Kalachuchi	Plumeria rubra	3月	乾季
布袋葵	英名WaterHyacinth	Eichhornia crassipes Solms	7月	雨季
ブーゲンビリア	ブーゲンビラ	Bougainvillea sp.	3月	乾季のサマー
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	2月	乾季
マカヒヤ	Makahiya	Mimosa pudica L	2月	乾季
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	3月	乾季の酷暑期(サマー)
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	6月	雨季
マンゴー	Mangga	Mangifera Indica	6月	雨季
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	3月	乾季
芋	Gabi英Taro	Alocasia macrorrhiza	8月	雨季
花珈琲	kape	Coffea arabica	2月	乾季
珈琲の花	kape	Coffea arabica	2月	乾季
コーヒーノキ	kape	Coffea arabica	3月	乾季
トゥボ、サトウキビ	Tubo	Saccharum officinarum L	7月	雨季
おじぎ草	Makahiya	Mimosa pudica L	3月	乾季
ハイビスカス	Gumamela	Hibiscus CV.	11月	乾季
ブルメリア	Kalachuchi	Plumeria rubra	3月	乾季
マンゴー	Mangga	Mangifera Indica	5月	乾季の酷暑期(サマー)
カミアス	kamias	Averrhoa bilimbi	4月	乾季
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	3月	乾季
布袋草	英名WaterHyacinth	Eichhornia crassipes Solms	8月	雨季
芋ガビと呼ばれる里芋	Gabi 英Taro	Alocasia macrorrhiza	8月	雨季
サンタンカ	Santan	Ixora chinensis Lam.	3月	乾季
ススキ	Talahib	Saccharum spontaneum	9月	乾季
ポインセチア	Pascuas	Euphorbia pulcherrima	12月	乾季
芒	タラヒブTalahib	Saccharum spontaneum	9月	雨季
バナナ	Saging	Musa sapientum	3月	乾季
ススキ、タラヒブ	Talahib	Saccharum spontaneum	9月	雨季
椰子	Niyog	Cocos nucifera L	4月	乾季
ココヤシ	Niyog	Cocos nucifera L	7月(収穫は一年中)	雨季
カラチュチ、ブルメリア	Kalachuchi	Plumeria rubra	3月	乾季
ススキ野生サトウキビ	Talahib	Saccharum spontaneum	9月	雨季
カラチュチ、ブルメリア	Kalachuchi	Plumeria rubra	10月	雨季
合歡	Acacia英名RainTree	Samanea saman	4月	乾季の酷暑期(サマー)
ゴールデンシャワー	kana-pistola	Cassia fistula	4月	乾季の酷暑期(サマー)
カンナ	英名Canna	Cannaceae	5月	乾季の酷暑期(サマー)
火炎樹	英名FireTree	Poinciana regia	4月	乾季の酷暑期(サマー)
椰子	Niyog	Cocos nucifera L	4月	乾季の酷暑期(サマー)
バウヒニア	Alibangbang	Bauhinia	1月	乾季
火炎樹	英名FireTree	Poinciana regia	4月	乾季の酷暑期(サマー)
マンゴー	Mangga	Mangifera Indica	5月	乾季
マカヒヤ、オジギソウ	Makahiya	Mimosa pudica L	5月	乾季のサマー
ポインセチア	Pascuas	Euphorbia pulcherrima	12月	乾季の涼期
火炎樹	英名FireTree	Poinciana regia	5月	乾季の酷暑期(サマー)
合歡	Acacia英名RainTree	Samanea saman	8月	雨季
タラヒブ野生サトウキビ	Talahib	Saccharum spontaneum	9月	乾季の初め
マホガニー	英名Mahogany	Swietenia sp.	8月	雨季
ナラ	Narra	Pterocarpus indicus	3月	乾季の酷暑期のサマー
ゴールデンシャワー	kana-pistola	Cassia fistula	6月	雨季の初め
バナバ	Banaba	Lagerstroemia speciosa	8月	雨季
蘭	英名Orchid	Ameiella philippinensis	12月	乾季
マンゴー	Mangga	Mangifera Indica	5月	乾季
ハイビスカス	Gumamela	Hibiscus CV.	4月	乾季の酷暑期(サマー)
サンバギタ、マツリカ	Sampaguita	Jasminum sambac	2月	乾季
サンバギタ	Sampaguita	Jasminum sambac	1月	乾季
火炎樹	英名FireTree	Poinciana regia	5月	乾季の酷暑期(サマー)
ブーゲンビリア	Bougainvillea	Bougainvillea sp.	8月	雨季
ランタナ	gomudapaana	Lantana camara	2月下旬	夏
片葉豆の花	アンチャン		9月中旬	雨季
ブルメリア、インドソケイ	リラワディ、リーラーワディ、又はラントム	Plumeria acufifolia Poiri Linn.	2月中旬	冬
ホウオウボク	ハーシ・ノックユーン・ファラン	Delonix regia (boier) Rafin	5月初旬	夏
3種類	3種類	3種類	3月	夏
オオバサルスベリの仲間	インタニン	Lagerstoemia speciosa (L.) Pers	3月中旬	春
ローズアップル	チョムブー	Eugenia jambos	3月初旬	夏(暑期)

(17)俳句3	(18)吟詠地3	(19)植物名3	(20)現地名3
甘蔗の種は寄するが如く銀の波	農村	サトウキビ	カーニャCana又はCana de azucar
ヒツジグサ東埔寨では山羊とをれり	ブノンペンからスバイリエンに行く途中	ヒツジグサ	すみません聞いたのですがメモがどっかへいっちゃったのです
島の陽をたっぷり浴びし蜜柑買ふ 急カーブゆるり回って野菊かな 看月の寺に「粧」の名を探り 蓮池や喧嘩の中静かなり 風踊る姿が見えしすすき原	ソウル 里山 端山市看月庵 韓国春川市(チュンチョン市) ワールドカップ公園	蜜柑 野菊 粧 蓮 すすき	キュル トウルグクファ ヨン すすき
ゆうやみにかおりたようベルのはな	コルカタ	ベル	Bel
庭先のマンゴー実り季節ときを知る 合歡大樹雲と競ひて影落とす 山裾のガビ掘る人のふりむきて 椰子の実を切り裂く音や野へ放つ 花合歡の大樹に抱かれ春青し 原色を鮮やかにしてカンナ咲き 火炎樹の花片はなびらこぼる溝の上 陽は燦爛そびゆマンゴー花盛り	マニラ マニラ マニラ近郊 マニラ マニラ マニラ マニラ近郊 マニラ近郊	マンゴー 合歡 ガビ、里芋 椰子 合歡 カンナ 火炎樹 マンゴー	Mangga Acacia英名RainTree Gabi英Taro ココヤシ・Nivog Acacia英名RainTree Canna 英名FireTree Mangga
驟雨去り布袋草の塊かい押し流す	マニラ	布袋草	英名WaterHyacinth
田境をしるすパパイア風の幸 バナバ咲く十戸の浦のふかねむり	マニラ近郊 マニラ近郊	パパイア バナバ、オオバナサルスベリ	Papaya Banaba
陽のかけら満つカボックの絮飛ぶ日 椰子の葉の青空向かいフラダンス 陽をゆらし青空飾るゴールデンジャワー 嫁入りの舟かき分けし布袋草 管闇の映るネオンの火炎木 青マンゴーたわわとわわと揺れにけり 太陽のきらめく雫なくゴールデンジャワー 復活祭果て火炎樹の燃え盛る 火炎樹を仰げば日差しむせるほど	マニラ近郊 マニラ マニラ近郊ラグナ湖・湖畔村 マニラ マニラ近郊 マニラ マニラ マニラ マニラ	カボック 椰子 ゴールデンジャワー 布袋草 火炎木 マンゴー ゴールデンジャワー、ナンバンサイカチ 火炎樹 火炎樹	kapokTree Nivog kana-pistola 英名WaterHyacinth 英名AfricanTulipTree Mangga kana-pistola 英名FireTree西名Flameboyant 英名FireTree西名Flameboyant
タラヒブや遊び心の風捉ふ	マニラ近郊	タラヒブ	Talahib
朱から緋へ移ろふ火炎樹別離かな ジブニーの巻き上げていくナラ吹雪 いつまでも夕陽はなさぬアリハンバン	マニラ マニラ マニラ	火炎樹 ナラ アリハンバン	英名FireTree Narra Alibangbang
入口はサンタン垣のきれしとこ	マニラ	サンタン	Santan
西日浴び火炎樹の影河の中 闇の中月とカラチュチ光生む 切り口の鋭きままの甘蔗積む 木下闇マンゴー青くゆれやまず	マニラ近郊 マニラ マニラ近郊 マニラ近郊	火炎樹 カラチュチ 甘蔗サトウキビ マンゴー	英名FireTree Kalachuchi Tubo Mangga
火炎樹もうなづくほどの風来る	マニラ	火炎樹	英名FireTree
姫芙蓉狭霧に濡れて雫する	マニラ近郊・タガイタイ高原	姫芙蓉	英名SleepingHibiscus
マカヒアはクロスの丘のつづら折り	マニラ近郊バターン半島	マカヒヤ	Makahiya
火炎木別れの空を朱に染めり 涼し夜やサンバギータの白極む ふりそそぐゴールデンジャワーに光の輪	マニラ マニラ マニラ	火炎木 サンバギータ ゴールデンジャワー	英名AfricanTulipTree Sampaguita kana-pistola
ブーゲンビリアいよよ華やぐ空の色	マニラ	ブーゲンビリア	Bougainvillea
ゴールデンジャワー浅き窪みの吹きだまり	マニラ	ゴールデンジャワー	kana-pistola
子の寢息ランカはぶらり屋下がり カミアスの清冽かじり友と立つ アチュエテの葉裏にのぞく白き花 手のひらでおいしさを量るホメロかな 無し	マニラ、マカティ市 マニラ近郊 マニラ近郊タガイタイ マニラ近郊・タガイタイ高原	ランカ、英名Jackfruit カミアス アチュエテ、ベニノキ ホメロ、文旦	Langka kamias Achuete Suha
枝先に赤弾けるやランブータン ダブダブの朱に魅せられて紅をひく 雷雲来百エーカーの黍畑に 葉は光り幹はゆらゆら椰子騒ぐ 葎と客待つ戸ロブルメリア 緑陰に赤一点のブーゲンビリア 夕焼けに光と影のダブダブ花 あおあとおと廃屋の隅バナナの葉 アリハンバン裏道になほひっそりと トタン屋根ツツと顔出し花バナバ さまたま紫に染めバナバ咲く 花バナバ濃きも淡きも背のひする	マニラ近郊 マニラ、マカティ市 マニラ近郊農村 マニラ近郊 マニラ マニラ マニラ マニラ近郊 マニラ、マカティ市 マニラ マニラ マニラ近郊	ランブータン ダブダブ、デイゴ・楯楯 黍・サトウキビ 椰子 ブルメリア ブーゲンビリア ダブダブ、デイゴ バナナ アリハンバン、パウヒニア バナバオオバナサルスベリ バナバ バナバ、オオバナサルスベリ	Rambutan Dapdap Tubo Nivog Kalachuchi Bougainvillea Dapdap Saging Alibangbang Banaba Banaba Banaba
アラリアの香につつまれ祈る我	市内	アラリヤ	Araliya
小舟混む水上市場花マンゴ 火焰樹の君と呼びたき人のあて 尻尾ふる子象の背にタイ桜	バンコク バンコク アユタヤ	マンゴーの花 鳳凰木 3種類ある	ドクマムアン ハーン・ノックユーン・ファラン 3種類
惜しげなくブラドゥー花散る並木かな	バンコク	インドカリン	ブラドゥー
岩山の裳野は後葛かな	タイ国ラーチャブリー県ラーチャブリー市	後葛	ファンファー

(21)学名3	(22)吟詠時期3	(23)現地の季節3	(24)植物の生育環境				
	9月下旬	冬	街中	農村③	庭園①	公園	海辺
<i>Nymphaea tetragona</i> なんたらかんとおもいます	11月の初・中・下旬	春・夏・秋・冬	街中①	農村	庭園	公園	海辺
<i>Cieuras Aurantium</i> var. Tachi	1月中	冬	街中①	農村②			
	10月	春・夏・秋・冬	街中	農村	庭園	公園	海辺
	9月の中旬	秋	街中	農村	庭園	公園①②	海辺③
	5月中旬	春	街中①②	農村	庭園	公園③	海辺
	11月○中旬	現地○春	街中①	農村	庭園③	公園②	海辺
<i>Jasmincem Heyneana</i> Wall	5月初旬	夏	街中	農村	庭園③	公園	海辺
<i>Mangifera Indica</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①②	農村	庭園	公園	海辺
<i>Samanea saman</i>	2月	乾季	街中①②③	農村	庭園	公園	海辺
<i>Alocasia macrorrhiza</i> ?	4月	乾季	街中①	農村②③	庭園	公園	海辺①
<i>Cocos nucifera</i> L	5月	乾季	街中②	農村③	庭園	公園	海辺
<i>Samanea saman</i>	4月	乾季	街中②③	農村	庭園	公園①	海辺
Cannaceae	月	現地の	街中③	農村①	庭園②	公園	海辺
<i>Poinciana regia</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①	農村	庭園②	公園	海辺
<i>Mangifera Indica</i>	2月	乾季	街中②	農村③	庭園	公園	海辺
<i>Eichhornia crassipes</i> Solms	8月	雨季	街中①				
<i>Carica papaya</i>	8月	雨季	街中①②	農村③	庭園	公園	海辺
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	6月	雨季	街中	農村①	庭園	公園	海辺③
			街中①	農村②	庭園	公園	海辺
			街中	農村	庭園	公園	海辺
<i>Ceiba pentandra</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中	農村②③	庭園	公園	海辺
<i>Cocos nucifera</i> L	4月	乾季					海辺③
<i>Cassia fistula</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中②③	農村	庭園	公園	海辺
<i>Eichhornia crassipes</i> Solms	6月	雨季	農村①			公園②	
<i>Spathodea campanulata</i>	1月	乾季	街中③	農村②			
<i>Mangifera Indica</i>	4月	乾季	街中	農村①③	庭園	公園	海辺
<i>Cassia fistula</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①②③				
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①③	農村	庭園	公園	海辺
<i>Poinciana regia</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①③	農村	庭園	公園	海辺
<i>Saccharum spontaneum</i>	9月	雨季	街中①				
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①③	農村	庭園	公園	海辺
<i>Pterocarpus indicus</i>	4月	乾季のサマー	街中①②③				
<i>Bauhinia purpurea</i>	11月	乾季	街中③	農村②			
<i>Ixora chinensis</i> Lam.	6月	雨季	街中②	農村①			
<i>Poinciana regia</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①				
<i>Plumeria rubra</i>	12月	乾季	街中①	農村②			
<i>Saccharum officinarum</i> L	2月	乾季	街中①	農村②			
<i>Mangifera Indica</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①②	農村③			
<i>Poinciana regia</i>	5月	乾季の酷暑期(サマー)	街中①				
<i>Malvaviscus arboreus</i>	10月	雨季	街中①②③		庭園①②③	公園①②③	
<i>Mimosa pudica</i> L	4月	乾季の酷暑期(サマー)	里山①				
<i>Spathodea campanulata</i>	月	現地の	街中②③				海辺①
<i>Jasminum sambac</i>	1月	乾季	街中①				海辺②
<i>Cassia fistula</i>	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中②③				
<i>Bougainvillea</i> sp.	3月	乾季	街中③				
<i>Cassia fistula</i>	6月	雨季	街中①②③				
			街中①				
<i>Artocarpus Heterophyllus</i>	4月	乾季	街中①	農村②			
<i>Averrhoa bilimbi</i>	5月	乾季のサマー	街中①	農村②	庭園③		
<i>Bixa orellana</i>	11月	乾季	街中①②	農村③		公園①	
<i>Citrus Grandis</i>	10月	雨季	街中①②	農村③			
			農村①				
<i>Nephelium Lappaceum</i>	9月	雨季	街中①②	農村③			
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. orientalis	1月	乾季の涼期	農村①②				
<i>Saccharum officinarum</i> L	9月	雨季	街中①②	農村③			
<i>Cocos nucifera</i> L	4月	乾季の酷暑期(サマー)	街中②				海辺③
<i>Plumeria rubra</i>	4月	乾季	街中①②				
<i>Bougainvillea</i> sp.	3月	乾季	街中③				
<i>Erythrina variegata</i> Lin. var. orientalis	12月	乾季	街中①③	農村②			
<i>Musa sapientum</i>	2月	乾季	街中②	農村③			
<i>Bauhinia purpurea</i>	11月	乾季(涼期)	街中①②③			公園①②③	
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	6月	雨季	街中②③				海辺①
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	6月	雨季	街中③				
<i>Lagerstroemia speciosa</i>	6月	雨季	街中③	農村②			
<i>Plumeria rubra</i>	4月中旬	夏	街中○	農村○	庭園	公園	海辺
	12月下旬	寒季	街中	農村	庭園②	公園①	海辺
<i>Delonix regia</i> (bojer) Rafin	4月中旬	夏	街中③	農村	庭園	公園②	海辺
3種類	3月中旬	夏	街中	農村	庭園①	公園③	海辺①
			街中	農村	庭園①	公園	海辺
<i>Pterocarpus indicus</i>		夏	街中①②③	農村②	庭園①②	公園①②	海辺
<i>Bougainvillea</i> spp.	1月初旬	冬(涼期又は寒期)	街中②	農村	庭園	公園①	海辺
						公園①	

						(25)使った感覚					(26)詠まれた植物の部分		
川辺	里山	奥山	高山	草原②	その他()	視覚①③	嗅覚	聴覚②	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
川辺③	里山	奥山	高山	草原	その他(田園②)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①②③
					その他(済州島③)	①②③視覚			味覚②③				
②川辺	①③里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚②③	嗅覚	聴覚①	味覚	触覚	花粉	花卉	花②
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①	嗅覚	聴覚	味覚	触覚①	花粉	花卉	花
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()		嗅覚②	聴覚	味覚	触覚③	花粉	花卉③	花①
川辺	里山②	奥山	高山	草原	その他(池)①		嗅覚③	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉①	花③
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(自宅庭③)	視覚①③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚②	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
川辺	里山③	奥山	高山	草原	その他(ラグナ湖畔②)	視覚①②	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(造成地①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚③	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉①	花③
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚②	花粉	花卉	花②③
川辺③	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉③	花②
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(火山山麓①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花③
					その他(マンゴー果樹園②ラグナ湖畔③)	視覚①②③							
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
川辺	里山②	奥山	高山	草原	その他()	視覚①	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花③
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚	嗅覚②	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①②
川辺	里山①②	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②	嗅覚①②	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①②
					その他(高原の谷①)	視覚②③							②一花
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(自宅庭①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚①	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
					草原②	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(自宅①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花②
					その他(①ラグナ湖畔)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
					その他(ラグナ湖畔村③)	視覚②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
					その他(自宅①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(自宅の庭②)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
						視覚①②③				触覚②			花③
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(ラグナ湖②)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
川辺	里山	奥山②	高山	草原	その他(自宅庭①)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花
					草原③	視覚①②③							花②
川辺	里山②	奥山	高山	草原	その他(自宅の庭②)	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花③
					その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉③	花①
					その他(戦跡①)	視覚①②③							花①③
					その他(自宅③)	視覚①②③							花①
川辺③				草原②	視覚①②③								花①
					その他(自宅③)	視覚①②③							花①③
	里山③				視覚①②③								花①②
					視覚①②③								花①③
					その他(マニラ湾埋立地②自宅③)	視覚①②③							花①③
					視覚①②③								花②③
					その他(アメリカン墓地②バターン半島の戦跡③)	視覚①②③				触覚②			花③
					視覚①②③								花②③
					その他(自宅③)	視覚①②③							花①③
					その他(自宅①)	視覚①②③							花①③
					その他(マニラ湾埋立地①バターン半島戦跡②)	視覚①②③							花①
					視覚①②								花①
					その他(アメリカン・セメタリー)	視覚①②③							花①
					その他(自宅の庭③)	視覚①		聴覚③					花①
				草原②	視覚①②③				味覚③	触覚②			花①
					視覚①②							花卉①	花③
					視覚①②					触覚③		花卉②	花①
					その他(アメリカン墓地②)	視覚①②③							花③
	里山③				視覚①③								花③
					視覚①②③		聴覚②						花③
				草原①	視覚①②③	嗅覚②					花粉②	花卉①	花②
					視覚①②			聴覚①③					花②
	里山①	奥山②			視覚①②③	嗅覚③					花粉	花卉	花③
					視覚①②③								花③
		奥山①			視覚①②③								花①②
					視覚①②③								花①③花(雷)②
					視覚①②③	嗅覚②	聴覚	味覚	触覚				花②③
				草原①②	視覚①②③								花②③
				草原①	視覚①②③								花③
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚○	嗅覚○	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花○
川辺③	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花○
川辺①	里山	奥山	高山	草原	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①②③
川辺	里山②	奥山	高山	草原	その他(ゴルフ場)②	視覚①②	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉③	花①
川辺	里山	奥山	高山	草原	その他(ゴルフ場)②	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花(魚)①
川辺	里山②	奥山②	高山	草原②	その他()	視覚①②③	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①②③
川辺	里山③	奥山	高山	草原	その他()	視覚①	嗅覚	聴覚	味覚	触覚	花粉	花卉	花①
													花①

葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)②③	その他①
葉③	実	枝	幹(茎)②	群集体(樹林・草原)②③	その他①
葉①	実②③			群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(全体)
葉①	実	枝	幹(茎)③	群集体(樹林・草原)	その他①
葉①②	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)③	その他①
葉	実	枝②	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)②	その他①
葉	実③	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(樹②)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(花房①花の香り②大樹全体③)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(樹全体①塊根②株全体③)
葉	実③	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(苞②)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(花苞②)
葉	実①	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝①	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝②	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(芽①)
	実②	枝①			その他(株?塊根?③)
葉	実③	枝②	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(垣根①)
葉②	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(羽①)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
	(1)→実		(1)→幹(茎)		
葉	実③	枝①	幹(茎)	群集体(樹林・草原)②	その他①
葉②③					
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)①	その他(花房③)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(樹全体②水面に浮かぶ株③)
葉	実①②③	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(樹全体①②③)
			幹(茎)②		その他①
葉	実	枝③	幹(茎)②	群集体(樹林・草原)	その他(樹全体①)
葉	実	枝①③	幹(茎)②	群集体(樹林・草原)	その他①
				群集体(草原)③	その他(紅葉の並木①)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)②	その他(花房①)
葉②			幹(茎)②		
			幹(茎)①		その他(垣根③)
葉②				群集体(樹林・草原)②	その他(樹全体③)
			幹(茎)②		
	実①②		幹(茎)③		
	実③				
		枝③		群集体(樹林・草原)②	
葉(苞)①					その他(樹全体①並木②)
					その他(並木①)
		枝②	幹(茎)②		
		枝③		群集体(樹林・草原)①	その他(椰子並木②)
		枝②			その他(樹全体、樹下①落花③)
					その他(満開の樹全体②)
	実②③				
葉②	実③	枝①			
葉②					
	実③			群集体(樹林・草原)②	その他(並木①)
				群集体(樹林・草原)①②	
				群集体(並木)②	その他(樹全体①)
				群集体(樹林・草原)③	
					その他(並木①樹全体③)
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(樹全体①②)
		枝①③	幹(茎)		その他(花束②)
	実②				その他(花の露①)
葉③					
			幹(茎)①		
					その他(樹全体①)
		枝②		群集体(樹林・草原)①	
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(花色)○
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)②	その他①
葉	実	枝	幹(茎)②	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他①
葉	実②	枝	幹(茎)	群集体(樹林・草原)	その他(苞)③

表 8.2 日本の植物季語データベース(野末琢二) A database of *kigo* in Japan, T. NOZUE

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
三春	春の草	10dd070	植物	全体	山野	春の草	春野草
三春	蓬	10dd072	植物	種	山野	蓬	春野草
三春	繁縷(紫萐)	10dd073	植物	全体	山野	紫萐	新年
三春	芹	10dd074	植物	個体	山野	芹	春野草
三春	三葉芹	10dd075	植物	個体	山野	三葉芹	春野菜
三春	水苦雪	10dd076	植物	個体	山野	水苦賣	春野草
三春	防風	10dd079	植物	個体	山野	防風	春野菜
三春	野老	10dd080	植物	個体	山野	野老	新年
三春	ていれぎ	10dd078	植物	個体	山野	ていれぎ	春野草
三春	董	10dd081	植物	個体	山野	董	春野草
三春	蒲公英	10dd082	植物	個体	山野	蒲公英	春野草
三春	雀の帷子	10dd083	植物	個体	山野	雀の帷子	春野草
三春	春落葉	10dd084	植物	全体	山野	春の落葉	春樹木
三春	椿	10dd085	植物	個体	山野	椿	春花木
三春	雛菊	10dd086	植物	個体	山野	雛菊	春草木
三春	白藻	10ff138	植物	個体	海洋	白藻	春海藻
三春	青海苔	10ff139	植物	個体	海洋	青海苔	春海藻
三春	あおさ	10ff140	植物	個体	海洋	石蓴	春海藻
三春	石蓴	10ff141	植物	個体	海洋	石蓴	冬海藻
三春	海髪	10ff142	植物	個体	海洋	海髪	春海藻
三春	櫻海苔	10ff143	植物	個体	海洋	櫻海苔	春海藻
三春	樺海苔	10ff144	植物	個体	海洋	樺海苔	春海藻
三春	鶏冠菜	10ff146	植物	個体	海洋	鶏冠菜	春海藻
三春	海松	10ff147	植物	個体	海洋	海松	春海藻
三春	青麥	10gg152	植物	個体	田園	青麥	春野菜
三春	春の苺	10gg165	植物	個体	田園	春の苺	春野菜
初春	末黒の薄	11dd022	植物	全体	山野	末黒の芒	春野草
初春	梅	11dd023	植物	個体	山野	梅	春花木
初春	黄梅	11dd024	植物	個体	山野	黄梅	春花木
初春	金縷梅	11dd025	植物	個体	山野	金縷梅	春樹木
初春	猫柳	11dd027	植物	個体	山野	猫柳	春樹木
初春	山茱萸の花	11dd028	植物	個体	山野	山茱萸の實	秋花木
初春	下萌	11dd029	植物	全体	山野	下萌	春野草
初春	蒨の臺	11dd030	植物	個体	山野	蒨の臺	春野草
初春	節分草	11dd031	植物	個体	山野	節分草	春野草
初春	いぬふぐり	11dd032	植物	個体	山野	いぬふぐり	春野草
初春	洲濱草	11dd033	植物	個体	山野	洲濱草	春野草
初春	片栗の花	11dd034	植物	個体	山野	片栗の花	春野草
初春	松雪草	11hh035	植物	個体	園芸	松雪草	春草木
初春	クロッカス	11hh036	植物	個体	園芸	泊夫蘭の花	春草木
初春	君子蘭	11hh037	植物	個体	園芸	君子蘭	春草木
仲春	木の芽	12dd044	植物	全体	山野	木の芽	春樹木
仲春	芽柳	12dd045	植物	全体	山野	柳の芽	春樹木
仲春	山椒の芽	12dd046	植物	個体	山野	山椒の芽	春樹木
仲春	櫨の芽	12dd047	植物	個体	山野	櫨の芽	春樹木
仲春	枸杞	12dd048	植物	個体	山野	枸杞	春樹木
仲春	五加	12dd049	植物	個体	山野	五加	春樹木
仲春	令法	12dd050	植物	個体	山野	令法	春樹木
仲春	紅梅	12dd051	植物	個体	山野	紅梅	春花木
仲春	彼岸櫻	12dd052	植物	個体	山野	彼岸櫻	春花木
仲春	初花	12dd053	植物	個体	山野	初花	春花木
仲春	柳絮	12dd054	植物	個体	山野	柳絮	春樹木
仲春	雪柳	12dd056	植物	個体	山野	雪柳	春花木
仲春	木蓮	12dd057	植物	個体	山野	木蘭	春花木
仲春	辛夷	12dd058	植物	個体	山野	辛夷	春花木
仲春	連翹	12dd059	植物	個体	山野	連翹	春花木
仲春	楊梅の花	12dd060	植物	個体	山野	楊梅の花	春樹木
仲春	赤楊の花	12dd061	植物	個体	山野	赤楊の花	春樹木
仲春	杉の花	12dd062	植物	個体	山野	杉の花	春樹木
仲春	柏散る	12dd064	植物	個体	山野	秋樹木	春樹木
仲春	沈丁花	12dd065	植物	個体	山野	沈丁花	春花木
仲春	蠟燭花	12dd066	植物	個体	山野	蠟燭花	春花木
仲春	三椏の花	12dd067	植物	個体	山野	三椏の花	春花木
仲春	草の芽	12dd068	植物	全体	山野	草の芽	春野草
仲春	ももの芽	12dd069	植物	全体	山野	ものの芽	春野草
仲春	双葉	12dd070	植物	全体	山野	双葉	春野草
仲春	一人静	12dd071	植物	個体	山野	一人静	春野草
仲春	若紫	12dd072	植物	個体	山野	若紫	春野草
仲春	薺の花	12dd073	植物	個体	山野	薺の花	春野草
仲春	黄蓮	12dd074	植物	個体	山野	黄蓮	春野草
仲春	姫烏頭	12dd075	植物	個体	山野	姫烏頭	春野草
仲春	雉薔	12dd076	植物	個体	山野	雉薔	春野草
仲春	猫眼草	12dd077	植物	個体	山野	猫の眼草	春野草
仲春	嫁菜	12dd078	植物	個体	山野	嫁菜	春野草
仲春	松菜	12dd079	植物	個体	山野	松菜	春野草
仲春	甘菜	12dd081	植物	個体	山野	甘菜	春野草
仲春	野蒜	12dd082	植物	個体	山野	野蒜	春野草
仲春	土筆	12dd083	植物	個体	山野	土筆	春野草
仲春	蕨	12dd084	植物	個体	山野	蕨	春野草
仲春	薇	12dd085	植物	個体	山野	薇	春野草
仲春	茅花	12dd086	植物	個体	山野	茅花	春野草
仲春	酸模	12dd087	植物	個体	山野	酸模	春野草
仲春	ぎしぎし	12dd088	植物	個体	山野	ぎしぎし	春野草
仲春	虎杖	12dd089	植物	個体	山野	虎杖	春野草
仲春	蘆の角	12ee101	植物	個体	水沢	蘆の角	春野草
仲春	水草生う	12ee104	植物	全体	水沢	水草生ふ	春野草
仲春	萍生初む	12ee105	植物	個体	水沢	萍生ひ初む	春野草
仲春	蕁生う	12ee106	植物	個体	水沢	蕁生ふ	春野草
仲春	小水葱摘む	12ee107	植物	行為	水沢	小水葱	春野草



季節	山本(1971)の歳時記季節	季節コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季節	季節形態
仲春	莖立	12gg127	植物	全体	田園	莖立	春野菜
仲春	春蘭	12hh090	植物	個体	園芸	春蘭	春野草
仲春	黄水仙	12hh091	植物	個体	園芸	黄水仙	春草花
仲春	喇叭水仙	12hh092	植物	個体	園芸	喇叭水仙	春草花
仲春	房咲水仙	12hh093	植物	個体	園芸	房咲水仙	春草花
仲春	濱薔	12hh094	植物	個体	園芸	濱薔	春草花
仲春	花薔	12hh095	植物	個体	園芸	花薔	春草花
仲春	貝母の花	12hh096	植物	個体	園芸	貝母の花	春草花
晩春	花	13dd036	植物	全体	山野	花	春花木
晩春	櫻	13dd037	植物	個体	山野	櫻	春花木
晩春	遅櫻	13dd038	植物	全体	山野	遅櫻	春花木
晩春	残花	13dd039	植物	全体	山野	残花	春花木
晩春	櫻の霽降る	13dd040	植物	全体	山野	櫻霽ふる	春花木
晩春	桃の花	13dd041	植物	個体	山野	桃の花	春果樹
晩春	柳	13dd042	植物	個体	山野	柳	春樹木
晩春	薺	13dd043	植物	全体	山野	薺	春樹木
晩春	若緑	13dd044	植物	全体	山野	若緑	春樹木
晩春	松の花	13dd045	植物	個体	山野	松の花	春樹木
晩春	竹の秋	13dd047	植物	個体	山野	竹の秋	春樹木
晩春	李の花	13dd048	植物	個体	山野	李の花	春果樹
晩春	杏の花	13dd049	植物	個体	山野	杏の花	春果樹
晩春	郁李の花	13dd050	植物	個体	山野	郁李の花	春花木
晩春	梨の花	13dd051	植物	個体	山野	梨の花	春果樹
晩春	棠梨の花	13dd052	植物	個体	山野	棠梨の花	春樹木
晩春	岩梨の花	13dd053	植物	個体	山野	岩梨の花	春樹木
晩春	櫻壇の花	13dd054	植物	個体	山野	櫻壇の花	春果樹
晩春	林檎の花	13dd055	植物	個体	山野	林檎の花	春果樹
晩春	木瓜の花	13dd056	植物	個体	山野	木瓜の花	春果樹
晩春	榧子の花	13dd057	植物	個体	山野	榧子の花	春樹木
晩春	櫻桃の花	13dd058	植物	個体	山野	櫻桃の花	春花木
晩春	山櫻桃の花	13dd059	植物	個体	山野	山櫻桃の花	春花木
晩春	檜樟の花	13dd060	植物	個体	山野	檜樟の花	春果樹
晩春	枸橘の花	13dd061	植物	個体	山野	枸橘の花	春樹木
晩春	木母の花	13dd062	植物	個体	山野	木母の花	春樹木
晩春	山吹	13dd063	植物	個体	山野	山吹	春花木
晩春	躑躅	13dd064	植物	個体	山野	躑躅	春花木
晩春	藤	13dd065	植物	個体	山野	藤	春花木
晩春	海棠	13dd066	植物	個体	山野	海棠	春花木
晩春	鳩の花	13dd067	植物	個体	山野	鳩の花	春樹木
晩春	紫荊	13dd068	植物	個体	山野	紫荊	春花木
晩春	鯉花	13dd069	植物	個体	山野	小米花=雪柳の傍題	春花木
晩春	小粉團の花	13dd070	植物	個体	山野	こでまりの花	春花木
晩春	長春花	13dd071	植物	個体	山野	長春花	春花木
晩春	群雀	13dd072	植物	個体	山野	群雀	春草花
晩春	ライラック	13dd073	植物	個体	山野	ライラック	春花木
晩春	満天星の花	13dd074	植物	個体	山野	満天星の花	春花木
晩春	山檜子の花	13dd075	植物	個体	山野	山檜子の花	春花木
晩春	榎の花	13dd076	植物	個体	山野	榎の花	春樹木
晩春	馬酔木の花	13dd077	植物	個体	山野	馬酔木の花	春花木
晩春	青木の花	13dd078	植物	個体	山野	青木の花	夏樹木
晩春	鈴懸の花	13dd079	植物	個体	山野	鈴懸の花	春樹木
晩春	銀杏の花	13dd080	植物	個体	山野	銀杏の花	春樹木
晩春	榲桲の花	13dd081	植物	個体	山野	榲桲の花	春樹木
晩春	水松の花	13dd082	植物	個体	山野	一位の花	春樹木
晩春	櫻の花	13dd083	植物	個体	山野	櫻の花	春樹木
晩春	黄心樹の花	13dd084	植物	個体	山野	黄心樹	春樹木
晩春	梓の花	13dd085	植物	個体	山野	梓の花	春樹木
晩春	楸の花	13dd086	植物	個体	山野	楸の花	春樹木
晩春	檜の花	13dd087	植物	個体	山野	檜の花	春樹木
晩春	榲桲の花	13dd088	植物	個体	山野	榲桲の花	春樹木
晩春	黄楊の花	13dd089	植物	個体	山野	黄楊の花	春樹木
晩春	接骨木の花	13dd090	植物	個体	山野	接骨木の花	春樹木
晩春	白樺の花	13dd091	植物	個体	山野	白樺の花	春樹木
晩春	通草の花	13dd092	植物	個体	山野	通草の花	春樹木
晩春	郁子の花	13dd093	植物	個体	山野	郁子の花	春樹木
晩春	若草	13dd094	植物	全体	山野	若草	春野草
晩春	古草	13dd095	植物	全体	山野	古草	春野草
晩春	草若葉	13dd096	植物	全体	山野	草の若葉	春野草
晩春	若芝	13dd097	植物	全体	山野	若芝	春野草
晩春	雀隠れ	13dd098	植物	個体	山野	雀隠れ	春野草
晩春	紫雲英	13dd099	植物	個体	山野	紫雲英	春野草
晩春	苜蓿	13dd100	植物	個体	山野	苜蓿の花	春野草
晩春	熊谷草	13dd101	植物	個体	山野	熊谷草	春野草
晩春	金蘭	13dd102	植物	個体	山野	金蘭	春野草
晩春	銀蘭	13dd103	植物	個体	山野	銀蘭	春野草
晩春	稚児百合	13dd104	植物	個体	山野	稚児百合	春野草
晩春	薊の花	13dd105	植物	個体	山野	薊	春野草
晩春	狐薊	13dd106	植物	個体	山野	狐薊	春野草
晩春	金鳳華	13dd107	植物	個体	山野	金鳳花	春野草
晩春	蛙の傘	13dd108	植物	個体	山野	蛙の傘	春野草
晩春	狐の牡丹	13dd109	植物	個体	山野	狐の牡丹	春野草
晩春	一輪草	13dd110	植物	個体	山野	一輪草	春野草
晩春	二輪草	13dd111	植物	個体	山野	二輪草	春野草
晩春	翁草	13dd112	植物	個体	山野	翁草	春野草
晩春	二人静	13dd113	植物	個体	山野	二人静	春野草
晩春	春蓼	13dd114	植物	個体	山野	春蓼	春野草
晩春	仙臺萩	13dd115	植物	個体	山野	仙臺萩	春野草
晩春	姫萩	13dd116	植物	個体	山野	姫萩	春野草
晩春	繚草	13dd117	植物	個体	山野	繚草	春草花

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
晩春	錨草	13dd118	植物	個体	山野	錨草	春野草
晩春	山吹草	13dd119	植物	個体	山野	山吹草	春野草
晩春	旗竿の花	13dd120	植物	個体	山野	旗竿の花	春野草
晩春	ちやるめる草	13dd121	植物	個体	山野	ちやるめる草	春野草
晩春	燈臺草	13dd122	植物	個体	山野	燈臺草	春野草
晩春	野漆	13dd123	植物	個体	山野	野漆	春野草
晩春	春龍膽	13dd124	植物	個体	山野	春竜胆	夏野草
晩春	筆龍膽	13dd125	植物	個体	山野	筆竜胆	春野草
晩春	苔龍膽	13dd126	植物	個体	山野	苔竜胆	春野草
晩春	瑠璃草	13dd127	植物	個体	山野	瑠璃草	夏野草
晩春	垣通	13dd128	植物	個体	山野	垣通	春野草
晩春	きらん草	13dd130	植物	個体	山野	金瘡小草	春野草
晩春	十二單	13dd131	植物	個体	山野	十二單	春野草
晩春	山歸來の花	13dd132	植物	個体	山野	山歸來の花	春樹木
晩春	扇蔓	13dd133	植物	個体	山野	扇葛	春野草
晩春	羅生門蔓	13dd134	植物	個体	山野	羅生門蔓	春野草
晩春	寶蓋草	13dd135	植物	個体	山野	寶蓋草	春野草
晩春	數の子草	13dd136	植物	個体	山野	數の子草	春野草
晩春	蝮蛇草	13dd137	植物	個体	山野	蝮蛇草	春野草
晩春	猩々袴	13dd138	植物	個体	山野	猩猩袴	春野草
晩春	雀の鐵砲	13dd139	植物	個体	山野	雀の鉄砲	春野草
晩春	春茅	13dd140	植物	個体	山野	春茅	夏野草
晩春	鷺苔	13dd141	植物	個体	山野	鷺苔	春野草
晩春	耳菜草	13dd142	植物	個体	山野	耳菜草	春野草
晩春	花筏	13dd143	植物	個体	山野	花筏	春樹木
晩春	田芥子	13dd144	植物	個体	山野	田芥子	春野草
晩春	種漬花	13dd145	植物	個体	山野	種漬花	春野草
晩春	杉菜	13dd146	植物	個体	山野	杉菜	春野草
晩春	瀆大根の花	13dd147	植物	個体	山野	瀆大根の花	春野草
晩春	蟒草	13dd148	植物	個体	山野	蟒草	春野草
晩春	母子草	13dd149	植物	個体	山野	母子草	春野草
晩春	父子草	13dd150	植物	個体	山野	父子草	春野草
晩春	松露	13dd163	植物	個体	山野	松露	春茸
晩春	菜の花	13gg236	植物	個体	田園	菜の花	春野菜
晩春	母の花	13gg247	植物	個体	田園	母の花	春野菜
晩春	苧環	13hh164	植物	個体	園芸	をだまぎの花	春草花
晩春	東菊	13hh165	植物	個体	園芸	東菊	春草花
晩春	都忘れ	13hh166	植物	個体	園芸	都忘れ	春草花
晩春	櫻草	13hh167	植物	個体	園芸	櫻草	春野草
晩春	金盞花	13hh168	植物	個体	園芸	金盞花	春草花
晩春	勿忘草	13hh169	植物	個体	園芸	勿忘草	春草花
晩春	アネモネ	13hh170	植物	個体	園芸	アネモネ	春草花
晩春	パンジー	13hh171	植物	個体	園芸	三色堇	春草花
晩春	スイートピー	13hh172	植物	個体	園芸	スイートピー	春草花
晩春	ヒヤシンス	13hh173	植物	個体	園芸	ヒヤシソス	春草花
晩春	チューリップ	13hh174	植物	個体	園芸	チューリップ	春草花
晩春	ネメシア	13hh175	植物	個体	園芸	ネメシア	春草花
晩春	ロベリア	13hh176	植物	個体	園芸	ロベリア	春草花
晩春	シクラメン	13hh177	植物	個体	園芸	シクラメン	春草花
晩春	シネラリア	13hh178	植物	個体	園芸	シネラリヤ	春草花
晩春	フリージア	13hh179	植物	個体	園芸	フリージア	春草花
晩春	イキシア	13hh180	植物	個体	園芸	イキシア	春草花
晩春	ヘリオトロープ	13hh181	植物	個体	園芸	ヘリオトロープ	春草花
晩春	スノーフレーク	13hh182	植物	個体	園芸	スノーフレーク	春草花
晩春	ストック	13hh183	植物	個体	園芸	あらせいとう	春草花
晩春	オキザリス	13hh184	植物	個体	園芸	オキザリス	春草花
晩春	エリカ	13hh185	植物	個体	園芸	エリカ	春草花
晩春	花爪草	13hh186	植物	個体	園芸	花爪草	春草花
晩春	袋撫子	13hh187	植物	個体	園芸	袋撫子	夏草花
晩春	ねじあやめ	13hh188	植物	個体	園芸	ねぢあやめ	春草花
晩春	華鬘草	13hh189	植物	個体	園芸	けまん草	春草花
晩春	口紅水仙	13hh190	植物	個体	園芸	口紅水仙	春草花
晩春	化儷草	13hh192	植物	個体	園芸	化儷草	春野草
三夏	青葉	20dd036	植物	全体	山野	青葉	夏樹木
三夏	茂	20dd037	植物	全体	山野	茂	夏樹木
三夏	萬緑	20dd038	植物	全体	山野	萬緑	夏樹木
三夏	夏木立	20dd039	植物	全体	山野	夏木立	夏樹木
三夏	結葉	20dd040	植物	全体	山野	結葉	夏樹木
三夏	病葉	20dd041	植物	全体	山野	病葉	夏樹木
三夏	木下闇	20dd042	植物	全体	山野	木下闇	夏樹木
三夏	夏草	20dd043	植物	全体	山野	夏草	夏野草
三夏	青芝	20dd044	植物	全体	山野	青芝	夏野草
三夏	梧桐	20dd045	植物	個体	山野	青桐	夏樹木
三夏	青鳥	20dd046	植物	個体	山野	青鳥	夏野草
三夏	青薄	20dd134	植物	個体	山野	青芒	夏野草
三夏	律	20dd135	植物	個体	山野	律茂る	夏野草
三夏	藜	20dd136	植物	個体	山野	藜	夏野草
三夏	蓼	20dd137	植物	個体	山野	蓼	夏野菜
三夏	苺	20dd138	植物	個体	山野	苺	夏野菜
三夏	滑菟	20dd139	植物	個体	山野	滑菟菟	夏野草
三夏	夏蓬	20dd140	植物	個体	山野	夏蓬	夏野草
三夏	夏薊	20dd141	植物	個体	山野	夏薊	夏野草
三夏	巖檜葉	20dd144	植物	個体	山野	巖檜葉	夏野草
三夏	一つ葉	20dd145	植物	個体	山野	一つ葉	夏野草
三夏	忍	20dd146	植物	個体	山野	忍	夏野草
三夏	風知草	20dd147	植物	個体	山野	風知草	夏野草
三夏	蟬茸	20dd148	植物	個体	山野	蟬茸	夏茸
三夏	水草の花	20ee221	植物	全体	水沢	水草の花	夏野草
三夏	青蘆	20ee222	植物	個体	水沢	青蘆	夏野草

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
三夏	眞菰	20ee224	植物	個体	水沢	眞菰	夏野草
三夏	蒲	20ee225	植物	個体	水沢	蒲	夏野草
三夏	太藺	20ee227	植物	個体	水沢	太藺	夏作物
三夏	萍	20ee228	植物	個体	水沢	萍	夏野草
三夏	蛭蓆	20ee229	植物	個体	水沢	蛭蓆	夏野草
三夏	蓴	20ee230	植物	個体	水沢	蓴菜	夏野草
三夏	金魚藻	20ee233	植物	全体	水沢	金魚藻	夏野草
三夏	天草	20ff285	植物	個体	海洋	天草	夏海草
三夏	海蘿	20ff286	植物	個体	海洋	海蘿	夏海草
三夏	惠古苔	20ff287	植物	個体	海洋	惠古苔	夏海草
三夏	常夏	20hh162	植物	個体	園芸	常夏	夏草花
三夏	絹絲草	20hh163	植物	個体	園芸	絹絲草	夏草花
三夏	緑蔭	20kk442	植物	全体	衣住	緑蔭	夏樹木
初夏	新緑	21dd021	植物	全体	山野	新緑	夏樹木
初夏	新樹	21dd022	植物	全体	山野	新樹	夏樹木
初夏	若葉	21dd023	植物	全体	山野	若葉	夏樹木
初夏	餘花	21dd025	植物	個体	山野	餘花	夏花木
初夏	若楓	21dd026	植物	個体	山野	若楓	夏樹木
初夏	葉柳	21dd027	植物	個体	山野	葉柳	夏樹木
初夏	葉櫻	21dd028	植物	個体	山野	葉櫻	夏花木
初夏	常磐木落葉	21dd029	植物	全体	山野	常磐木の落葉	夏樹木
初夏	竹落葉	21dd030	植物	個体	山野	竹の落葉	夏樹木
初夏	泰山木の花	21dd032	植物	個体	山野	泰山木の花	夏花木
初夏	大山蓮華	21dd033	植物	個体	山野	大山蓮花	夏樹木
初夏	朴の花	21dd034	植物	個体	山野	厚朴の花	夏樹木
初夏	水木の花	21dd035	植物	個体	山野	水木の花	夏樹木
初夏	山椒の花	21dd036	植物	個体	山野	山椒の花	春樹木
初夏	榎の花	21dd038	植物	個体	山野	榎の花	夏樹木
初夏	胡桃の花	21dd039	植物	個体	山野	胡桃の花	夏樹木
初夏	桐の花	21dd040	植物	個体	山野	桐の花	夏樹木
初夏	アカシヤの花	21dd041	植物	個体	山野	アカシヤの花	夏樹木
初夏	マロニエの花	21dd042	植物	個体	山野	マロニエの花	夏花木
初夏	棕櫚の花	21dd043	植物	個体	山野	棕櫚の花	夏樹木
初夏	卯の花	21dd044	植物	個体	山野	卯の花	夏樹木
初夏	茨の花	21dd045	植物	個体	山野	野茨	夏樹木
初夏	石楠花	21dd046	植物	個体	山野	石楠花	夏花木
初夏	金雀花	21dd047	植物	個体	山野	金雀花	夏花木
初夏	忍冬の花	21dd048	植物	個体	山野	忍冬の花	夏樹木
初夏	鐵線花	21dd049	植物	個体	山野	鐵線花	夏草花
初夏	姫女苑	21dd050	植物	個体	山野	姫女苑	夏野草
初夏	唐絲草	21dd051	植物	個体	山野	唐絲草	夏野草
初夏	甘草	21dd052	植物	個体	山野	甘草	夏草花
初夏	白及	21dd053	植物	個体	山野	紫蘭	夏野草
初夏	菜配蘭	21dd054	植物	個体	山野	菜配蘭	夏野草
初夏	海芋	21dd055	植物	個体	山野	海芋	夏草花
初夏	玉巻く芭蕉	21dd056	植物	個体	山野	玉巻く芭蕉	夏草花
初夏	玉巻く葛	21dd057	植物	個体	山野	玉巻く葛	夏野草
初夏	現の證據	21dd058	植物	個体	山野	げんのしょうこ	夏野草
初夏	車前草の花	21dd059	植物	個体	山野	車前の花	夏野草
初夏	文字權草	21dd060	植物	個体	山野	振花	夏野草
初夏	踊子草	21dd061	植物	個体	山野	踊子草	夏野草
初夏	立浪草	21dd062	植物	個体	山野	立浪草	夏野草
初夏	螢蔓	21dd063	植物	個体	山野	螢蔓	夏野草
初夏	錦衣	21dd064	植物	個体	山野	錦衣	夏野草
初夏	都草	21dd065	植物	個体	山野	都草	夏野草
初夏	富貴草	21dd066	植物	個体	山野	富貴草	春野草
初夏	高砂草	21dd067	植物	個体	山野	高砂草	夏野草
初夏	連理草	21dd068	植物	個体	山野	連理草	夏野草
初夏	羊蹄の花	21dd069	植物	個体	山野	羊蹄の花	夏野草
初夏	酸漿草の花	21dd070	植物	個体	山野	酢漿草の花	夏野草
初夏	鐵引草	21dd071	植物	個体	山野	鐵引草	春野草
初夏	蜜の衾	21dd072	植物	個体	山野	蜜の衾	春野草
初夏	衝羽根草	21dd073	植物	個体	山野	衝羽根草の花	夏野草
初夏	寶鐸草	21dd074	植物	個体	山野	寶鐸草の花	夏野草
初夏	丁字草	21dd075	植物	個体	山野	丁字草	夏草花
初夏	半鐘蔓	21dd076	植物	個体	山野	半鐘蔓	夏野草
初夏	濱豌豆	21dd077	植物	個体	山野	濱豌豆	夏野草
初夏	濱藪	21dd078	植物	個体	山野	濱藪	夏野草
初夏	蒨	21dd079	植物	個体	山野	蒨	夏野草
初夏	夏蕨	21dd080	植物	個体	山野	夏蕨	夏野草
初夏	木母	21dd081	植物	個体	山野	木母	夏果樹
初夏	草莓	21dd082	植物	個体	山野	草莓	夏樹木
初夏	蛇莓	21dd083	植物	個体	山野	蛇莓	夏野草
初夏	石斛の花	21dd084	植物	個体	山野	石斛の花	夏野草
初夏	鬆草	21dd085	植物	個体	山野	鬆草	春野草
初夏	筍	21dd086	植物	個体	山野	筍	夏野菜
初夏	野蒜の花	21gg153	植物	個体	田園	野蒜の花	夏野草
初夏	高苜の花	21gg154	植物	個体	田園	高苜の花	夏野菜
初夏	山葵の花	21gg155	植物	個体	田園	山葵の花	夏野菜
初夏	牡丹	21hh092	植物	個体	園芸	牡丹	夏花木
初夏	芍薬	21hh093	植物	個体	園芸	芍薬	夏草花
初夏	薔薇	21hh094	植物	個体	園芸	薔薇	夏花木
初夏	罌粟の花	21hh095	植物	個体	園芸	罌粟の花	夏草花
初夏	鳶尾	21hh096	植物	個体	園芸	鳶尾草	夏草花
初夏	著莖の花	21hh097	植物	個体	園芸	胡蝶花	夏野草
初夏	石菖	21hh098	植物	個体	園芸	石菖	夏野草
初夏	庭石菖	21hh099	植物	個体	園芸	庭石菖	夏草花
初夏	風車草	21hh101	植物	個体	園芸	風車草	夏草花
初夏	九輪草	21hh103	植物	個体	園芸	九輪草	夏野草

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
初夏	道灌草	21hh104	植物	個体	園芸	道灌草	夏草花
初夏	霞草	21hh105	植物	個体	園芸	霞草	春草花
初夏	鈴蘭	21hh106	植物	個体	園芸	鈴蘭	夏野草
初夏	含羞草	21hh107	植物	個体	園芸	含羞草	夏草花
初夏	擬寶珠の花	21hh108	植物	個体	園芸	擬寶珠	夏野草
初夏	岩非	21hh109	植物	個体	園芸	岩非	夏草花
初夏	松本草	21hh110	植物	個体	園芸	剪春羅	春草花
初夏	醉仙翁草	21hh112	植物	個体	園芸	醉仙翁草	夏草花
初夏	カーネーション	21hh113	植物	個体	園芸	カーネーション	夏草花
初夏	フロックス	21hh114	植物	個体	園芸	フロックス	夏草花
初夏	マーガレット	21hh115	植物	個体	園芸	マーガレット	夏草花
初夏	ルビナス	21hh116	植物	個体	園芸	ルビナス	夏草花
初夏	ゼラニウム	21hh118	植物	個体	園芸	天竺葵	夏草花
初夏	朝顔の苗	21hh119	植物	個体	園芸	朝顔の苗	夏草花
仲夏	若竹	22dd023	植物	個体	山野	若竹	夏樹木
仲夏	未央柳	22dd024	植物	個体	山野	未央柳	夏花木
仲夏	棟の花	22dd025	植物	個体	山野	棟の花	夏樹木
仲夏	柿の花	22dd026	植物	個体	山野	柿の花	夏果樹
仲夏	栗の花	22dd027	植物	個体	山野	栗の花	夏果樹
仲夏	椎の花	22dd028	植物	個体	山野	椎の花	夏樹木
仲夏	えごの花	22dd029	植物	個体	山野	山苺の花	夏樹木
仲夏	榎の花	22dd030	植物	個体	山野	榎の花	夏樹木
仲夏	木斛の花	22dd031	植物	個体	山野	木斛の花	夏樹木
仲夏	繭の花	22dd032	植物	個体	山野	繭の花	夏樹木
仲夏	櫛の花	22dd033	植物	個体	山野	櫛の花	夏樹木
仲夏	漆の花	22dd034	植物	個体	山野	漆の花	夏樹木
仲夏	櫛の花	22dd035	植物	個体	山野	櫛の花	夏樹木
仲夏	錦木の花	22dd036	植物	個体	山野	錦木の花	夏樹木
仲夏	海桐の花	22dd037	植物	個体	山野	海桐の花	夏樹木
仲夏	天蓼の花	22dd038	植物	個体	山野	木天蓼の花	夏樹木
仲夏	雁皮の花	22dd039	植物	個体	山野	雁皮の花	夏樹木
仲夏	十薬	22dd040	植物	個体	山野	葎草	夏野草
仲夏	烏柄杓	22dd041	植物	個体	山野	烏柄杓	夏野草
仲夏	雪下	22dd042	植物	個体	山野	雪の下	冬野草
仲夏	破れ傘	22dd043	植物	個体	山野	破れ傘	夏野草
仲夏	蠅捕草	22dd044	植物	個体	山野	蠅取草	夏野草
仲夏	螢袋	22dd045	植物	個体	山野	螢袋	夏野草
仲夏	虎尾草	22dd046	植物	個体	山野	虎尾草	夏野草
仲夏	敦盛草	22dd047	植物	個体	山野	敦盛草	夏草花
仲夏	庭柳	22dd048	植物	個体	山野	庭柳	夏野草
仲夏	山牛蒡の花	22dd049	植物	個体	山野	山牛蒡の花	夏野草
仲夏	晝顔	22dd050	植物	個体	山野	晝顔	夏野草
仲夏	漬書顔	22dd051	植物	個体	山野	漬書顔	夏野草
仲夏	梅笠草	22dd052	植物	個体	山野	梅笠草	夏野草
仲夏	えぞにゅう	22dd053	植物	個体	山野	えぞにう	夏野草
仲夏	藪草	22dd054	植物	個体	山野	藪草	夏野草
仲夏	銀龍草	22dd055	植物	個体	山野	銀龍草	夏野草
仲夏	定家葛	22dd056	植物	個体	山野	正木の葛	秋樹木
仲夏	苔の花	22dd057	植物	個体	山野	苔の花	夏野草
仲夏	梅雨茸	22dd058	植物	個体	山野	梅雨茸	夏茸
仲夏	木耳	22dd059	植物	個体	山野	木耳	夏茸
仲夏	田植花	22gg134	植物	関連	田園	田植花	夏野草
仲夏	嬰粟坊主	22gg149	植物	個体	田園	嬰粟坊主	夏草花
仲夏	亞麻の花	22gg150	植物	個体	田園	亜麻の花	夏作物
仲夏	石榴の花	22gg151	植物	個体	田園	石榴の花	夏果樹
仲夏	花橋	22gg152	植物	個体	田園	花橋	夏花木
仲夏	柚の花	22gg153	植物	個体	田園	柚の花	夏果樹
仲夏	蜜柑の花	22gg154	植物	個体	田園	蜜柑の花	夏果樹
仲夏	オリーブの花	22gg155	植物	個体	田園	オリーブの花	夏果樹
仲夏	苗代苺	22gg156	植物	個体	田園	苗代苺	夏樹木
仲夏	苗代茶莢	22gg157	植物	個体	田園	苗代茶莢	春樹木
仲夏	桑の實	22gg158	植物	個体	田園	桑の實	夏樹木
仲夏	櫻の實	22gg159	植物	個体	田園	櫻の實	夏花木
仲夏	さくらんぼ	22gg160	植物	個体	田園	「櫻の實」の傍題	夏花木
仲夏	楊梅	22gg161	植物	個体	田園	楊梅	夏果樹
仲夏	山櫻桃	22gg162	植物	個体	田園	山櫻桃の實	夏果樹
仲夏	枇杷	22gg163	植物	個体	田園	枇杷	夏果樹
仲夏	すぐり	22gg164	植物	個体	田園	須具刺の實	夏果樹
仲夏	青梅	22gg165	植物	個体	田園	青梅	夏果樹
仲夏	杜鵑花	22hh070	植物	個体	園芸	杜鵑花	夏花木
仲夏	紫陽花	22hh073	植物	個体	園芸	紫陽花	夏花木
仲夏	額の花	22hh074	植物	個体	園芸	額の花	夏花木
仲夏	山梔子の花	22hh075	植物	個体	園芸	梔子の花	夏花木
仲夏	金絲梅	22hh076	植物	個体	園芸	金絲梅	夏花木
仲夏	南天の花	22hh077	植物	個体	園芸	南天の花	夏花木
仲夏	葵	22hh078	植物	個体	園芸	葵	夏草花
仲夏	矢車菊	22hh079	植物	個体	園芸	矢車菊	夏草花
仲夏	除蟲菊	22hh080	植物	個体	園芸	除蟲菊	夏草花
仲夏	繡線菊	22hh081	植物	個体	園芸	繡線菊	夏花木
仲夏	石竹	22hh082	植物	個体	園芸	石竹	夏草花
仲夏	蟲取撫子	22hh083	植物	個体	園芸	蟲取撫子	夏草花
仲夏	紅の花	22hh084	植物	個体	園芸	紅の花	夏草花
仲夏	麒麟草	22hh085	植物	個体	園芸	麒麟草	夏野草
仲夏	鬼灯の花	22hh086	植物	個体	園芸	酸漿の花	夏草花
仲夏	鋸草	22hh087	植物	個体	園芸	鋸草	夏野草
仲夏	小判草	22hh088	植物	個体	園芸	小判草	夏草花
仲夏	茴香の花	22hh090	植物	個体	園芸	茴香の花	夏草花
仲夏	しゃぼん草	22hh091	植物	個体	園芸	石鹸草	夏草花
仲夏	金魚草	22hh092	植物	個体	園芸	金魚草	夏草花

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
仲夏	飛燕草	22hh093	植物	個体	園芸	飛燕草	夏草花
仲夏	夏雪草	22hh094	植物	個体	園芸	夏雪草	夏草花
仲夏	アイリス	22hh095	植物	個体	園芸	アイリス	夏草花
仲夏	グラジオラス	22hh096	植物	個体	園芸	グラジオラス	夏草花
仲夏	アマリリス	22hh097	植物	個体	園芸	アマリリス	夏草花
仲夏	ジギタリス	22hh098	植物	個体	園芸	ジギタリス	夏草花
仲夏	ガーベラ	22hh100	植物	個体	園芸	ガーベラ	夏草花
仲夏	ストケシア	22hh101	植物	個体	園芸	ストケシア	夏草花
仲夏	菖蒲	22hh109	植物	個体	園芸	白菖	夏草花
仲夏	あやめ	22hh110	植物	個体	園芸	溪蓆	夏草花
仲夏	花菖蒲	22hh111	植物	個体	園芸	花菖蒲	夏草花
仲夏	杜若	22hh112	植物	個体	園芸	燕子花	夏草花
仲夏	蓮の浮葉	22hh113	植物	個体	園芸	蓮の浮葉	夏野菜
仲夏	菘菜	22hh114	植物	個体	園芸	浅沙の花	夏野草
仲夏	河骨	22hh115	植物	個体	園芸	河骨	夏野草
仲夏	蘭の花	22hh116	植物	個体	園芸	蘭の花	夏野草
仲夏	藻の花	22hh117	植物	個体	園芸	藻の花	夏野草
仲夏	菱の花	22hh118	植物	個体	園芸	菱の花	夏野草
仲夏	澤瀉	22hh119	植物	個体	園芸	澤瀉	夏野草
仲夏	芹の花	22hh120	植物	個体	園芸	芹の花	夏野草
晩夏	草いきれ	23dd045	植物	全体	山野	草いきれ	夏野草
晩夏	土用芽	23dd046	植物	全体	山野	土用芽	夏樹木
晩夏	撫子	23dd047	植物	個体	山野	撫子	夏野草
晩夏	月見草	23dd048	植物	個体	山野	月見草	夏野草
晩夏	虎杖の花	23dd049	植物	個体	山野	虎杖の花	夏野草
晩夏	萱草の花	23dd050	植物	個体	山野	萱草の花	夏野草
晩夏	蚊帳吊草	23dd051	植物	個体	山野	蚊帳吊草	夏野草
晩夏	灸花	23dd052	植物	個体	山野	灸花	夏野草
晩夏	花紫	23dd053	植物	個体	山野	花紫	秋野草
晩夏	烏瓜の花	23dd054	植物	個体	山野	烏瓜の花	夏野草
晩夏	浦島草	23dd056	植物	個体	山野	浦島草	夏野草
晩夏	竹煮草	23dd057	植物	個体	山野	竹煮草	夏野草
晩夏	濱菅	23dd058	植物	個体	山野	濱菅	夏野草
晩夏	濱木綿	23dd059	植物	個体	山野	濱木綿の花	夏野草
晩夏	百合	23dd060	植物	個体	山野	百合の花	夏草花
晩夏	草合歡	23dd061	植物	個体	山野	草合歡	夏野草
晩夏	駒繫	23dd062	植物	個体	山野	駒繫	夏野草
晩夏	夏萩	23dd064	植物	個体	山野	夏萩	夏野草
晩夏	夏茱萸	23dd067	植物	個体	山野	夏茱萸	夏樹木
晩夏	岩梨	23dd069	植物	個体	山野	岩梨	夏樹木
晩夏	岩鏡	23dd085	植物	個体	山野	岩鏡	夏野草
晩夏	白山一花草	23dd086	植物	個体	山野	白山一花草	夏野草
晩夏	岩桔梗	23dd087	植物	個体	山野	岩桔梗	夏野草
晩夏	蟲取重	23dd089	植物	個体	山野	蟲取重	夏野草
晩夏	黒百合	23dd091	植物	個体	山野	「百合の花」の傍題	夏草花
晩夏	駒草	23dd092	植物	個体	山野	駒草	夏野草
晩夏	薄雪草	23dd093	植物	個体	山野	薄雪草	夏野草
晩夏	兔菊	23dd094	植物	個体	山野	兔菊	夏野草
晩夏	岩高蘭	23dd097	植物	個体	山野	岩高蘭	夏樹木
晩夏	夕菅	23dd102	植物	個体	山野	夕菅	夏野草
晩夏	白根葵	23dd104	植物	個体	山野	白根葵	夏野草
晩夏	ウルップ草	23dd105	植物	個体	山野	ウルップ草	夏野草
晩夏	風蘭	23dd115	植物	個体	山野	風蘭	夏野草
晩夏	青山椒	23gg222	植物	個体	田園	青山椒	夏野菜
晩夏	青鬼灯	23gg227	植物	個体	田園	青酸漿	夏草花
晩夏	芋	23gg240	植物	個体	田園	芋	夏作物
晩夏	夏菊	23hh116	植物	全体	園芸	夏菊	夏草花
晩夏	翠菊	23hh117	植物	個体	園芸	蝦夷菊	夏草花
晩夏	松葉菊	23hh119	植物	個体	園芸	松葉菊	夏草花
晩夏	松葉牡丹	23hh120	植物	個体	園芸	松葉牡丹	夏草花
晩夏	夏水仙	23hh121	植物	個体	園芸	夏水仙	夏草花
晩夏	花魁草	23hh122	植物	個体	園芸	花魁草	夏草花
晩夏	射干	23hh123	植物	個体	園芸	射干	夏野草
晩夏	日日草	23hh124	植物	個体	園芸	日日草	夏草花
晩夏	百日草	23hh125	植物	個体	園芸	百日草	夏草花
晩夏	千日紅	23hh126	植物	個体	園芸	千日紅	夏草花
晩夏	縷紅草	23hh127	植物	個体	園芸	縷紅草	夏草花
晩夏	龍の鬚	23hh128	植物	個体	園芸	蛇髭	夏野草
晩夏	岩桐草	23hh129	植物	個体	園芸	岩桐草	夏野草
晩夏	向日葵	23hh130	植物	個体	園芸	向日葵	夏草花
晩夏	黄蜀葵	23hh131	植物	個体	園芸	黄蜀葵	夏草花
晩夏	紅蜀葵	23hh132	植物	個体	園芸	紅蜀葵	夏草花
晩夏	ダリア	23hh133	植物	個体	園芸	ダーリヤ	夏草花
晩夏	リアトリス	23hh134	植物	個体	園芸	リアトリス	夏草花
晩夏	トリトマ	23hh135	植物	個体	園芸	トリトマ	夏草花
晩夏	ユッカ	23hh136	植物	個体	園芸	ユッカ	夏草花
晩夏	ダチュラ	23hh137	植物	個体	園芸	朝鮮朝顔	夏野草
晩夏	アカンサス	23hh138	植物	個体	園芸	アカンサス	夏草花
晩夏	カラジューム	23hh139	植物	個体	園芸	カラジューム	夏草花
晩夏	アスパラガス	23hh140	植物	個体	園芸	アスパラガスの花	夏野菜
晩夏	狸々草	23hh141	植物	個体	園芸	狸狸草	夏花木
晩夏	銀杯草	23hh142	植物	個体	園芸	銀盃草	夏草花
晩夏	孔雀草	23hh143	植物	個体	園芸	孔雀草	夏草花
晩夏	玉簾	23hh146	植物	個体	園芸	玉簾の花	夏草花
晩夏	野牡丹	23hh147	植物	個体	園芸	野牡丹	夏花木
晩夏	胡蝶蘭	23hh148	植物	個体	園芸	胡蝶蘭	夏野草
晩夏	仙人掌	23hh149	植物	個体	園芸	仙人掌の花	夏草花
晩夏	青齒菜	23hh150	植物	個体	園芸	青齒菜	夏野草
晩夏	芭蕉の花	23hh151	植物	個体	園芸	芭蕉の花	夏草花

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
晩夏	蘇鐵の花	23hh152	植物	個体	園芸	蘇鐵の花	夏樹木
晩夏	夾竹桃	23hh153	植物	個体	園芸	夾竹桃	夏花木
晩夏	合歡の花	23hh154	植物	個体	園芸	合歡の花	夏樹木
晩夏	百日紅	23hh155	植物	個体	園芸	百日紅	夏花木
晩夏	棗の花	23hh156	植物	個体	園芸	棗の花	夏果樹
晩夏	要の花	23hh157	植物	個体	園芸	要の花	夏樹木
晩夏	さびたの花	23hh158	植物	個体	園芸	さびたの花	夏樹木
晩夏	菩提樹の花	23hh159	植物	個体	園芸	菩提樹の花	夏樹木
晩夏	沙羅の花	23hh160	植物	個体	園芸	沙羅の花	夏樹木
晩夏	凌霄花	23hh161	植物	個体	園芸	凌霄花	夏花木
晩夏	佛桑花	23hh162	植物	個体	園芸	佛桑花	夏花木
晩夏	茉莉花	23hh163	植物	個体	園芸	茉莉花	夏花木
晩夏	玫瑰	23hh165	植物	個体	園芸	玫瑰	夏樹木
三秋	秋草	30dd086	植物	全体	山野	秋草	秋野草
三秋	草の花	30dd087	植物	全体	山野	草の花	秋野草
三秋	草の香	30dd088	植物	全体	山野	草の香	秋野草
三秋	草の穂	30dd089	植物	全体	山野	草の穂	秋野草
三秋	草の實	30dd090	植物	全体	山野	草の實	秋野草
三秋	秋の七草	30dd091	植物	全体	山野	秋の七草	秋野草
三秋	葛	30dd092	植物	個体	山野	葛	秋野草
三秋	薄荷	30dd093	植物	個体	山野	薄荷	秋野草
三秋	萱	30dd094	植物	個体	山野	萱	秋野草
三秋	刈萱	30dd096	植物	行為	山野	刈萱	秋野草
三秋	刈安	30dd097	植物	行為	山野	刈安	秋野草
三秋	狗尾草	30dd098	植物	個体	山野	狗尾草	秋野草
三秋	忍草	30dd099	植物	個体	山野	忍草	秋野草
三秋	藪風	30dd100	植物	個体	山野	藪風	秋野草
三秋	牛膝	30dd101	植物	個体	山野	牛膝	秋野草
三秋	牡蒿	30dd103	植物	個体	山野	牡蒿	春野草
三秋	蒿	30dd104	植物	個体	山野	蒿	秋樹木
三秋	木の實	30dd105	植物	全体	山野	木の實	秋樹木
三秋	荻	30ee122	植物	個体	水沢	荻	秋野草
三秋	蘆	30ee123	植物	個体	水沢	蘆	秋野草
三秋	川苔	30ee124	植物	全体	水沢	川苔	秋海草
三秋	菊	30gg108	植物	個体	田園	菊	秋草花
三秋	鶏頭	30gg109	植物	個体	田園	鶏頭花	秋草花
三秋	葉鶏頭	30gg110	植物	個体	田園	葉鶏頭	秋草花
三秋	芭蕉	30gg111	植物	個体	田園	芭蕉	秋草花
三秋	鬼灯	30gg175	植物	個体	田園	酸漿	秋草花
三秋	薄荷の花	30gg178	植物	個体	田園	薄荷の花	秋作物
三秋	木天蓼	30gg183	植物	個体	田園	木天蓼の花	夏樹木
初秋	桐一葉	31aa007	植物	関連	時節	桐一葉	秋樹木
初秋	常山木の花	31dd034	植物	個体	山野	臭木の花	秋樹木
初秋	萩	31dd035	植物	個体	山野	萩	秋野草
初秋	葛の花	31dd036	植物	個体	山野	葛の花	秋野草
初秋	桔梗	31dd037	植物	個体	山野	桔梗	秋野草
初秋	濃桔梗	31dd038	植物	個体	山野	濃桔梗	秋野草
初秋	女郎花	31dd039	植物	個体	山野	女郎花	秋野草
初秋	男郎花	31dd040	植物	個体	山野	男郎花	秋野草
初秋	藤袴	31dd041	植物	個体	山野	藤袴	秋野草
初秋	鶉花	31dd042	植物	個体	山野	鶉花	秋野草
初秋	田村草	31dd043	植物	個体	山野	たむら草	秋野草
初秋	吾亦紅	31dd044	植物	個体	山野	吾亦紅	秋野草
初秋	鷺草	31dd045	植物	個体	山野	鷺草	夏野草
初秋	露草	31dd046	植物	個体	山野	露草	秋野草
初秋	星草	31dd048	植物	個体	山野	星草	秋野草
初秋	水引の花	31dd049	植物	個体	山野	水引の花	秋野草
初秋	蓼の花	31dd050	植物	個体	山野	蓼の花	秋野草
初秋	赤のまんま	31dd051	植物	個体	山野	犬蓼	秋野草
初秋	矢の根草	31dd052	植物	個体	山野	矢の根草	秋野草
初秋	溝萩	31dd053	植物	個体	山野	千屈菜	秋野草
初秋	溝蕎麥	31dd054	植物	個体	山野	溝蕎麥	秋野草
初秋	麝香草	31dd055	植物	個体	山野	麝香草	秋野草
初秋	力草	31dd056	植物	個体	山野	雄ひじは	秋野草
初秋	草牡丹	31dd057	植物	個体	山野	草牡丹	秋野草
初秋	松蟲草	31dd058	植物	個体	山野	松蟲草	秋野草
初秋	釣船草	31dd059	植物	個体	山野	釣船草	秋野草
初秋	釣鐘人參	31dd060	植物	個体	山野	釣鐘人參	秋野草
初秋	弟切草	31dd061	植物	個体	山野	弟切草	秋野草
初秋	藪からし	31dd062	植物	個体	山野	藪枯らし	秋野草
初秋	めはじき	31dd063	植物	個体	山野	めはじき	秋野草
初秋	大文字草	31dd065	植物	個体	山野	大文字草	秋野草
初秋	野稗	31dd066	植物	個体	山野	野稗	秋野草
初秋	雀の稗	31dd067	植物	個体	山野	雀の稗	秋野草
初秋	ぬめり草	31dd068	植物	個体	山野	ぬめり草	秋野草
初秋	鼠の尾	31dd069	植物	個体	山野	鼠の尾	秋野草
初秋	點突草	31dd070	植物	個体	山野	點突	秋野草
初秋	棠梨	31dd073	植物	個体	山野	山梨	秋樹木
初秋	山葡萄	31dd074	植物	個体	山野	山葡萄	秋樹木
初秋	野葡萄	31dd075	植物	個体	山野	野葡萄	秋樹木
初秋	鰻鱺	31dd076	植物	個体	山野	鰻鱺	秋樹木
初秋	小水葱の花	31ef098	植物	個体	水沢・海洋	小水葱	春野草
初秋	蓮の實	31ef099	植物	個体	水沢・海洋	蓮の實	秋草花
初秋	青瓢	31gg104	植物	個体	田園	青瓢	秋野菜
初秋	木樺	31hh082	植物	個体	園芸	木樺	秋花木
初秋	芙蓉	31hh083	植物	個体	園芸	芙蓉	秋花木
初秋	朝顔	31hh084	植物	個体	園芸	朝顔	秋草花
初秋	夜顔	31hh085	植物	個体	園芸	夜顔	秋草花
初秋	白粉花	31hh086	植物	個体	園芸	白粉花	秋草花

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
初秋	鳳仙花	31hh087	植物	個体	園芸	鳳仙花	秋草花
初秋	鬱金の花	31hh089	植物	個体	園芸	鬱金の花	秋草花
初秋	仙翁花	31hh090	植物	個体	園芸	仙翁花	秋草花
初秋	辨慶草	31hh091	植物	個体	園芸	辨慶草	秋草花
初秋	八代草	31hh092	植物	個体	園芸	八代草	秋野草
初秋	カンナ	31hh095	植物	個体	園芸	カンナ	秋草花
初秋	ペチュニア	31hh096	植物	個体	園芸	ペチュニア	夏草花
初秋	ジンジャーの花	31hh097	植物	個体	園芸	ジンジャーの花	秋草花
仲秋	竹の春	32aa005	植物	関連	時節	竹の春	秋樹木
仲秋	初紅葉	32dd040	植物	全体	山野	初紅葉	秋樹木
仲秋	薄紅葉	32dd041	植物	全体	山野	薄紅葉	秋樹木
仲秋	櫻紅葉	32dd042	植物	全体	山野	櫻紅葉	秋樹木
仲秋	竹の實	32dd044	植物	個体	山野	竹の實	秋樹木
仲秋	山椒の實	32dd045	植物	個体	山野	山椒の實	秋樹木
仲秋	龍膽	32dd048	植物	個体	山野	竜胆	秋野草
仲秋	嫁菜の花	32dd049	植物	個体	山野	嫁菜の花	秋野草
仲秋	野菊	32dd050	植物	個体	山野	野菊	秋野草
仲秋	野塘蒿	32dd051	植物	個体	山野	荒地の菊	秋野草
仲秋	濱菊	32dd052	植物	個体	山野	濱菊	秋野草
仲秋	磯菊	32dd053	植物	個体	山野	磯菊	秋野草
仲秋	思草	32dd054	植物	個体	山野	思草	秋野草
仲秋	蒼朮の花	32dd055	植物	個体	山野	蒼朮の花	夏野草
仲秋	時鳥草	32dd056	植物	個体	山野	杜鵑草	秋野草
仲秋	富士薊	32dd057	植物	個体	山野	富士薊	秋野草
仲秋	曼珠沙華	32dd059	植物	個体	山野	曼珠沙華	秋野草
仲秋	眞菰の花	32ee077	植物	個体	水沢	眞菰の花	秋野草
仲秋	田五加	32ee078	植物	個体	水沢	田五加	秋野草
仲秋	菱の實	32ee079	植物	個体	水沢	菱の實	秋野草
仲秋	秋海棠	32gg060	植物	個体	田園	秋海棠	秋草花
仲秋	紫苑	32gg061	植物	個体	田園	紫苑	秋草花
仲秋	鳥兜	32gg062	植物	個体	田園	鳥兜	秋野草
仲秋	蘭	32gg063	植物	個体	田園	蘭	秋草花
仲秋	鐘道蘭	32gg064	植物	個体	田園	鐘道蘭	秋野草
仲秋	朝霧草	32gg065	植物	個体	田園	朝霧草	秋野草
仲秋	三七草	32gg066	植物	個体	田園	三七の花	秋草花
仲秋	岩蓮華	32gg067	植物	個体	田園	岩蓮華	秋野草
仲秋	コスモス	32gg068	植物	個体	田園	コスモス	秋草花
仲秋	風船葛	32gg069	植物	個体	田園	風船葛	秋草花
仲秋	模様草	32gg070	植物	個体	田園	模様草	秋草花
仲秋	緋衣草	32gg071	植物	個体	田園	緋衣草	秋草花
仲秋	茴香の實	32gg075	植物	個体	田園	茴香の實	秋草花
晩秋	五倍子	33dd044	植物	個体	山野	五倍子	秋樹木
晩秋	紅葉	33dd045	植物	全体	山野	紅葉	秋樹木
晩秋	紅葉狩	33dd046	植物	行為	山野	紅葉の傍題	秋樹木
晩秋	楓	33dd047	植物	個体	山野	雞冠木	秋樹木
晩秋	錦木	33dd049	植物	個体	山野	錦木	秋樹木
晩秋	柞	33dd050	植物	個体	山野	柞	秋樹木
晩秋	ななかまど	33dd051	植物	個体	山野	ななかまど	秋樹木
晩秋	鳶紅葉	33dd052	植物	全体	山野	鳶の傍題	秋樹木
晩秋	草紅葉	33dd053	植物	全体	山野	草紅葉	秋野草
晩秋	紅葉かつ散る	33dd055	植物	全体	山野	紅葉かつ散る	秋樹木
晩秋	黄落	33dd056	植物	全体	山野	黄落	秋樹木
晩秋	銀杏散る	33dd057	植物	個体	山野	銀杏散る	秋樹木
晩秋	名の木散る	33dd058	植物	全体	山野	名の木散る	秋樹木
晩秋	末枯	33dd059	植物	全体	山野	末枯	秋野草
晩秋	色不變えぬ松	33dd060	植物	全体	山野	色不變松	秋樹木
晩秋	木の實落つ	33dd061	植物	全体	山野	「木の實」の傍題	秋樹木
晩秋	栗	33dd062	植物	個体	山野	栗	秋果樹
晩秋	榎の實	33dd063	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	胡桃	33dd064	植物	個体	山野	胡桃	秋果樹
晩秋	銀杏	33dd067	植物	個体	山野	銀杏	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd068	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd069	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	水松の實	33dd070	植物	個体	山野	一位の實	秋樹木
晩秋	團栗	33dd071	植物	全体	山野	團栗	秋樹木
晩秋	檜の實	33dd072	植物	個体	山野	檜の實	秋樹木
晩秋	檜の實	33dd073	植物	個体	山野	檜の實	秋樹木
晩秋	新松子	33dd074	植物	個体	山野	新松子	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd075	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd076	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd077	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	たぶの實	33dd078	植物	個体	山野	たぶの實	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd079	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	漆の實	33dd080	植物	個体	山野	漆の實	秋樹木
晩秋	榎の實	33dd081	植物	個体	山野	榎の實	秋花木
晩秋	桐の實	33dd082	植物	個体	山野	桐の實	秋樹木
晩秋	桐油の實	33dd083	植物	個体	山野	油桐の實	秋樹木
晩秋	海桐の實	33dd084	植物	個体	山野	海桐の實	秋樹木
晩秋	杉の實	33dd085	植物	個体	山野	杉の實	秋樹木
晩秋	棕の實	33dd086	植物	個体	山野	棕の實	秋樹木
晩秋	榎	33dd087	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	皂角子	33dd088	植物	個体	山野	皂角子	秋樹木
晩秋	無患子	33dd089	植物	個体	山野	無患子	秋樹木
晩秋	衝羽根	33dd090	植物	個体	山野	衝羽根	秋樹木
晩秋	菩提子	33dd091	植物	個体	山野	菩提子	秋樹木
晩秋	紫式部	33dd092	植物	個体	山野	紫式部	秋樹木
晩秋	藤の實	33dd096	植物	個体	山野	藤の實	秋花木
晩秋	榎の實	33dd097	植物	個体	山野	榎の實	秋樹木
晩秋	常山木の實	33dd098	植物	個体	山野	臭木の實	秋樹木

季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
晩秋	棟の實	33dd099	植物	個体	山野	梅檀の實	秋樹木
晩秋	籬の實	33dd100	植物	個体	山野	籬の實	秋樹木
晩秋	合歡の實	33dd101	植物	個体	山野	合歡の實	秋花木
晩秋	水木の實	33dd102	植物	個体	山野	水木の實	秋花木
晩秋	玉水木	33dd103	植物	個体	山野	玉みづき	秋花木
晩秋	枸杞の實	33dd104	植物	個体	山野	枸杞の實	秋樹木
晩秋	梔子の實	33dd105	植物	個体	山野	梔子の實	秋花木
晩秋	茨の實	33dd106	植物	個体	山野	茨の實	秋樹木
晩秋	ひよんの實	33dd107	植物	個体	山野	瓢の實	秋樹木
晩秋	蔓梅擬	33dd108	植物	個体	山野	蔓梅擬	秋樹木
晩秋	珊瑚樹	33dd109	植物	個体	山野	珊瑚樹	秋樹木
晩秋	美男蔓	33dd110	植物	個体	山野	南五味子	秋野草
晩秋	通草	33dd111	植物	個体	山野	通草	秋樹木
晩秋	郁子	33dd112	植物	個体	山野	郁子	秋野草
晩秋	烏瓜	33dd113	植物	個体	山野	烏瓜	秋野草
晩秋	數珠玉	33dd115	植物	個体	山野	數珠玉	秋野草
晩秋	濱木綿の實	33dd116	植物	個体	山野	濱木綿の實	秋野草
晩秋	茸	33dd120	植物	個体	山野	茸	秋茸
晩秋	茸狩	33dd121	植物	個体	山野	茸の傍題	秋茸
晩秋	初茸	33dd122	植物	個体	山野	初茸	秋茸
晩秋	松茸	33dd123	植物	個体	山野	松茸	秋茸
晩秋	椎茸	33dd124	植物	個体	山野	椎茸	秋茸
晩秋	濕地茸	33dd125	植物	個体	山野	占地	秋茸
晩秋	平茸	33dd126	植物	個体	山野	平茸	秋茸
晩秋	舞茸	33dd127	植物	個体	山野	舞茸	秋茸
晩秋	粟茸	33dd128	植物	個体	山野	粟茸	秋茸
晩秋	兎口茸	33dd129	植物	個体	山野	蕘茸	秋茸
晩秋	皮茸	33dd130	植物	個体	山野	皮茸	秋茸
晩秋	鼠茸	33dd133	植物	個体	山野	鼠茸	秋茸
晩秋	毒茸	33dd140	植物	個体	山野	毒茸	秋茸
晩秋	紅茸	33dd144	植物	個体	山野	紅茸	秋茸
晩秋	水草紅葉	33ee165	植物	個体	水沢	水草紅葉	秋野草
晩秋	敗荷	33ee166	植物	個体	水沢	敗荷	秋草花
晩秋	蓮の實飛ぶ	33ee167	植物	個体	水沢	蓮の實	秋植物
晩秋	蒲の穂絮	33ee168	植物	個体	水沢	蒲の絮	秋野草
晩秋	蘆の花	33ee169	植物	個体	水沢	蘆の花	秋野草
晩秋	石榴	33gg183	植物	個体	田園	石榴	秋果樹
晩秋	櫻櫛	33gg184	植物	個体	田園	櫻櫛の實	秋果樹
晩秋	棗	33gg185	植物	個体	田園	棗の實	秋果樹
晩秋	榴棗	33gg186	植物	個体	田園	榴棗	秋果樹
晩秋	茱萸	33gg198	植物	個体	田園	茱萸	秋樹木
晩秋	山茱萸の實	33gg199	植物	個体	田園	山茱萸の實	秋花木
晩秋	枳椇	33gg200	植物	個体	田園	枳椇	秋樹木
晩秋	オリーブの實	33gg201	植物	個体	田園	オリーブの實	秋果樹
晩秋	殘菊	33hh148	植物	個体	園芸	殘菊	秋草花
晩秋	晚菊	33hh149	植物	個体	園芸	晚菊	秋草花
晩秋	木犀	33hh150	植物	個体	園芸	木犀の花	秋花木
晩秋	破芭蕉	33hh151	植物	個体	園芸	破れ芭蕉	秋草花
晩秋	みせばや	33hh152	植物	個体	園芸	みせばや	秋野草
晩秋	木瓜の實	33hh153	植物	個体	園芸	木瓜の實	秋花木
晩秋	萬年青の實	33hh155	植物	個体	園芸	萬年青の實	秋草花
晩秋	梅擬	33hh156	植物	個体	園芸	梅擬	秋樹木
晩秋	朝顔の實	33hh157	植物	個体	園芸	朝顔の實	秋草花
晩秋	川苜の花	33hh158	植物	個体	園芸	川苜の花	秋草花
晩秋	サフラン	33hh159	植物	個体	園芸	サフランの花	秋草花
三冬	落葉	40dd079	植物	全体	山野	落葉	冬樹木
三冬	木の葉	40dd080	植物	全体	山野	木の葉	冬樹木
三冬	枯葉	40dd081	植物	全体	山野	枯葉	冬樹木
三冬	朽葉	40dd082	植物	全体	山野	朽葉	冬樹木
三冬	冬木	40dd083	植物	全体	山野	冬木	冬樹木
三冬	冬木立	40dd084	植物	全体	山野	冬木立	冬樹木
三冬	寒林	40dd085	植物	全体	山野	「冬木立」の傍題	冬樹木
三冬	冬芽	40dd086	植物	全体	山野	冬芽	冬樹木
三冬	枯木	40dd087	植物	全体	山野	枯木	冬樹木
三冬	冬枯	40dd088	植物	全体	山野	冬枯	冬樹木
三冬	霜枯	40dd089	植物	全体	山野	霜枯	冬樹木
三冬	枯柳	40dd090	植物	個体	山野	枯柳	冬樹木
三冬	冬山椒	40dd092	植物	個体	山野	冬山椒	冬樹木
三冬	青木の實	40dd093	植物	個体	山野	青木の實	冬花木
三冬	藪柑子	40dd094	植物	個体	山野	藪柑子	冬野草
三冬	萬両	40dd095	植物	個体	山野	萬両	冬草花
三冬	仙蓼	40dd096	植物	個体	山野	千両	冬草花
三冬	冬珊瑚	40dd097	植物	個体	山野	冬珊瑚	冬樹木
三冬	深山樺	40dd098	植物	個体	山野	深山樺	冬樹木
三冬	南天の實	40dd099	植物	個体	山野	南天の實	秋樹木
三冬	ねずみもちの實	40dd100	植物	個体	山野	ねずみもちの實	冬樹木
三冬	龍の玉	40dd101	植物	個体	山野	蛇の髻の實	冬野草
三冬	枯鳶	40dd102	植物	全体	山野	鳶枯る	冬野草
三冬	冬鳶	40dd103	植物	全体	山野	冬鳶	冬樹木
三冬	枯蔓	40dd104	植物	全体	山野	枯蔓	冬野草
三冬	草枯	40dd105	植物	全体	山野	枯草	冬野草
三冬	冬草	40dd106	植物	全体	山野	冬草	冬野草
三冬	枯萩	40dd107	植物	全体	山野	枯萩	冬野草
三冬	枯芭蕉	40dd108	植物	個体	山野	枯芭蕉	冬草花
三冬	枯律	40dd109	植物	個体	山野	「名草枯る」の傍題	冬野草
三冬	枯芝	40dd110	植物	個体	山野	枯芝	冬野草
三冬	枯尾花	40dd111	植物	個体	山野	枯芒	冬野草
三冬	寒薄	40dd112	植物	個体	山野	寒芒	冬野草
三冬	寒菅	40dd113	植物	個体	山野	寒菅	冬野草



季節	山本(1971)の歳時記季語	季語コード	中分類	属性	大分類	角川(1973)の歳時記季語	季節形態
三冬	枯忍	40dd115	植物	個体	山野	「名草枯る」の傍題	冬野草
三冬	寒忍	40dd116	植物	個体	山野	寒忍	冬野草
三冬	冬苺	40dd117	植物	個体	山野	冬苺	冬樹木
三冬	滑子	40dd118	植物	個体	山野	滑子	冬茸
三冬	枯蘆	40ee151	植物	個体	水沢	枯葦	冬野草
三冬	枯真菰	40ee152	植物	個体	水沢	枯真菰	冬野草
三冬	枯蓮	40ee153	植物	個体	水沢	枯蓮	冬草花
三冬	慈姑	40ee154	植物	個体	水沢	慈姑	春野菜
三冬	烏芋	40ee155	植物	個体	水沢	烏芋	春野菜
三冬	松藻	40ff196	植物	個体	海洋	松藻	冬海藻
三冬	枯菊	40hh124	植物	個体	園芸	枯菊	冬草花
三冬	冬薔薇	40hh125	植物	個体	園芸	冬薔薇	冬花木
三冬	寒菊	40hh126	植物	個体	園芸	寒菊	冬草花
三冬	カトレア	40hh127	植物	個体	園芸	カトレア	冬草花
初冬	冬紅葉	41dd021	植物	全体	山野	冬紅葉	冬樹木
初冬	歸り花	41dd022	植物	全体	山野	歸り花	冬花木
初冬	山茶花	41dd023	植物	個体	山野	山茶花	冬花木
初冬	八手の花	41dd024	植物	個体	山野	八手の花	冬花木
初冬	椀の花	41dd025	植物	個体	山野	椀の花	冬樹木
初冬	冬葵	41dd026	植物	個体	山野	冬葵	冬草花
初冬	寒葵	41dd027	植物	個体	山野	寒葵	冬野草
初冬	寒蘭	41dd028	植物	個体	山野	寒蘭	冬野草
初冬	石菫の花	41dd029	植物	個体	山野	雲吾の花	冬野草
初冬	寒竹の子	41dd030	植物	個体	山野	寒竹の子	冬野菜
初冬	茶の花	41gg043	植物	個体	田園	茶の花	冬花木
仲冬	冬至梅	42hh008	植物	個体	園芸	冬の梅	冬花木
仲冬	枇杷の花	42hh009	植物	個体	園芸	枇杷の花	冬果樹
仲冬	ポインセチア	42hh013	植物	個体	園芸	ポインセチア	冬花木
仲冬	蝦蛄葉仙人掌	42hh014	植物	個体	園芸	蝦蛄仙人掌	冬草花
仲冬	クリスマスローズ	42hh015	植物	個体	園芸	クリスマスローズ	冬草花
晩冬	冬菫	43dd040	植物	個体	山野	冬菫	冬野草
晩冬	冬蕨	43dd041	植物	個体	山野	冬蕨	冬野草
晩冬	雪割茸	43dd042	植物	個体	山野	雪茸	冬茸
晩冬	早梅	43hh043	植物	個体	園芸	早梅	冬花木
晩冬	寒梅	43hh044	植物	個体	園芸	冬の梅の傍題	冬花木
晩冬	臘梅	43hh045	植物	個体	園芸	臘梅	冬花木
晩冬	冬櫻	43hh046	植物	個体	園芸	冬櫻	冬花木
晩冬	寒椿	43hh047	植物	個体	園芸	寒椿	冬花木
晩冬	侘助	43hh048	植物	個体	園芸	侘助	冬花木
晩冬	寒木瓜	43hh049	植物	個体	園芸	寒木瓜	冬花木
晩冬	水仙	43hh050	植物	個体	園芸	水仙	冬草花
晩冬	寒牡丹	43hh051	植物	個体	園芸	冬牡丹	冬花木
晩冬	葉牡丹	43hh052	植物	個体	園芸	葉牡丹	冬草花
晩冬	寒獨活	43hh053	植物	個体	園芸	寒獨活	冬野菜
新年	薺	50ii095	植物	個体	行事	薺	新年
新年	御行	50ii096	植物	個体	行事	御行	新年
新年	佛の座	50ii097	植物	個体	行事	佛の座	新年
新年	檜飾る	50kk178	植物	関連	衣住	檜	新年
新年	橘飾る	50kk179	植物	関連	衣住	橘	新年
新年	齒朶	50kk188	植物	関連	衣住	齒朶	新年
新年	榎	50kk189	植物	関連	衣住	榎	新年
新年	福壽草	50kk191	植物	個体	衣住	福壽草	新年

あとがき

研究所に勤務して 30 余年となるが、いよいよ定年の時が来た。環境知覚の研究を進めて来て、色々な研究を実施してきた。今回は国立公害研究所が国立環境研究所に名称を変更した頃より始めた俳句に関する一連の調査研究をまとめることにした。

最初は俳句が一般の人々の環境知覚の最も良い表現であると報告した(青木, 1995)。その中で歳時記に注目して研究を進め、季語、特に植物季語について調査を進めた。歳時記には多様な植物が季語として紹介されていた(角川, 1973)。これをひも解いて行くうちに素晴らしい俳句に多く出会った。300 年も人々の心を揺さぶる俳句があることを見出した。このような俳句が現在も、またこれからも日本人の心を感動させるのではないかと思い、科学的研究(本田, 1973)の必要性を感じた。

国際俳句交流協会に 2000 年に入会して、俳句が世界中で詠まれていることが分かった。25 を超える言語で、50 を超える国や地域で楽しまれていることがわかった。このような俳句を相互に理解が進むようにするには、共通の言語が必要であるが、日本語が世界共通の語とはならないと思われる。そこで俳句に使われている季語に注目した。季語は俳句の重要な部分であり、大きな意味を持っている。これは英国の研究者デイビット・プラット(Dr. David J. PLATT)博士からも賛同を得た。中でも植物は世界共通の学名を持っている。これに焦点をあてて研究を続けた。

季語について調べると、古くから日本人の心を表す重要な言葉であることが示されていた(寺田, 1935)。このような日本人の感覚は日本の自然、気候風土が作り出していることが述べられていた(和辻, 1935)。また近年、気候風土が言葉に影響を与えていることが、科学的に調べられるようになった(鈴木, 1990)。このような研究は外国にまで広がり、最近では景観研究での四季の変化なども報告されている。

俳句の季語に関して科学的研究を始めることが出来たのは近田文弘先生やジャンボール絹子さんとの出会い、宮下恵美子さんや野末琢二さんの助けがあったからである。フランス語の情報は夏石番矢さんの協力を得た。皆さんとこのような報告書を作ることが出来て大変有難いと感謝している。

青木陽二

#### 参考文献

青木陽二 (1995) 植生景観記述から探る景観体験の解明に関する研究, 第 8 回環境情報科学論文集, 75-80.

本田正次 (1973) 植物と俳句, かびれ 43(6), 8-9.

角川源義 (1973) 図説俳句歳時記, 角川, 東京, 5 巻.

鈴木秀夫 (1990) 気候変化が言葉をかえた: 言語年代学によるアプローチ, 日本放送出版協会, 東京, 216pp.

寺田寅彦 (1935) 日本人の自然観, 岩波書店, 東京, 32pp.

和辻哲郎 (1935) 風土: 人間学的考察, 岩波書店, 東京, 407pp.

RESEARCH REPORT FROM  
THE NATIONAL INSTITUTE FOR ENVIRONMENTAL STUDIES, JAPAN  
No. 201  
国立環境研究所研究報告 第201号  
(R-201-2009)

---

【平成21年2月編集委員会受付】

【平成21年3月編集委員会受理】

平成21年3月発行

発行 独立行政法人 国立環境研究所

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16番2

電話 029-850-2343 (ダイヤルイン)

---

印刷 朝日印刷株式会社 つくば支社

〒305-0046 茨城県つくば市東2-11-15

---

Published by the National Institute for Environmental Studies

16-2 Onogawa, Tsukuba, Ibaraki 305-8506 Japan

March 2009

---

無断転載を禁じます